

津市立西郊中学校便所改修工事

図面リスト

建築工事				電気設備工事		機械設備工事	
図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
A-01	改修特記仕様書(1)	A-31	普通教室・特別教室棟 1階便所 展開図 [改修後]	E-01	電気設備工事特記仕様書 1	M-01	特記仕様書 1
A-02	改修特記仕様書(2)	A-32	普通教室・特別教室棟 2～4階北便所 展開図 [改修前]	E-02	電気設備工事特記仕様書 2	M-02	特記仕様書 2
A-03	改修特記仕様書(3)	A-33	普通教室・特別教室棟 2～4階南便所 展開図 [改修前]	E-03	電気設備工事特記仕様書 3	M-03	凡例 機器仕様 衛生器具表
A-04	改修特記仕様書(4)	A-34	普通教室・特別教室棟 2～4階北便所 展開図 [改修後]	E-04	凡例・器具姿図	M-04	給排水衛生設備 普通教室・特別教室管理棟 西便所 1階平面詳細図
A-05	付近見取図・配置図	A-35	普通教室・特別教室棟 2～4階南便所 展開図 [改修後]	E-05	普通教室棟・特別教室管理棟 普通教室・特別教室棟 1階電気設備図 [改修前後]	M-05	給排水衛生設備 普通教室・特別教室管理棟 西便所 2階平面詳細図
A-06	仕上表	A-36	普通教室棟・特別教室管理棟 天井伏図	E-06	普通教室棟・特別教室管理棟 普通教室・特別教室棟 2階電気設備図 [改修後]	M-06	給排水衛生設備 普通教室・特別教室管理棟 西便所 3階平面詳細図
A-07	普通教室棟・特別教室管理棟 1,2階平面図 [改修前]	A-37	普通教室・特別教室棟 天井伏図	E-07	普通教室棟・特別教室管理棟 普通教室・特別教室棟 3階電気設備図 [改修後]	M-07	給排水衛生設備 普通教室・特別教室管理棟 西便所 4階平面詳細図
A-08	普通教室棟・特別教室管理棟 3,4階平面図 [改修前]	A-38	建具指示図	E-08	普通教室棟・特別教室管理棟 普通教室・特別教室棟 4階電気設備図 [改修後]	M-08	給排水衛生設備 普通教室・特別教室管理棟 東便所 1階平面詳細図
A-09	普通教室棟・特別教室管理棟 1,2階平面図 [改修後]	A-39	普通教室・特別教室棟 1階多目的便所 2,3階女子便所 建具表	E-09	屋内運動場 1階平面図 [改修後]	M-09	給排水衛生設備 普通教室・特別教室管理棟 東便所 2階平面詳細図
A-10	普通教室棟・特別教室管理棟 3,4階平面図 [改修後]	A-40	屋内運動場 平面図 [改修前]			M-10	給排水衛生設備 普通教室・特別教室管理棟 東便所 3階平面詳細図
A-11	普通教室・特別教室棟 1,2階平面図 [改修前]	A-41	屋内運動場 平面図 [改修後]			M-11	給排水衛生設備 普通教室・特別教室管理棟 東便所 4階平面詳細図
A-12	普通教室・特別教室棟 3,4階平面図 [改修前]	A-42	屋内運動場 玄関、便所平面詳細図、断面詳細図 [改修前]			M-12	給排水衛生設備 普通教室・特別教室棟 1階便所平面詳細図
A-13	普通教室・特別教室棟 1,2階平面図 [改修後]	A-43	屋内運動場 玄関、便所平面詳細図、断面詳細図 [改修後]			M-13	給排水衛生設備 普通教室・特別教室棟 2～4階北便所平面詳細図
A-14	普通教室・特別教室棟 3,4階平面図 [改修後]	A-44	屋内運動場 玄関、便所 展開図 [改修前]			M-14	給排水衛生設備 普通教室・特別教室棟 2～4階南便所平面詳細図
A-15	普通教室・特別教室管理棟 1,2階西便所 平面詳細図 [改修前][改修後]	A-45	屋内運動場 玄関、便所 展開図 [改修後]			M-15	給排水衛生設備 屋内運動場 便所平面詳細図
A-16	普通教室・特別教室管理棟 3,4階西便所 平面詳細図 [改修前][改修後]	A-46	屋内運動場 玄関、男子便所 建具表				
A-17	普通教室・特別教室管理棟 1,2階東便所 平面詳細図 [改修前][改修後]	A-47	鋼製軽量建具・トイレ・ス詳細図(参考図)				
A-18	普通教室・特別教室管理棟 3,4階東便所 平面詳細図 [改修前][改修後]	A-48	雑詳細図				
A-19	普通教室・特別教室棟 1階便所平面詳細図 [改修前][改修後]	A-49	仮設計画図(1)				
A-20	普通教室・特別教室棟 2～4階北便所平面詳細図 [改修前][改修後]	A-50	仮設計画図(2)				
A-21	普通教室・特別教室棟 2～4階南便所平面詳細図 [改修前][改修後]	A-51	仮設計画図(3)				
A-22	普通教室・特別教室管理棟 1,2階西便所 展開図 [改修前]	A-52	仮設計画図(4)				
A-23	普通教室・特別教室管理棟 1,2階西便所 展開図 [改修後]	A-53	仮設計画図(5)				
A-24	普通教室・特別教室管理棟 3,4階西便所 展開図 [改修前]						
A-25	普通教室・特別教室管理棟 3,4階西便所 展開図 [改修後]						
A-26	普通教室・特別教室管理棟 1,2階東便所 展開図 [改修前]						
A-27	普通教室・特別教室管理棟 3,4階東便所 展開図 [改修前]						
A-28	普通教室・特別教室管理棟 1,2階東便所 展開図 [改修後]						
A-29	普通教室・特別教室管理棟 3,4階東便所 展開図 [改修後]						
A-30	普通教室・特別教室棟 1階便所 展開図 [改修前]						


工事特記仕様書（改修）

I. 工事名称	津市立西郊中学校 便所改修工事
II. 工事概要	
1 工事場所	津市 一色町 地内
2 敷地面積	32,891 m
3 工事内容	
様名称	普通教室棟・特別教室管理棟、普通教室・特別教室棟、屋内運動場
構造	鉄筋コンクリート造 4階建、鉄筋コンクリート造平家建
建築面積	
延べ面積	普通教室棟・特別教室管理棟 4,180㎡、普通教室・特別教室棟 3,488㎡、屋内運動場 1,378㎡
工事項目	(普通教室棟・特別教室管理棟)男子及び女子職員便所改修、男子及び女子便所改修 (普通教室・特別教室棟)男子及び女子便所改修、
III. 建築改修工事仕様	多目的便所新設、建具改修 (屋内運動場)男子及び女子便所改修、玄関建具改修、スロープ新設
1 共通仕様	
図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、公共建築工事標準仕様書（「建築工事編」最新版）(以下「標準仕様書」)及び公共建築改修工事標準仕様書（「建築工事編」最新版）	
2 特記仕様	
(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。	
(2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。	
(3) 項目欄に記載の（ ）内表示番号は改修仕の該当項目等を示す。	

章	項 目	特 記 事 項																					
① 一般共通事項	① 適用基準等	本特記事項に個別に記載の適用基準に加え、以下の基準等を適用する。 1) 建築工事標準詳細図 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修（平成28年度） 2) 建築物解体工事共通仕様書 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修（平成24年度） 3) 津市公共建築物等木材利用方針																					
	② 施工条件	施工方法及び検査に関する事項 ※ 工事契約後、速やかに調査及び施工計画書を作成し、現場着手までに市監督員の承諾を得ること。 ※ 作業着手までの校内調査は、事前に学校及び市監督員の承諾を得るものとし、学校の授業終了後、休日等の行事に影響を与えない範囲とする。 ※ 工事中の安全計画・消防計画等は、市監督員と十分協議し災害防止に努めること。 ※ 工事作業については、学校運営に支障をきたさないよう工事の遂行に必要な施工体制を確保すること。 ※ 作業着手までの校内調査は、事前に学校及び市監督員の承諾を得るものとし、学校の授業終了後、休日等の行事に影響を与えない範囲とする。 ※ 本工事における諸官庁への届出、手続き及び書類等は、速やかに提出し工事の遂行に影響の無いよう努めること。 ※ 特定作業に伴って発生する騒音は、低振動・低騒音に努め騒音規 制法に基づき関係機関への届出・打合せの上、作業に着手する事とし、周辺住民からの苦情があった時は、工事を一時中断し、誠意をもって地元調整を行い、工事の再開は市監督員の承認を得てから行うこと。 ※ 工事期間中、現場内入場者、近隣関係者等へ危害を与えないよう注意し、かつ周道路等に資材を落させたり、ほりり等を飛散させないよう万全の注意を払うこと。又、夏休み等学校休校日であっても生徒等が利用している場合があるので注意を払うこと。 ※ 工事車両の出入りについては、登下校時間を避け、安全確保に十分配慮すること。 ※ 大型車両通行時には誘導員を配置し、通行人及び敷地周辺の安全に十分配慮すること。 ※ 工事車両及び工事関係車両は、周辺道路に駐車しないこと。 ※ 工事期間中、工事に起因し既存施設破損等を与えた場合は、工事請負者の責任において速やかに現状復旧するとともに市監督員に報告書を提出すること。 ※ 工事着手前には、現状状況把握の為に破損箇所等があれば、市監員立会いのもと写真に記録しておくこと。また、工事過程に於いて、既設施設に破損等を与えた場合は、請負者の負担において速やかに復旧すると共に、市監督員に報告すること。 ※ 設計図書に明記なくとも機能上及び構造上当然必要と認められるもの並びに、取り合いのはつり補修復旧は本工事に含む。 なお内訳書の数量は参考とし、当図面を優先する。 ※ 受変電設備等の点検が、工事期間中に行われる可能性があるため、時期については監督員及び点検業者と調整を行うこと。 ※ 夏季休業中も、屋内運動場のアリーナは利用する為、安全に十分配慮すること。なお、夜間開放も予定されている。 ※ 工事用水、電力については施設既存の施設を無償で利用できる。但し、学校業務に影響しないよう事前に打合わせのうえ計画し、施工すること。 ※ 工事着手は、原則、7月21日からとする。ただし、学校及び監督員との協議により承諾を得た場合は、この限りではない ※ 本格着手に先立ち、学校用仮設便所の設置工事は本契約後、土・日曜日を中心に速やかに完了させることとする。 ※ 仮設便所の撤去を除く本工事について、2学期以降の学校運営に支障がないよう、市検査課の中間検査を受け、8月31日まで引き渡すこと。（書類含む）																					
	③ 発生材の処理等 (1.3.8)	本工事は、その施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年5月31日法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。）施行令で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事であるため、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。 工事契約後に明らかになったやむをえない事情により、予定した条件により難い場合は、監督員と協議するものとする。																					
	分別解体等の方法	<table><tr><th>工程</th><th>作業の有無</th><th>分別解体等の方法</th></tr><tr><td>造成等</td><td>・ 有 ○ 無</td><td>・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用</td></tr><tr><td>基礎・基礎ぐい</td><td>・ 有 ○ 無</td><td>・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用</td></tr><tr><td>上部構造部分・外装</td><td>・ 有 ○ 無</td><td>・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用</td></tr><tr><td>屋根</td><td>・ 有 ○ 無</td><td>・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用</td></tr><tr><td>建築設備・内装等</td><td>○ 有 ・ 無</td><td>・ 手作業 ○ 手作業、機械作業の併用</td></tr><tr><td>その他 ()</td><td>・ 有 ○ 無</td><td>・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用</td></tr></table>	工程	作業の有無	分別解体等の方法	造成等	・ 有 ○ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用	基礎・基礎ぐい	・ 有 ○ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用	上部構造部分・外装	・ 有 ○ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用	屋根	・ 有 ○ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用	建築設備・内装等	○ 有 ・ 無	・ 手作業 ○ 手作業、機械作業の併用	その他 ()	・ 有 ○ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用
工程	作業の有無	分別解体等の方法																					
造成等	・ 有 ○ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用																					
基礎・基礎ぐい	・ 有 ○ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用																					
上部構造部分・外装	・ 有 ○ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用																					
屋根	・ 有 ○ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用																					
建築設備・内装等	○ 有 ・ 無	・ 手作業 ○ 手作業、機械作業の併用																					
その他 ()	・ 有 ○ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用																					
		<ul style="list-style-type: none">引き渡しを要するもの（ ・ 無 ） 処理方法（ ）特別管理産業廃棄物 ・ 有（ ）アスベスト成形板等解体時の留意点<ul style="list-style-type: none">1. 手ばらし等、出来るだけ粉塵の発生しない方法で行うこと。2. 可能であれば湿潤状態（散水）として作業を進めること。3. 飛散されない様にする。4. 保護員及び作業着を着用すること。5. 解体されたボード等は、蓋のある容器に入れること。6. 事前に使用箇所や状況の調査を行い記録すること。現場において再利用を図るもの（ ）再資源化を図るもの<ul style="list-style-type: none">・ コンクリート塊・ アスファルトコンクリート塊・ 建設発生木材																					

		引渡を要するもの、再資源化を図るものについては調査を作成し、監督員へ提出すること。 引渡を要するもの以外のものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、資源の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令によるほか、「建設副産物適正処理推進要綱」に従い適切に処理し、マニフェストA、B2、D票を提示すること。 成形板等の解体・撤去にあたっては、事前にアスベスト含有に係る施工調査を行う。含有が判明した等の場合、改修標準仕様書(9.1.5)に従い処理する。																																
4	建設副産物情報交換システムの利用	再生資源の利用又は建設副産物の搬出がある場合、受注者は受注時において工事請負代金額が1億円以上の工事については、工事着手前及び工事完了後に「再生資源利用計画書（実施書）」及び「再生資源利用促進計画書（実施書）」を監督員に提出すること。 また、工事着手前にはJAGICが運営する「建設副産物情報交換システム」へデータを入力し、工事完了時にはシステムへ実績報告を行うこと。																																
⑤	三重県産業廃棄物税	本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に別に定める様式に産業廃棄物税納付証明書を添付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うことができる。 なお、この期間を超えて請求することはできない。また、産業廃棄物処理集計表（マニフェストの数量の集計）を超えて請求することはできない。																																
6	電気保安技術者 (1.3.3)	適用する																																
7	技能士 (1.6.2)	職種別に可能なものについては、積極的に活用のこと。																																
8	施工数量調査 (1.5.2)	調査範囲及び調査方法 ・ 工種別の特記による																																
9	調査のための破壊部分の補修 (1.5.3)	補修方法 ・ 図示（図面番号： ） ・ （ ）																																
①	建築材料等	1） 本工事に使用する木材は、津市公共建築物等木材利用方針に基づき、木材の利用に努めること。 2） 本工事に使用する建築材料のホルムアルデヒド放散量等は、F☆☆☆☆以上とする。																																
11	化学物質の濃度測定 (1.6.9)	測定対象化学物質（●で示したものとする。） <table><tr><th>適用</th><th>施設用途</th><th>ホルムアルデヒド</th><th>トルエン</th><th>キシレン</th><th>エチルベンゼン</th><th>スチレン</th><th>パラジクロロベンゼン</th></tr><tr><td></td><td>学校、教育施設</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td></tr><tr><td></td><td>住宅</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td></td></tr><tr><td></td><td>その他</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td></td></tr></table>	適用	施設用途	ホルムアルデヒド	トルエン	キシレン	エチルベンゼン	スチレン	パラジクロロベンゼン		学校、教育施設	●	●	●	●	●	●		住宅	●	●	●	●	●			その他	●	●	●	●	●	
適用	施設用途	ホルムアルデヒド	トルエン	キシレン	エチルベンゼン	スチレン	パラジクロロベンゼン																											
	学校、教育施設	●	●	●	●	●	●																											
	住宅	●	●	●	●	●																												
	その他	●	●	●	●	●																												
		測定対象室及び測定箇所数 ・ 図示（図面番号： ） ・ （ ） 測定方法（ ・ バックシブ法 ・ アクティブ法） 報告書提出部数 2部																																
12	特別な材料の工法	改修標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は当該製品の指定工法による。																																
①	騒音・振動の防止	低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程に基づき指定された建設機械の使用に努めること。																																
①	工事写真	営繕工事写真撮影要領（国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修（最新版））に従い撮影する。 提出部数 1部 用紙は上質紙とする。																																
①	完成図 (1.8.2)	① 作成する ① 完成図 ・ 保全に関する資料 ・ （ ） ① 完成図作図範囲（設計図訂正） 完成図はCADにより作成することとし、著作権（著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む）は発注者に移譲するものとする。また、製本2部により提出すること。																																
①	完成写真	① デジタルカメラで撮影し、全て1版相当サイズで印刷する。 （A4版用紙に1ページあたり3枚） 1部 箇所数は外観4面各室2面程度とし、規定の箇所数が確保できない場合や枚数が多くなる場合には、監督員と協議すること。写真は、着工前・施工中・完成を同一場所から、黒板なしで撮影すること。																																
①	設備工事との取合い	施工範囲 ① 図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔・開口部の補強 ・ 図示した壁・天井の仕上材・下地材の切込み及び補強 ・ 自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強 ・ 駆動装置が電動による建具等の2次側の配管・配線及び 操作スイッチ 施工図 ・ 設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督員の承諾を受けること。																																
①	既存部分等への処置 (1.3.12)	工事施工に際し、在来部分を汚損した場合又は損傷した場合は、監督職員に報告するとともに承諾を受けて現状に準じて補修する。																																
①	事故報告	工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に通報するとともに、所定の様式により工事故発生報告書を監督員が指示する期日までに、監督員に提出すること。 また、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取、調査、検証等に協力すること。																																
20	消防提出書類	1） 消火器の設置届については、電気及び機械設備にて設置届が不要な場合は、建築にて設置届を提出するものとする。 2） 防火対象物使用開始届については書類の作成（建築図面の用意及び建築に関する部分の記述）を行うこと。																																
②	労働安全衛生法に基づく労働災害防止措置	労働安全衛生法第30条第1項に規定する措置を講ずる必要がある場合、その措置を講ずべき者として、同法第30条第2項の規定に基づき、本工事の請負者を指名する。この場合における指名への同意は、本工事の請負契約を締結することにより得られたものとみなす。																																

23	不正軽油の使用の禁止	1) 一般事項 市県工事の施工にあたり、工事現場で使用し、又は使用させる車両（資機材等の搬出入車両を含む。）並びに建設機械等の燃料として、不正軽油（地方税法第144条の32（製造等の承認を受ける義務等）の規定に違反する燃料をいう。）を使用してはならない。 2) 調査の協力 受注者は、県が使用燃料の採油調査を行う場合には、その調査に協力しなければならない。また、受注者は下請負者等に同調査に協力するよう管理及び監督しなければならない。 3) 是正措置 受注者は、不正軽油の使用が判明した場合は、速やかに是正措置を講じなければならない。また、受注者は下請負者等に不正軽油の使用が判明した場合は速やかに是正措置を講じるよう管理及び監督しなければならない。																																																								
23	屋外広告物	屋外広告物を設置する場合は、「三重県屋外広告物条例」第23条に規定する屋外広告業の登録事業者であること。																																																								
2	仮設工事	設置する足場について、「手すり先行工法等に関するガイドライン（厚生労働省平成21年4月）」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立てに関する基準」の2の(2)手すり据置き型方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。 <div>(2.2.1) (表2.2.1)</div> <div>内部足場の種別 <input checked="" type="radio"/> 脚立 ・ 足場板 ・ () 外部足場の種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種 防護シート等による養生 ・ 適用する ・ 適用しない</div> <div>2</div> <div>既存部分の養生 (2.3.1)</div> <div>既存部分の養生 <input checked="" type="radio"/> 図示（図面番号：A-50、A-51、A-52、A-53） 既存ブラインド・カーテンの養生 養生方法（ ） 保管場所 ・ 構内既存施設内 固定された備品、机、ロッカーの移動 ・ 行う ・ 行わない</div> <div>3</div> <div>仮設間仕切り (2.3.2) (表2.3.1)</div> <div>屋内の仮設間仕切り ・ A種 <input checked="" type="radio"/> B種 ・ C種 合板 厚さ ・ 9mm ・ () せつこうボード 厚さ <input checked="" type="radio"/> 5mm ・ () 合板又は石膏ボードの塗装 ・ 行う ・ 行わない 仮設扉 <input checked="" type="radio"/> 図示（図面番号：A-50、A-51、A-52、A-53） 種別 ・ A種 <input checked="" type="radio"/> B種 ・ C種</div> <div>4</div> <div>監督員事務所 (2.4.1)</div> <div><div><div>・ 構内建物内の一部を使用する。 ・ 設置する ・ 設置しない</div><div>監督員事務所の規模(単位:m)</div><table><tr><td>適用</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>規模</td><td>10程度</td><td>20程度</td><td>35程度</td><td>65程度</td><td>100程度</td></tr></table></div><div>監督員事務所の仕上げ</div><table><tr><th>部 位 等</th><th>仕 上 げ</th></tr><tr><td>床</td><td>合板張り又はビニール床シート張り</td></tr><tr><td>内壁・天井</td><td>合板張り又はせつこうボード張り、合成樹脂エマルション塗り</td></tr><tr><td>屋根</td><td>装溶融垂鉛めっき鋼板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗り</td></tr></table></div> <div>5</div> <div>監督員事務所の備品等 (2.4.1)(b)</div> <table><tr><th>種類</th><th>机・いす</th><th>書棚</th><th>黒板・白板</th><th>掛時計</th><th>温度計</th></tr><tr><td>数量</td><td>組</td><td>台</td><td>個</td><td>個</td><td>個</td></tr><tr><td>種類</td><td>長靴</td><td>雨合羽</td><td>保護帽</td><td>懐中電灯</td><td>衣類ロッカー</td></tr><tr><td>数量</td><td>足</td><td>着</td><td>個</td><td>個</td><td>台</td></tr><tr><td>種類</td><td>消火器</td><td>掃除具</td><td>受注者加入電話 FAX</td><td>冷暖房機器</td><td>インターネット</td></tr><tr><td>数量</td><td>個</td><td>個</td><td>台</td><td>台</td><td>台</td></tr></table> <div>6</div> <div>仮設便所</div> <div>構内既存の施設 ・ 利用できる <input checked="" type="radio"/> 利用できない</div> <div>7</div> <div>工事用水</div> <div>構内既存の施設 <input checked="" type="radio"/> 利用できる（ ・ 有償 <input checked="" type="radio"/> 無償） ・ 利用できない</div> <div>8</div> <div>工事用電力</div> <div>構内既存の施設 <input checked="" type="radio"/> 利用できる（ ・ 有償 <input checked="" type="radio"/> 無償） ・ 利用できない 有償利用の場合において、本工事で新規受電又は既設電気回路に接続し通電した時から工事に起因する電力料金は、本工事に含まれる。</div> <div>9</div> <div>交通誘導警備員</div> <div>配置 <input checked="" type="radio"/> 図示（図面番号：A-49）</div>	適用						規模	10程度	20程度	35程度	65程度	100程度	部 位 等	仕 上 げ	床	合板張り又はビニール床シート張り	内壁・天井	合板張り又はせつこうボード張り、合成樹脂エマルション塗り	屋根	装溶融垂鉛めっき鋼板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗り	種類	机・いす	書棚	黒板・白板	掛時計	温度計	数量	組	台	個	個	個	種類	長靴	雨合羽	保護帽	懐中電灯	衣類ロッカー	数量	足	着	個	個	台	種類	消火器	掃除具	受注者加入電話 FAX	冷暖房機器	インターネット	数量	個	個	台	台	台
適用																																																										
規模	10程度	20程度	35程度	65程度	100程度																																																					
部 位 等	仕 上 げ																																																									
床	合板張り又はビニール床シート張り																																																									
内壁・天井	合板張り又はせつこうボード張り、合成樹脂エマルション塗り																																																									
屋根	装溶融垂鉛めっき鋼板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗り																																																									
種類	机・いす	書棚	黒板・白板	掛時計	温度計																																																					
数量	組	台	個	個	個																																																					
種類	長靴	雨合羽	保護帽	懐中電灯	衣類ロッカー																																																					
数量	足	着	個	個	台																																																					
種類	消火器	掃除具	受注者加入電話 FAX	冷暖房機器	インターネット																																																					
数量	個	個	台	台	台																																																					

・ ・	工事名／Title 津市立西郊中学校便所改修工事	図面種別／Drawing 改修特記仕様書(1)		Check	No. A-01	<div> 合資会社 重企建築事務所</div> <div>Jyuki Architectural Design Office</div> <div>一級建築士事務所 三重県知事登録第1－300号</div> <div>一級建築士国土交通大臣登録第167163号 山田 裕治</div>
・ ・						
・ ・		縮尺／Scale 原 図：A2 日付／Date				
・ ・						
・ ・						

③

防水改修工事

1

アスファルト防水

(3.1.4)
(3.3.3)
(表3.3.3)～
(表3.3.10)

改質アスファルトルーフィングシート

種類・改修標準仕様書(表3.3.3)～(表3.3.9)による・()
厚さ・改修標準仕様書(表3.3.3)～(表3.3.9)による・()

部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート

種類・改修標準仕様書(表3.3.3)～(表3.3.9)による・()
厚さ・改修標準仕様書(表3.3.3)～(表3.3.9)による・()

断熱工法の断熱材 (PIB1, P2A1, T1B1, POD1, M3D1, M4D1)

材質・()
・A種押出法ポリスチレンフォーム保温材の保温板3種b (スキンあり)
・A種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板2種1号
・A種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板2種2号
厚さ・()
ルーフドレン回り及び立上がり部周辺断熱材の張りじまい位置・図示 (図面番号:)

脱気装置 (M3D, POD, POD1, M3D1, M4D1)

・設ける (設置数量・図示 (図面番号:), 材質 ())
・設けない
・仕上塗料 種類 () 使用量 ()

保護コンクリートの厚さ こて仕上げ・水下80mm以上・()
床タイル張り・水下60mm以上・()

保護層・設ける・設けない
屋上排水溝の適用・適用する
立上り保護・乾式保護材 ()
・れんが (材質・JIS R1250)

工法	種別	施工箇所
・M4AS	・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-J3	

改質アスファルトシート

種類・改修標準仕様書(表3.4.1)～(表3.4.3)による・()
厚さ・改修標準仕様書(表3.4.1)～(表3.4.3)による・()

粘着層付改質アスファルトシート及び部分粘着層付改質アスファルトシート

種類・改修標準仕様書(表3.4.1)～(表3.4.3)による・()
厚さ・改修標準仕様書(表3.4.1)～(表3.4.3)による・()

断熱工法の断熱材 (M3AS1, M4AS1, POAS1)

材質・()
・A種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板2種1号
・A種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板2種2号
厚さ・()

脱気装置

・設ける (設置数量・図示 (図面番号:), 材質 ())
・設けない

工法	種別	施工箇所
・S3S ・S3SI	・S-F1 (SI-F1) ・S-F2 (SI-F2)	

ルーフィングシート

種類・改修標準仕様書(表3.5.1)及び(表3.5.2)による・()
厚さ・改修標準仕様書(表3.5.1)及び(表3.5.2)による・()

断熱工法の断熱材 (POS1, S4S1, S3S1, M4S1)

材質・()
・A種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板2種1号
・A種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板2種2号
・A種押出法ポリスチレンフォーム保温材の保温板
・A種押出法ポリスチレンフォーム保温材の密度及び熱伝導率の規格に適合するもの
厚さ・()

絶縁用シート・発泡ポリエチレンシート

脱気装置

・設ける (設置数量・図示 (図面番号:), 材質 ())
・設けない

既存防水層下地がPCコンクリート部材の場合

目地処理・図示 (図面番号:)
増張り・図示 (図面番号:)

工法	種別	施工箇所
・POX ・L4X	・X-1 ・X-2	

脱気装置

・設ける (設置数量・図示 (図面番号:), 材質 ())
・設けない

工法	種別	施工箇所
・P1Y ・P2Y	・Y-2	

保護層・図示 (図面番号:)

2

改質アスファルトシート防水

(3.4.3)
(表3.4.1)～
(表3.4.3)

3

合成高分子分子ルーフィングシート防水

(3.5.3)
(表3.5.1)
(表3.5.2)
(3.5.2)(b)
(3.5.3)

4

塗膜防水

(3.6.3)
(表3.6.1)
(3.6.3)(a)
(3.6.3)(b)

5

既存防水層表面の仕上塗装の除去

(3.2.6)(c)(2)
(3.2.6)(c)(6)

⑥

シーリング

(3.7.2)
(表3.7.1)

(3.7.4～7)

(3.7.8)

7

とい

(3.8.2)
(表3.8.1)

8

アルミニウム製笠木

(3.9.2)(c)
(表3.9.1)

(3.9.3)(b)

(3.9.2)(d)
(表5.2.2)

(M4AS, M4AS1, M4C, M4D1)
(L4X)

・行う・行わない
・行う・行わない

材料

種類	材種	施工箇所
・SR-1	シリコーン系	
・SR-2	シリコーン系	
① MS-2	変成シリコーン系	建具廻り、流し台廻り
② PS-2	ポリサルファイド系	新設壁廻り
・PU-2	ポリウレタン系	

工法

① シーリング充填工法
・シーリング再充填工法
・拡幅シーリング再充填工法
・ブリッジ工法
(ボンドブレーカー幅 mm、エッジング材幅 mm)

シーリング材の試験

・簡易接着性試験・引張接着性試験①行わない

材種・硬質ポリ塩化ビニル管 (カラー)・配管用銅管 (白管)
・()

工法・図示 (図面番号:)

部材の種類

・押出し250形
・押出し300形
・押出し350形
・板材折曲げ形 (本体幅 () mm、板厚・2.0mm・())

固定金具の間隔 (mm)
固定方法・()

表面処理・()

工法 既存笠木等の撤去・図示 (図面番号:)
下地補修の工法・図示 (図面番号:)
板材折曲げ形の笠木の取付方法・図示 (図面番号:)
笠木固定金具の工法・図示 (図面番号:)
建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応したか固定金具の間隔固定方法等は施工計画書として提出する。

⑤

建具改修工事

①

改修工法

(5.1.3)

2

防火戸

(5.1.4)

3

見本の製作

(5.1.5)

4

防犯建物部品

(5.1.7)

5

ブラインドボックス等

(5.1.6)(c)

⑥

アルミニウム製建具

(5.2.2)
(5.2.4)
(表5.2.1)

(表5.2.2)

7

網戸

(5.2.3)(e)

8

樹脂製建具

(5.3.2)～(5.3.5)
(表5.3.1)～
(表5.3.3)

(M4AS, M4AS1, M4C, M4D1)
(L4X)

・行う・行わない
・行う・行わない

材料

種類	材種	施工箇所
・SR-1	シリコーン系	
・SR-2	シリコーン系	
① MS-2	変成シリコーン系	建具廻り、流し台廻り
② PS-2	ポリサルファイド系	新設壁廻り
・PU-2	ポリウレタン系	

工法

① シーリング充填工法
・シーリング再充填工法
・拡幅シーリング再充填工法
・ブリッジ工法
(ボンドブレーカー幅 mm、エッジング材幅 mm)

シーリング材の試験

・簡易接着性試験・引張接着性試験①行わない

材種・硬質ポリ塩化ビニル管 (カラー)・配管用銅管 (白管)
・()

工法・図示 (図面番号:)

部材の種類

・押出し250形
・押出し300形
・押出し350形
・板材折曲げ形 (本体幅 () mm、板厚・2.0mm・())

固定金具の間隔 (mm)
固定方法・()

表面処理・()

工法 既存笠木等の撤去・図示 (図面番号:)
下地補修の工法・図示 (図面番号:)
板材折曲げ形の笠木の取付方法・図示 (図面番号:)
笠木固定金具の工法・図示 (図面番号:)
建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応したか固定金具の間隔固定方法等は施工計画書として提出する。

①

かぶせ工法
①カバー工法・持出し工法・ノンシール工法

・撤去工法
・はつり工法・引抜き工法・例示仕様・個別認定 (認定番号:)
・自動閉鎖機構・図示 (図面番号:)

・製作する・製作しない

・図示 (図面番号:)

・再使用する・再使用しない

性能等級等・A種①B種・C種

・防音ドアセット、防音サッシ (等級)
・断熱ドアセット、断熱サッシ (等級)
・耐震ドアセット (等級)
・結露水の処理方法・図示 (図面番号:)

アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理の種別

①外部に面する建具
・B-1①B-2・()
・内部に面する建具
・C-1・C-2・()

・可動式・固定式

防虫網の材質

・合成樹脂製・ガラス繊維入り合成樹脂製・ステンレス (SUS316) 製

網目

・16メッシュ・18メッシュ

性能等級等

・A種・B種・C種

・防音ドアセット、防音サッシ (等級)
・断熱ドアセット、断熱サッシ (等級)
ガラス・複層ガラス・()
建具枠見込寸法・図示 (図面番号:)
水切り・図示 (図面番号:)
ぜん板・図示 (図面番号:)
丁番・改修標準仕様書(表5.7.3)による・図示 (図面番号:)

9

鋼製建具

(5.4.2)
(5.4.3)
(5.4.4)

①

鋼製軽量建具

(5.5.2)
(5.5.5)
(5.2.2)(b)
(5.5.3)
(5.5.4)
(5.7.3)(a)
(5.2.3)(a)

鋼製建具の性能等級

・簡易気密性ドアセット
・外部に面する建具の耐風圧
・S-4・S-5・S-6
・防音ドアセット、防音サッシ (等級)
・断熱ドアセット、断熱サッシ (等級)
・耐震ドアセット (等級)
・めっき付着量 JIS G 3302・Z12・F12・()
JIS G 3317・Y08・()
・H2400又はW950の建具
鋼板類の厚さ・図示 (図面番号:)

鋼製軽量建具の性能等級

・簡易気密性ドアセット
・防音ドアセット、防音サッシ (等級)
・断熱ドアセット、断熱サッシ (等級)
・耐震ドアセット (等級)
・H2400又はW950の建具
鋼板類の厚さ・図示 (図面番号:)

表面仕上げ

・塗装
・ビニル被覆鋼板
①カラー鋼板
・ステンレス鋼板 (・HL・鏡面)

11

ステンレス製建具

(5.6.2)
(5.4.2)

ステンレス製建具の性能等級

・簡易気密性ドアセット
・外部に面する建具の耐風圧
・S-4・S-5・S-6
・防音ドアセット、防音サッシ (等級)
・断熱ドアセット、断熱サッシ (等級)
・耐震ドアセット (等級)

(5.6.3)

材料・SUS304・()

(5.6.4)

表面仕上げ・HL仕上げ・()

(5.6.5)

曲げ加工・普通曲げ・角出し曲げ

②

建具用金物

(5.7.2)

(5.7.4)

金物の見え掛かり部等の材質等

①改修標準仕様書(表5.7.1)による
・図示 (図面番号:)マスターキー・製作する①製作しない
引渡用鍵箱・必要①不要

13

自動ドア開閉装置

(5.8.2)

(5.8.3)
(表5.8.3)

(5.8.3)(f)

開閉装置の性能値

・図示 (図面番号:)

センサの種類

・図示 (図面番号:)

凍結防止措置・あり・なし

④

自閉式上吊り引戸装置

(5.9.3)

自閉式上吊り引戸装置の性能値

①改修標準仕様書(表5.9.1)による・()

15

重量シャッター

(5.10.2)

種類

・一般重量シャッター・外壁用防火シャッター
・屋内用防火シャッター・防煙シャッター

耐風圧強度 (Pa以上)

(5.10.2)(c)
(表5.10.1)

開閉機能

・上部電動式 (手動併用)・上部手動式

(5.10.2)(f)
(5.10.3)

一般重量シャッターのシャッターケース

・設ける・設けない
・めっき付着量・Z12・F12・()

16

軽量シャッター

(5.11.2)
(表5.11.1)

開閉形式

・上部電動式 (手動併用)・手動式

耐風圧強度 (Pa以上)

スラットの材質及び形状

・インターロッキング形・オーバーラッピング形
・めっき付着量 JIS G 3312・Z06・F06・()
JIS G 3322・AZ90・()

17

オーバーヘッドドア

(5.12.2)

型式及び機構

セクション材料

・スチールタイプ・アルミニウムタイプ・ファイバーグラスタイプ

耐風圧強度 (Pa以上)

開閉方式

・バランス式・チェーン式・電動式

収納形式

・スタンダード形・ローヘッド形・ハイリフト形・バーチカル形

(5.12.3)

ガイドレール

・溶融亜鉛めっき鋼板・ステンレス鋼板

・

・

・

・

・

・

・

・

工事名／Title

津市立西郊中学校便所改修工事

図面種別／Drawing

改修特記仕様書(2)

縮尺／Scale 原図：A2 日付／Date

Check

No.

A-02

合資会社 重企建築事務所

Jyuki Architectural Design Office

一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号

一級建築士国土交通大臣登録第167163号 山田 裕治

内装改修工事

①

板ガラス
(5.13.2)(a)
(5.13.4)

①

ガラス留め材
(5.13.2)(b)

②

ガラス溝の寸法、形状等
(5.13.3)

2.1

ガラスブロック積み
(5.13.5)

○

図示(図面番号：A-39、A-46)

○

シーリング ・ ガスケット ()

・ 図示(図面番号：)

○改修標準仕様書(表5.13.1)による

ガラスブロック

表面形状、寸法、厚さ ・ 図示(図面番号：)

金属枠、補強材 ・ 図示(図面番号：)

化粧カバー ・ 図示(図面番号：)

工法 ・ 図示(図面番号：)

建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を施行計画書として提出する。

⑥

①一般事項
(6.1.3)(b)

(6.1.3)(c)

(6.1.3)(f)

②既存床撤去、下地補修
(6.2.2)(a)(1)
(6.2.2)(a)(2)
(6.2.2)(c)

③既存壁撤去、下地補修
(6.3.2)

4木下地等
(6.5.1)(c)
(表6.5.1)
(6.5.2)(a)(1)
(表6.5.2)

(6.5.2)(b)(1)

(6.5.2)(b)(2)(iv)
(表6.5.3)

(6.5.2)(b)(2)(iv)

(6.5.2)(c)(i)
(6.5.2)(b)(ii)

(6.5.2)(c)(ii)

(6.5.2)(d)(i)

(6.5.2)(d)(ii)

既存間仕切壁の撤去に伴う取り合い部分の改修範囲

改修部分	改修範囲
○天井	○図示(図面番号：A-37、A-43)
○壁	○図示(図面番号：A-19、A-31、A-43)
○床	○図示(図面番号：A-19、A-43)

天井内の既存壁の撤去に伴う取り合い部の天井改修範囲

○図示(図面番号：A-43) ・ ()

天井の撤去に伴う取り合い部の壁面改修

○図示(図面番号：A-19) ・ ()

既存床仕上げ材の除去等

浮き、欠損部等による下地モルタルの撤去

○行う ・ 行わない

合成樹脂塗り床材の除去等

・ 機械的除去工法 ・ 目荒し工法

改修後の床の清掃範囲

○施工範囲及び施工によって汚れが生じた範囲

・ ()

既存間仕切壁の撤去に伴う他の構造体の補修工法

○()

表面仕上げ ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種

木材の含水率(工事現場搬入時、質量比)

部材名称	種別
下地材	・ A種 ・ B種
造作材	・ A種 ・ B種

製材

「製材の日本農林規格」による製材

部位	樹種・寸法・形状	等級	含水率
下地用	・ 図示(図面番号：)	・ ()	・ ()
針葉樹製材	・ 図示(図面番号：)	・ ()	・ ()
造作用	・ 図示(図面番号：)	・ ()	・ ()
針葉樹製材	・ 図示(図面番号：)	・ ()	・ ()
広葉樹製材	・ 図示(図面番号：)	・ ()	・ ()

「製材の日本農林規格」以外の製材

樹種、寸法、材面の品質、防虫処理、難燃処理及び含水率 ・ 図示(図面番号：)

造作材の材面の品質 ・ A種 ・ ()

樹種

部 位	樹 種	県 産 材

代用樹種の使用 ・ 禁止する ・ 禁止しない

造作用集成材

「集成材の日本農林規格」による造作用集成材

部 位	樹 種 ・ 寸 法	見付け材面の等級	厚 さ
造作用集成材	・ 図示(図面番号：)	・ ()	
化粧ばり造作用集成材	・ 図示(図面番号：)	・ ()	
化粧ばり構造用造作用集成材	・ 図示(図面番号：)		・ ()

「集成材の日本農林規格」以外の製材

樹種、寸法、見付け材面の品質 ・ 図示(図面番号：)

含水率 ・ 15%以下 ・ ()

造作用単板積層材

「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材

部位	厚 さ	表面の品質	防虫処理
造作用単板積層材	・ 図示(図面番号：)	・ ()	・ ()

「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材

厚さ、表面の品質、防虫処理 ・ 図示(図面番号：)

含水率 ・ 14%以下 ・ ()

(6.5.2)(e)

(6.5.5)(a)

(6.5.5)(b)

⑤軽量鉄骨天井下地
(6.6.2)
(表6.6.1)
(6.6.3)

(6.6.4)

⑥軽量鉄骨壁下地
(6.7.3)
(6.6.4)(a)(1)

⑦ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル張り
(6.8.2)
(6.8.2)(a)
(6.8.2)(b)

(6.8.2)(c)(1)

(6.8.2)(c)(2)

(6.8.2)(c)(3)

(6.8.2)(c)(4)

(6.8.2)(e)

(6.8.3)(a)

(6.8.3)(b)

8カーペット敷き
(6.9.3)(a)
(表6.9.1)

(6.9.3)(b)
(表6.9.2)

・ 床張り用合板等

部材名称	樹種名	接着の程度	等級	板面の品質	防虫処理等	厚さ

・ 防腐、防蟻処理

適用部位 図示(図面番号：)

保存処理性能区分 ()

薬剤の塗布等の処理方法 ()

ボード原料接着剤への防腐・防蟻処理 ()

・ 防虫処理

・ 図示(図面番号：)

野縁等の種類

○屋内 ○19形 ・ ()

・ 屋外 ・ 25形 ・ ()

形式及び寸法

・ 屋外 ・ 図示(図面番号：)

・ 耐震天井 ・ 図示(図面番号：)

・ ふところ≧1.5m ・ 改修標準仕様書(6.6.4)(h) ・ 図示(図面番号：)

・ ふところ>3m ・ 図示(図面番号：)

既存埋込みインサート

○使用する ・ 使用しない

既存埋め込みインサート、あと施工アンカーの引き抜き試験

行う(図示(図面番号：)) ○行わない

耐震天井

・ 図示(図面番号：)

スタッド、ランナー等の種類

○図示(図面番号：A-19、A-43)

材料

○ビニル床シート【JIS A 5705(ビニル系床材)】

種類の記号	色柄	厚さ	備考
F S	無地	2.5mm	

・ ビニル床タイル【JIS A 5705(ビニル系床材)】

種類の記号	厚さ	備考

・ 帯電防止床シート又は床タイル

種類	性能	厚さ	備考

・ 視覚障害者用床タイル

種類	形状	備考
ビニル床タイル	300×300×7.0mm	

・ 耐動荷重性床シート

種類	性能	厚さ	備考

○防滑性床シート又は床タイル

種類	性能	厚さ	備考
スロープ		2.5mm	

・ ゴム床タイル

種類	厚さ	備考

工法

下地 ○モルタル下地 ・ 木下地 ・ その他 ()

ビニル床シート張り

熱溶接工法 ○適用する ・ 適用しない

・ 織じゅうたん

種類	パイルの形状	帯電性	品質の程度
・ A種	・ カットパイル	・ 人体帯電圧3KV以下	・ ()
・ B種	・ ループパイル	・ ()	
・ C種	・ カット、ループ併用	・ ()	

品質の程度欄に記載した商品名は、品質の程度を示すための参考商品名である。(以下同様)

・ タフテッドカーペット

パイルの形状	パイル長(mm)	帯電性	工法	品質の程度
・ カットパイル		・ 人体帯電圧3KV以下	・ 全面接着工法	・ ()
・ ループパイル		・ ()	・ グリッパ工法	
・ カット、ループ併用				

(6.9.3)(c)

(6.9.3)(d)
(表6.9.2)

(6.9.3)(e)
(6.9.3)(f)

(6.9.4)(e)

⑨合成樹脂塗床
(6.10.3)(b)(1)
(表6.10.4)
(6.10.3)(b)(2)
(表6.10.4)～
(表6.10.8)

1.0フローリング張り
(6.11.6)
(表6.11.6)

(6.11.4)
(表6.11.2)

(6.11.5)
(6.11.6)
(表6.11.3)
(表6.11.5)
(表6.11.6)

(6.11.7)(2)

1.1畳敷き
(6.12.2)
(表6.12.1)

⑫せっこうボード、その他ボード及び合板張り
(6.13.2)
(表6.13.1)

(6.13.2)(h)

(6.13.3)(e)(3)

(6.13.3)(g)(1)
(表6.13.5)

1.3壁紙張り
(6.14.2)

1.4モルタル塗り
(6.15.3)
(6.15.6)
(6.11.6)

・ ニードルパンチカーペット

厚さ(mm)	帯電性	備考
	・ 人体帯電圧3KV以下	
	・ ()	

・ タイルカーペット

種類	パイルの形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	品質の程度
	・ カットパイル	・ 500×500	・ 6.5	・ ()
	・ ループパイル	・ ()	・ ()	

下敷き材 ・ 第2種第2号、厚さ8mm ・ ()

見切り、押え金物 ・ 適用する(材質、種類及び形状 ・ 図示(図面番号：))

敷き方

平場	・ 市松敷き ・ 模様流し ・ ()
階段部分	・ 市松敷き ・ 模様流し ・ ()

弾性ウレタン塗床の仕上げ種類、工程

・ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ

エポキシ樹脂塗床の仕上げ種類

○薄膜流し展べ仕上げ(薄膜型塗床材1mm) ○平滑 ・ 防滑) ・ 厚膜流し展べ仕上げ(・ 平滑 ・ 防滑)

・ 樹脂モルタル仕上げ(・ 平滑 ・ 防滑) ○防滑工法 1.5mm

・ モルタル埋込み工法

フローリングブロック(単位:mm)

樹種	厚さ	寸法	備考
・ なら	・ 15	・ 303×303	・ 辺材部分には、防虫処理を行う
・ ()	・ ()	・ ()	・ ()

・ 釘留め工法

材料	種別	樹種
・ フローリングボード(根太張用)		・ なら
・ 複合フローリング(根太張用)	・ A種	・ ()
	・ B種	
	・ C種	

防湿処理 ・ 図示(図面番号：)

・ 接着工法

材種	樹種	厚さ	大きさ
・ フローリングボード(直張用)			
・ フローリングブロック(直張用)			
・ 複合1種フローリング(直張用)	・ A種	・ なら	
・ 複合2種フローリング(直張用)	・ B種	・ ()	
・ 複合3種フローリング(直張用)	・ C種		
・ モザイクパーケット(直張用)	・ ()	・ ()	・ ()

緩衝材 ・ 合成樹脂発泡シート ・ 図示(図面番号：)

塗装

・ ウレタン樹脂ワニス塗り(1液形、B種)

・ オイルステイン塗りのうすワックス塗り

・ 生地のままワックス塗り

・ ()

種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種

材種

材種	種別	厚さ(mm)
○せっこうボード	壁 ○9.5(準不燃) 12.5(不燃) 天井 ・ 9.5(準不燃) 12.5(不燃)	
○化粧せっこうボード	○トラバーチン模様 ・ 木目模様 ○9.5(準不燃) 9.5(準不燃)	
・ ロックウール化粧吸音板	・ 普通 ・ 9	
	・ 立体模様	
○けい酸カルシウム板	○タイプⅡ0.8FK ○6	
○不燃化粧板	○メラミン不燃化粧板 ○3	
○耐水プラスチックボード	○シージングプラスチックボード ○12.5	

遮音シール材

・ シーリング材 ・ ジョイントコンパウンド

合板類の張付け

・ A種 ・ B種

せっこうボードの目地工法

○継目処理 ○突付け ・ 目透し

施工箇所

施工箇所	品質	防火性能
		・ 不燃 ・ 準不燃
		・ 不燃 ・ 準不燃
		・ 不燃 ・ 準不燃

既製目地材 ・ 使用する(形状：)

床の目地 ・ 図示(図面番号：)

緩衝材 ・ 図示(図面番号：)

工事名／Title

津市立西郊中学校便所改修工事

図面種別／Drawing

改修特記仕様書(3)

縮尺／Scale 原図：A2 日付／Date

Check

No.

A-03

合資会社 重企建築事務所

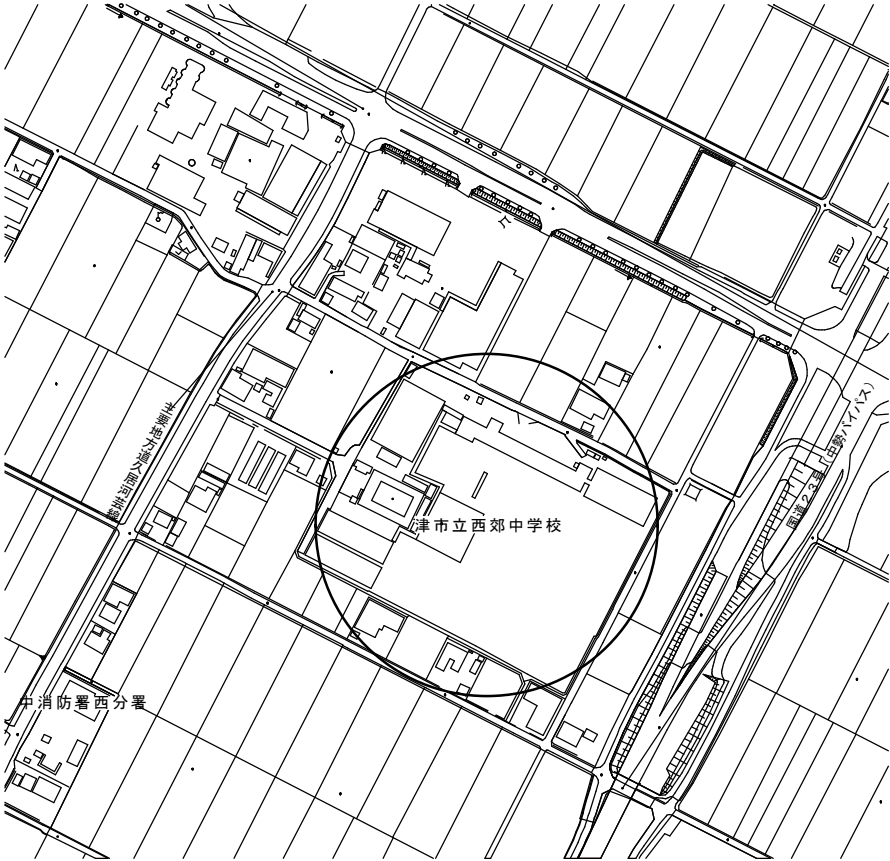
Jyuki Architectural Design Office

一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号

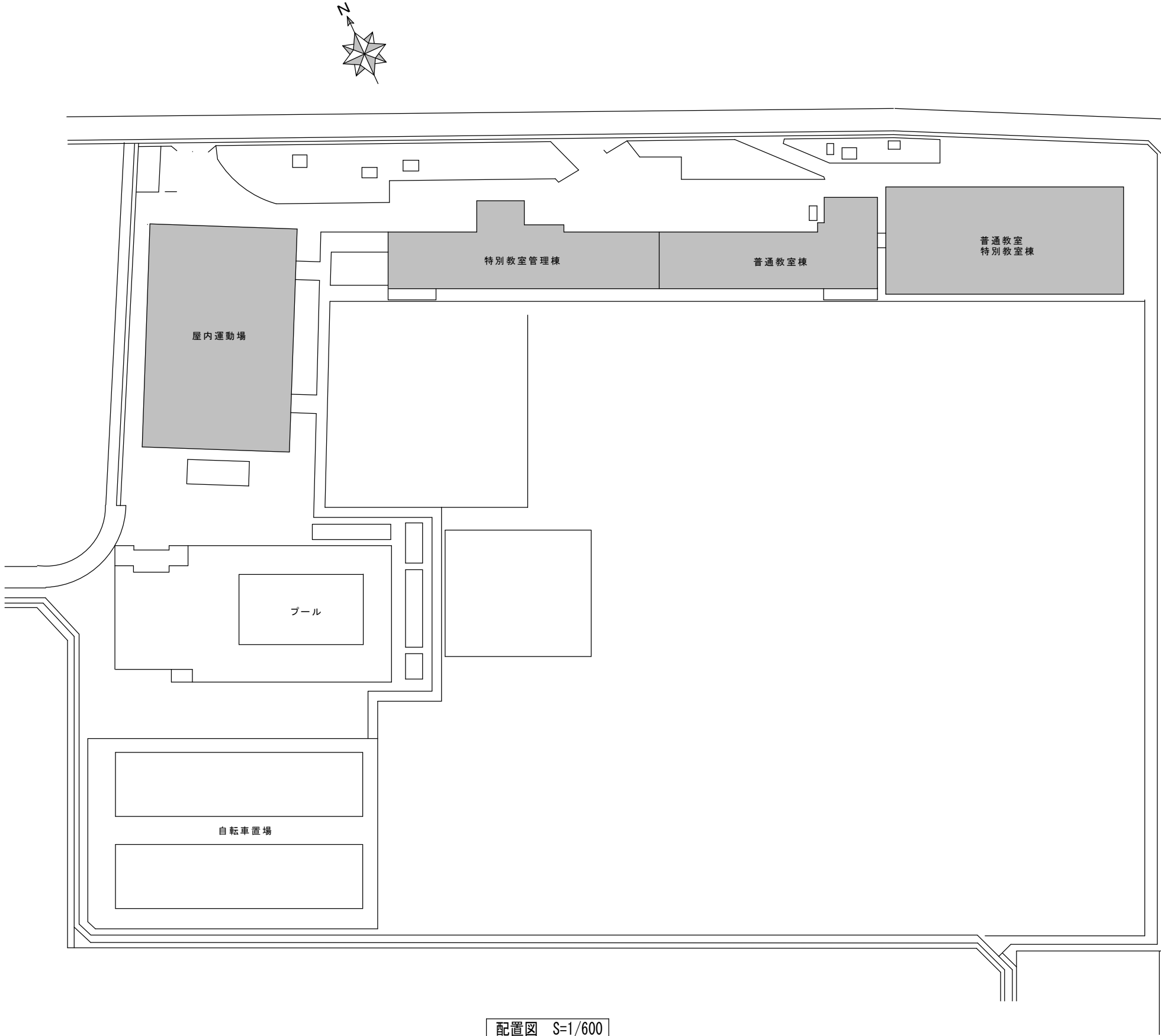
一級建築士国土交通大臣登録第167163号 山田 裕治

I 工事概要


工事名称	津市立西郊中学校	
敷地概要	地名地番	三重県津市一色町 地内
	敷地面積	32,891㎡
	都市計画区域	市街化調整区域
	用途地域	
	防火地域	22条区域
	指定建ぺい率	70%
	指定容積率	400%
	高さ制限	
	道路	
建物概要	建物用途	学校
	工事の種別	改修工事
	構造	R C造4階建、R C造平家建
	最高高さ 軒の高さ	



付近見取図



配置図 S=1/600

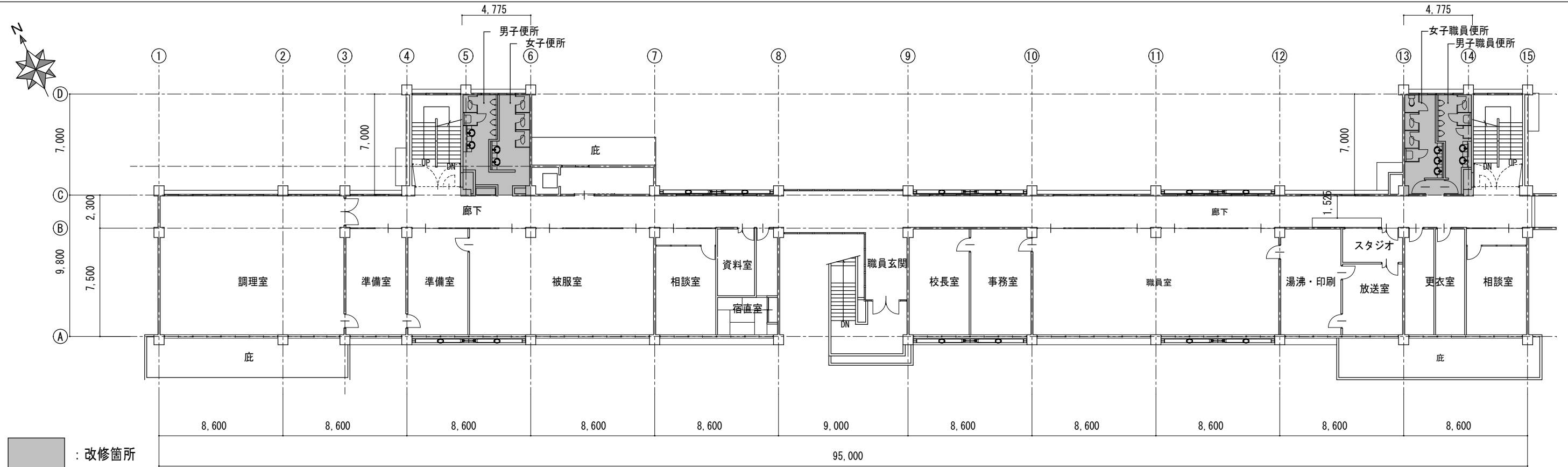
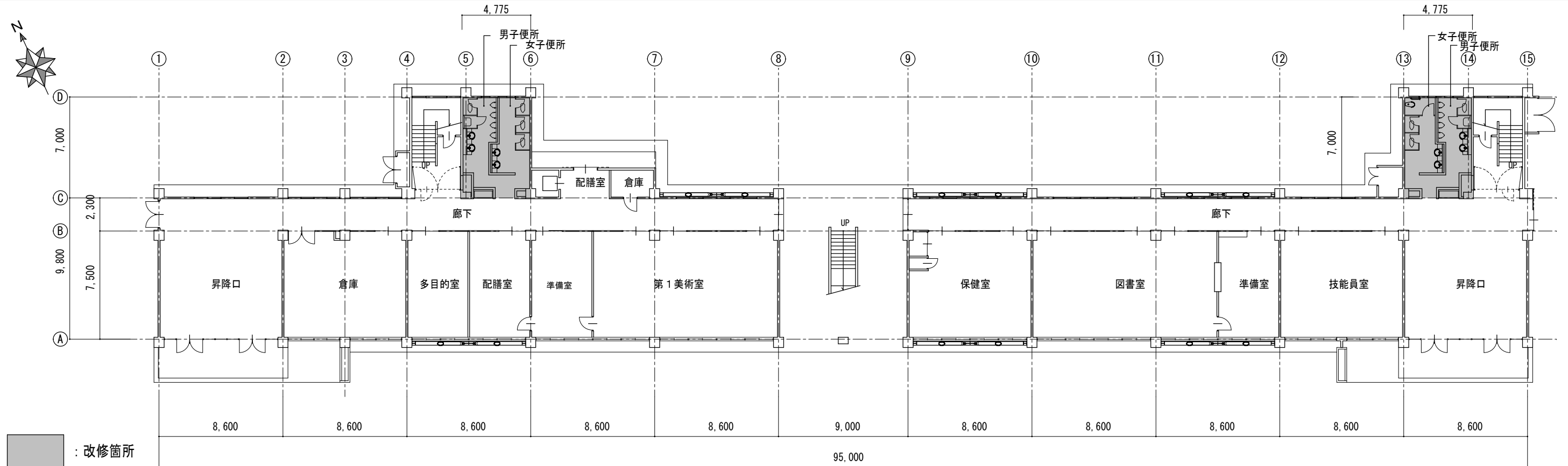
 : 改修対象建物

・	工事名／Title 津市立西郊中学校便所改修工事	図面種別／Drawing		Check	No. A-05	合資会社 重企建築事務所 Jyuki Architectural Design Office 一級建築士事務所 三重県知事登録第1－300号 一級建築士国土交通大臣登録第167163号 山田 裕治
・		付近見取図・配置図				
・		縮尺／Scale	日付／Date			
・		1/600				

□ 内部仕上表

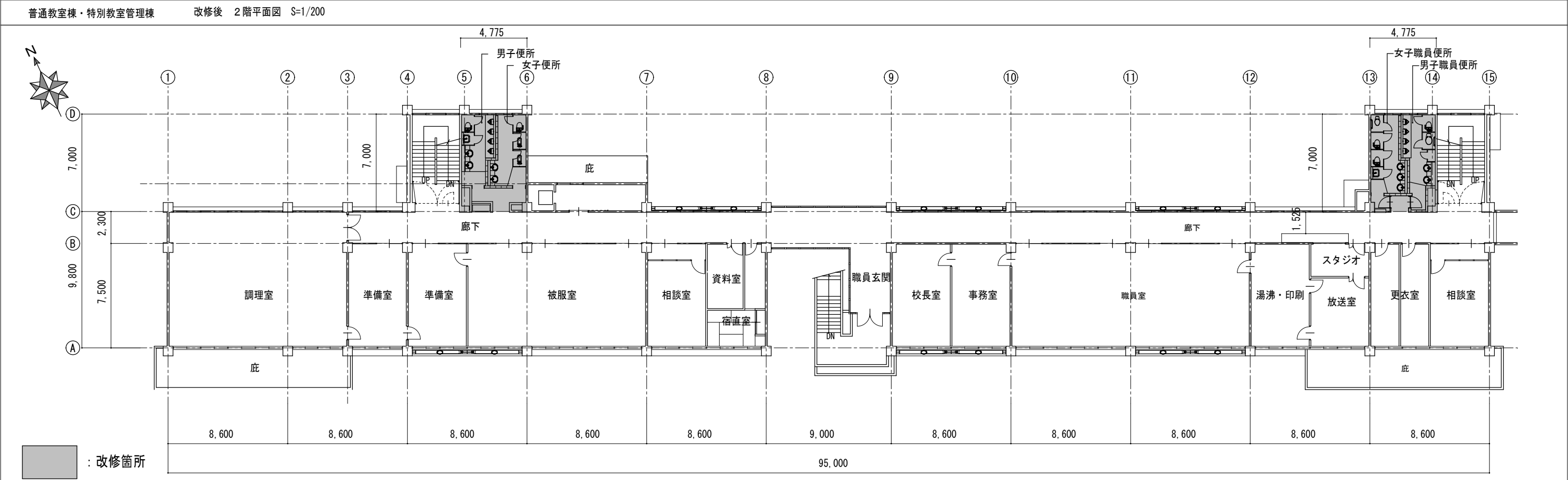
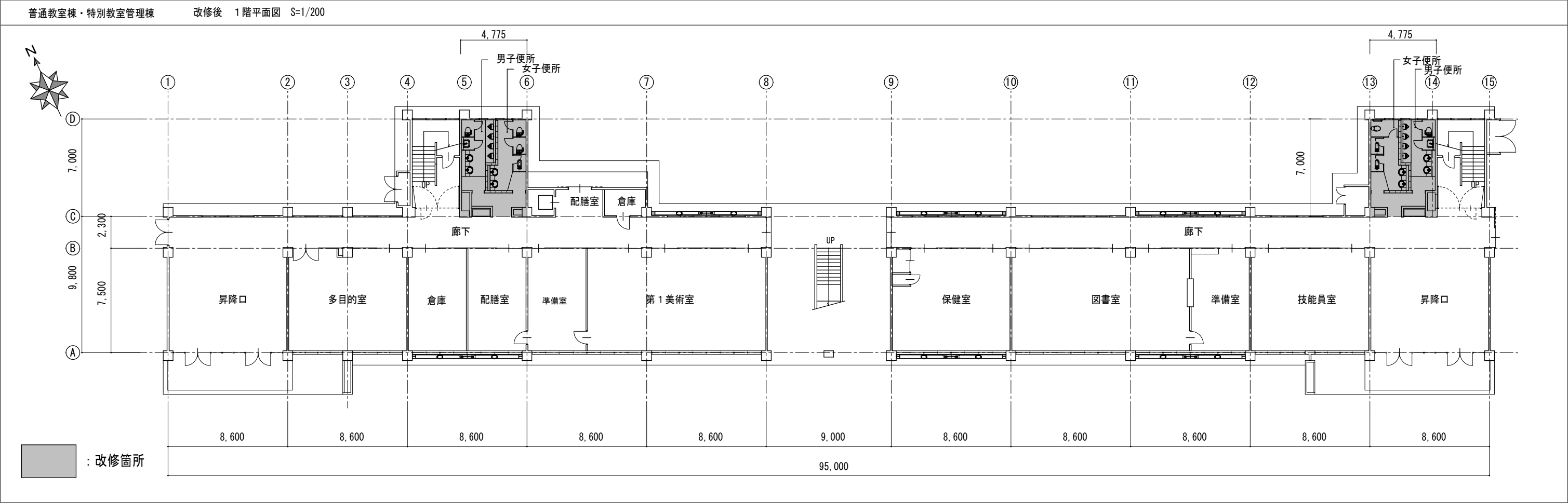
普通教室棟・特別教室管理棟								
階数	室 名	改修前後	床	巾 木	壁	天 井	天井高さ	備 考
1階	男子便所	改修前	磁器質100角タイル貼	—	100角陶器質タイル	LGS下地 ケイ酸カルシウム板目透し貼 t=6.0 VP 一部撤去	2,500	
		改修後	既設床の上、カチン系下地調整材t=2の上 エポキシ樹脂系塗床t=1仕上げ 金属系あと施工アジャ-D10 @200 土間配筋D10 @200(好・ヨ共)	—	既存のまま	LGS下地 ケイ酸カルシウム板目透し貼 t=6.0 EP 一部新設	—	スラブ 設置：設置部 土間コンクリート一部共撤去
	女子便所	改修前	磁器質100角タイル貼	—	100角陶器質タイル	LGS下地 ケイ酸カルシウム板目透し貼 t=6.0 VP 一部撤去	2,500	
		改修後	既設床の上、カチン系下地調整材t=2の上 エポキシ樹脂系塗床t=1仕上げ 金属系あと施工アジャ-D10 @200 土間配筋D10 @200(好・ヨ共)	—	既存のまま	LGS下地 ケイ酸カルシウム板目透し貼 t=6.0 EP 一部新設	—	スラブ 設置：設置部 土間コンクリート一部共撤去
2階～4階	男子便所 (男子職員便所)	改修前	磁器質100角タイル貼	—	100角陶器質タイル 一部撤去	LGS下地 ケイ酸カルシウム板目透し貼 t=6.0 VP 一部撤去	2,500	
		改修後	既設床の上、カチン系下地調整材t=2の上 エポキシ樹脂系塗床t=1仕上げ	—	既存のまま 一部新設	LGS下地 ケイ酸カルシウム板目透し貼 t=6.0 EP 一部新設	—	
	女子便所 (女子職員便所)	改修前	磁器質100角タイル貼	—	100角陶器質タイル	LGS下地 ケイ酸カルシウム板目透し貼 t=6.0 VP 一部撤去	2,500	
		改修後	既設床の上、カチン系下地調整材t=2の上 エポキシ樹脂系塗床t=1仕上げ	—	既存のまま	LGS下地 ケイ酸カルシウム板目透し貼 t=6.0 EP 一部新設	—	
普通教室・特別教室棟								
1階	男子便所	改修前	磁器質50角タイル貼	—	100角陶器質タイル 一部撤去	LGS下地 ケイ酸カルシウム板目透し貼 t=6.0 VP	2,600	
		改修後	既設床の上、カチン系下地調整材t=2の上 エポキシ樹脂系塗床t=1仕上げ	—	既存のまま 一部新設	既存のまま	—	汚垂タイル(新設) [TOTO株式会社 ハイドレックス・フオプU同等品程度]
	多目的便所 (廊下を改修)	改修前	ビニル系タイル貼 土間コンクリート撤去(ビッド部分は除く)	木製 H=100 OP	モルタル金コ AEP	LGS下地 化粧PB t=9.5貼	2,600	
		改修後	土間コンクリート直均し金コ仕上げの上、長尺塩ビシート(t=2.5)貼 金属系あと施工アジャ-D10 @200 土間配筋D10 @200(好・ヨ共)	塩ビ 巾木 H=300	LGS W=100下地PBt=12.5+GBt=12.5(両面2重貼)ガラスウール=100充填 ※2階スラブまで マシン化粧板貼t=3(廊下側：EP塗り)	LGS下地 化粧PB t=9.5貼	—	フル製建具引戸(新設)、ステンレス流し台(新設)、ビッドサイン(新設)
2階～4階	男子便所	改修前	磁器質50角タイル貼	—	100角陶器質タイル 一部撤去	LGS下地 ケイ酸カルシウム板目透し貼 t=6.0 VP 一部撤去	2,600	
		改修後	既設床の上、カチン系下地調整材t=2の上 エポキシ樹脂系塗床t=1仕上げ	—	既存のまま 一部新設	LGS下地 ケイ酸カルシウム板目透し貼 t=6.0 EP 一部新設	—	汚垂タイル(新設) [TOTO株式会社 ハイドレックス・フオプU同等品程度]
	女子便所	改修前	磁器質50角タイル貼	—	100角陶器質タイル 一部撤去	LGS下地 ケイ酸カルシウム板目透し貼 t=6.0 VP 一部撤去	2,600	
		改修後	既設床の上、カチン系下地調整材t=2の上 エポキシ樹脂系塗床t=1仕上げ	—	既存のまま 一部新設	LGS下地 ケイ酸カルシウム板目透し貼 t=6.0 EP 一部新設	—	2,3階トイレブース(新設)
屋内運動場								
1階	玄関	改修前	コンクリート モルタル金コ仕上げ	—	モルタル金コ VP	LGS下地 化粧石膏ボード貼 t=9.5	2,500	
		改修後	土間コンクリート金コ下地 長尺塩ビシート(t=2.5)貼 金属系あと施工アジャ-D10 @200 土間配筋D10 @200(好・ヨ共)	—	既存のまま	既存のまま	—	
	男子便所	改修前	磁器質25角タイル貼	—	100角陶器質タイル	LGS下地 化粧石膏ボード貼 t=9.5	2,500	
		改修後	既設床の上、カチン系下地調整材t=2の上 エポキシ樹脂系塗床t=1仕上げ	—	既存のまま	LGS下地 化粧石膏ボード貼 t=9.5	—	トイレブース(新設)、汚垂タイル(新設) [TOTO株式会社 ハイドレックス・フオプU同等品程度] 鋼製軽量引戸(新設)、ビッドサイン(新設)
	女子便所	改修前	磁器質25角タイル貼	—	100角陶器質タイル	LGS下地 化粧石膏ボード貼 t=9.5	2,500	
		改修後	既設床の上、カチン系下地調整材t=2の上 エポキシ樹脂系塗床t=1仕上げ	—	既存のまま	既存のまま	—	ビッドサイン(新設)
備考	内装材(天井裏等の措置も含む)は全てF☆☆☆☆とする。							

・	工事名／Title	図面種別／Drawing		Check	No.	<div><div></div>合資会社 重企建築事務所</div> <div>Jyuki Architectural Design Office</div> <div>一級建築士事務所 三重県知事登録第1－300号</div> <div>一級建築士国土交通大臣登録第167163号 山田 裕治</div>
・		仕上表(1)				
・		縮尺／Scale 原 図：A2				
・		日付／Date				

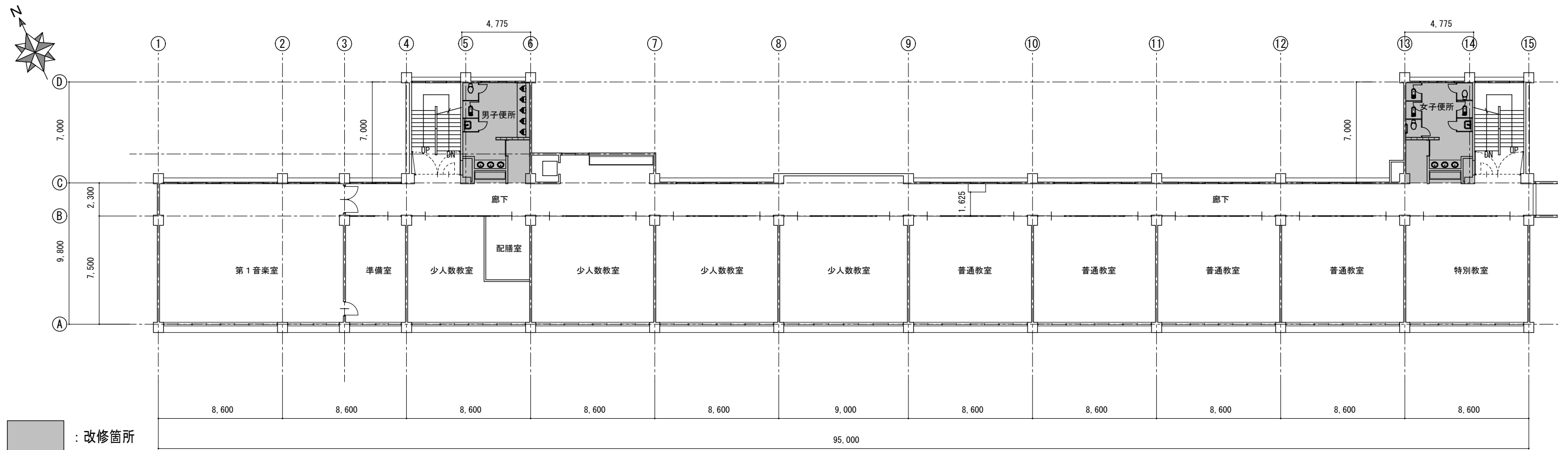
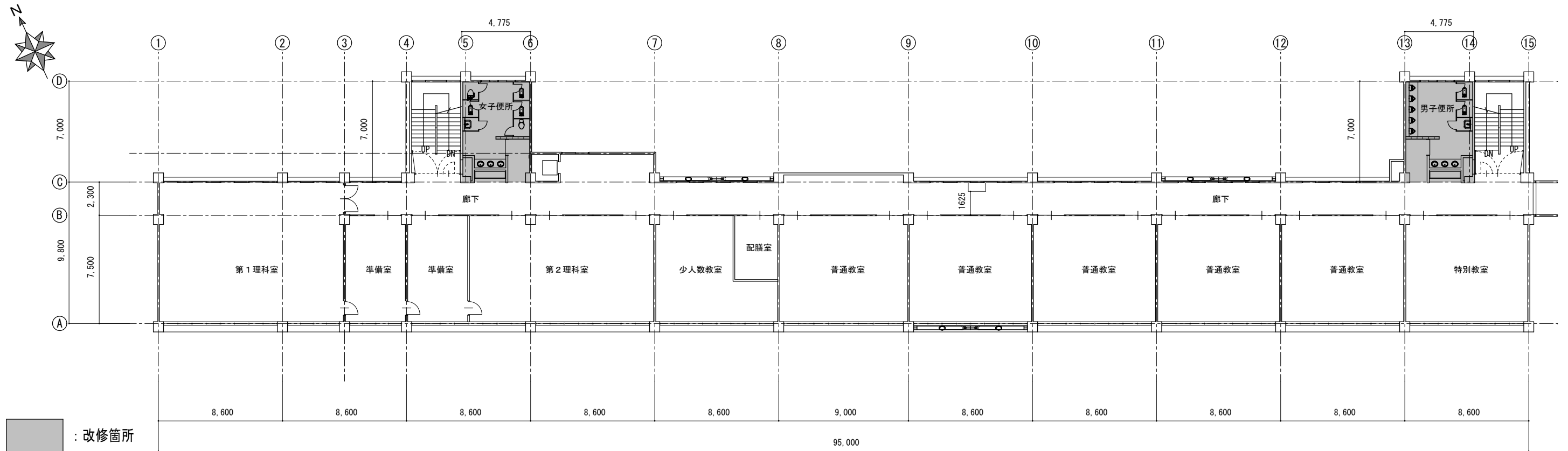


・	工事名／Title	図面種別／Drawing	Check	No.	<div>合資会社 重企建築事務所</div> <div>Jyuki Architectural Design Office</div> <div>一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号</div> <div>一級建築士国土交通大臣登録第167163号 山田 裕治</div>
・	津市立西郊中学校便所改修工事	普通教室棟・特別教室管理棟 1, 2階平面図 (改修前)		A-07	
・		縮尺／Scale 原図：A2	日付／Date		
・		1/200			

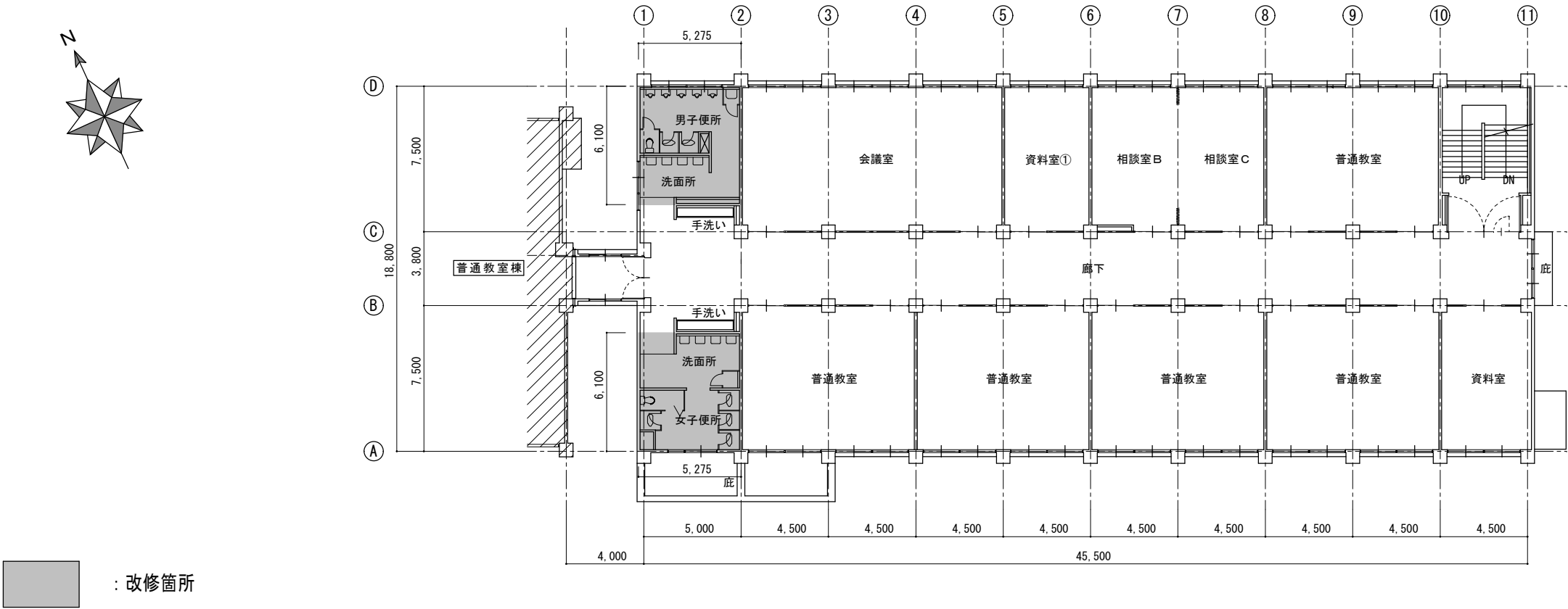
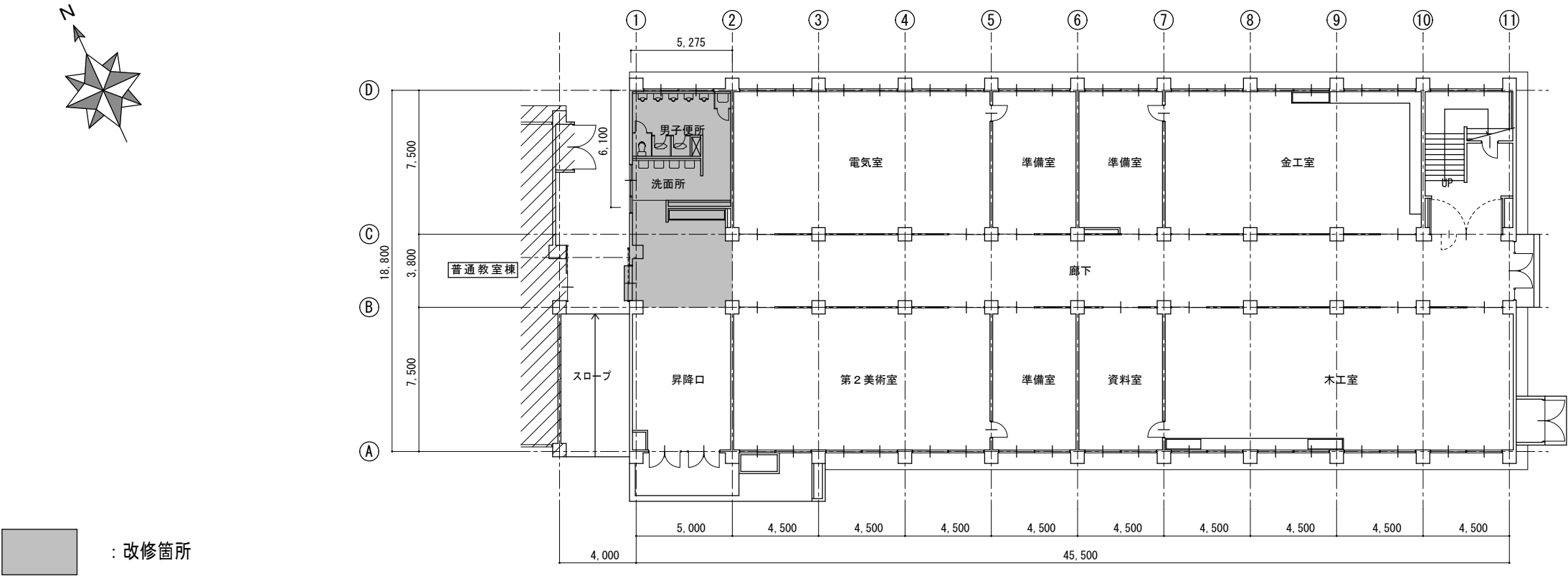
・ ・	工事名／Title 津市立西郊中学校便所改修工事	図面種別／Drawing		Check	No.	合資会社 重企建築事務所 Jyuki Architectural Design Office 一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号 一級建築士国土交通大臣登録第167163号 山田 裕治
・ ・		普通教室棟・特別教室管理棟 3, 4階平面図 (改修前)				
・ ・		縮尺／Scale 原図：A2	日付／Date			
・ ・		1/200				



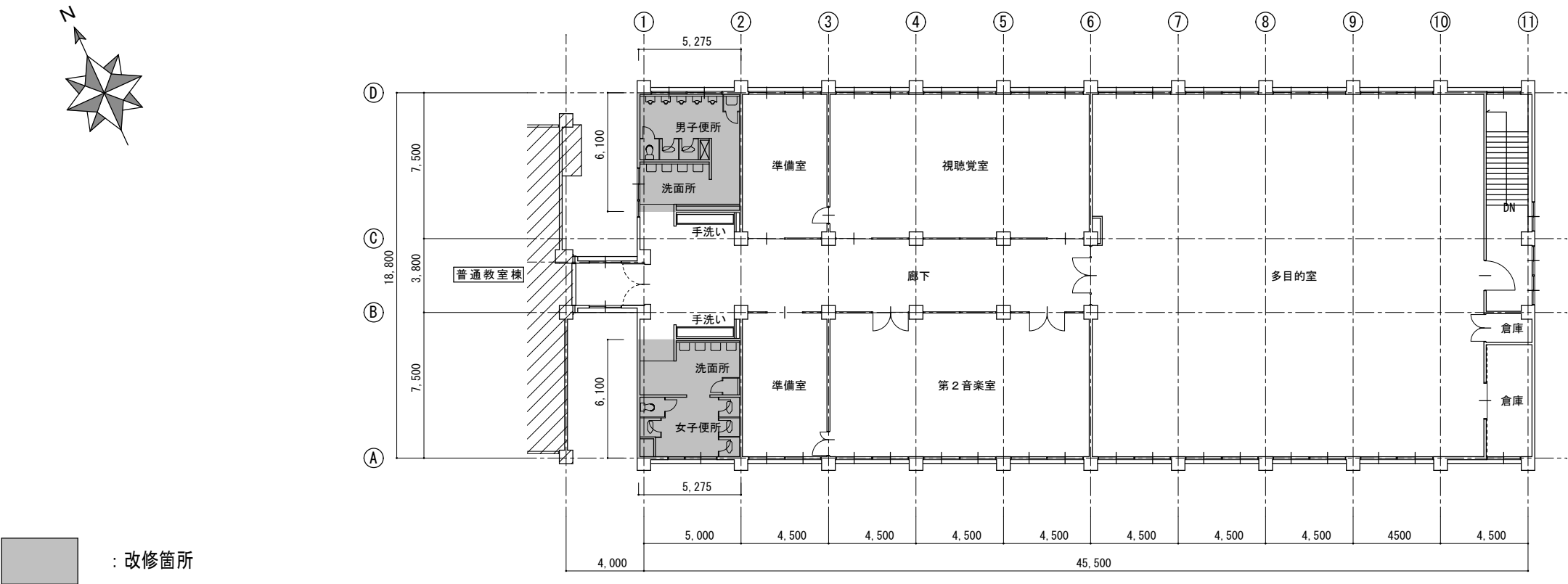
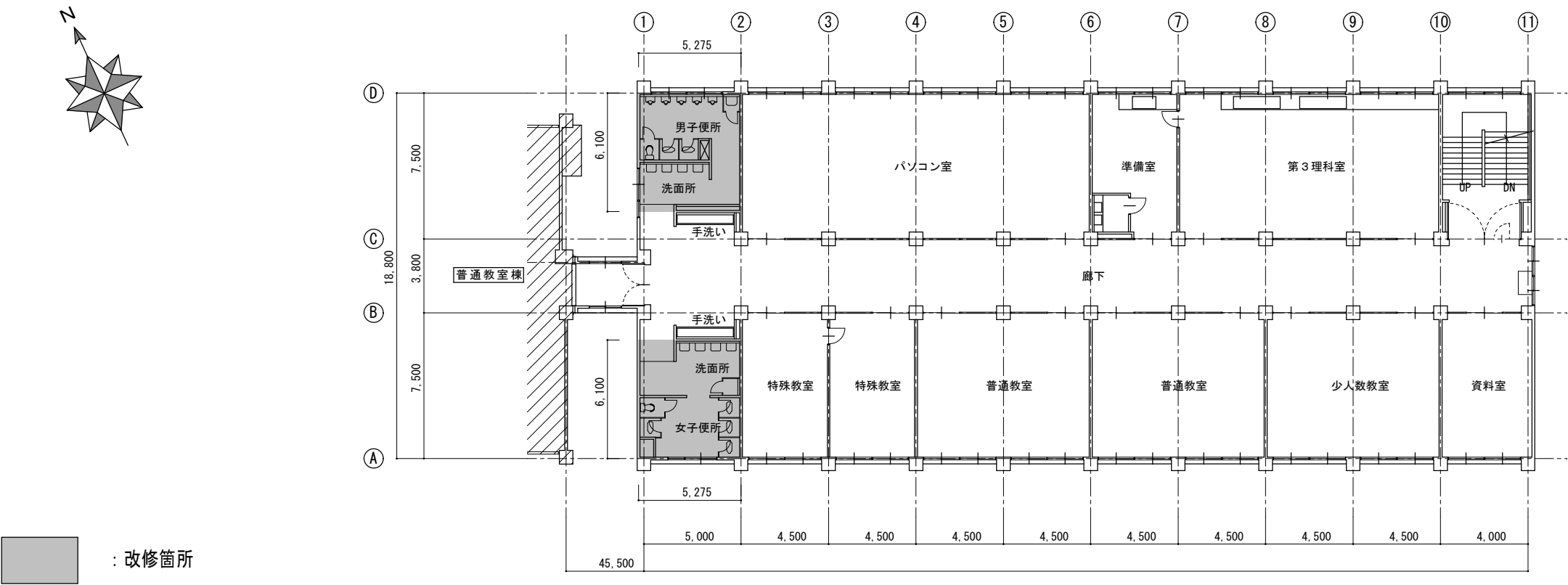
・	工事名／Title 津市立西郊中学校便所改修工事	図面種別／Drawing		Check	No. A-09	合資会社 重企建築事務所 Jyuki Architectural Design Office 一級建築士事務所 三重県知事登録第 1－3 0 0 号 一級建築士国土交通大臣登録第167163号 山田 裕治
・		普通教室棟・特別教室管理棟 1, 2階平面図 (改修後)				
・		縮尺／Scale 原図：A2	日付／Date			
・		1/200				

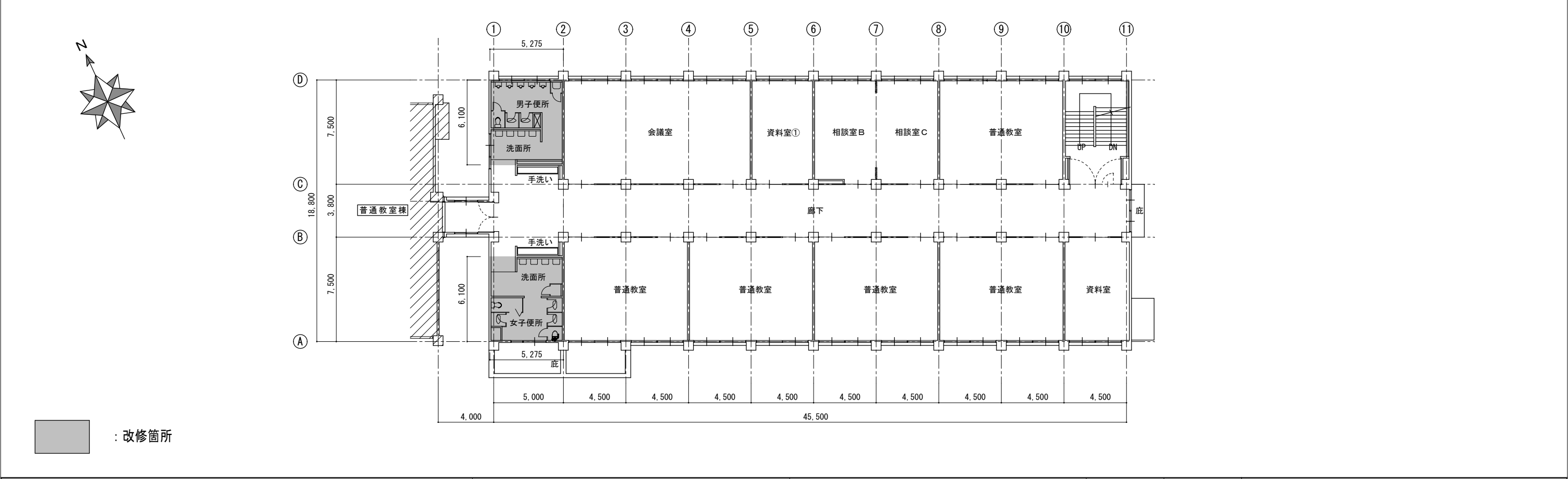
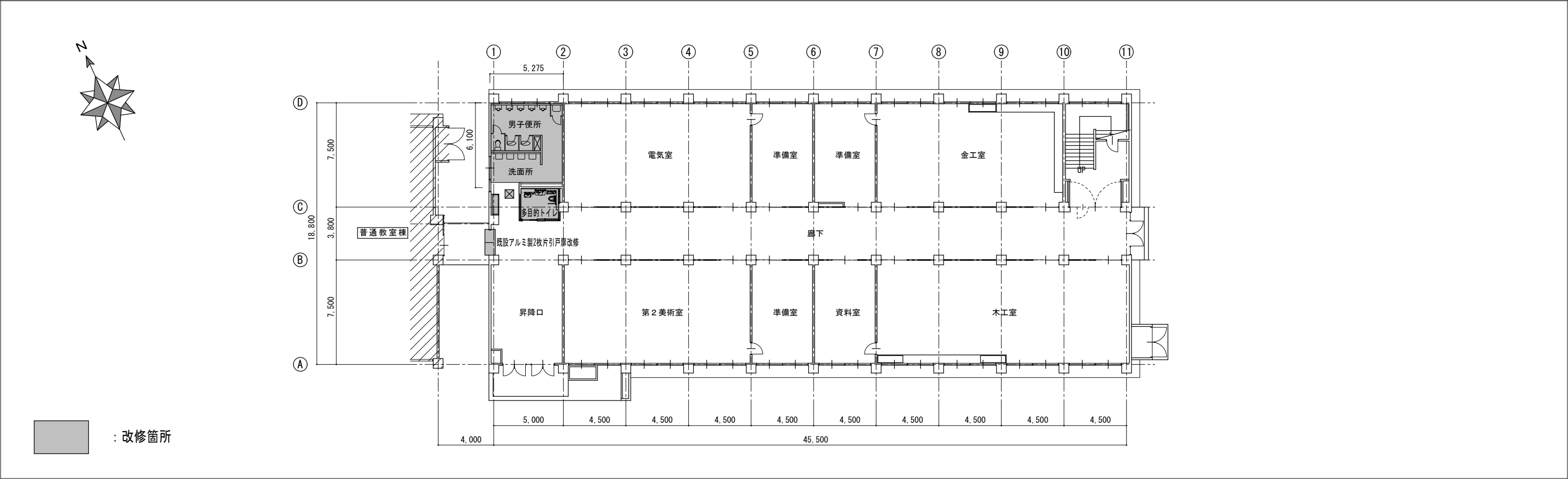


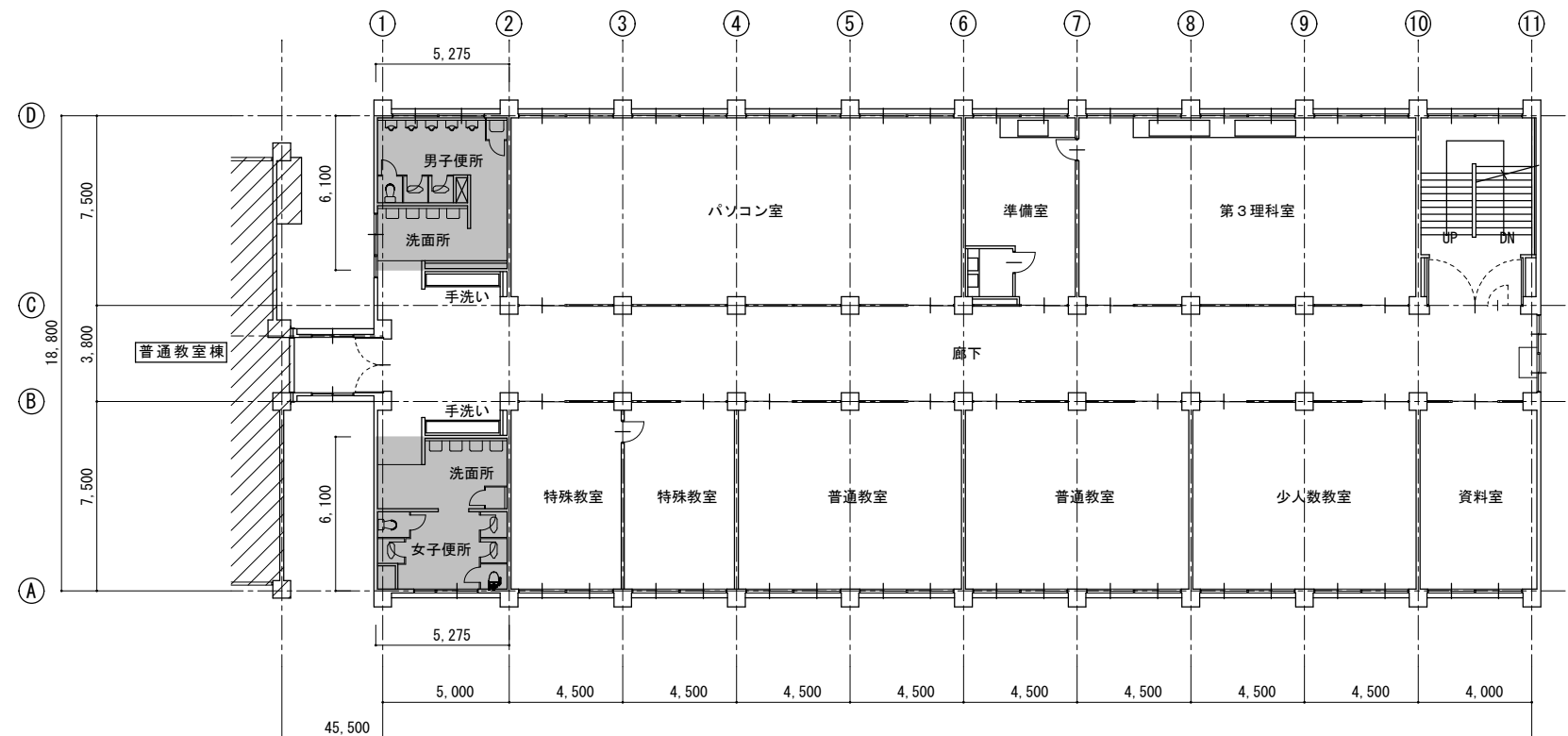
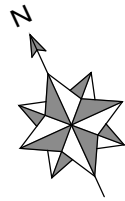
・	工事名／Title	図面種別／Drawing	Check	No.	<div>合資会社 重企建築事務所</div> <div>Jyuki Architectural Design Office</div> <div>一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号</div> <div>一級建築士国土交通大臣登録第167163号 山田 裕治</div>
・	津市立西郊中学校便所改修工事	普通教室棟・特別教室管理棟 3, 4階平面図 (改修後)		A-10	
・		縮尺／Scale 原図：A2 日付／Date			
・		1/200			



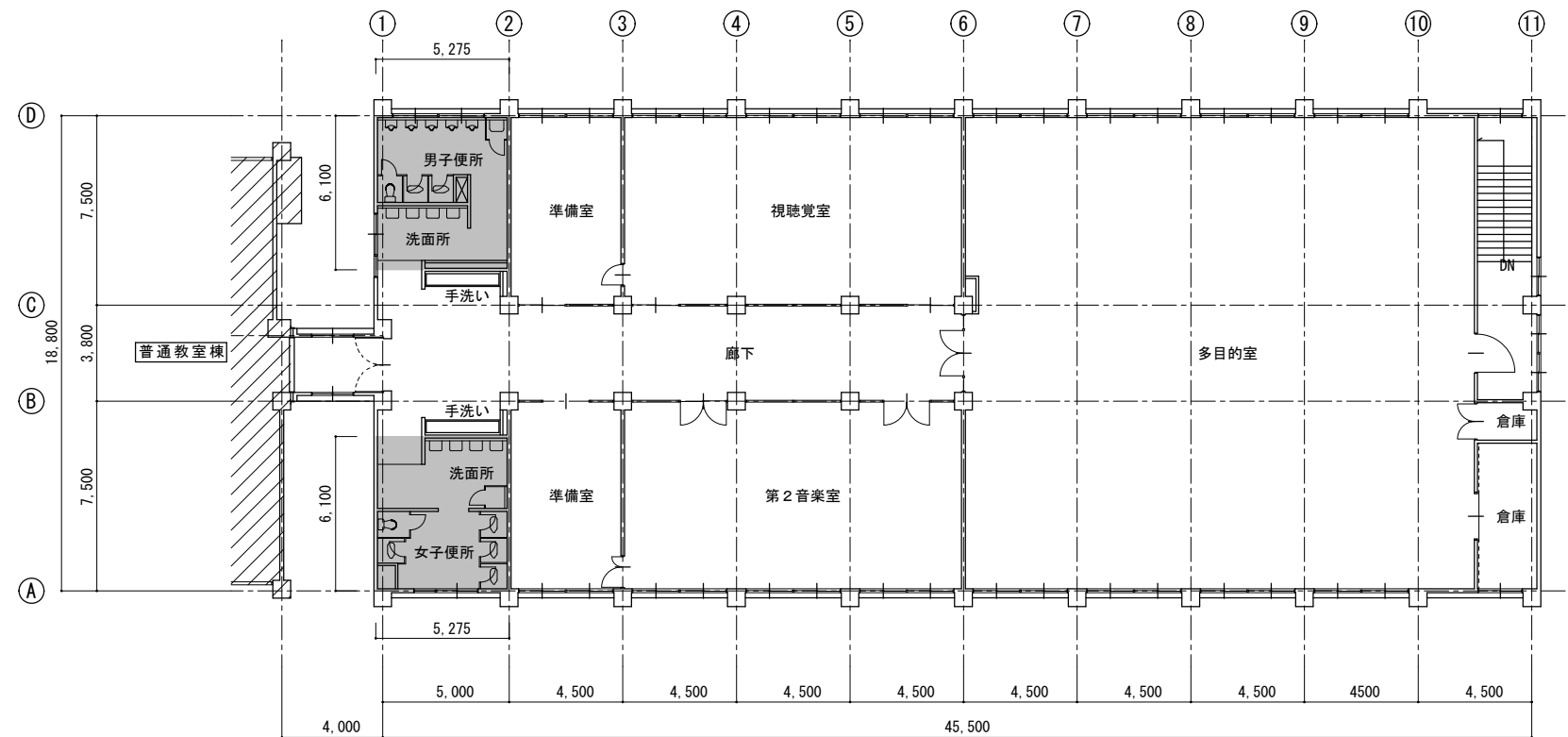
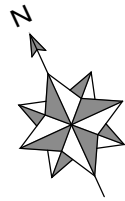
・	工事名／Title 津市立西郊中学校便所改修工事	図面種別／Drawing 普通教室・特別教室棟 1, 2階平面図 (改修前)		Check	No. A-11	合資会社 重企建築事務所 Jyuki Architectural Design Office 一級建築士事務所 三重県知事登録第1－300号 一級建築士国土交通大臣登録第167163号 山田 裕治
・						
・						
・						
		縮尺／Scale 原図：A2 1/200	日付／Date			





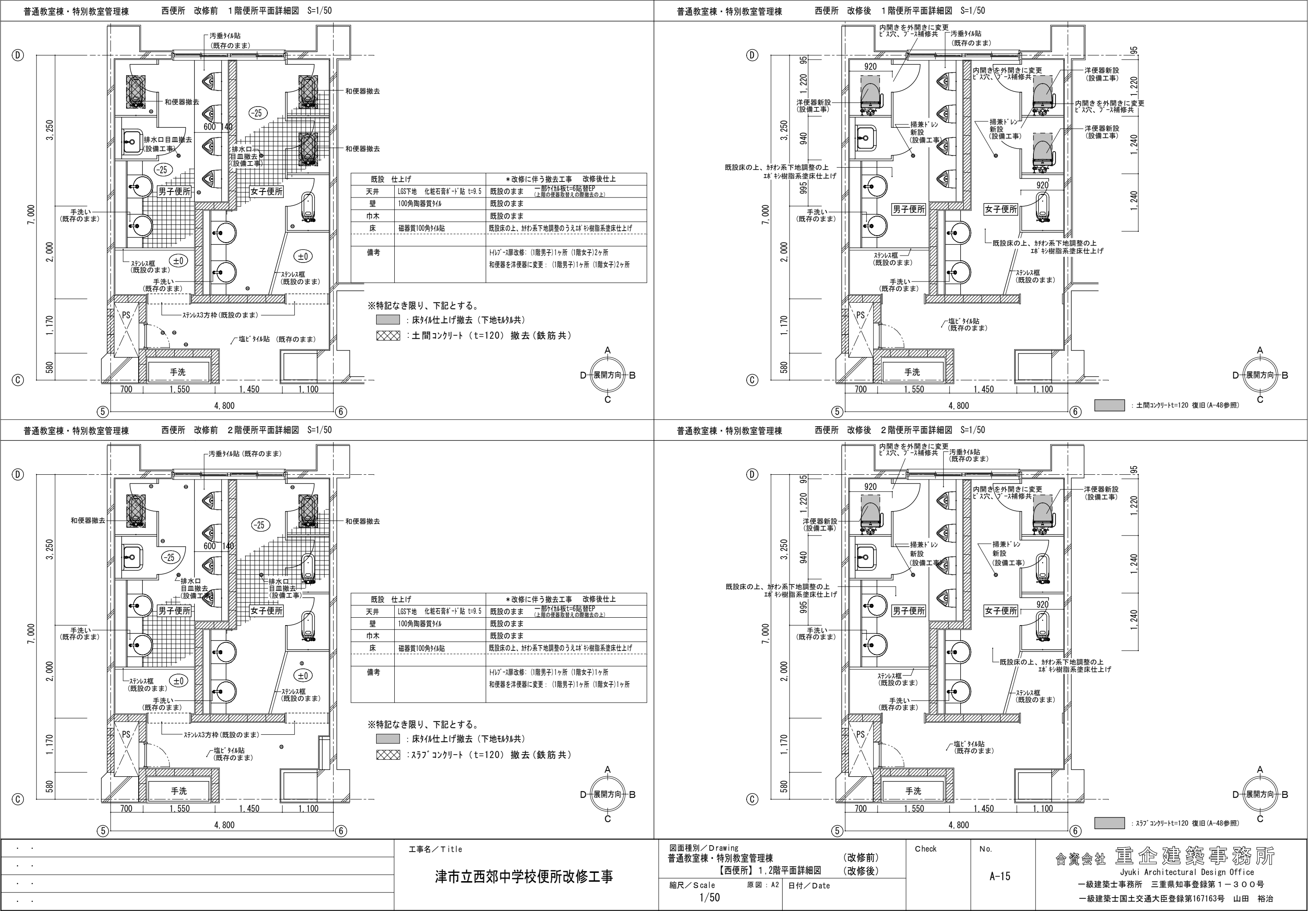


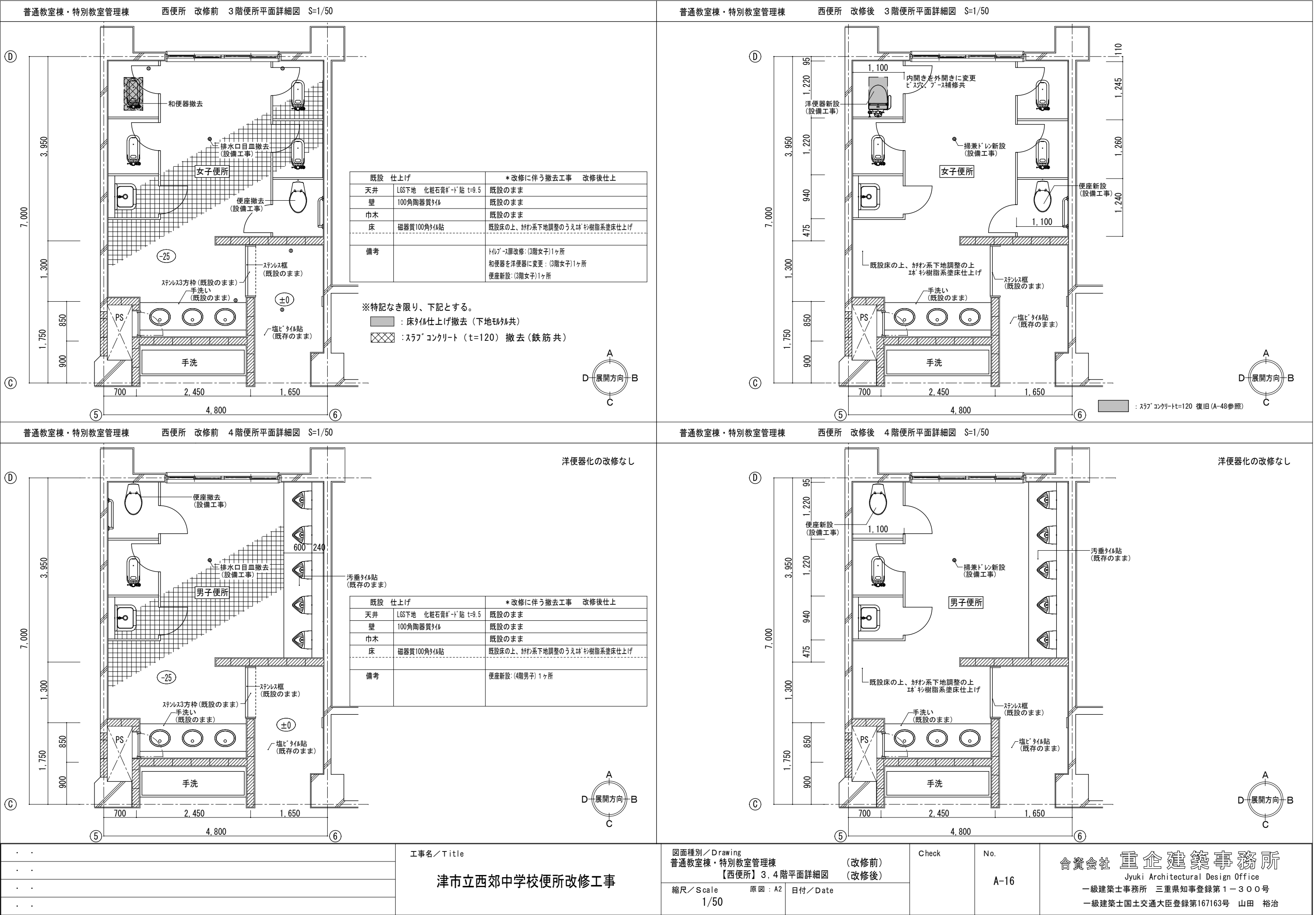
：改修箇所

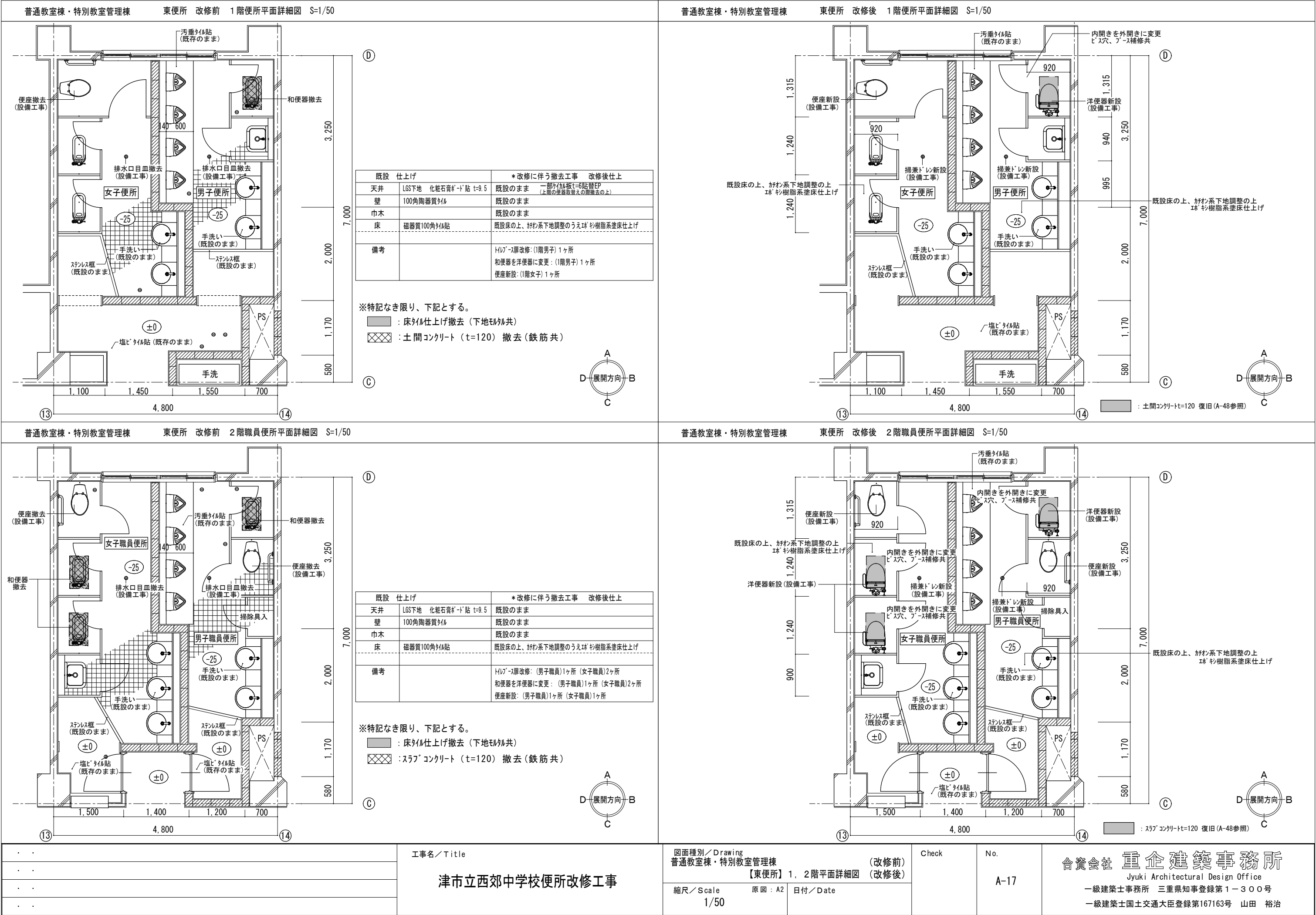


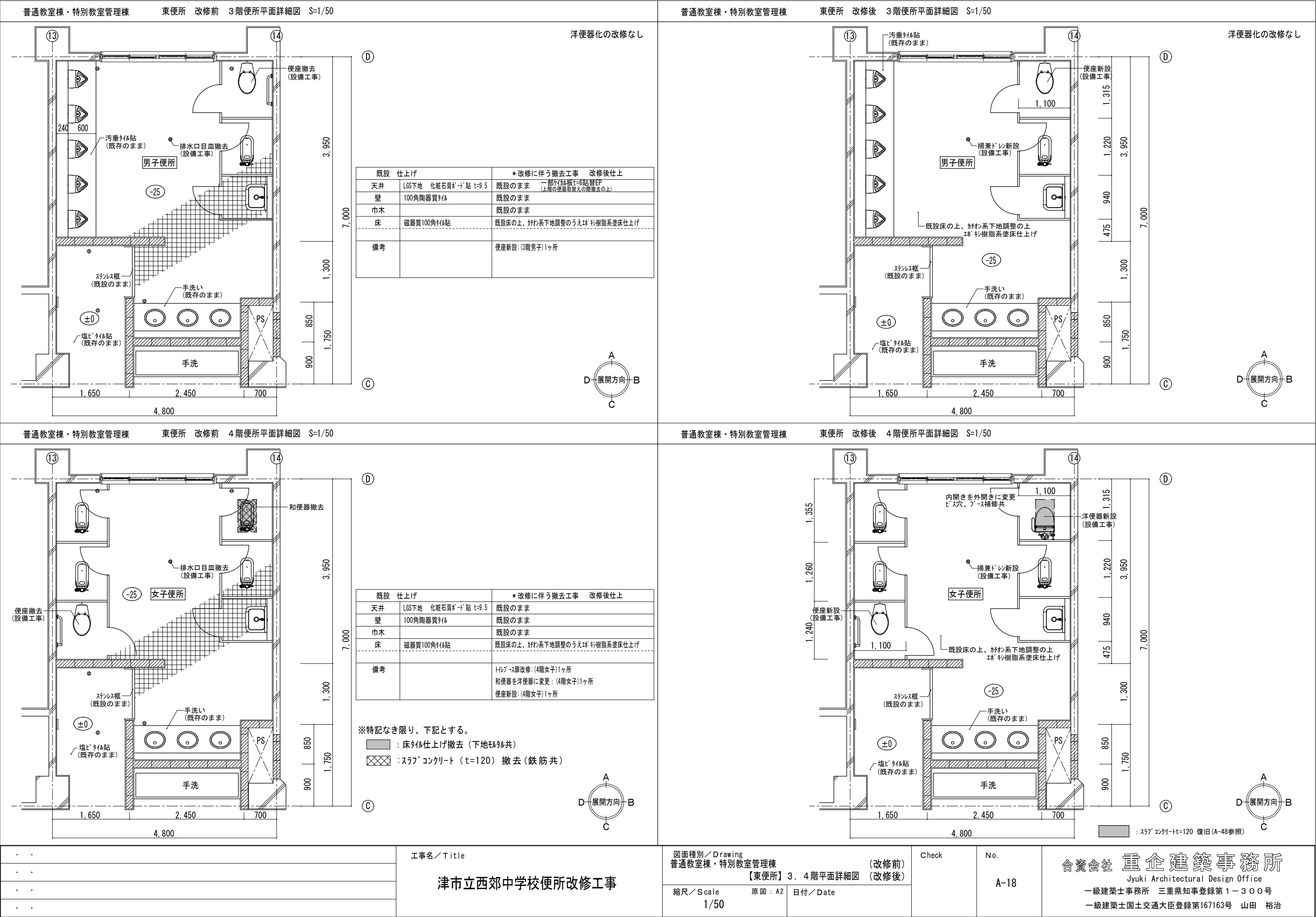
：改修箇所

・	工事名／Title	図面種別／Drawing	Check	No.	<div>合資会社 重企建築事務所</div> <div>Jyuki Architectural Design Office</div> <div>一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号</div> <div>一級建築士国土交通大臣登録第167163号 山田 裕治</div>
・	津市立西郊中学校便所改修工事	普通教室・特別教室棟 3, 4階平面図 (改修後)		A-14	
・		縮尺／Scale 原図：A2 日付／Date			
・		1/200			

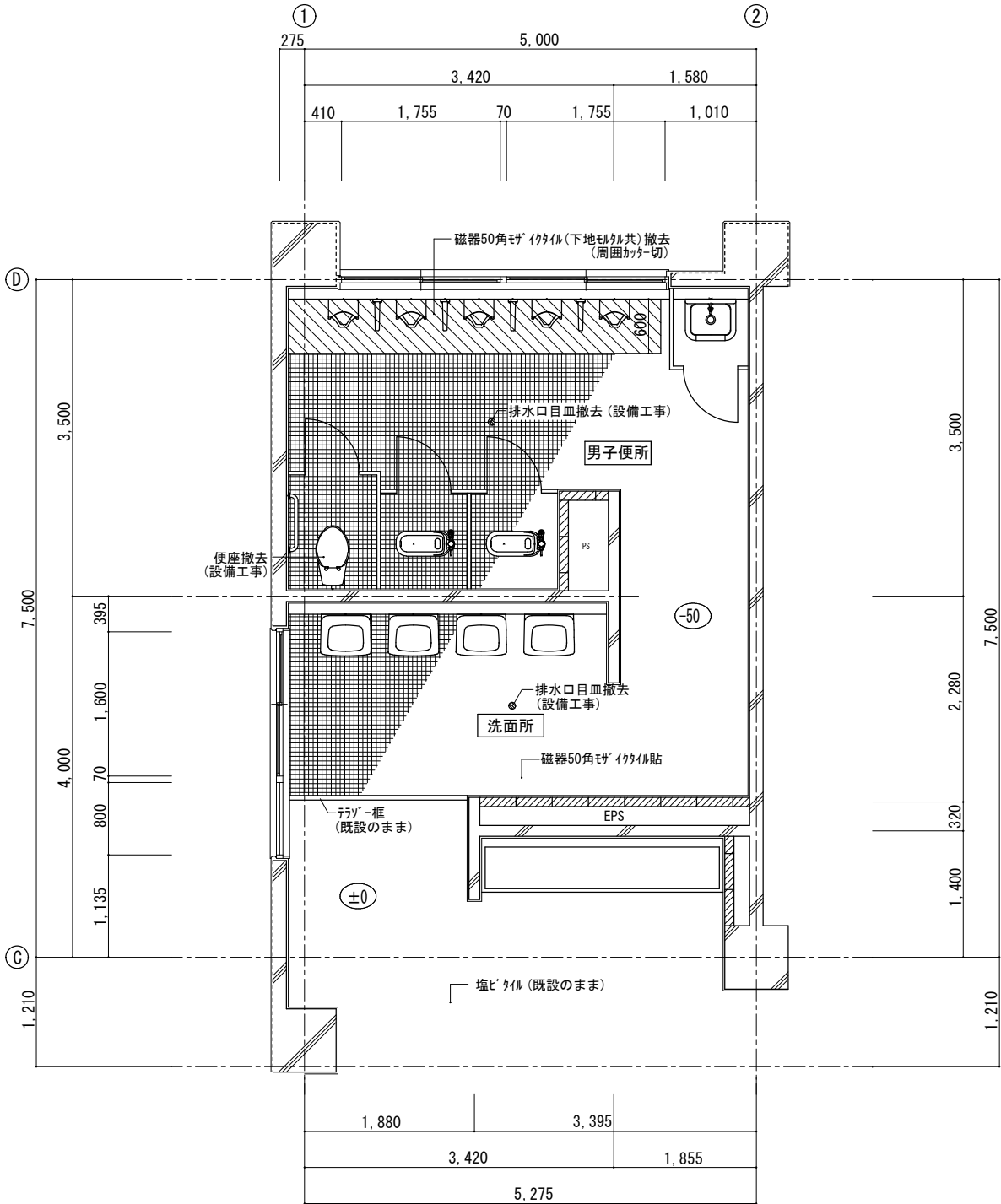




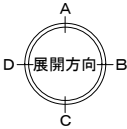




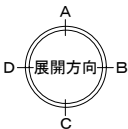
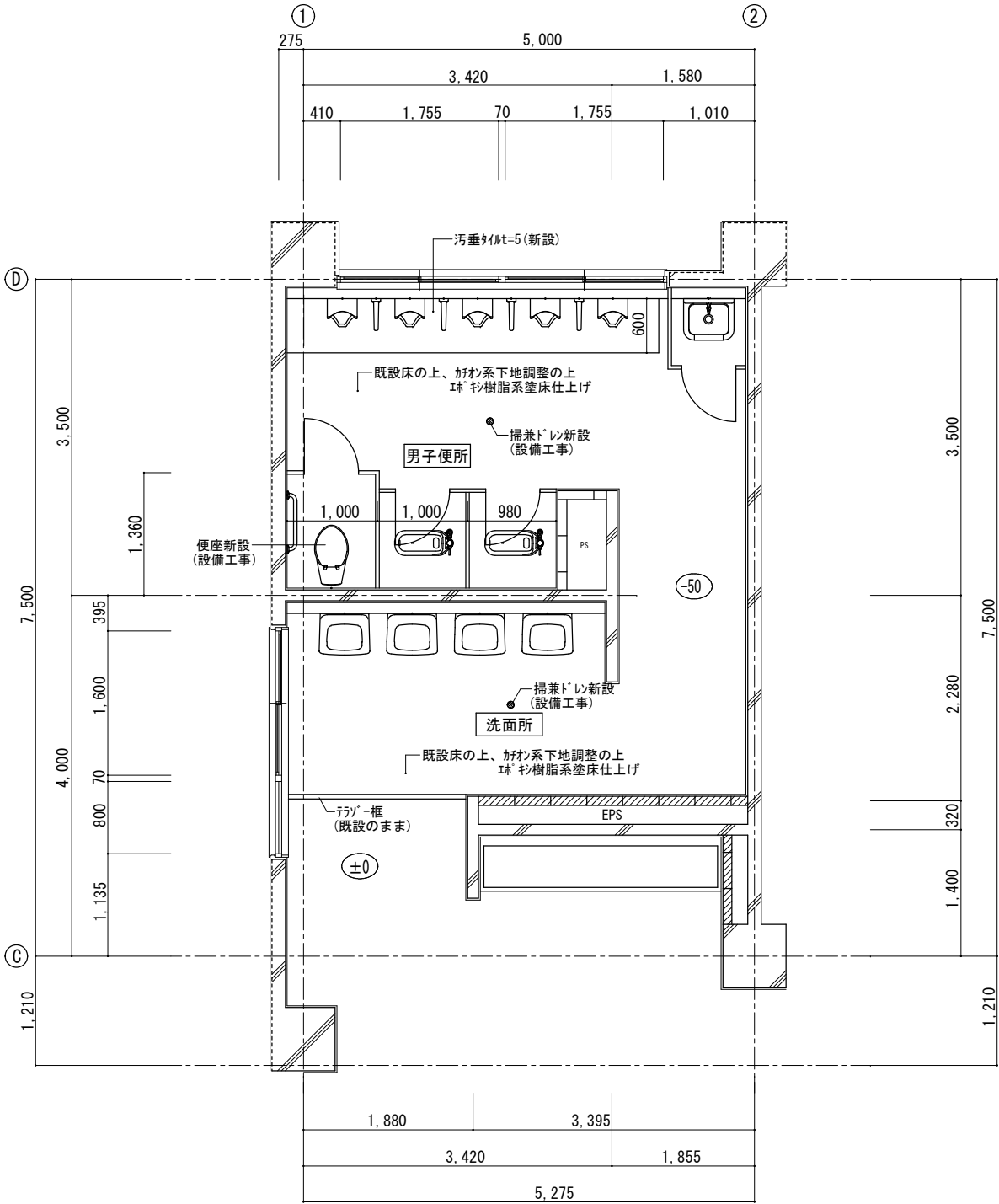
洋便器化の改修なし



既設 仕上げ		* 改修に伴う撤去工事	改修後仕上
天井	LGS下地 珪藻土6貼EP	既設のまま	
壁	100角陶器質タイル	既設のまま	
巾木		既設のまま	
床	磁器50角セラミックス貼	既設床の上、カワ系下地調整のうえ珪藻土樹脂系塗床仕上げ	
備考		便座新設: (2, 3, 4階男子) 3ヶ所	



洋便器化の改修なし



・	・
・	・
・	・
・	・

工事名／Title
津市立西郊中学校便所改修工事

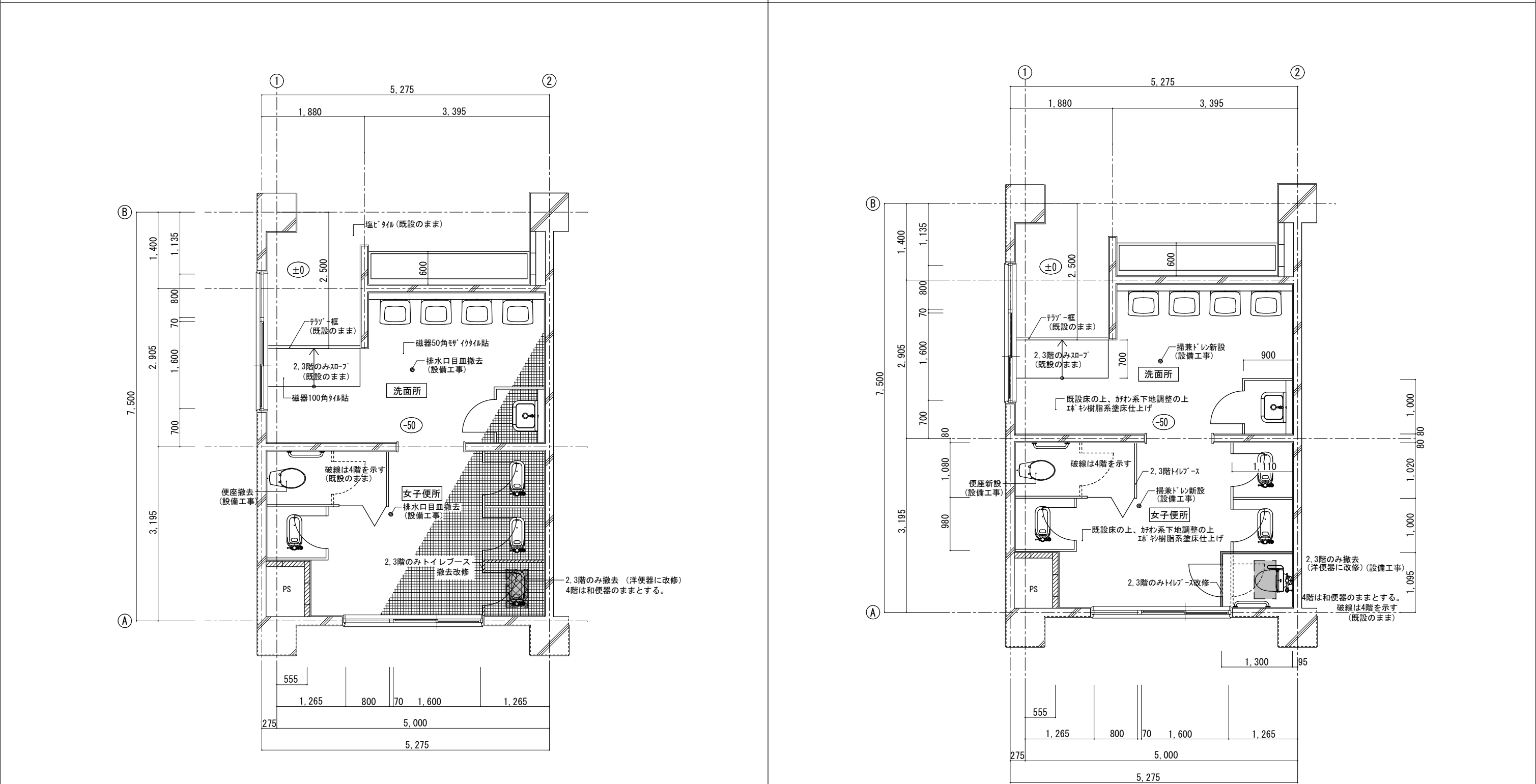
図面種別／Drawing
普通教室・特別教室棟 2～4階北便所平面詳細図 (改修前)
普通教室・特別教室棟 2～4階北便所平面詳細図 (改修後)
縮尺／Scale
1/50
原図：A2
日付／Date

Check

No.

A-20

合資会社 重企建築事務所
Jyuki Architectural Design Office
一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号
一級建築士国土交通大臣登録第167163号 山田 裕治



既設 仕上げ		* 改修に伴う撤去工事		改修後仕上
天井	LGS下地 珪藻土t=6 EP	既設のまま	一部珪藻土t=6貼替EP (上階の便器取替えの際撤去の上)	
壁	100角陶器質タイル	既設のまま		
巾木		既設のまま		
床	磁器50角タイル貼	既設床の上、がわ系下地調整のうえ珪藻土樹脂系塗床仕上げ		
備考		トイレ扉改修：(2,3階女子)2ヶ所 和便器を洋便器に変更：(2,3階女子)2ヶ所 便座新設：(2,3,4階女子)3ヶ所		

※特記なき限り、下記とする。

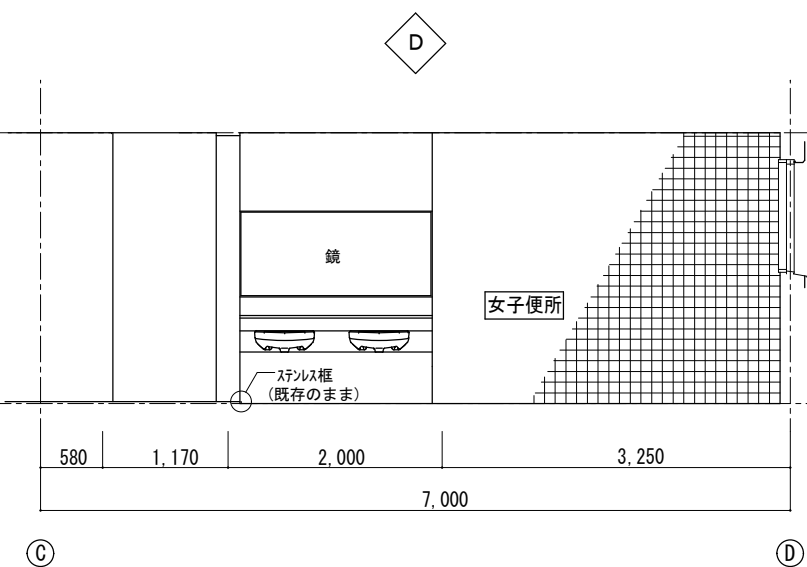
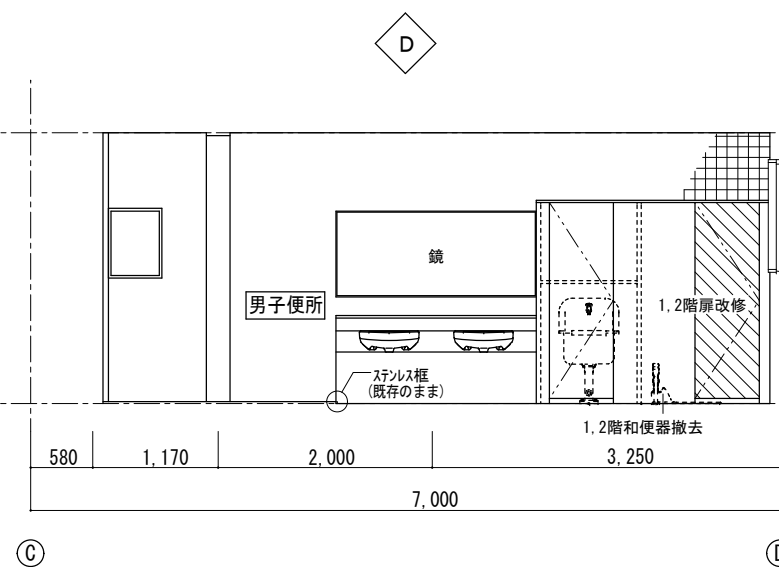
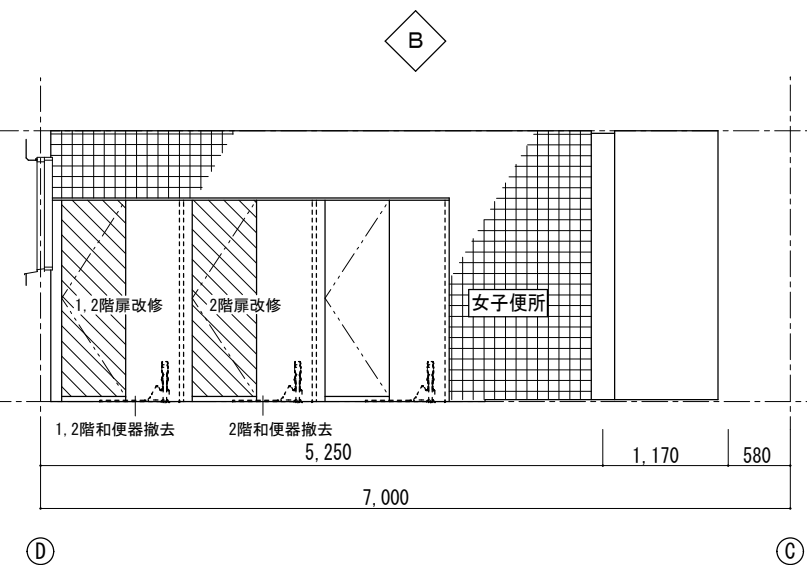
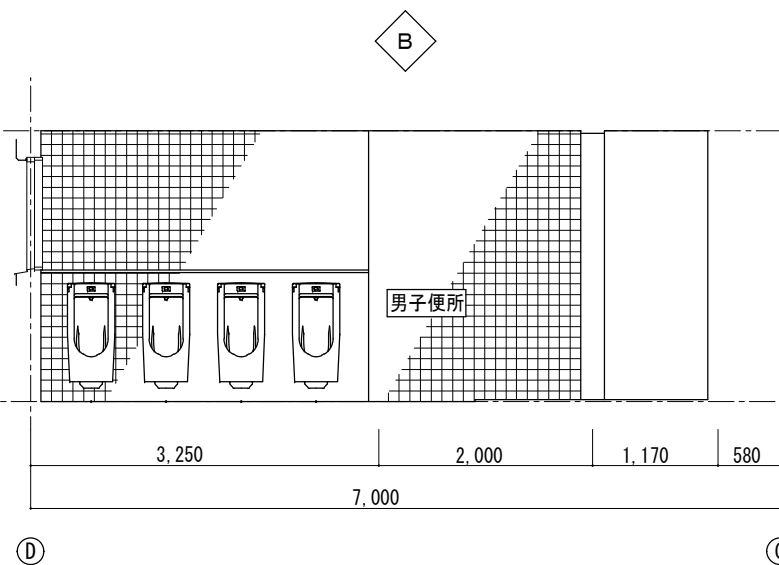
床タイル仕上げ撤去（下地も共）

スラブコンクリート（t=120）撤去（鉄筋共）※2,3階のみ

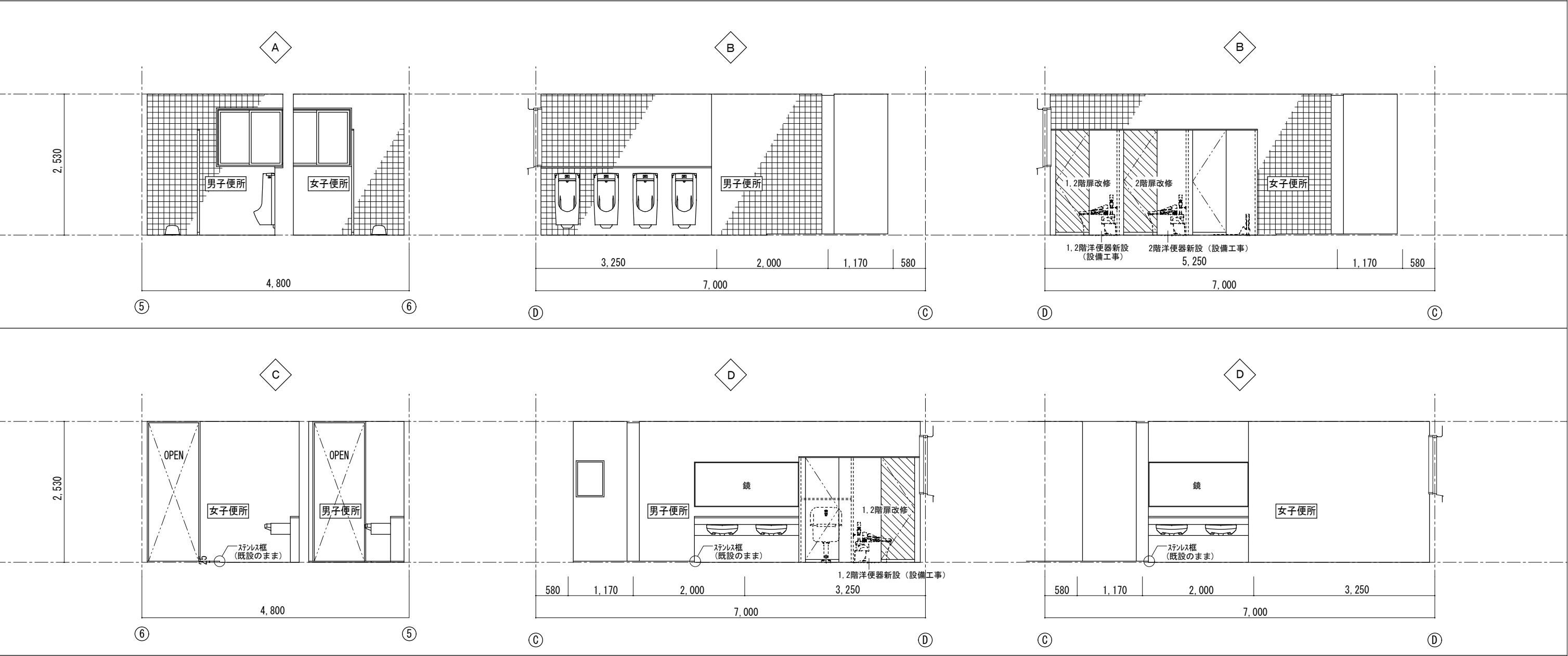
A
展開方向
B
C
D

A
展開方向
B
C
D

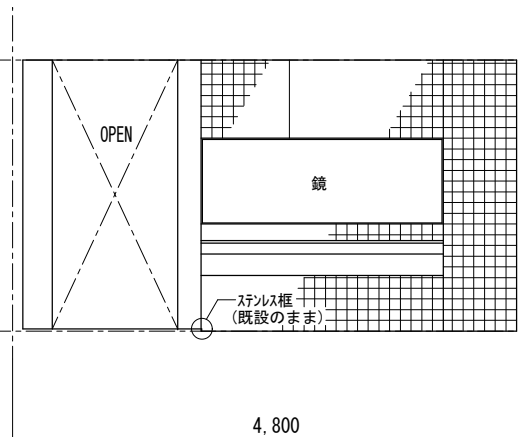
スラブコンクリートt=120 復旧 (A-48参照)
※2,3階のみ



	工事名／Title	図面種別／Drawing 普通教室・特別教室管理棟 【西便所】１～２階展開図（改修前）	Check	No. A-22	<div style="text-align: center;"> 合資会社 重企建築事務所 Jyuki Architectural Design Office 一級建築士事務所 三重県知事登録第１－３００号 一級建築士国土交通大臣登録第167163号 山田 裕治 </div>
	津市立西郊中学校校便所改修工事	縮尺／Scale 原図：A2 日付／Date 1/50			



3階 女子便所



⑤

4,800

—便座撤去（設備工事）

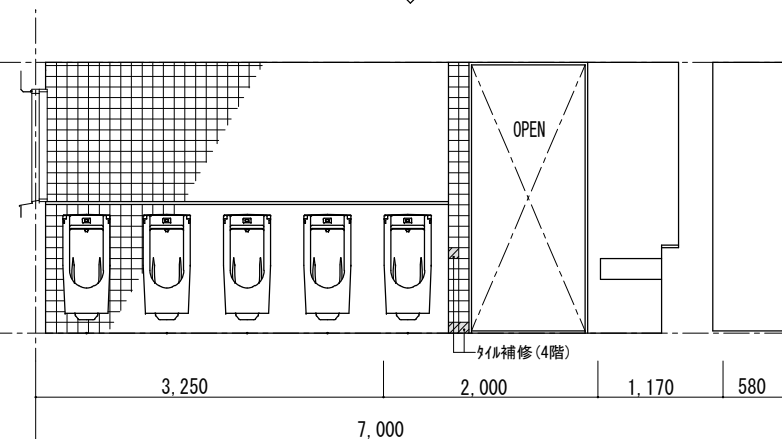
OPEN

OPEN

鏡

ステンレス框
(既設のまま)

4階 男子便所



©

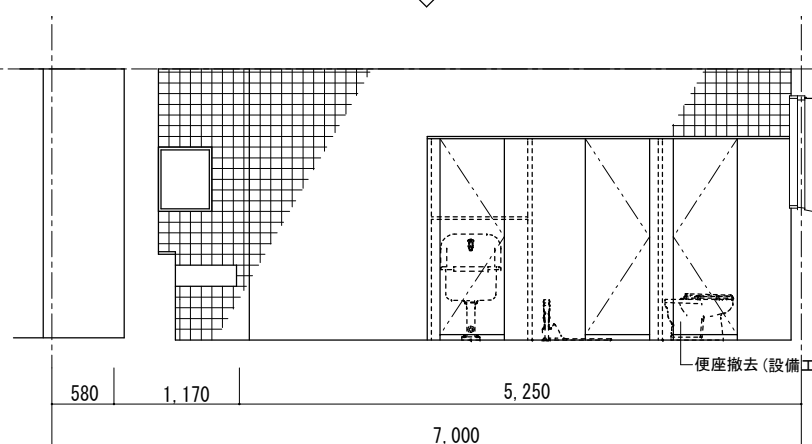
一和便器撤去

7.000

2,530

ル補修(4階)

D

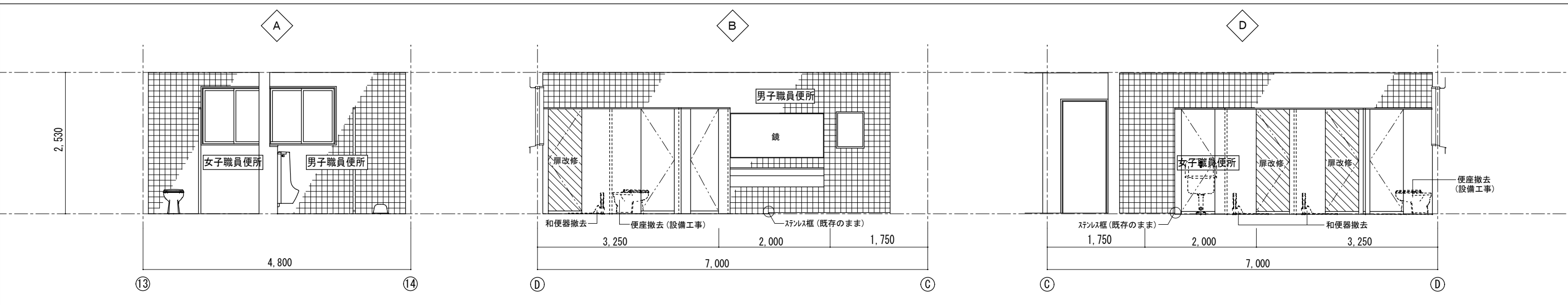
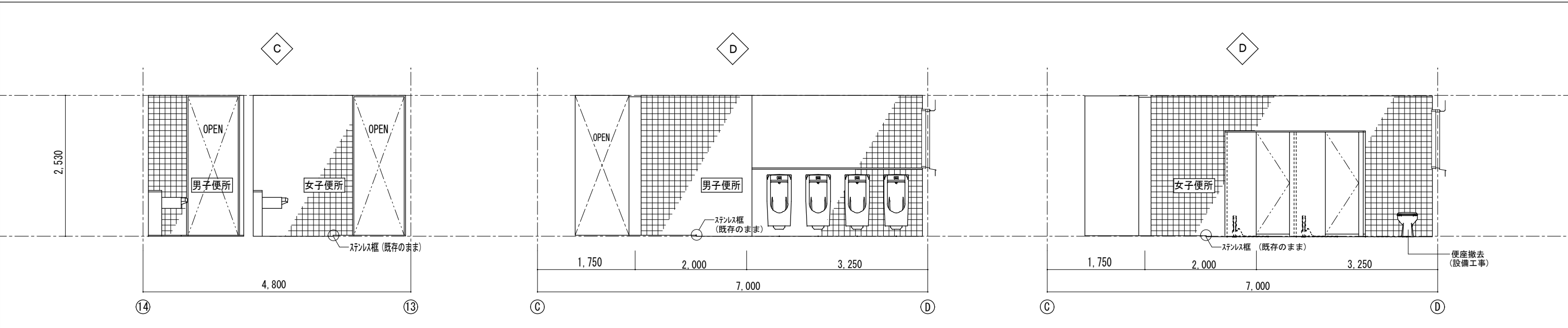
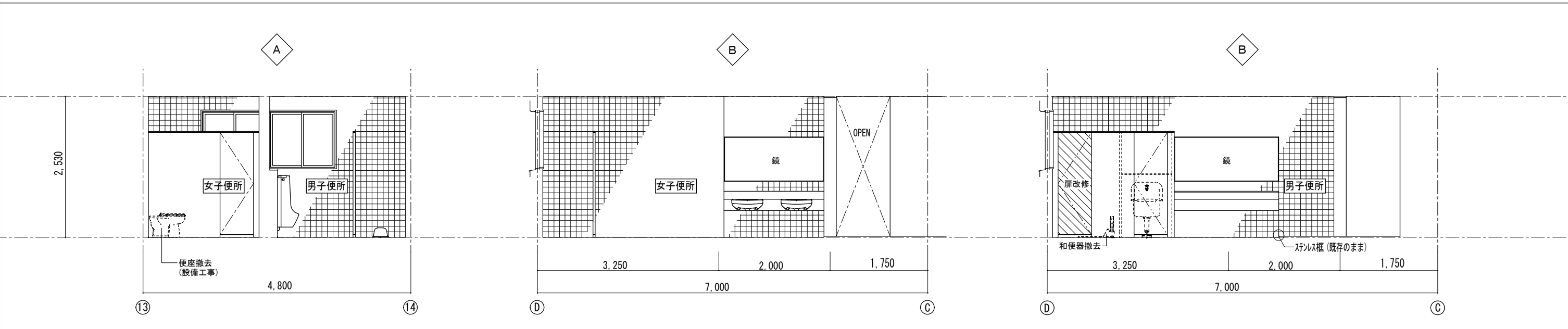


④

便座撤去(設備工事)

7,000

・	図面種別／Drawing	Check	No.	合資会社 重企建築事務所 Jyuki Architectural Design Office 一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号 一級建築士国土交通大臣登録第167163号 山田 裕治
・	普通教室棟・特別教室管理棟			
・	【西便所】 3～4階展開図 （改修前）	縮尺／Scale 原図：A2 1/50	A-24	
・	日付／Date			
・	津市立西郊中学校便所改修工事			



C

4,800

13

7,000

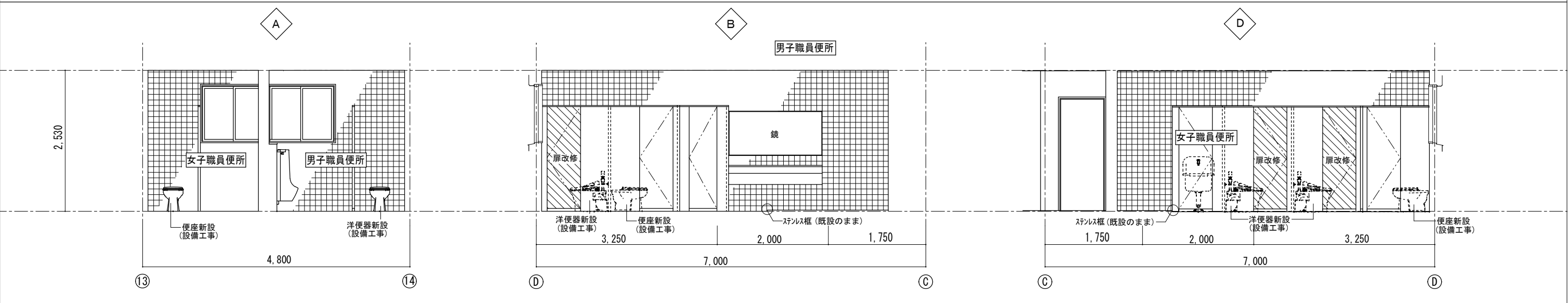
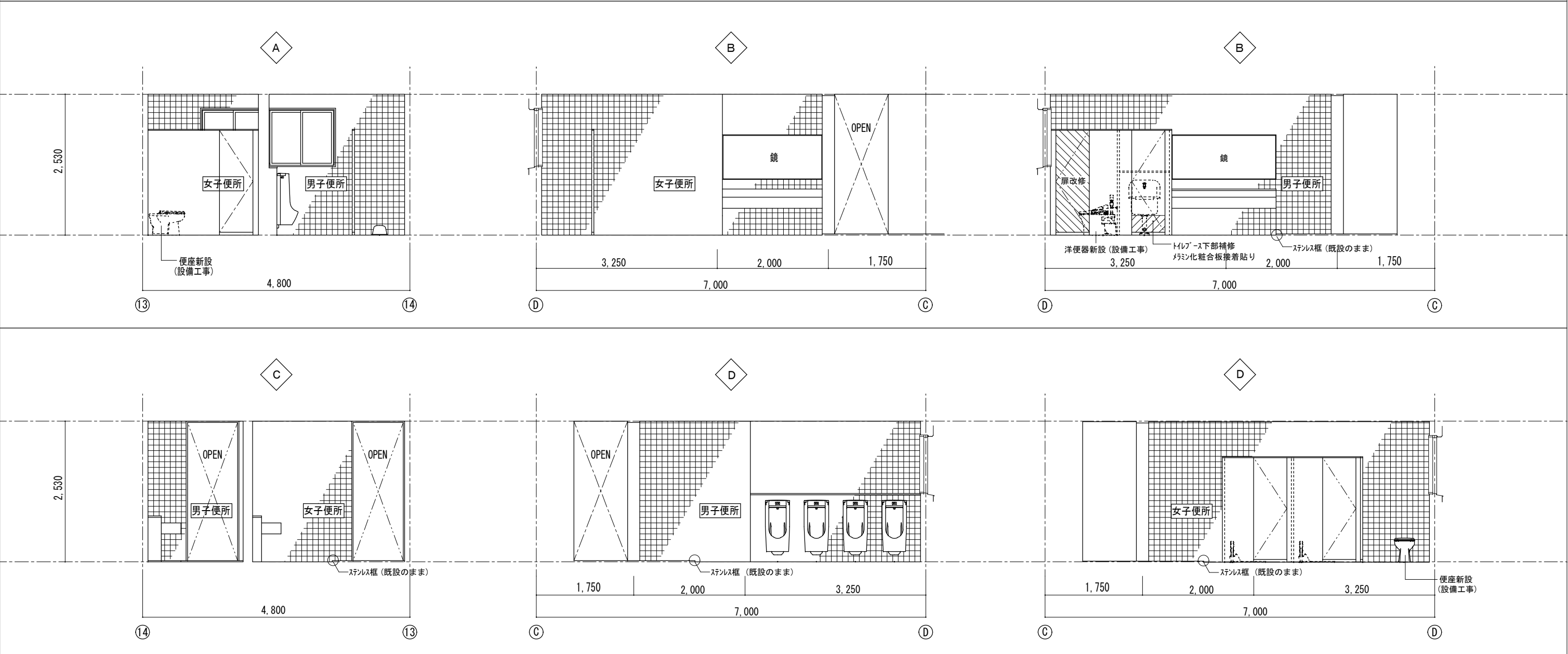
©

D

—便座撤去
(設備工事)

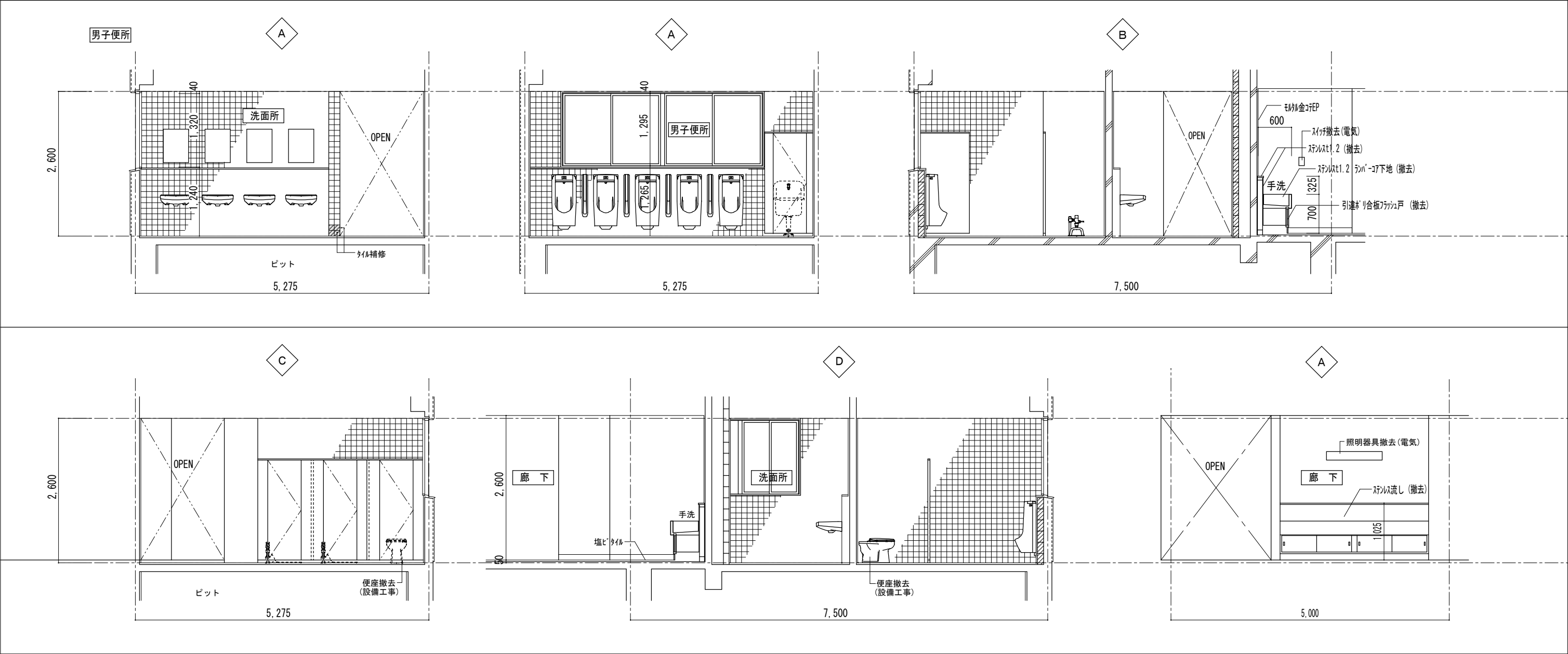
④

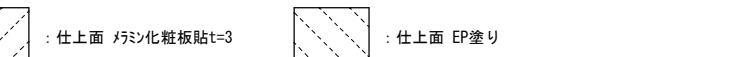
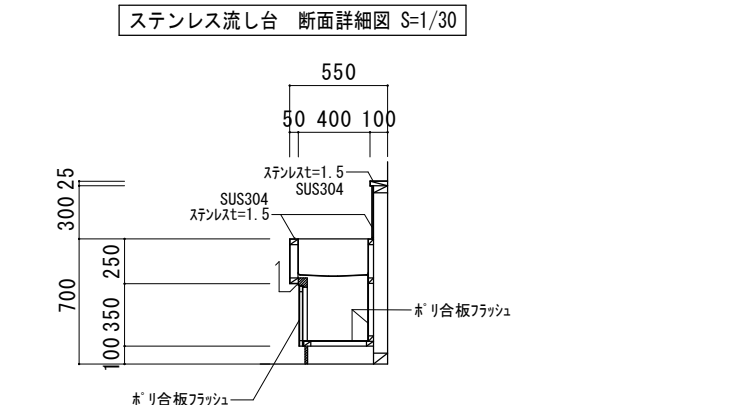
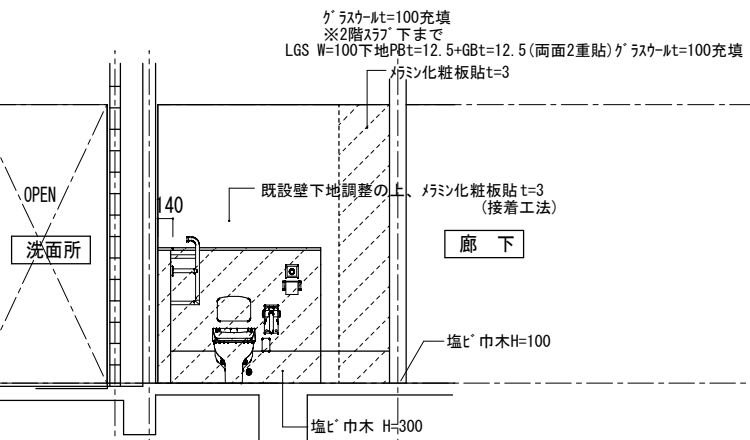
・	・	工事名／Title 津市立西郊中学校便所改修工事	図面種別／Drawing 普通教室棟・特別教室管理棟 【東便所】3, 4階展開図（改修前）		Check	No. A-27	合資会社 重企建築事務所 Jyuki Architectural Design Office 一級建築士事務所 三重県知事登録第1－300号 一級建築士国土交通大臣登録第167163号 山田 裕治
・	・		縮尺／Scale 原 図：A2 1/50	日付／Date			
・	・						
・	・						



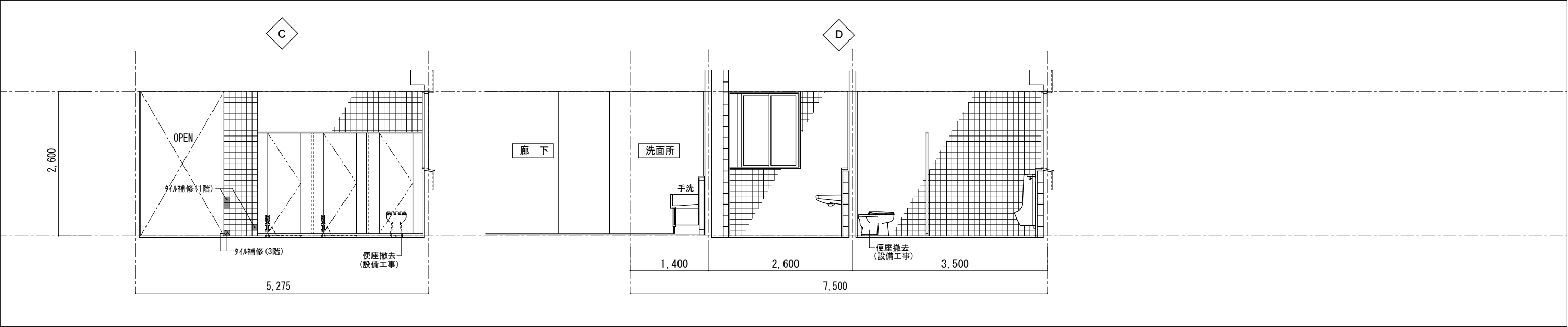
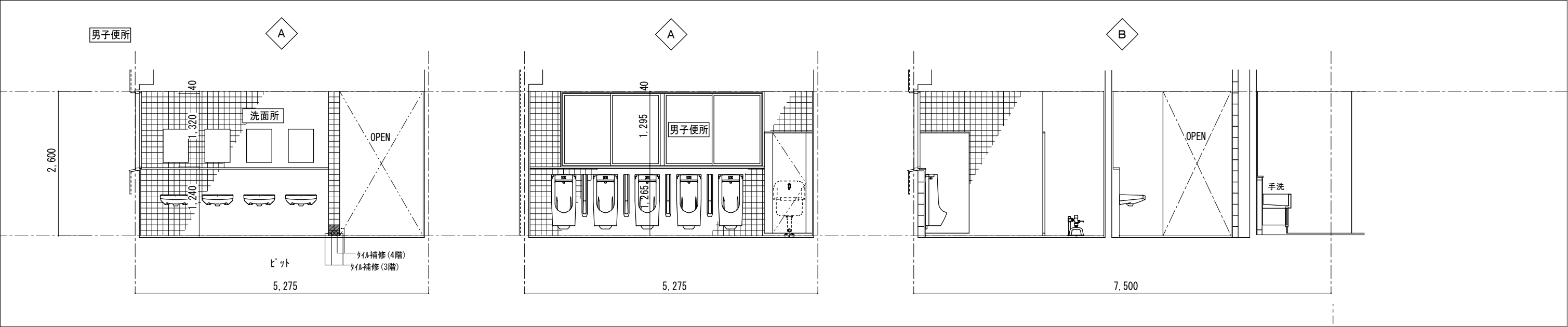
・ ・ ・ ・ ・	工事名／Title	図面種別／Drawing	Check	No. A-28	合資会社 重企建築事務所 Jyuki Architectural Design Office 一級建築士事務所 三重県知事登録第1-3000号 一級建築士国土交通大臣登録第167163号 山田 裕治
	津市立西郊中学校便所改修工事	普通教室棟・特別教室管理棟			
		【東便所】 1, 2 階展開図			
		縮尺／Scale 原図：A2 日付／Date 1/50			

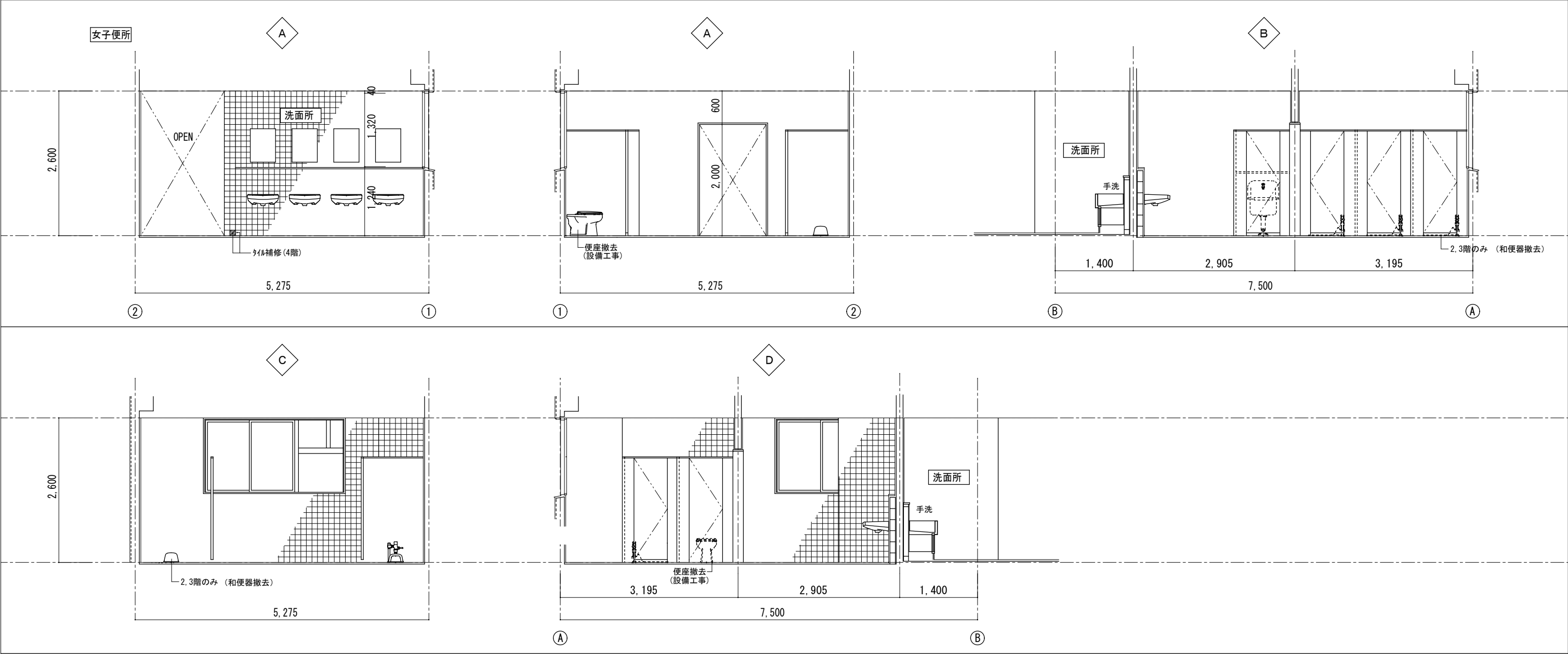


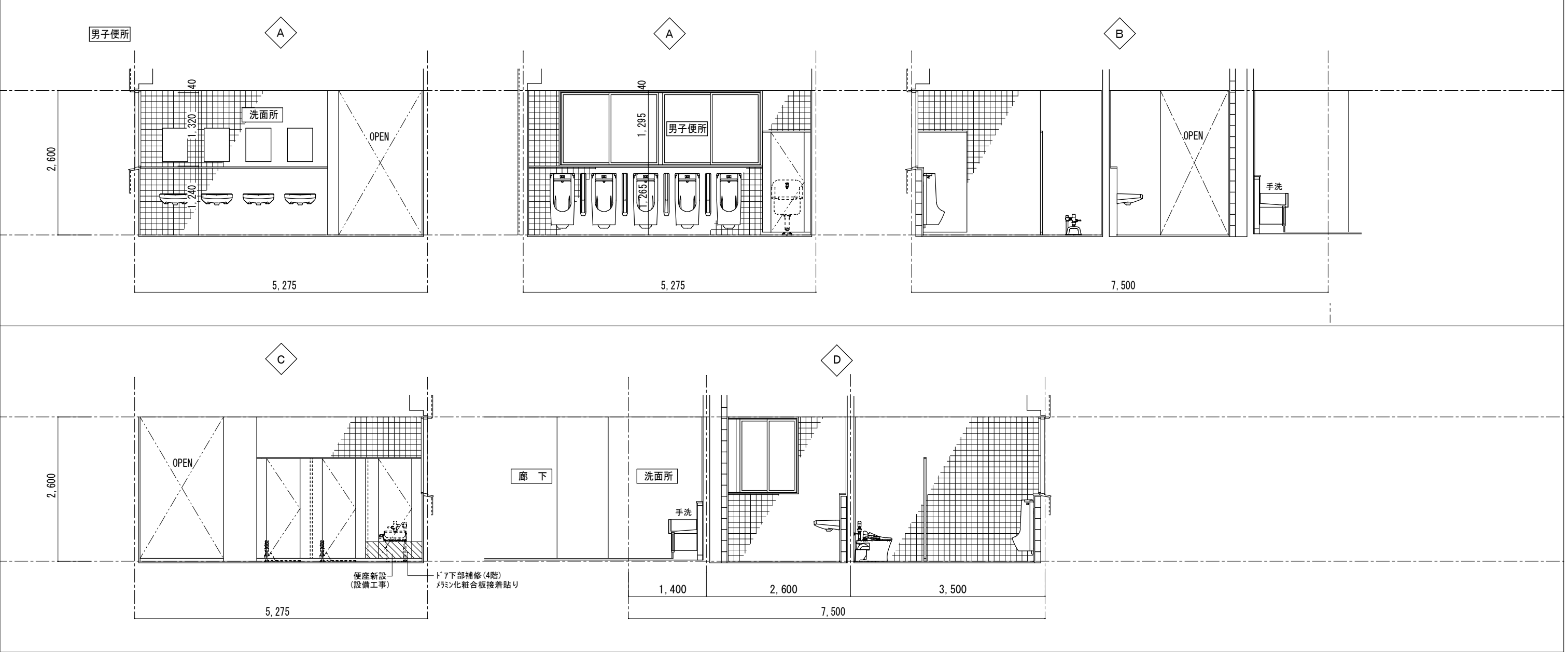


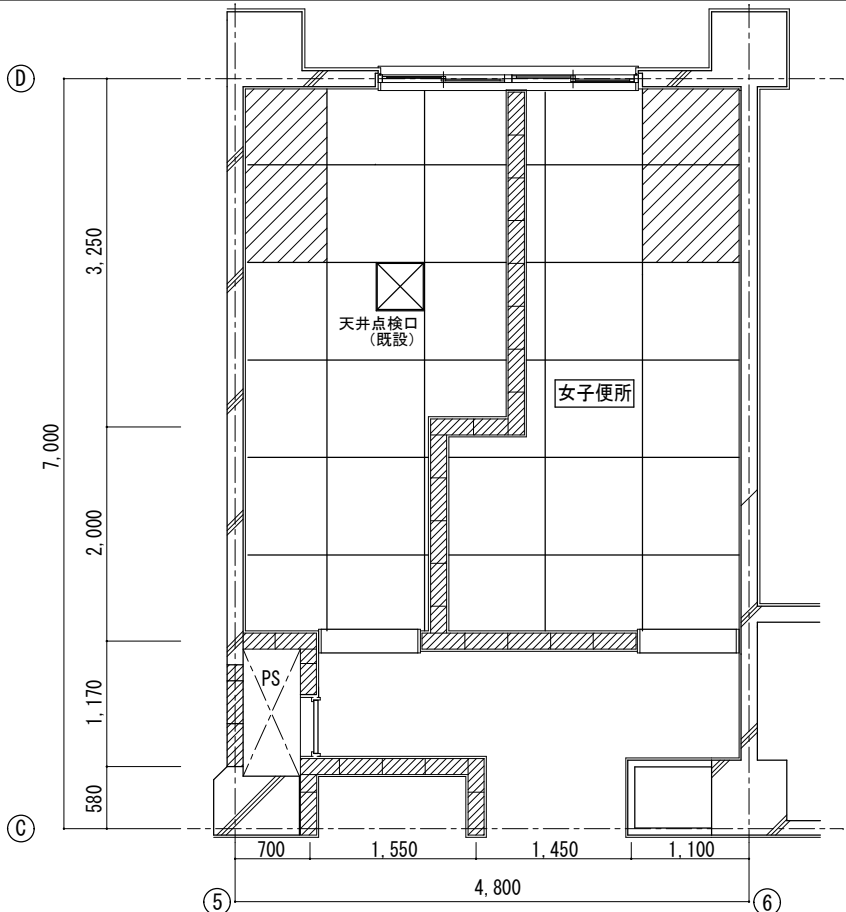
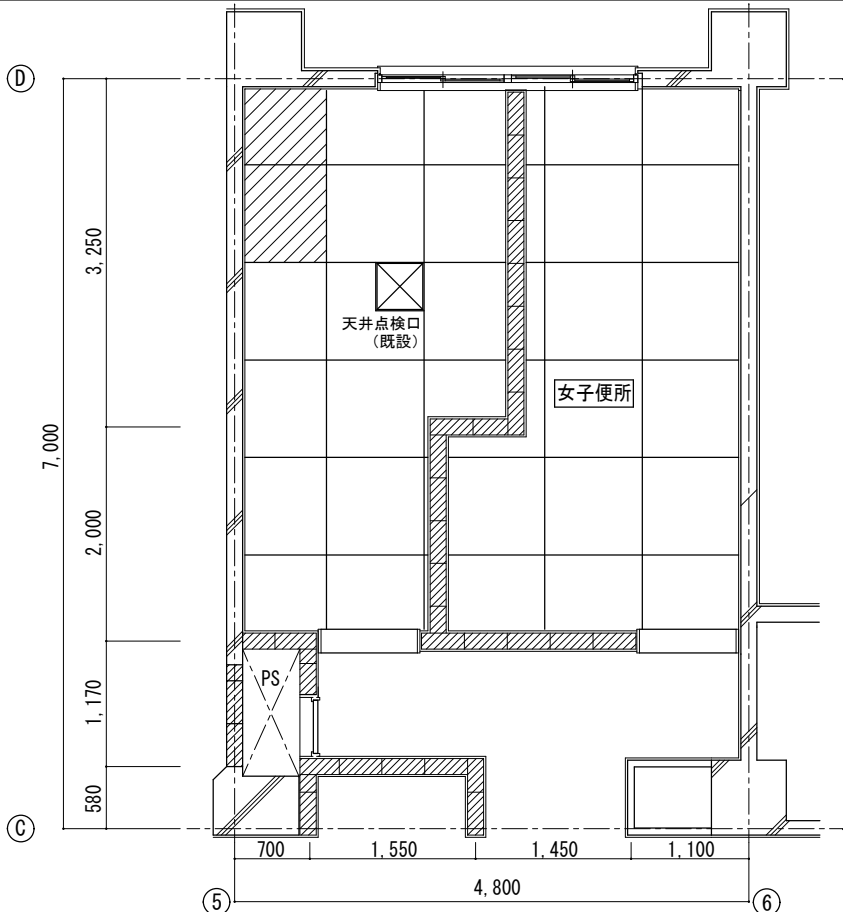
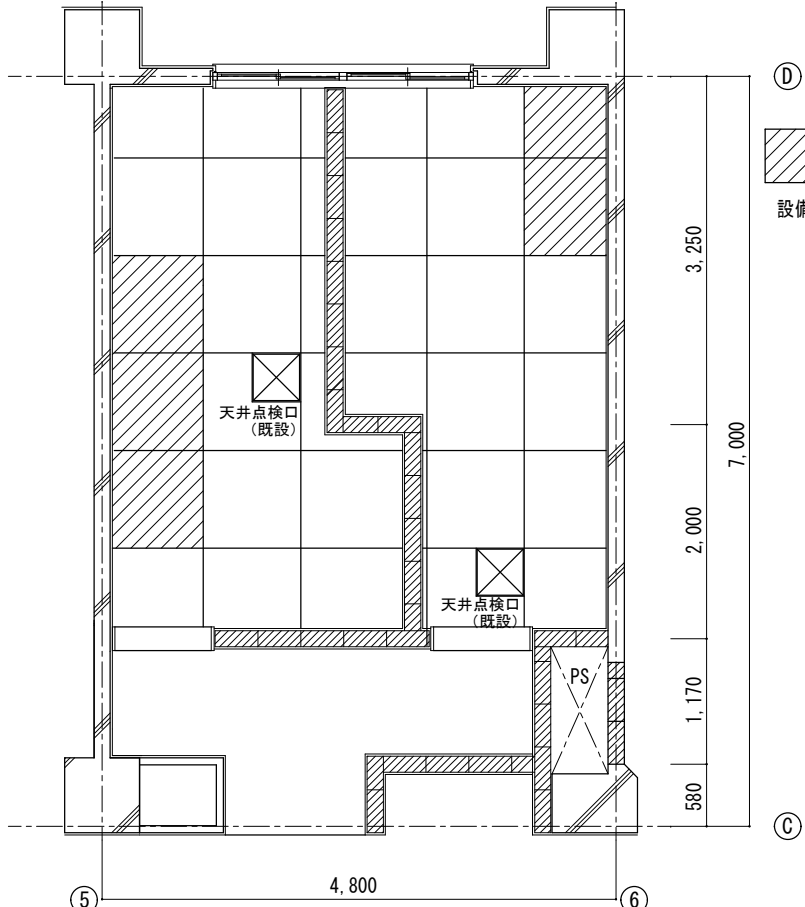
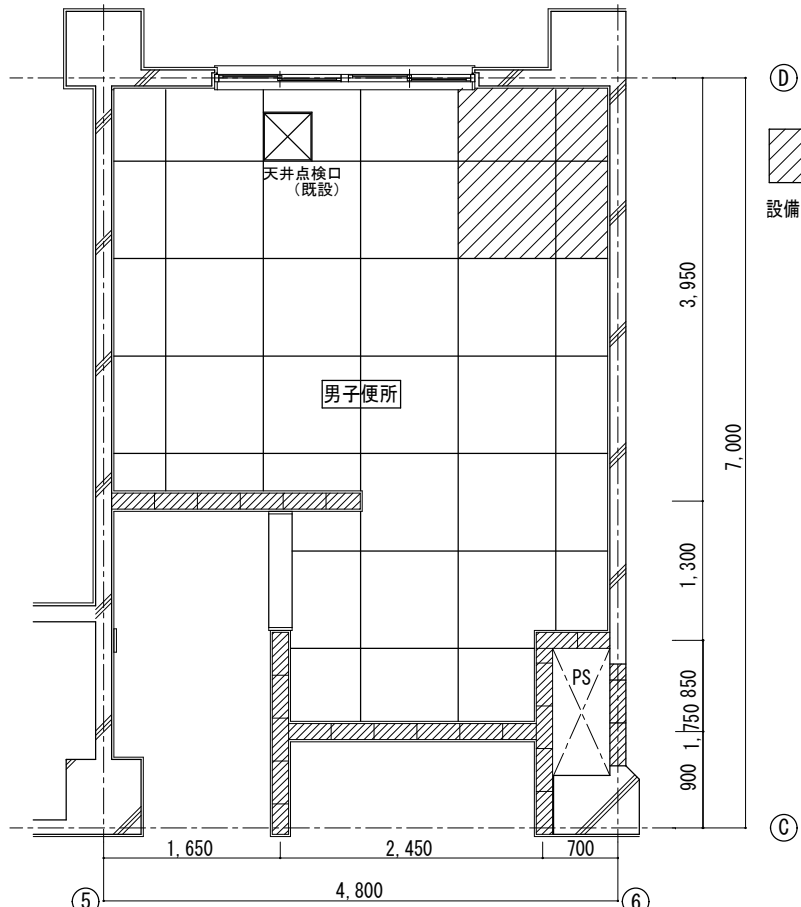


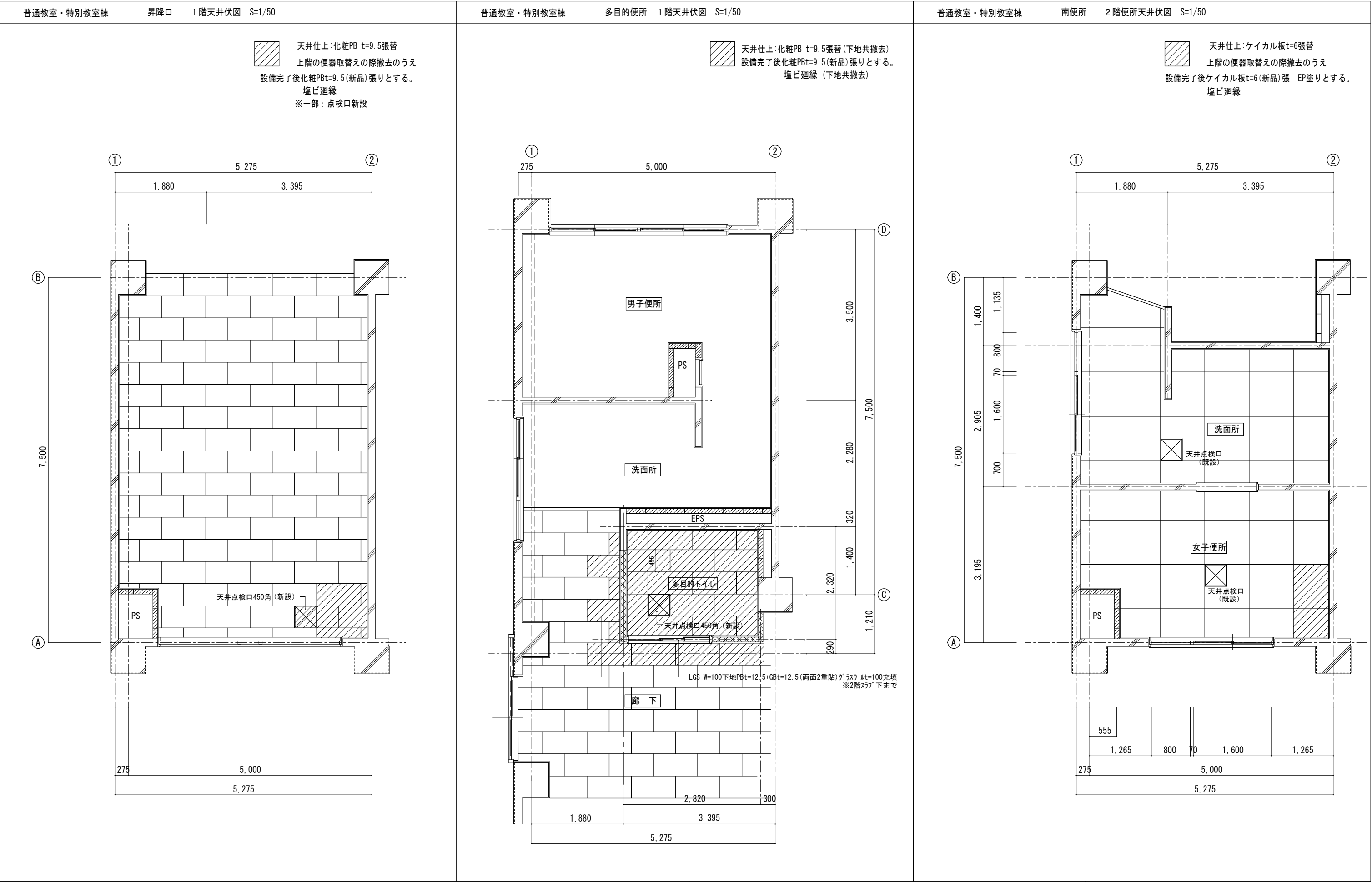
・ ・	工事名／Title 津市立西郊中学校便所改修工事	図面種別／Drawing		Check	No. A-31	合資会社 重企建築事務所 Jyuki Architectural Design Office 一級建築士事務所 三重県知事登録第1ー300号 一級建築士国土交通大臣登録第167163号 山田 裕治
・ ・		普通教室・特別教室棟 1階便所 展開図 (改修後)				
・ ・		縮尺／Scale 原 図：A2 日付／Date				
・ ・		1/50				



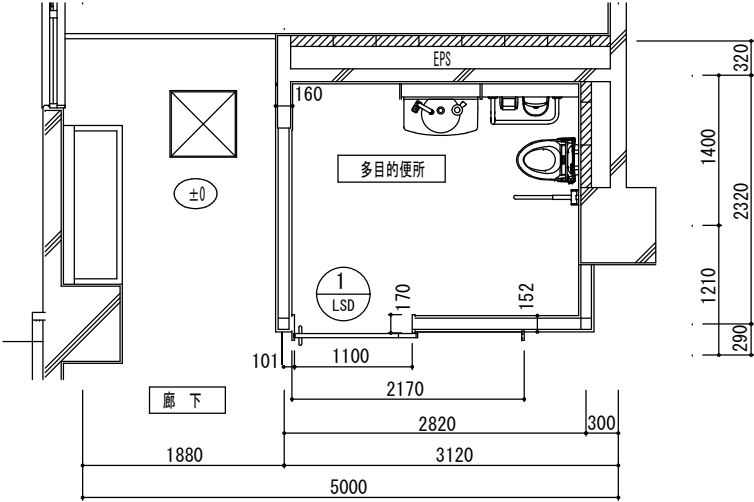
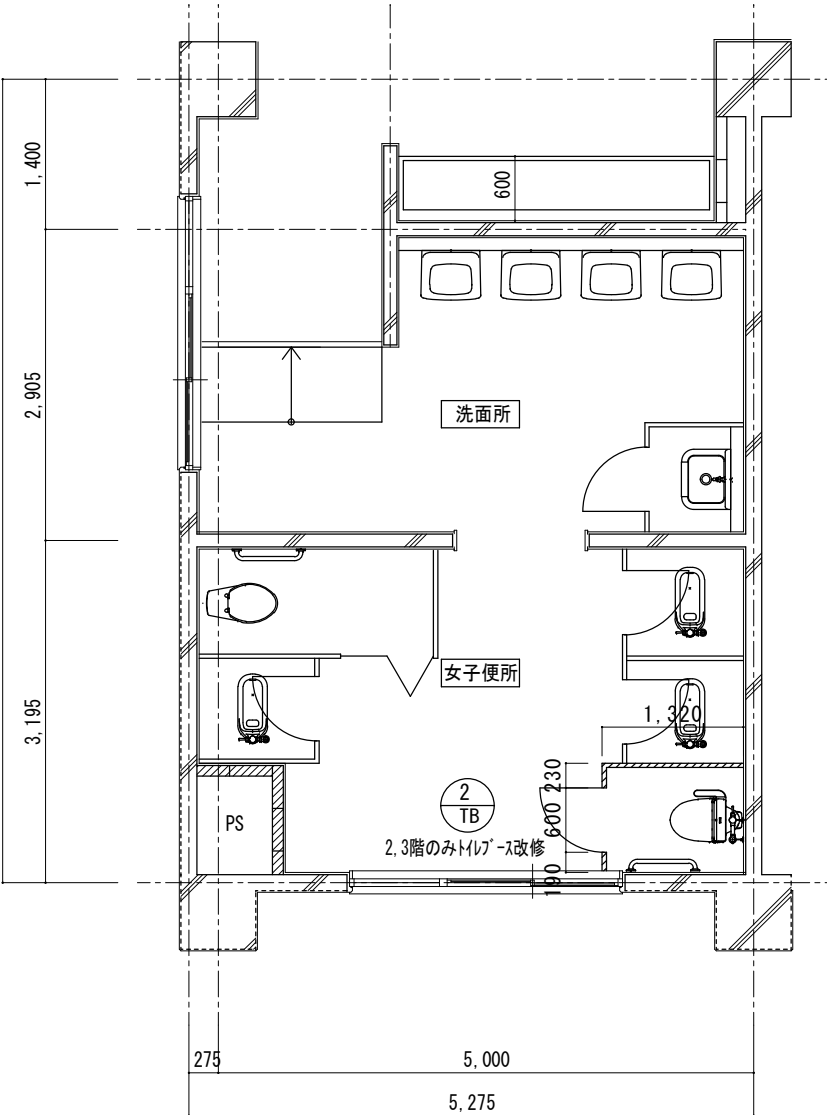
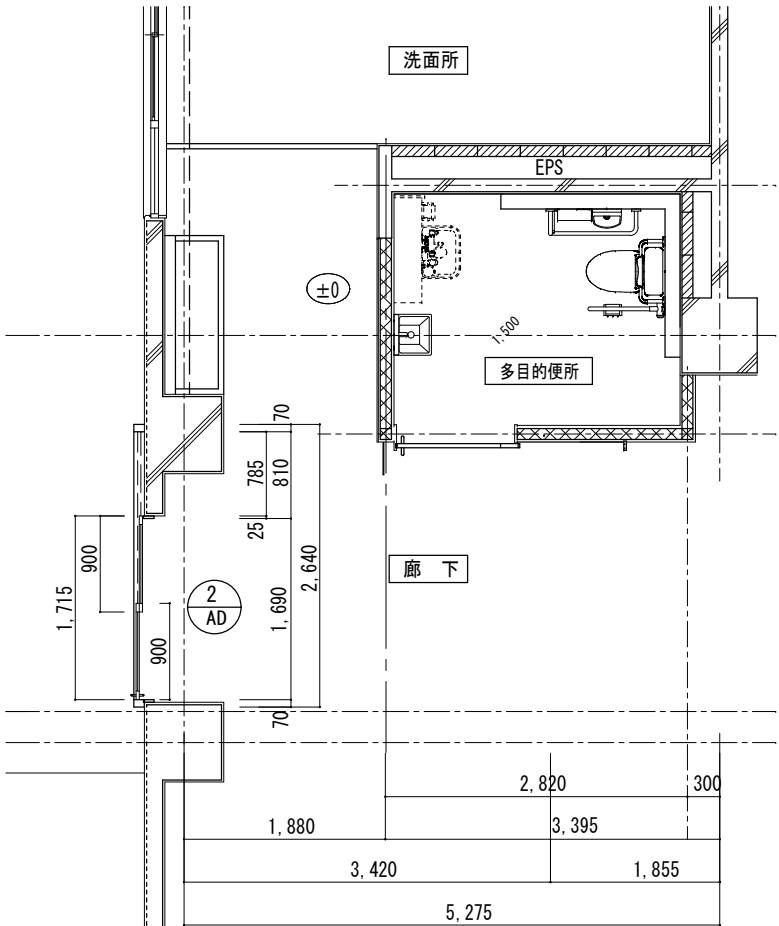
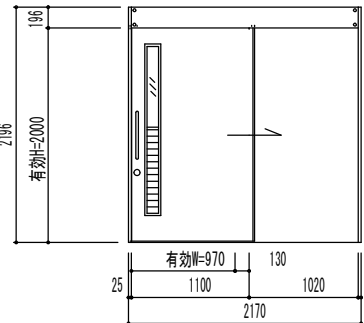
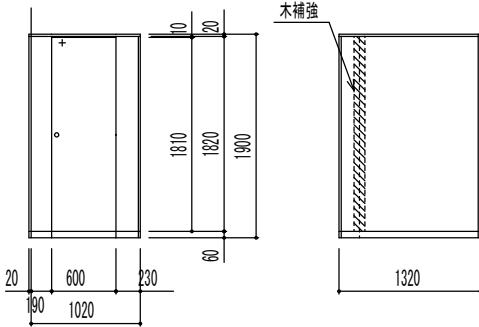
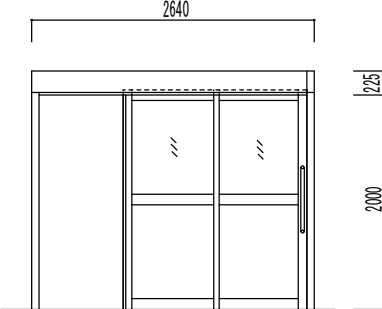


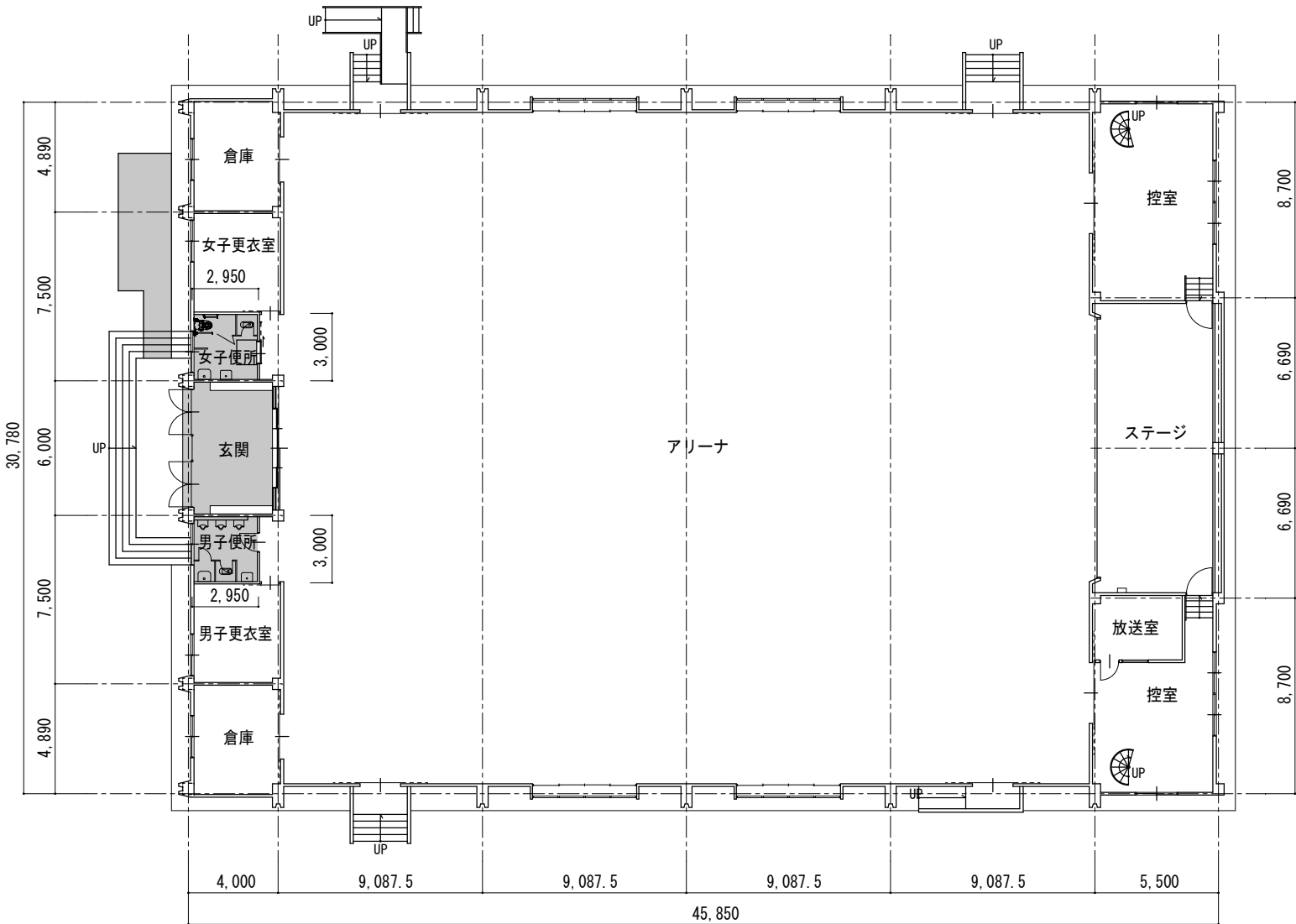
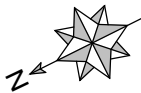


普通教室棟・特別教室管理棟			西便所 1階便所天井伏図 S=1/50			普通教室棟・特別教室管理棟			西便所 2階便所天井伏図 S=1/50		
			<p>天井仕上:ケイカル板t=6貼替 上階の便器取替えの際撤去のうえ 設備完了後ケイカル板t=6(新品)貼EP塗りとする。 塩ビ廻縁</p>						<p>天井仕上:ケイカル板t=6貼替 上階の便器取替えの際撤去のうえ 設備完了後ケイカル板t=6(新品)貼EP塗りとする。 塩ビ廻縁</p>		
普通教室棟・特別教室管理棟			東便所 改修後 1階便所天井伏図 S=1/50			普通教室棟・特別教室管理棟			東便所 改修後 3階便所天井伏図 S=1/50		
			<p>天井仕上:ケイカル板t=6貼替 上階の便器取替えの際撤去のうえ 設備完了後ケイカル板t=6(新品)貼EP塗りとする。 塩ビ廻縁</p>						<p>天井仕上:ケイカル板t=6貼替 上階の便器取替えの際撤去のうえ 設備完了後ケイカル板t=6(新品)貼EP塗りとする。 塩ビ廻縁</p>		
・ ・			工事名／Title			図面種別／Drawing			Check		
・ ・			津市立西郊中学校便所改修工事			天井伏図 (1)			No.		
・ ・						縮尺／Scale 原図：A2 日付／Date			A-36		
・ ・						1/50			合資会社 重企建築事務所 Jyuki Architectural Design Office 一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号 一級建築士国土交通大臣登録第167163号 山田 裕治		



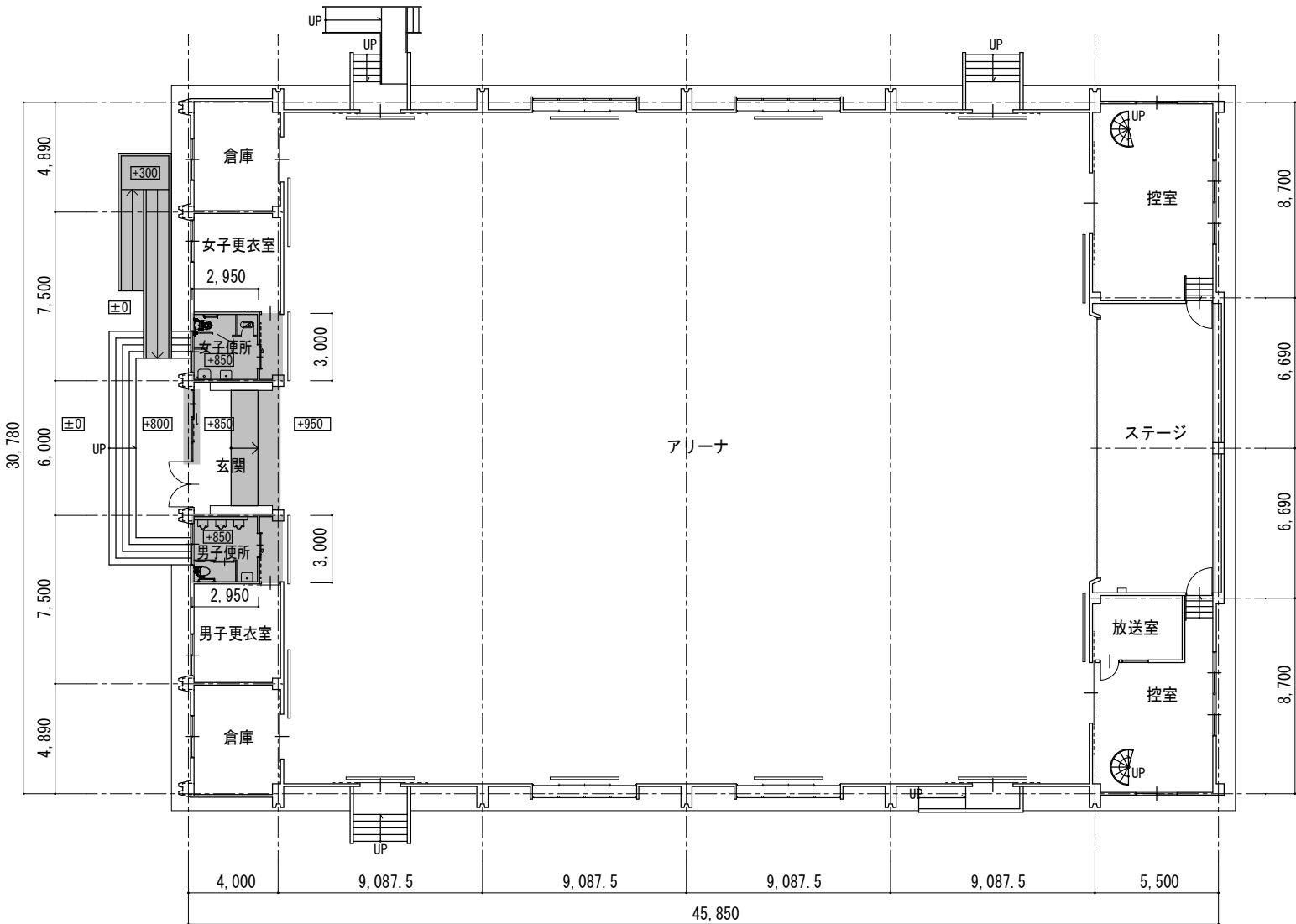
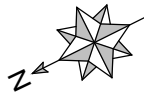
普通教室棟・特別教室管理棟		西便所	1階便所建具指示図図		S=1/50				
普通教室棟・特別教室管理棟		西便所	2階便所建具指示図		S=1/50				
普通教室棟・特別教室管理棟		西便所	3階便所建具指示図		S=1/50				
普通教室棟・特別教室管理棟		東便所	1階便所建具指示図		S=1/50				
普通教室棟・特別教室管理棟		東便所	2階職員便所建具指示図図		S=1/50				
普通教室棟・特別教室管理棟		東便所	4階便所建具指示図		S=1/50				
		工事名／Title		図面種別／Drawing		Check	No.	合資会社 重企建築事務所 Jyuki Architectural Design Office 一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号 一級建築士国土交通大臣登録第167163号 山田 裕治	
		津市立西郊中学校便所改修工事		普通教室棟・特別教室・管理棟 建具指示図					A-38
				縮尺／Scale 原図：A2 日付／Date 1/50					

建具表 普通教室・特別教室棟 1階多目的便所 S=1/50				建具表 普通教室・特別教室棟 2,3階女子便所 S=1/50				建具表 普通教室・特別教室棟 1階廊下 S=1/50			
											
記号	数量	LSD-1	1	TB-2	2	AD-2	1				
形状											
使用場所	普通教室・特別教室棟 1階多目的便所			普通教室・特別教室棟 2,3階女子便所			普通教室・特別教室棟 1階廊下				
形式	片引きハガードア			トイレ-ス アルミエッジ			2枚連動片引き戸				
仕上げ	枠:焼付塗装	扉:化粧鋼板	ガラス強化型ガラス t4	高圧マシ樹脂化粧板(下地:MDF) 芯材ベ-ハ-コ7			アルミ(着色)	ガラス	網入り磨きガラス t=6.8		
金物	付属部品、引手、自閉式ハガーレール、ガイドレール、ガラス表示付大型サドルン(非常開錠表示付)			レベ-ティン-スライドロック(表示付) 戸当たり帽子掛け 蓋付笠木:アルミ押出型材 <アルミクリア処理仕通>スリ木指詰め防止仕様			シリンダー錠、自閉装置、指挟み防止ゴム 引棒(ステンスHL L=600)、ハガーレール仕様ステンス床レール、標準付属金物				
備考											
				工事名／Title		図面種別／Drawing		Check	No.	合資会社 重企建築事務所 Jyuki Architectural Design Office 一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号 一級建築士国土交通大臣登録第167163号 山田 裕治	
				津市立西郊中学校便所改修工事		普通教室・特別教室棟 1階多目的便所 建具表					
						縮尺／Scale 原図：A2 日付／Date					
						1/50					



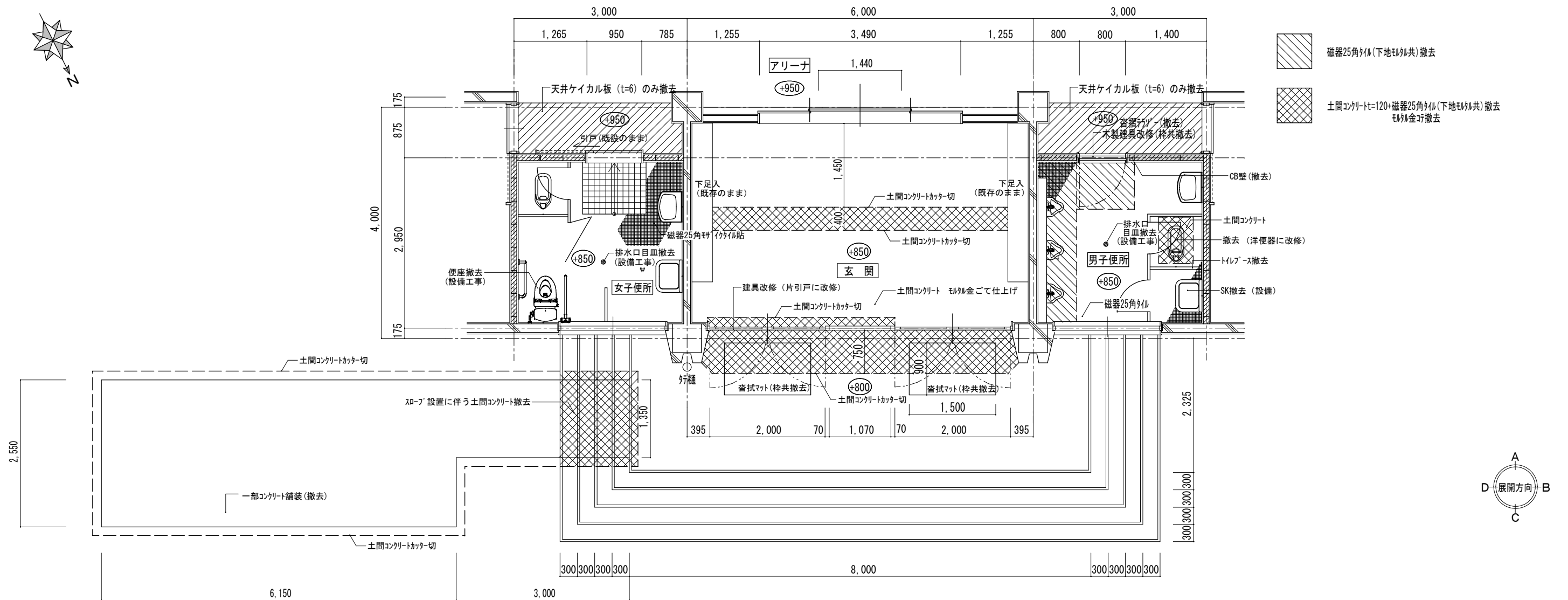
 : 改修箇所

<div><div></div><div></div><div></div><div></div></div>	工事名／Title	図面種別／Drawing		Check	No.	<div>合資会社 重企建築事務所</div> <div>Jyuki Architectural Design Office</div> <div>一級建築士事務所 三重県知事登録第1－300号</div> <div>一級建築士国土交通大臣登録第167163号 山田 裕治</div>
	津市立西郊中学校便所改修工事	屋内運動場	1階平面図 (改修前)			
		縮尺／Scale	原図：A2 日付／Date			
		1/200				

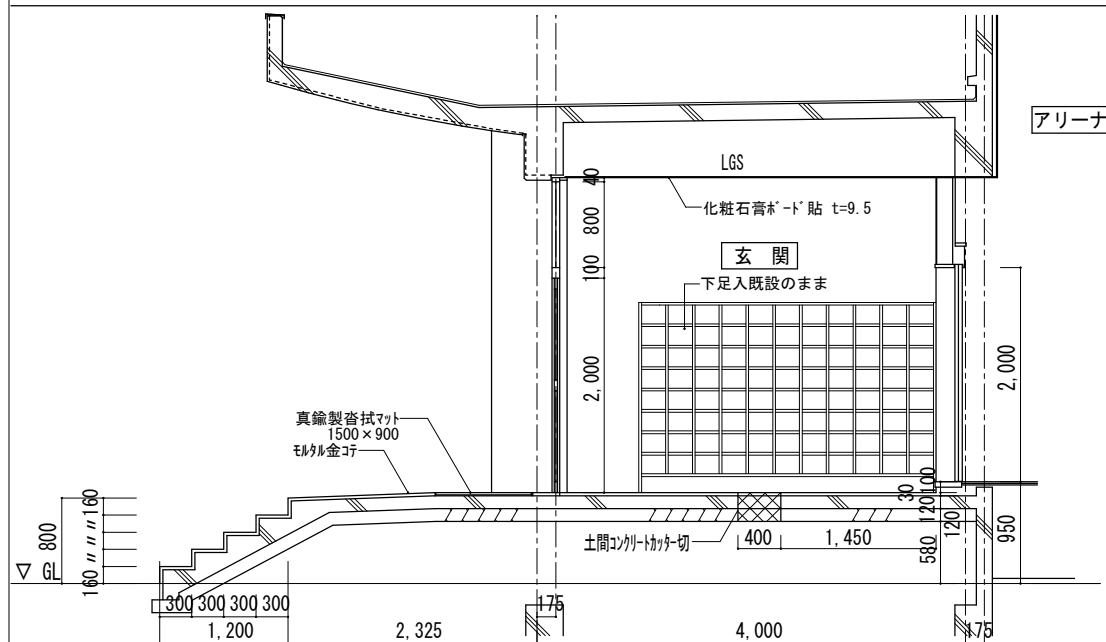


 : 改修箇所

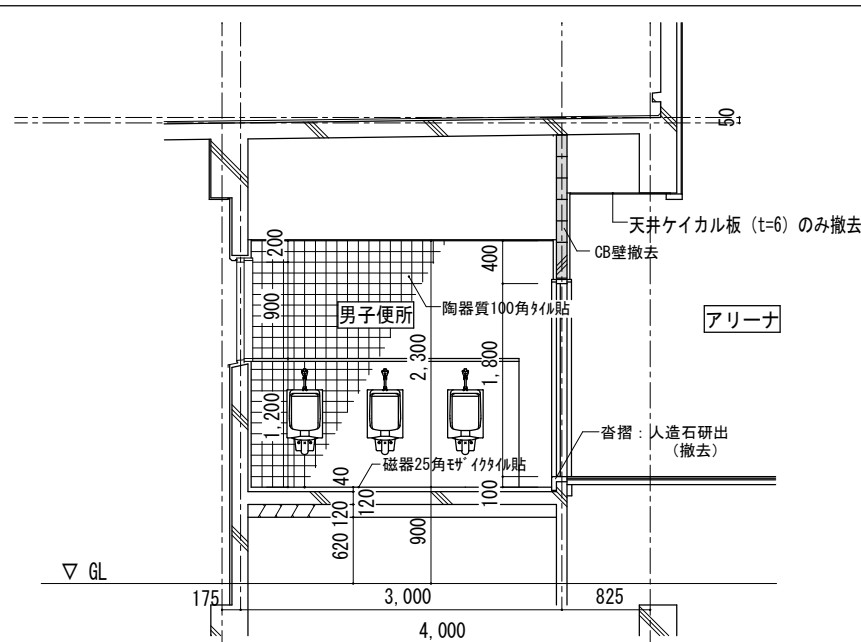
・	工事名／Title 津市立西郊中学校便所改修工事	図面種別／Drawing		Check	No. A-41	合資会社 重企建築事務所 Jyuki Architectural Design Office 一級建築士事務所 三重県知事登録第1－300号 一級建築士国土交通大臣登録第167163号 山田 裕治
・		屋内運動場 1階平面図 (改修後)				
・		縮尺／Scale	原図：A2 日付／Date			
・		1/200				



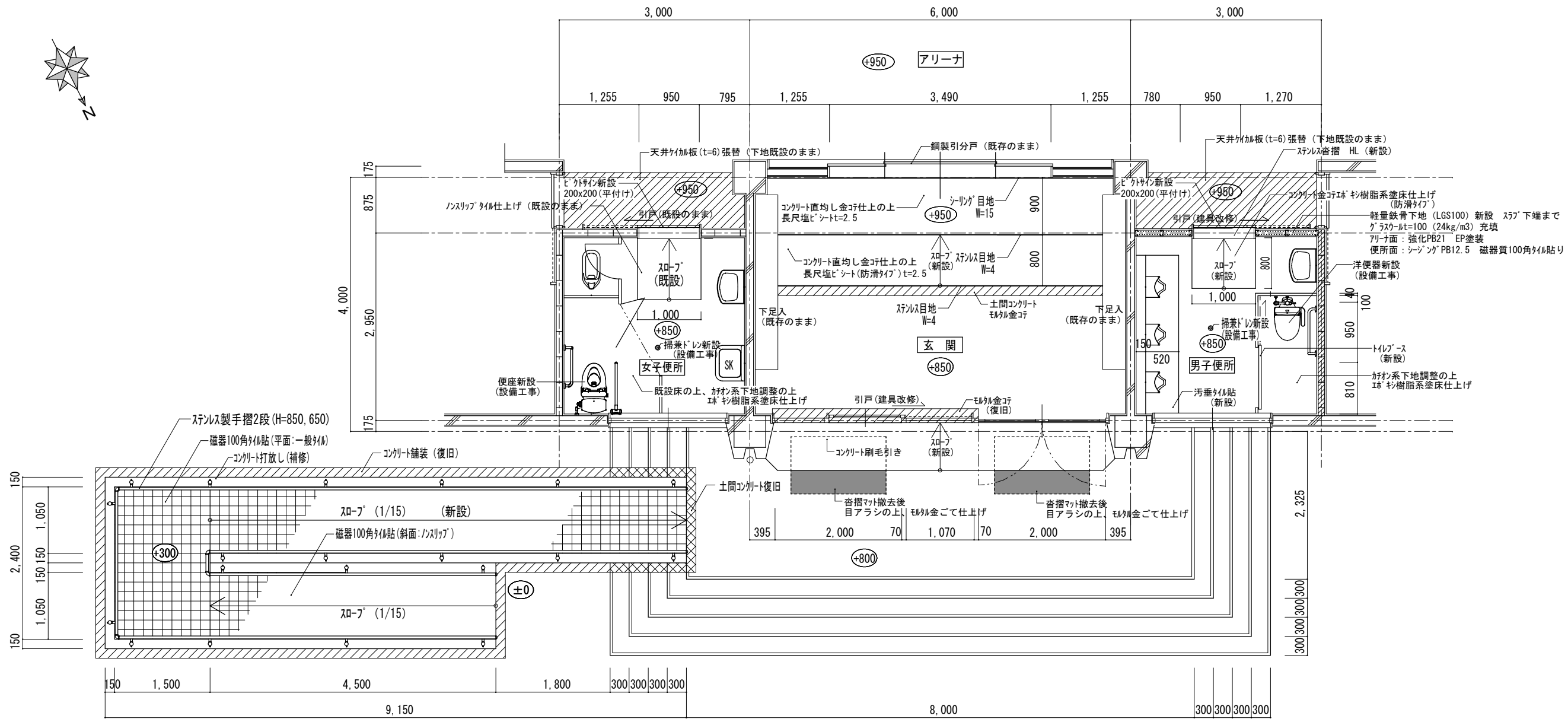
改修前 屋内運動場 玄関断面詳細図 S=1/50



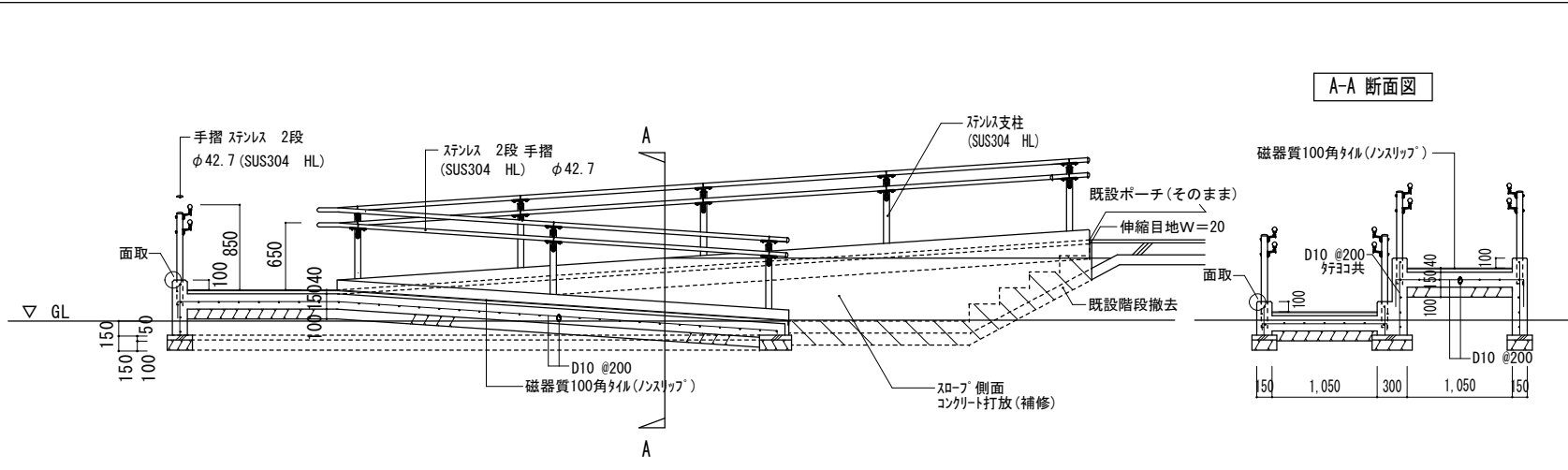
改修前 屋内運動場 便所断面詳細図 S=1/50



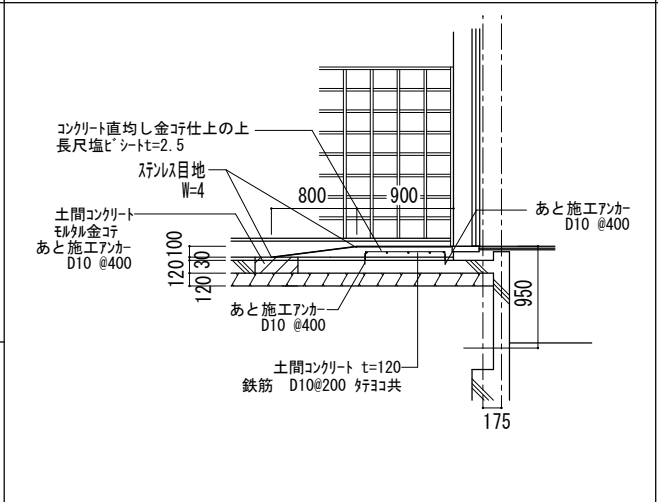
・	工事名／Title 津市立西郊中学校便所改修工事	図面種別／Drawing		Check	No. A-42	合資会社 重企建築事務所 Jyuki Architectural Design Office 一級建築士事務所 三重県知事登録第1－300号 一級建築士国土交通大臣登録第167163号 山田 裕治
・		屋内運動場 玄関、便所平面詳細図、断面詳細図（改修前）				
・		縮尺／Scale	原 図：A2	日付／Date		
・		1/50				
・						



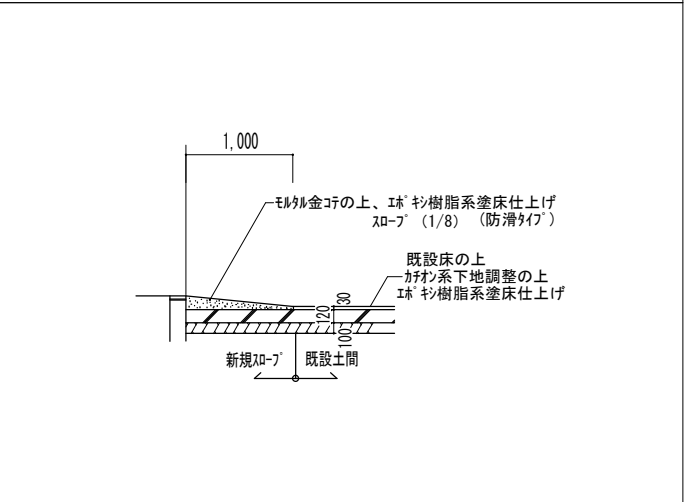
屋外スロープ 断面詳細図 S=1/50



玄関ホール 断面詳細図 S=1/50



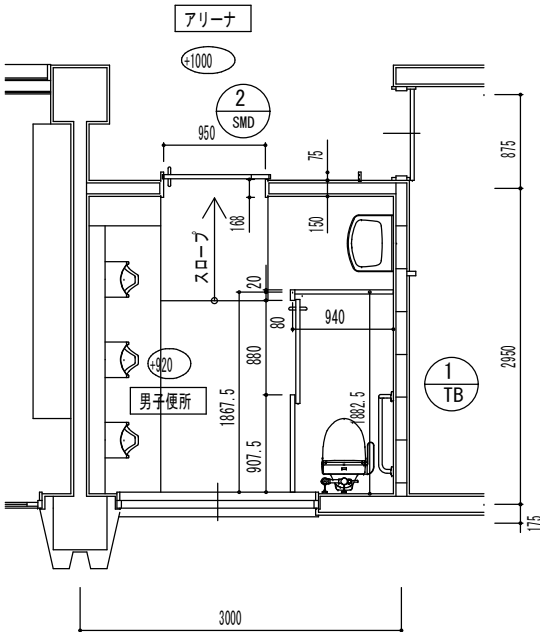
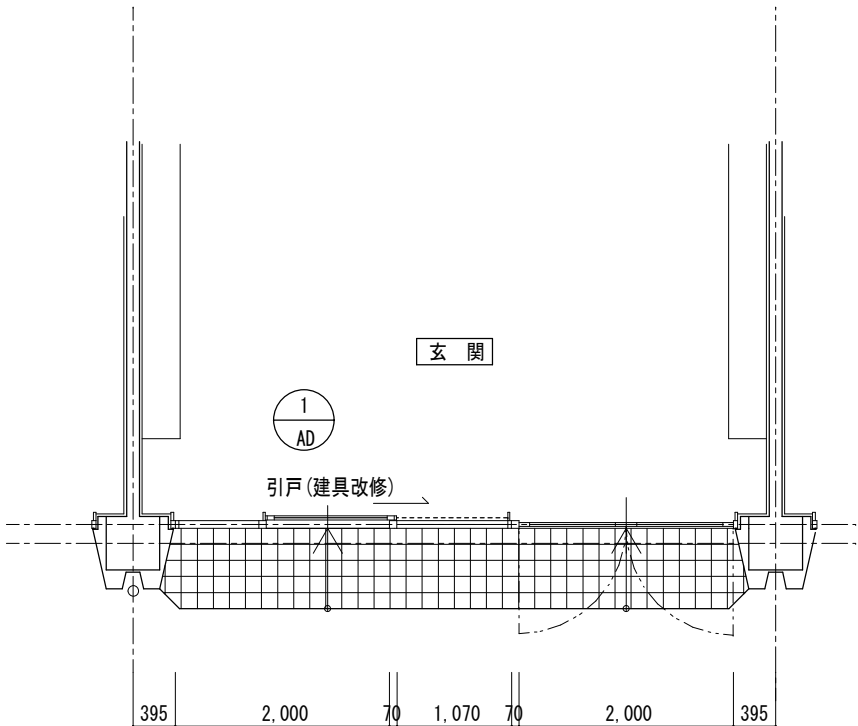
男子便所スロープ 断面詳細図 S=1/50



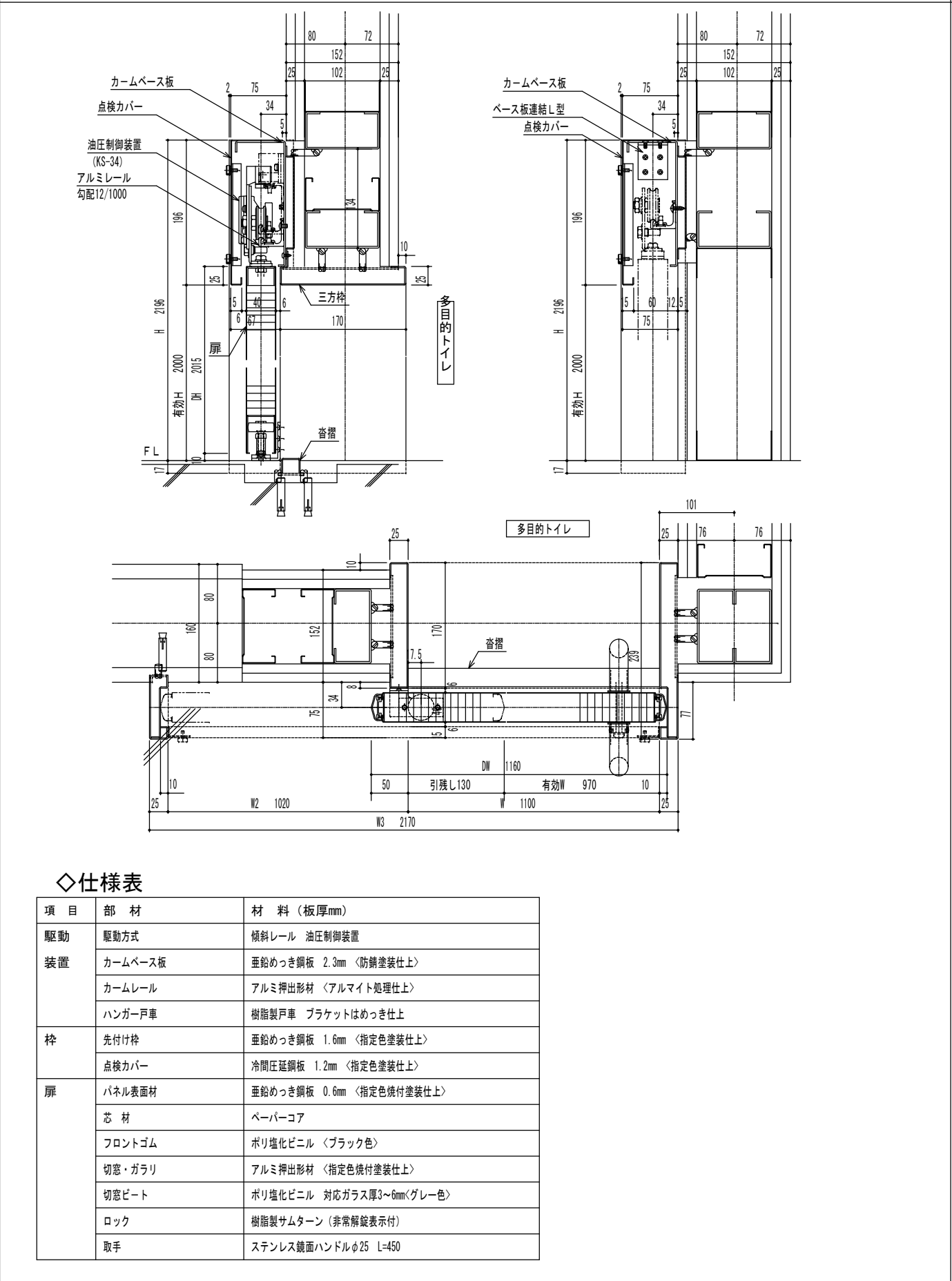
・	工事名／Title 津市立西郊中学校便所改修工事	図面種別／Drawing		Check	No. A-43	合資会社 重企建築事務所 Jyuki Architectural Design Office 一級建築士事務所 三重県知事登録第1－300号 一級建築士国土交通大臣登録第167163号 山田 裕治
・		屋内運動場 玄関、便所平面詳細図、断面詳細図（改修後）				
・		縮尺／Scale	原 図：A2	日付／Date		
・		1/50				

改修前 屋内運動場 玄関、便所平面詳細図 S=1/50					
<div>玄関</div> <div><div>A</div><div>B</div><div>C</div><div>D</div></div> <div><div>2,940</div><div>6,000</div><div>3,825</div><div>6,000</div><div>3,825</div></div> <div>玄関 下足入既設のまま</div> <div>建具改修（片引戸に改修）</div> <div>玄関 下足入既設のまま</div>					
<div>女子便所</div> <div><div>A</div><div>B</div><div>C</div><div>D</div></div> <div><div>2,300</div><div>3,000</div><div>2,950</div><div>3,000</div><div>2,950</div></div>					
<div>男子便所</div> <div><div>A</div><div>B</div><div>C</div><div>D</div></div> <div><div>2,300</div><div>3,000</div><div>2,950</div><div>3,000</div><div>2,950</div></div> <div>CB壁撤去 ｽｽﾞ下まで</div> <div>建具撤去</div> <div>トイレｽ撤去</div> <div>和便器撤去</div> <div>SK撤去</div> <div>和便器撤去</div>					
<div><div>・</div><div>・</div><div>・</div><div>・</div></div>		工事名／Title <div>津市立西郊中学校便所改修工事</div>		図面種別／Drawing 屋内運動場 玄関、便所展開図（改修前） 縮尺／Scale 原図：A2 日付／Date 1/50	
		Check	No. A-44	合資会社 重企建築事務所 Jyuki Architectural Design Office 一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号 一級建築士国土交通大臣登録第167163号 山田 裕治	

改修前 屋内運動場 玄関、便所平面詳細図 S=1/50						
<div>・ ・</div> <div>・ ・</div> <div>・ ・</div> <div>・ ・</div>	<div>玄関</div> <div><div><div>A</div><div>B</div><div>C</div><div>D</div></div></div>					
	<div>女子便所</div> <div><div><div>A</div><div>B</div><div>C</div><div>D</div></div></div>					
	<div>男子便所</div> <div><div><div>A</div><div>B</div><div>C</div><div>D</div></div></div>					
	<div>工事名 / Title</div> <div>津市立西郊中学校便所改修工事</div> <div>図面種別 / Drawing</div> <div>屋内運動場 玄関、便所展開図 (改修後)</div> <div>Check</div> <div>No.</div> <div>縮尺 / Scale</div> <div>原図 : A2</div> <div>日付 / Date</div> <div>1/50</div> <div>合資会社 重企建築事務所</div> <div>Jyuki Architectural Design Office</div> <div>一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号</div> <div>一級建築士国土交通大臣登録第167163号 山田 裕治</div>					

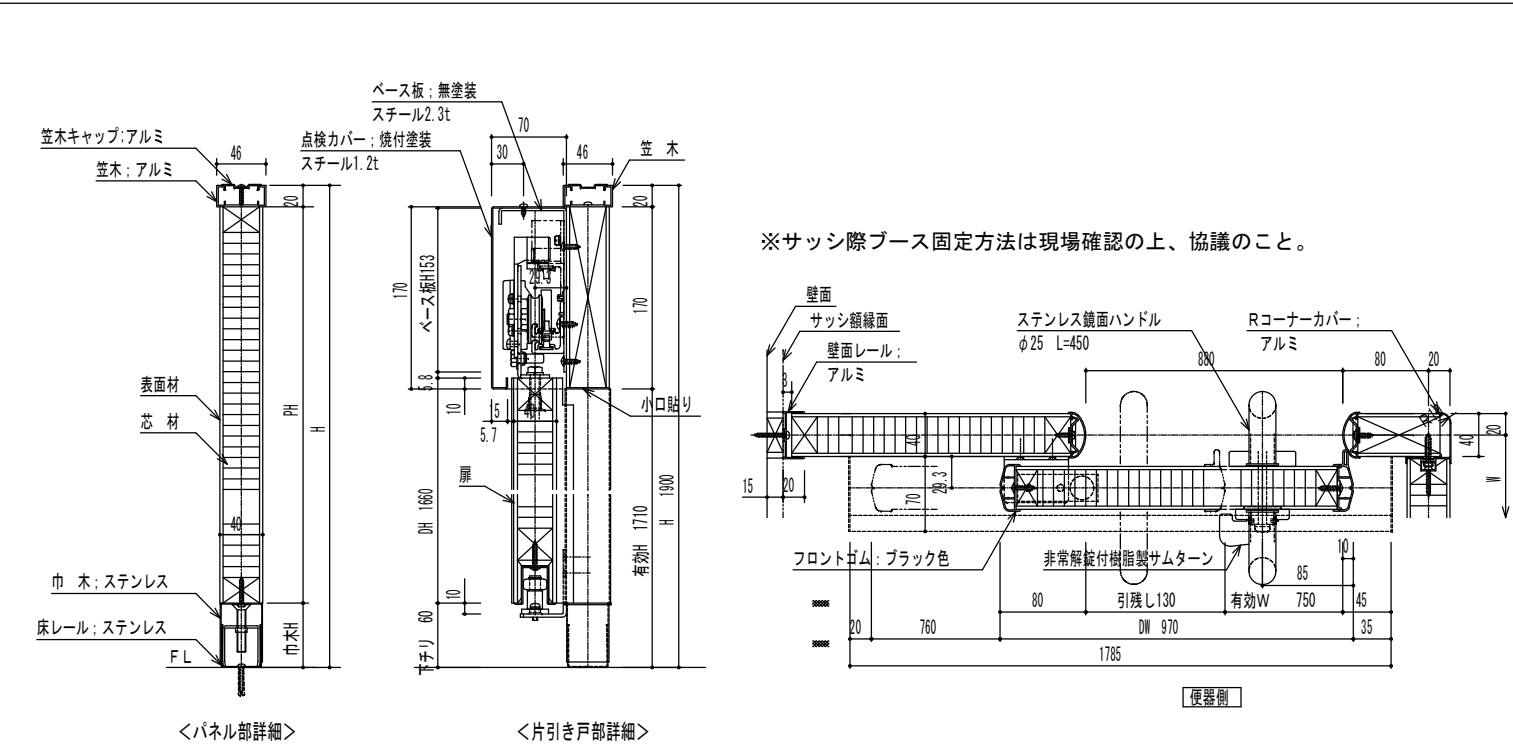


記号	数量	AD-1	改修前	1	AD-1	改修後 ※カバー工法	1	LSD-2	鋼製軽量引戸	1	TB-1	1	
形 状													
使用場所		屋内運動場（玄関）			屋内運動場（男子便所）			屋内運動場（男子便所）			屋内運動場（男子便所）		
形 式	ガラス	ランマ、中央嵌殺し・両開き戸 枠70 網入り磨きガラス t=6.8			ランマ、袖付 ハメ殺し・自閉引戸 網入り磨きガラス t=6.8			片引きハンガードア			トイレブース アルミエッジ		
仕 上 げ		アルミ（着色）			アルミ（着色）			枠：焼付塗装 扉：化粧鋼板			付属部品、引手、自閉式ハンガーレール、ガイドレール 表示付大型サムターン（非常開錠表示付）		
金 物		シンガー錠、フロアヒンジ、丁番、取手、付属金物			シンガー錠、自閉装置、指挟み防止ゴム 引棒（ステンレスHL L=600）、ハンガーレール仕様ステンレス床レール、標準付属金物			付属部品、引手、自閉式ハンガーレール、ガイドレール、ステンレス沓摺			指詰め防止仕様		
備 考													
. .					工事名／Title 津市立西郊中学校便所改修工事			図面種別／Drawing 屋内運動場 玄関、男子便所 建具表		Check	No. A-46	合資会社 重企建築事務所 Jyuki Architectural Design Office 一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号 一級建築士国土交通大臣登録第167163号 山田 裕治	
. .								縮尺／Scale 原図：A2 日付／Date 1/50					
. .													
. .													



◇仕様表

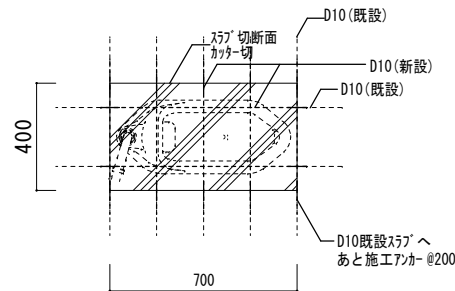
項 目	部 材	材 料（板厚mm）
駆 動 装 置	駆動方式	傾斜レール 油圧制御装置
	カムベース板	亜鉛めっき鋼板 2.3mm <防錆塗装仕上>
	カムレール	アルミ押出形材 <アルマイト処理仕上>
	ハンガー戸車	樹脂製戸車 ブラケットはめつき仕上
枠	先付け枠	亜鉛めっき鋼板 1.6mm <指定色塗装仕上>
	点検カバー	冷間圧延鋼板 1.2mm <指定色塗装仕上>
扉	パネル表面材	亜鉛めっき鋼板 0.6mm <指定色焼付塗装仕上>
	芯 材	ペーパーコア
	フロントゴム	ポリ塩化ビニル <ブラック色>
	切窓・ガラリ	アルミ押出形材 <指定色焼付塗装仕上>
	切窓ビート	ポリ塩化ビニル 対応ガラス厚3～6mm<グレー色>
	ロック	樹脂製サムターン（非常解錠表示付）
	取手	ステンレス鏡面ハンドルφ25 L=450



◇仕様表

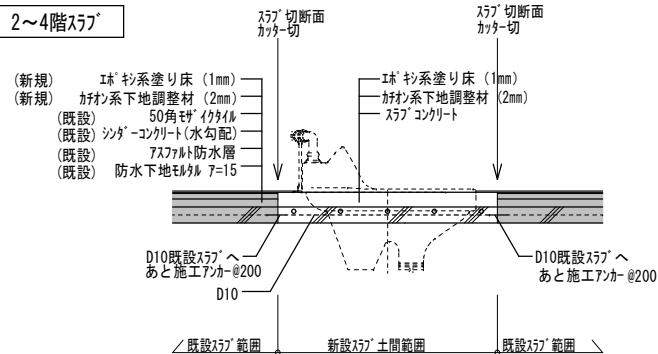
項 目	部 材	材 料（板厚mm）
パネル	パネル表面材	高圧メラミン樹脂化粧板(下地：MDF)
	芯 材	ペーパーコア
	エッジ	アルミ押出形材 <アルマイトクリア処理仕上>
付属品	脚 部	巾木:ステンレス 0.8mm <ヘアライン仕上>
	笠木	アルミ押出形材 <アルマイトクリア処理仕上>
	その他金物	

参考図



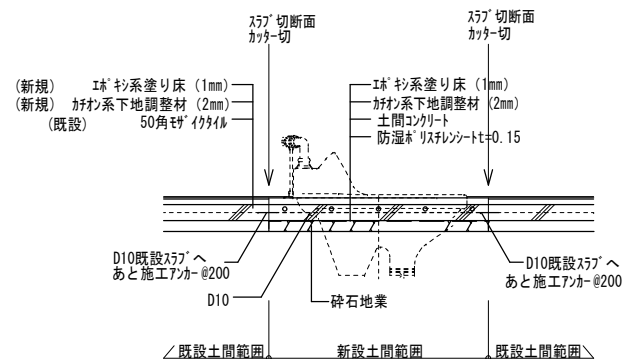
※周囲土間・スラブ及び壁等の躯体にあと施工アール打ちとする。

2~4階スラブ*

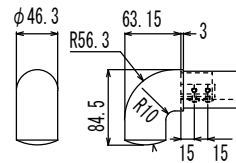


1階土間

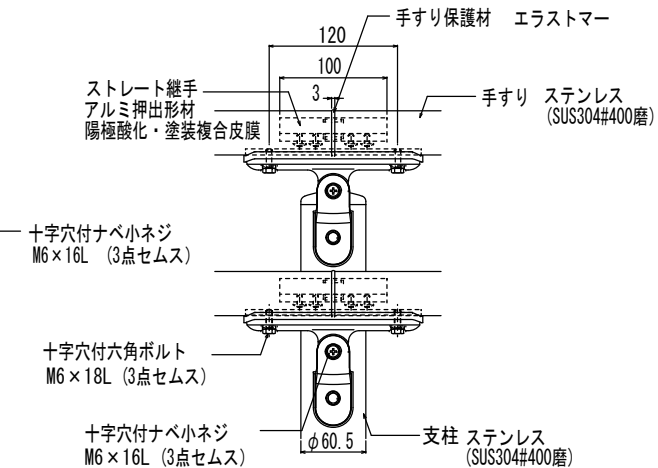
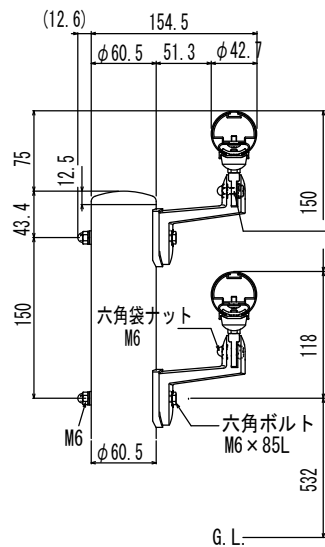
※1階土間下は防湿木[®] リエチンフィルム $t=0.15$ 敷きとする



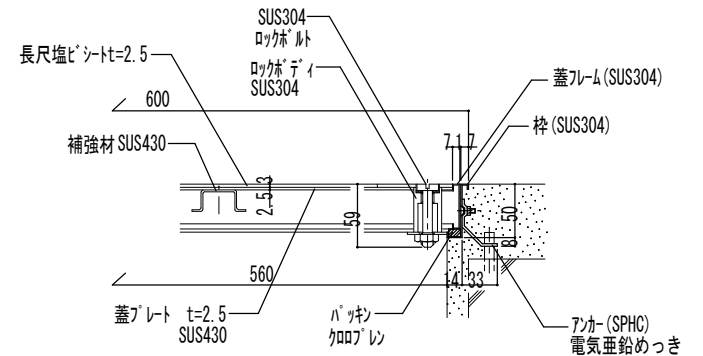
アール端部キャップ詳細図



連結部詳細図

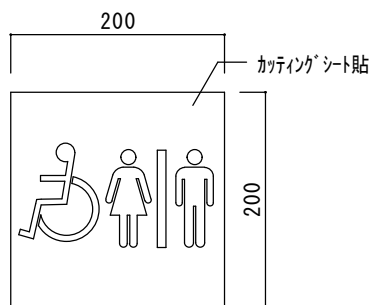


参考図

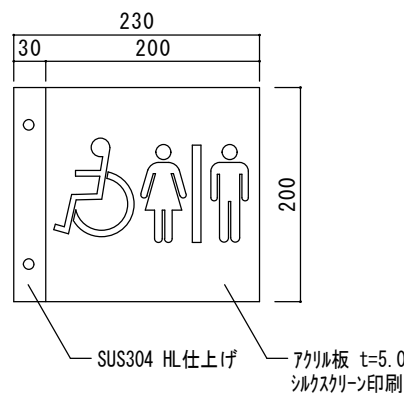


多目的便所 ピクトサイン詳細図 S=1/5

サインの図柄、色彩及び取付位置は現場指示による

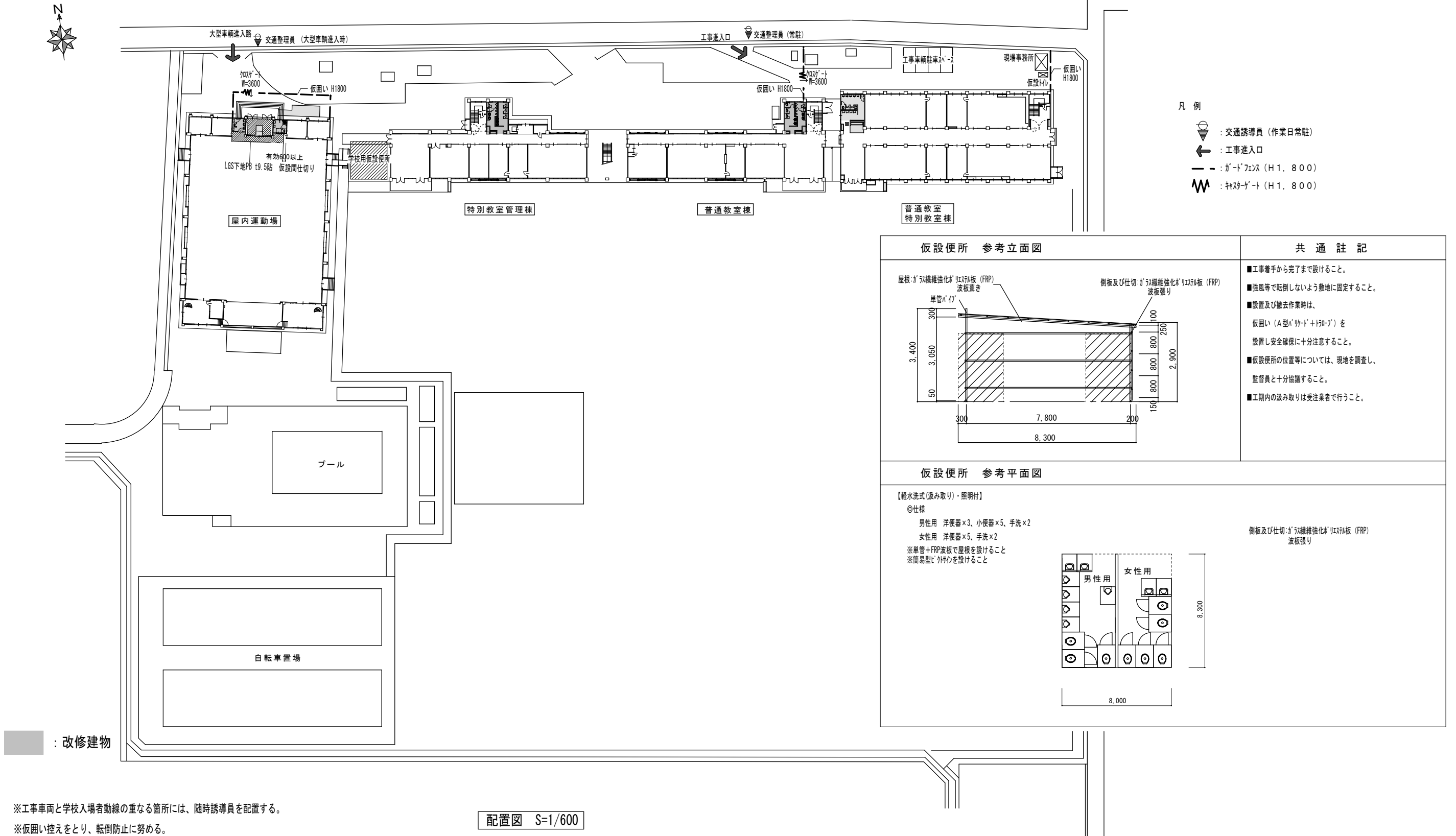


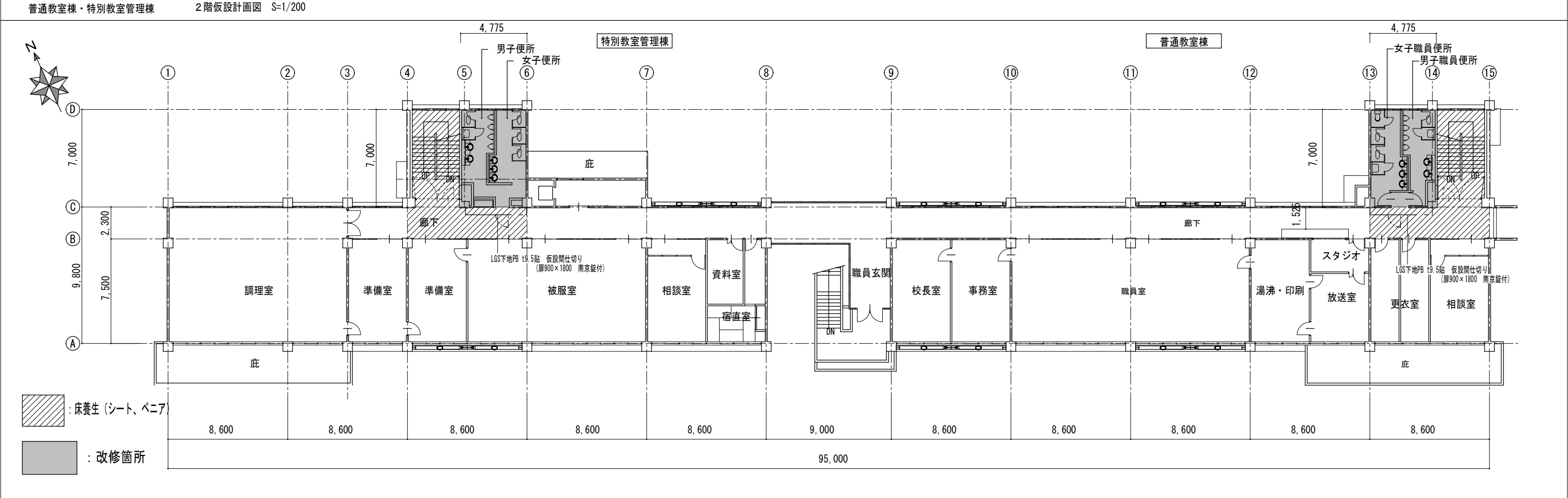
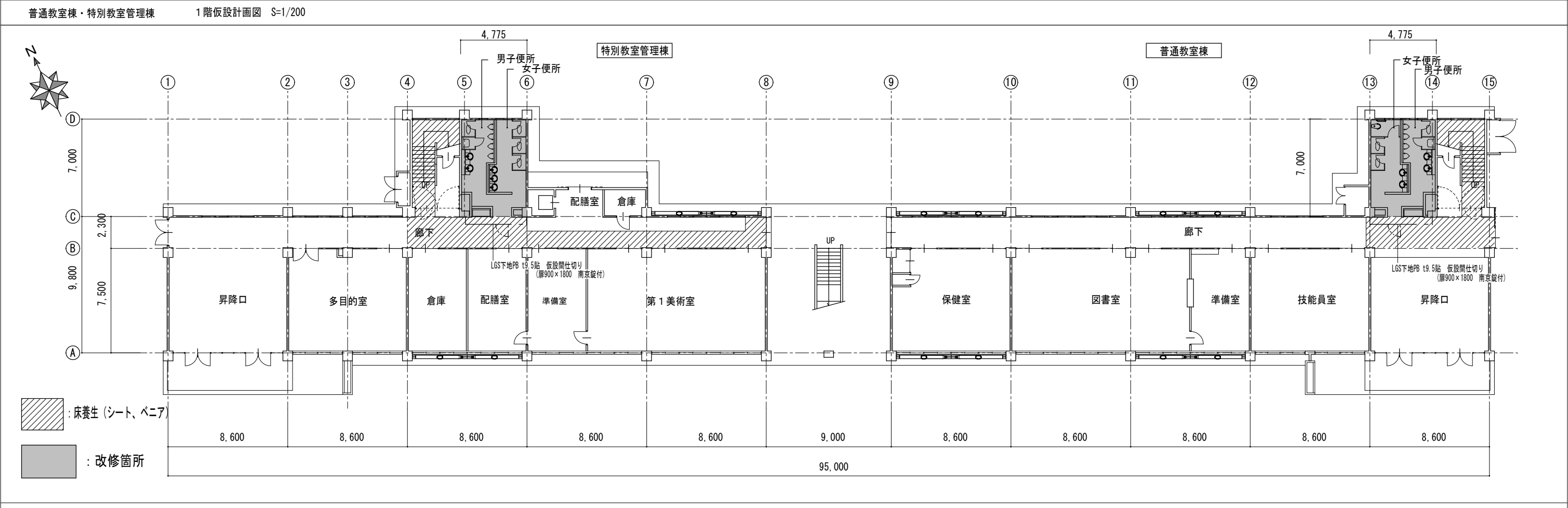
平付けタイ°



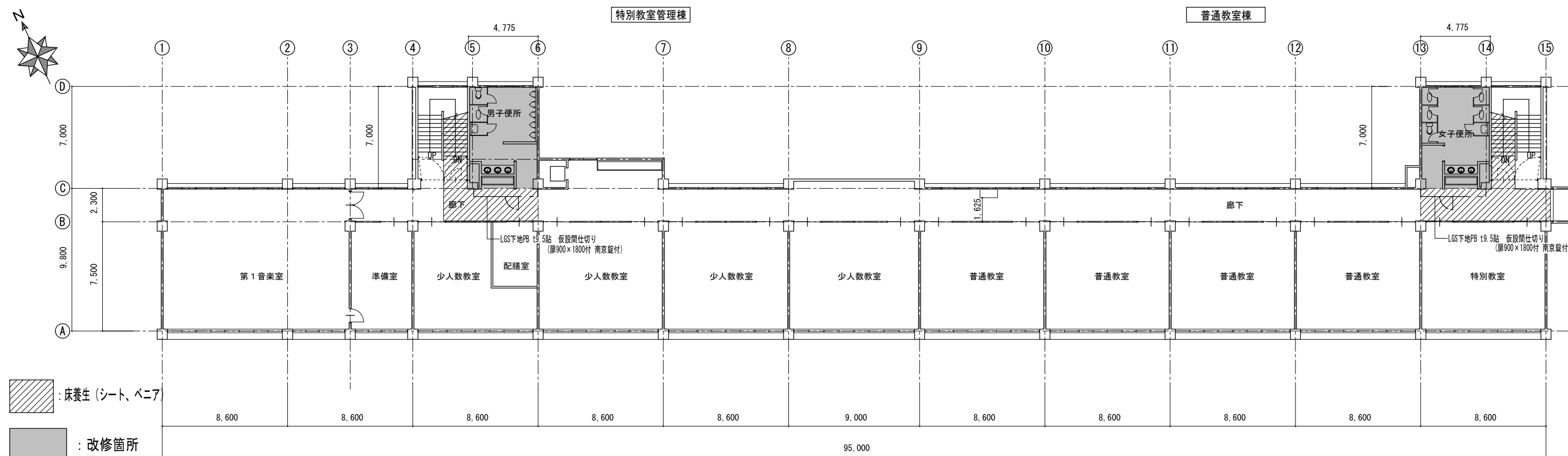
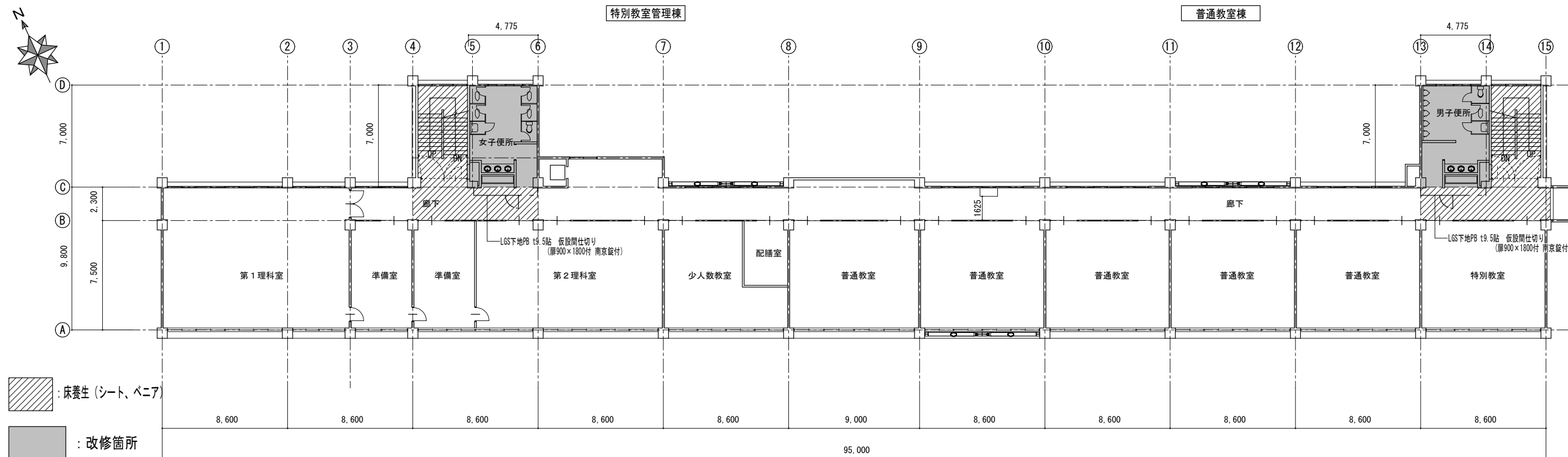
突出しタイプ°

・	・	工事名／Title 津市立西郊中学校便所改修工事	図面種別／Drawing 雑詳細図		Check	No. A-48	合資会社 重企建築事務所 Jyuki Architectural Design Office 一級建築士事務所 三重県知事登録第1－300号 一級建築士国土交通大臣登録第167163号 山田 裕治
・	・						
・	・		縮尺／Scale 原 図：A2	日付／Date			
・	・		1/5, 1/20				

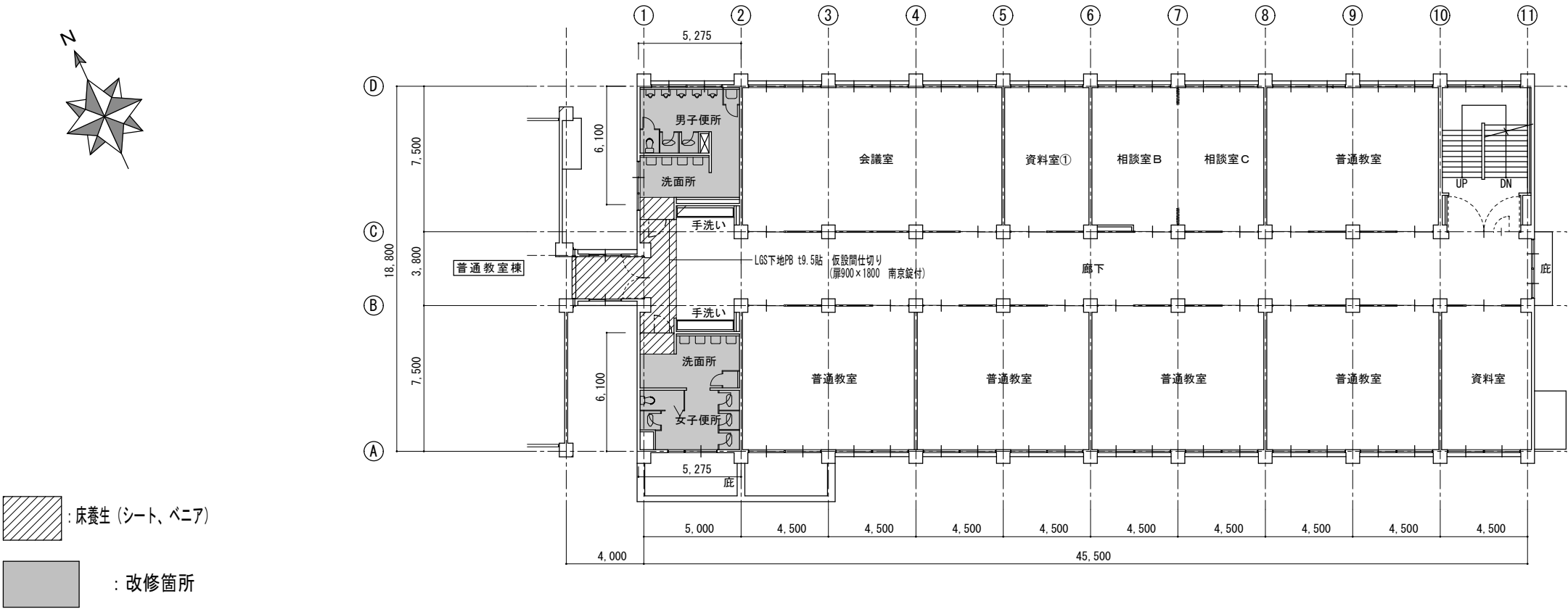
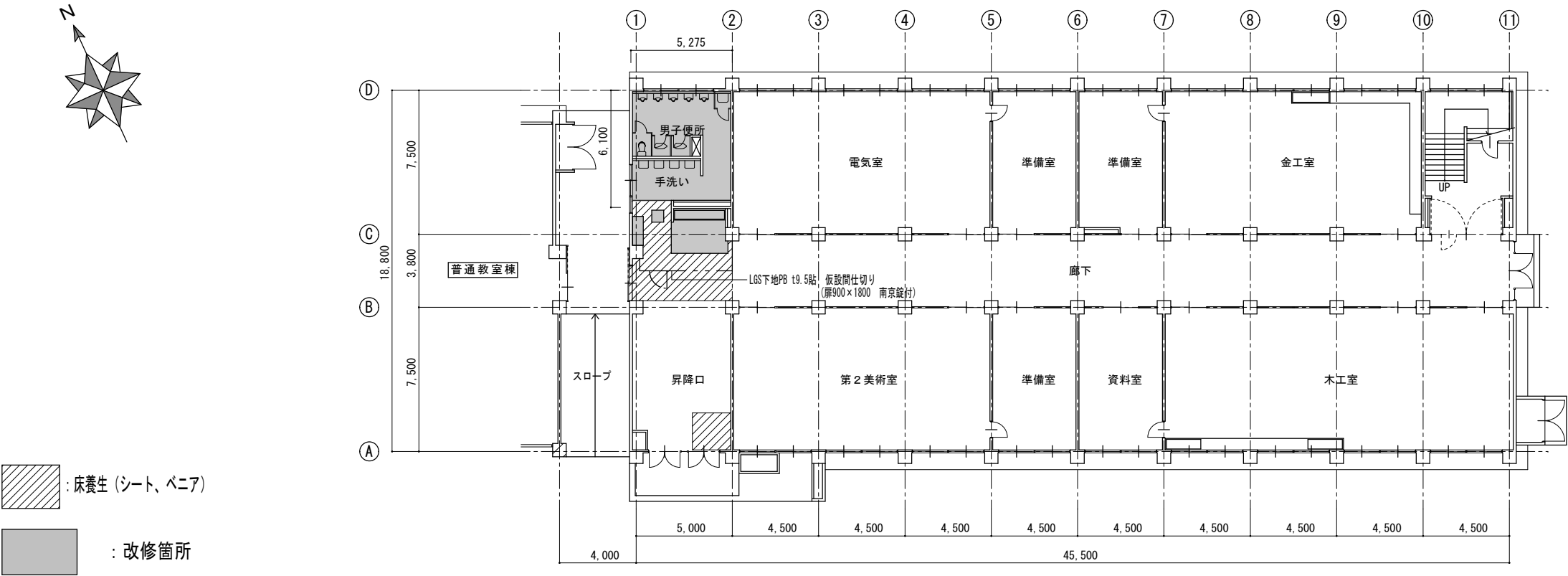


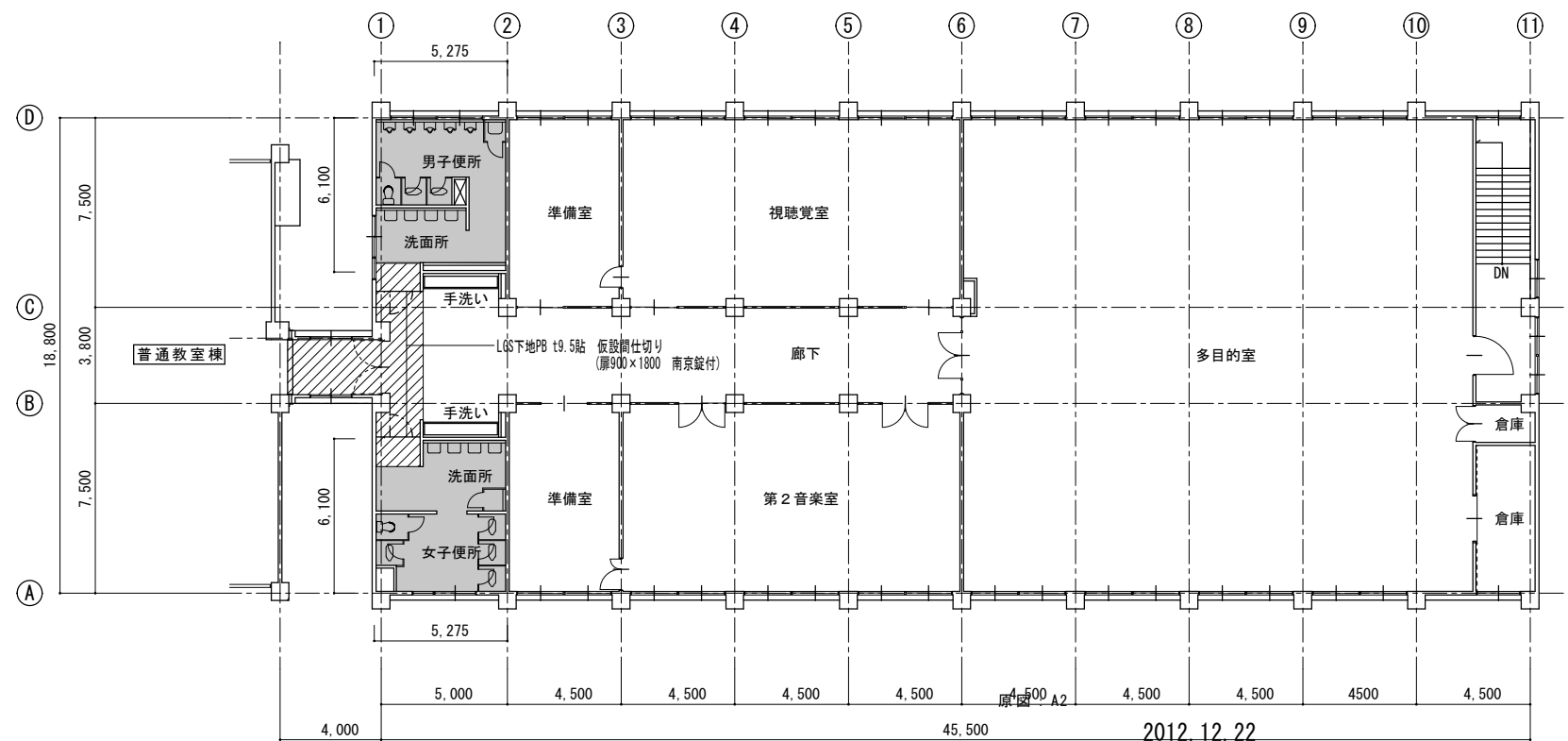
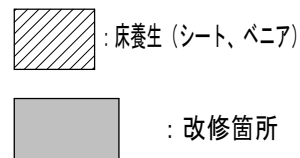
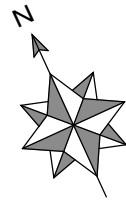
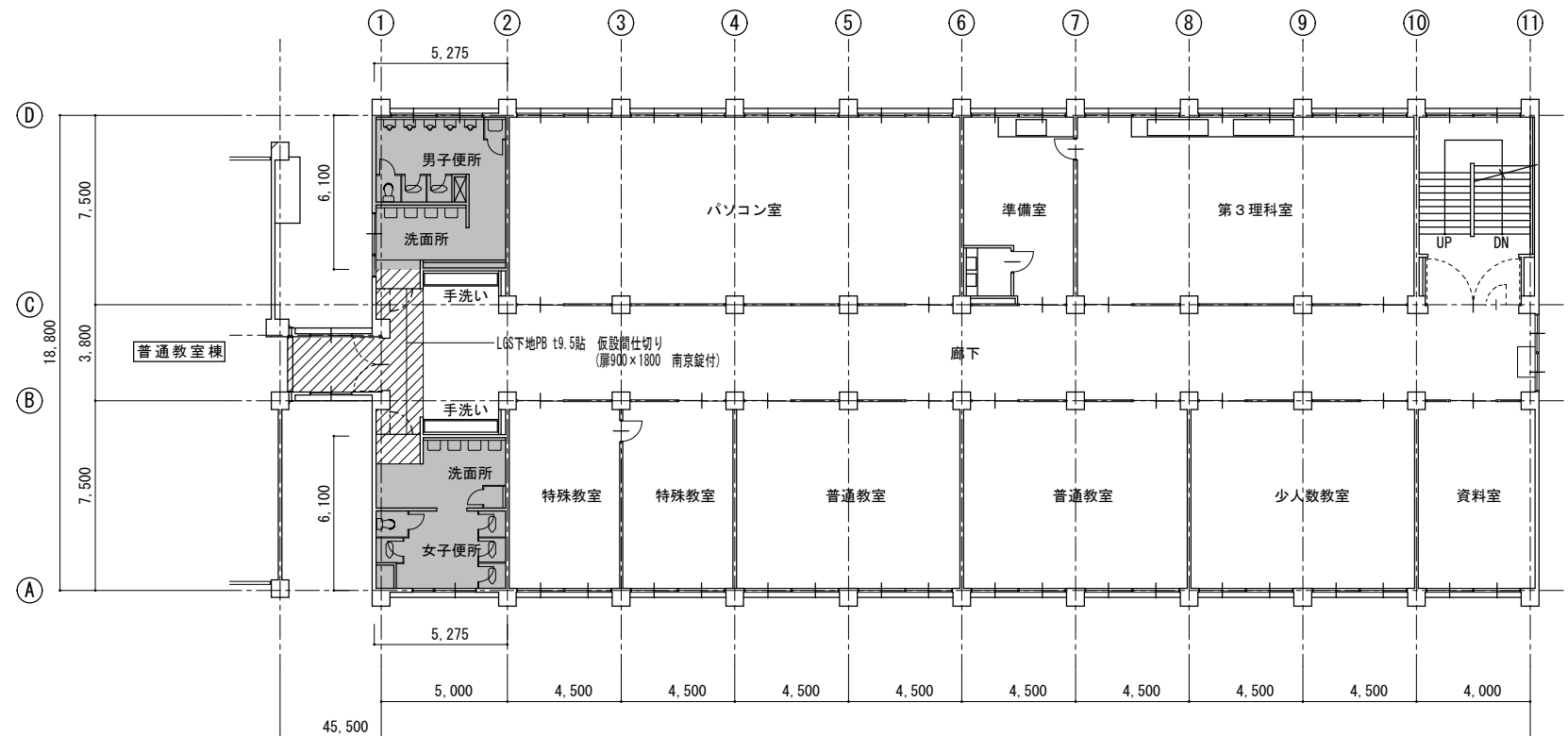
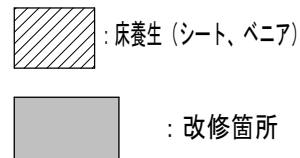
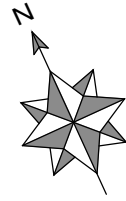


・	工事名／Title 津市立西郊中学校便所改修工事	図面種別／Drawing 普通教室棟・特別教室管理棟 1, 2階仮設計画図		Check	No. A-50	合資会社 重企建築事務所 Jyuki Architectural Design Office 一級建築士事務所 三重県知事登録第1－300号 一級建築士国土交通大臣登録第167163号 山田 裕治
・						
・						
・						
・		縮尺／Scale 原図：A2 1/200	日付／Date			



・	工事名／Title	図面種別／Drawing	Check	No.	<div>合資会社 重企建築事務所</div> <div>Jyuki Architectural Design Office</div> <div>一級建築士事務所 三重県知事登録第1－300号</div> <div>一級建築士国土交通大臣登録第167163号 山田 裕治</div>
・	津市立西郊中学校便所改修工事	普通教室棟・特別教室管理棟 3, 4階仮設計画図		A-51	
・		縮尺／Scale 原図：A2 日付／Date			
・		1/200			





・	・	工事名／Title 津市立西郊中学校便所改修工事	図面種別／Drawing 普通教室・特別教室棟 3, 4階仮設計画図		Check	No. A-53	合資会社 重企建築事務所 Jyuki Architectural Design Office 一級建築士事務所 三重県知事登録第1－300号 一級建築士国土交通大臣登録第167163号 山田 裕治
・	・		縮尺／Scale 原図：A2 日付／Date 1/200				
・	・						
・	・						

電気設備工事特記仕様書

1. 工事概要

1. 工事名称

津市立西郊中学校便所改修工事

2. 工事場所

津市 一色町 地内

3. 建物概要

建 物 概 要	構 造	階 数	延べ面積 (㎡)	用途区分
				消防法施行令別表第一
普通教室棟・特別教室管理棟	R C造	四階		7 項
普通教室・特別教室棟	R C造	四階		7 項
屋内運動場	R C造	平屋		7 項
計				

4. 工事科目

(延べ面積は建築基準法による表記)

工 事 種 目	工 事 場 所		
	普通教室棟・特別教室管理棟	普通教室・特別教室棟	屋内運動場
電力設備	電灯設備	○	○
	動力設備		
	雷保護設備		
	接地設備		
受変電設備			
電力貯蔵設備	直流電源設備		
	交流無停電電源設備		
	電力平準化用蓄電設備		
	分散電源 ¹⁾ (M ² ・V ² ・A ² ・Hz)		
発電設備	ディーゼル発電設備		
	ガスエンジン発電設備		
	ガスタービン発電設備		
	太陽光発電設備		
	風力発電設備		
	その他発電設備		
通信・情報設備	構内情報通信網設備		
	構内交換設備		
	情報表示設備		
	映像・音響設備		
	拡声設備		
	誘導支援設備	○	○
	テレビ共同受信設備		
	テレビ電波障害防除設備		
	監視カメラ設備		
	駐車場管制設備		
	防犯・入退室管理設備		
	自動火災報知設備		○
	自動閉鎖設備		
	非常警報設備		
	ガス漏れ火災警報設備		
	中央監視制御設備		
	医療関係設備		
構内配電線路			
構内通信線路			
その他			

Ⅱ. 共通仕様

1. 適用

図面及び特記仕様書に記載されている事項については下記による。（最新のものを適用）

- ・国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書」（建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編）
- ・国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築設備工事標準仕様書」（電気設備工事編・機械設備工事編）
- ・国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築工事管理指針」「電気設備工事管理指針」「機械設備工事管理指針」
- ・国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築物改修工事標準仕様書」（建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編）
- ・国土交通省国土技術政策総合研究所及び独立行政法人建設研究所以所長「建築設備耐震設計・施工指針」
- ・電気設備に関する技術基準を定める省令（電気設備技術基準）
- ・電気工事業の業務の適正化に関する法律
- ・電気工事業法
- ・労働安全衛生法
- ・消防関係法規（条例・所轄署指導要領を含む。）
- ・電力会社供給約款
- ・その他関連法令、関連諸基準

2. 一般共通事項

下記の該当する項目を適用する。また、特記事項において選択する事項は、●印のついたものを適用する。

項 目	特 記 事 項
1. 一般事項	(1)工事の詳細については、本設計図面及び仕様書による他、上記各施工基準に準拠し監督員指示の下に念かつ慎重に施工すること。 (2)設計図書に定められた内容、現場の検まり、取り合い等の不明な点や施工上の困難・不都合、図面上の誤記及び記載漏れ等起因する問題点及び疑義、設計図書のとおりに施工することと将来不具合が発生しようとする恐れがある場合については、その都度、監督員と協議すること。 なお、設計図書のとおりの施工であつても不具合が 발생한場合は、協議のうえ改善策を講じること。 (3)他工事との適合については予め当該工事関係者間において協議し、円滑な工事進捗に努めること。 なお、調整不足による意匠的な仕上り不備や不具合が発生した場合は、監督員の指示により手直し施工を行うこと。
2. 施工中の安全確保及び環境保全	低騒音型、低振動型の建設機材の使用に努めること。
3. 足場	設置する足場については、「手すり先行工法等に関するガイドライン」（厚生労働省 平成21年4月）により、「敷地のすくい等のある足場に関する基準」に適合する手すり、中んざり幅の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法」に於ける足場の組立て等に相当する基準の①の(2)手すり留置方式又は③手すり先行専用足場方式により行うこと。
4. 三重県産業廃棄物税	本工事は産業廃棄物税相当分が計上されているため、受注者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に三重県産業廃棄物税支払請求書に産業廃棄物税納付証明書を添付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うことができる。 なお、この期間を超えて課税請求することはできない。 また、産業廃棄物処理量集計表（マニュアル）の数値の集計）を超えて課税することはできない。
5. 電気工作物の種類	・一般電気工作物 ●自家用電気工作物 ・事業用電気工作物
6. 電気工事事	電気工事業法の区分により施工するものとし、契約電力が500kVA以上の電気工作物においても、第一種電気工事士により施工するものとする。
7. 有資格者の配置	(1)消防設備の工事に従事するにあたり、当該施設に關する甲種消防設備士の資格を有する者とする。 (2)電気工事、その他電気工資格が必要なものについては、関係法令に基づき有資格者を配属し、施工するものとする。
8. 電気工事業の業務の適正化に関する法律	電気工事の施工場所等については、その見やすい場所に、氏名又は名称、登録番号その他の経済産業省令で定める事項を記載した標識を掲げなければならない。
9. 電気主任技術者と の調整	自家用電気工作物等で電気主任技術者が選任されている施設で工事を行う場合は、電気保安技術者を選任し、電気主任技術者に工事内容の説明を行い、指導を受けるものとする。 また、工事期間中の電気工作物の保安業務も行う。
10. 現場事務所等における下記の取扱いを図書	下記の図書（最新版のもの）を備え付ける。 ① 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書」（建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編） ② 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築設備工事標準図面」（電気設備工事編・機械設備工事編） ③ 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築設備工事標準仕様書」（建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編） ④ 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築工事管理指針」「電気設備工事管理指針」「機械設備工事管理指針」 ⑤ 工事実施の履行方一建築設備図 ⑥ その他、監督員の指示する図書及び工事の遂行計算等に必要図書
11. 施工計画等	受注者は施工に先立ち、次の書類を提出し監督員と打合せを行う。 なお、書類の作成においては、関連する関係者と充分に調整すること。 ① 総合施工計画書 包含工事の場合は、電気設備工事施工計画書として。 ② 工種別施工計画書（施工要綱等） 各種工種ごとで作成し、停電及び搬入計画作成を構成する。 ③ 施工図（フロア図、平面図、断面図、各種機器図） 主要機器、重畳機器、3kg超過吊器具類等については、固定方法、吊り方法等の詳細図を作成し、十分な耐震性能を確認する施工方法を提示すること。 ④ 原価計算書、幹線計算書等 ⑤ 照度分析図、センサ動作範囲図など
12. 品質計画	品質計画については、監督員の承諾を受けると。
13. 測定機器の校正等	試験に使用する計測器類は2年以上の校正証明書（写）又は有効期限内の精度保証書（写）等を提出する。
14. 機器類の能力等	機器類の能力、容量等（電動機出力は除く）は原則として表示された数値以上とする。
15. 工程表	関連業者間にて十分協議し実施工程表、月間工程表を作成して監督員に提出すること。 なお、月間工程表には建設、臨床、高所等の施工確認項目の該当時期を基にする。
16. 写真写真	営繕工事写真撮影履歴（平成28年度）に従い撮影すること。
17. 施工条件	監督員及び関係部局と協議調整し決定すること。 1) 施工可能時間 ・指定なし 一部指定あり（振動・騒音等作業、重機搬入等入退場、停電作業等） ・指定あり 指定日（・施設の休業日）・打ち合わせによる ・その他（ ） 2) 施工可能時間帯 ・指定なし 一部指定あり（振動・騒音等作業、重機搬入等入退場、停電作業等） ・指定あり 指定時間（・（ ）時～（ ）時 ・打ち合わせによる ・その他（ ） 3) 概算工期 ・適用する（工事期日より（ ）日前） ・適用しない（ ） ・その他（ ）
18. 事故の発生時	工事施工中に事故が発生した場合には直ちに監督員へ通報するとともに、所定の様式により工事事故報告書を監督員が指示する期限までに、監督員に提出しなければならない。 なお、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取調査、検証等に協力すること。
19. 建設副産物	(1) 諸費額：償元以上の工事について、再生資源の利用又は建設副産物の排出がある場合、受注者は工事の着手時点で「再生資源利用計画書」（建設資材を搬入する場合）及び「再生資源利用促進計画書」（建設副産物を搬出する場合）を施工計画図面に欄記入し監督員に提出する。 なお、工事完了後又は完了した後に「再生資源利用促進計画書」（建設資材を搬入した場合）及び「再生資源利用促進計画書」（建設副産物を搬出した場合）を作成し、監督員に提出する。 なお、計画書及び実地書の提出とともにJ A C I C が運営する「建築副産物情報交換システム」への入力も併せて行う。 (2) 諸費額：償元以下の工事について、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」に従い、再生資源化等が完了した後には報告書を提出すること。

20. 発生材の処理等	<p>(1) 引き渡しを要するもの</p> <p>(2) 上記以外の引き渡しを要するものについては別途、監督員が指示する。</p> <p>(2) 特別管理産業廃棄物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・変圧器 ・コンデンサ ・その他 <p>現場内の監督員の指定する場所へ保管するものとする。</p> <p>なお施工に際して、P・C・B等特別管理産業廃棄物及び疑わしき機器等が発見した場合は、監督員に報告し対応を協議するものとする。</p> <p>(3) 現場内において再利用を図るもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発生土 ・その他 <p>(4) 再資源化を図るもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンクリート塊 ・アスファルトコンクリート塊 ・建設発生木材 <p>(5) 発注者へ引き渡すものについては「現場発生品調書」を提出すること。</p> <p>また、再利用を図るものについても調査を作成し、監督員へ提出すること。</p> <p>(6) 引き渡しを要しないものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、再生資源の利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令に従い適正に処理し、監督員に報告すること。(「マニュアル」A、B、D、E頁を提示すること。)</p>
21. 官公署への手続き	<p>工事の着工、着工、完成にあたり、関係官公署への必要な届出、手続き等を遅滞なく行う。</p> <p>なお、当該手続きに係る費用は受注者の負担とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●消防設備関係 ●電気工作物関係 ・受電関係 ・通信関係 ・建設工事関係 ・その他
22. 消防法関係の手続き	<p>(1) 消火器具に係る消防用設備等設置届出書の作成</p> <p>本工事・(建築工事・電気設備工事・機械設備工事)・別途工事</p> <p>(2) 防火対象物使用開始届書</p> <p>書類の作成(電気設備図面の作成及び電気設備に関する部分の記入)を行うこと。</p>
23. 工事用仮設物	<p>構内への設置・できる(施設管理者と協議)・できない</p>
24. 工事用電力、水、その他	<p>(1) 本工事に必要な工事用電力、水等の費用は受注者の負担とする。</p> <p>(2) 本工事で新規受電または既設電気回路に接続し、送電した時から工事の範囲の電力料金も本工事に含まれる。</p> <p>また、本受電後、引渡しまでの電気主任技術者の設定及びこれに伴う費用負担も本工事に含まれる。</p>
25. 工事中等の保安管理	<p>新築、増築等で自家用電気工作物の範囲が変更になった場合、工事者手から引渡しまでの電気保安管理等にかかる費用は本工事に含まれる。</p>
26. 搬入計画	<p>大型機器、重置物等の搬入前に、搬入経路の有効寸法(厚、天井高さ、搬入経路上の曲がり等)、障害物(足場等)、養生方法、運送車両、吊運機械、搬入機械の種類、台数及び数量、雨天の場合の知照、受入検査の方法等を記載し監督員に提出する。</p>
27. 製品確認	<p>発注者及び受注者の協議により仕様を決定し、製作するような規格品でない製品並びに監督員が指定する製品については、試験及び検査等を行う機器が整備された施設内において、監督員等が製品の確認をするものとする。</p>
28. 機材等の検査及び試験	<p>検査及び試験を行うべき機材等は、設計図書によるほか、監督員の指示による。</p>
29. 完成確認及び完成検査時の電源確保	<p>機器の動作確認、電圧、極性、相回転等確認できるように電源を確保すること。</p>
30. 完成時の操作説明	<p>タイマ、総合盤、動力盤等操作の必要な機器については、使用前開始に操作説明を行うものとする。</p> <p>また、必要に応じて操作説明書、操作注意事項書を作成し、機側に備えるものとする。</p>
31. 不正経油の使用の禁止	<p>市工事の施工に当たり、工事現場で使用し、又は使用させる車両(資機材の搬入車両を含む。)並びに建設現場等の燃料として、不正経油(地方税法第144条の32(製造等の承認を受ける義務等)の規定に違反する燃料をいう。)を使用してはならない。</p> <p>受注者は、市が使用燃料の採油調査を行う場合には、その調査に協力しなければならない。また、受注者は下請業者等に間接油に協力するよう管理及び監督しなければならない。</p> <p>受注者は、不正経油の使用が判明した場合は、速やかに是正措置を講じなければならない。また、受注者は下請業者等に不正経油の使用が判明した場合は速やかに是正措置を講じよう管理及び監督しなければならない。</p>
32. 社会保険等未加入対策	<p>(1) 適用除外でないにも関わらず社会保険等が未加入である建設業者を下請契約(受注者が直接締結する請負契約に限る。)の相手方としてはならない。</p> <p>(2) 下請契約に先立って、選定の候補となる業者について社会保険等の加入状況を確認し、適用除外でないにも関わらず社会保険等が未加入である場合には、早期に加入手続きを進めるよう指導を行うこと。</p> <p>(3) 受注者は、施工体制整備・再下請通知書の「健康保険等の加入状況」欄により下請業者が社会保険等に加入しているかどうかを確認すること。また、発注者が加入状況を証明する書類の提出又は提示を求めた場合、速やかに対応すること。</p>
33. その他	<p>設計図書に定められていない事項は監督員に報告し、指示を受けるものとする。</p>

2. 施工仕様

下記の該当する項目を適用する。また、特記事項において選択する事項は、●印のついたものを適用する。

項 目	特 記 事 項																																																														
1. 既設設備等の調査	<p>既設設備等の改修を含む場合、他の設備、施設運営に影響をきたさないよう、現地工事着工前に十分な調査を行うこと。</p> <p>(1) 地下埋設管路</p> <p>① 項 目 ・埋設配管 ・構造物 ・その他 ()</p> <p>② 調査範囲 ・埋設ルート ・その他 ()</p> <p>(2) 真直及びびつくり</p> <p>① 項 目 ●筋筋 ●配管 ・その他 ()</p> <p>② 調査範囲 ●施工部分 ・その他 ()</p> <p>(3) 既設との取合い</p> <p>① 項 目 ●接続箇所 ●増設箇所 ・その他 ()</p> <p>② 調査範囲 ●施工部分 ・その他 ()</p>																																																														
2. 施工前の測定等	改修工事にあたっては、工事範囲の既設機器の動作確認及び絶縁測定等を着工前に行い、監督員に報告すること。																																																														
3. 耐震施工	(1) 想定される地震に対応するものとする。 (2) 耐震計算書を監督員に提出するものとする。																																																														
4. 耐震基準	<p>(1) 適用 耐震措置の計算及び施工方法は、最新の「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説」（建設大臣官庁官庁常務総監監修）及び「建築物耐震設計・施工指針」（独立行政法人建築研究所監修）による。</p> <p>(2) 設計用水平地震力 機器の重量に、設計用水平地震を乗じたものとする。 なお、特記なき場合、設計用水平地震は次による。 設計用標準水平地震度(Ks)</p>																																																														
	<table><tr><th rowspan="3">設 置 場 所</th><th rowspan="3">機器種別</th><th colspan="4">耐震安全性の分類</th></tr><tr><th colspan="2">● 特定の施設</th><th colspan="2">一般の施設</th></tr><tr><th>重要機器</th><th>一般機器</th><th>重要機器</th><th>一般機器</th></tr><tr><td rowspan="3">上層階、屋上及び塔屋</td><td>機器</td><td>2. 0</td><td>1. 5</td><td>1. 5</td><td>1. 0</td></tr><tr><td>防振支持の機器</td><td>2. 0</td><td>2. 0</td><td>2. 0</td><td>1. 5</td></tr><tr><td>水槽類</td><td>2. 0</td><td>1. 5</td><td>1. 5</td><td>1. 0</td></tr><tr><td rowspan="3">中間階</td><td>機器</td><td>1. 5</td><td>1. 0</td><td>1. 0</td><td>0. 6</td></tr><tr><td>防振支持の機器</td><td>1. 5</td><td>1. 5</td><td>1. 5</td><td>1. 0</td></tr><tr><td>水槽類</td><td>1. 5</td><td>1. 0</td><td>1. 0</td><td>0. 6</td></tr><tr><td rowspan="3">1階及び地下階</td><td>機器</td><td>1. 0</td><td>0. 6</td><td>0. 6</td><td>0. 4</td></tr><tr><td>防振支持の機器</td><td>1. 0</td><td>1. 0</td><td>1. 0</td><td>0. 6</td></tr><tr><td>水槽類</td><td>1. 5</td><td>1. 0</td><td>1. 0</td><td>0. 6</td></tr></table>	設 置 場 所	機器種別	耐震安全性の分類				● 特定の施設		一般の施設		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器	上層階、屋上及び塔屋	機器	2. 0	1. 5	1. 5	1. 0	防振支持の機器	2. 0	2. 0	2. 0	1. 5	水槽類	2. 0	1. 5	1. 5	1. 0	中間階	機器	1. 5	1. 0	1. 0	0. 6	防振支持の機器	1. 5	1. 5	1. 5	1. 0	水槽類	1. 5	1. 0	1. 0	0. 6	1階及び地下階	機器	1. 0	0. 6	0. 6	0. 4	防振支持の機器	1. 0	1. 0	1. 0	0. 6	水槽類	1. 5	1. 0	1. 0	0. 6
設 置 場 所	機器種別			耐震安全性の分類																																																											
				● 特定の施設		一般の施設																																																									
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器																																																										
上層階、屋上及び塔屋	機器	2. 0	1. 5	1. 5	1. 0																																																										
	防振支持の機器	2. 0	2. 0	2. 0	1. 5																																																										
	水槽類	2. 0	1. 5	1. 5	1. 0																																																										
中間階	機器	1. 5	1. 0	1. 0	0. 6																																																										
	防振支持の機器	1. 5	1. 5	1. 5	1. 0																																																										
	水槽類	1. 5	1. 0	1. 0	0. 6																																																										
1階及び地下階	機器	1. 0	0. 6	0. 6	0. 4																																																										
	防振支持の機器	1. 0	1. 0	1. 0	0. 6																																																										
	水槽類	1. 5	1. 0	1. 0	0. 6																																																										
5. はつり	(1) 穴開け及び補修 ・なし ●あり (2) 張り及び補修 ・なし ・あり																																																														
6. あと施工アンカー	性能確認試験及び施工確認試験 ・行う ・行わない																																																														
7. 基礎の配筋ビット	性能確認試験及び施工確認試験 ・行う ・行わない																																																														
8. 配管・配線の耐震処置	建築物引込部の配管の耐震処置 ・行う ・行わない 建築物のエキスパンションジョイント部の配線の耐震処置 ●行う ・行わない																																																														
9. 最上階の埋込配管	最上階のコンクリート屋根スラブへの埋込配管は、原則として行わない。																																																														
10. 露出配管	(1) 雨漏れなど水気のある場所に施設する場合は、U字配管を行わない。 (2) 壁面配管でか容易に触れるおそれのある部分（2m以下）の配管には、突起のない支持金物又は保護カバーを使用する。 (3) 通路部分では配管を覆い、天井配管の場合は原則2.1m以上とする。 (4) 監督員の指示がある場合は、上記に示わらずその指示に従う。																																																														
11. 合成樹脂管	(1) 合成樹脂管の管端には、プッシングを取り付ける。 (2) 原則として屋外の露出には使用しない。（P管）																																																														
12. 金属製電線管等の塗装	(1) 露出配管、露出ボックス、鋼製ボックス等のうち下記の部分には、塗装を施す。 ① 屋外、屋内（電気室、機械室、E.P.R.、浴室、廊下）その他建築基準上必要な箇所。 ② 図面に特記なき場合は、溶融亜鉛メッキ処理されたボルト及びナットは塗装しなくてもよい。ただし、図面に指示がある場合はその指示に従う。 ③ 湿気、水気のある場所及びコンクリート埋込みの金属製位置ボックスの内部には絶縁性防錆塗料を十分に塗布すること。（監督員が指示した場合は除く。） ④ 吊り金具等の金具塗装は原則として必要塗装を施すこと。 (2) 塗装はエッチングプライマー1種の下地処理のうえ、監督員の指定する色にて調査ペイント2回塗りとする。ただし、指定場所及びミダの他建築意匠上、必要な箇所の露出ボックスは指定色塗付塗装とする。																																																														
13. 導入線	通線を行わない配管及び配線引き抜き後に空となった配管には、導入線（φ1.2mm以上の樹脂被覆鉄線等）を導入する。ただし、長さ1m以下の部分は省略することができる。																																																														
14. ボックス類	位置ボックス及びジョイントボックス類は、図面に特記なき場合、原則として金属製とする。																																																														
15. 経年間仕切のボックス	経年間仕切に位置ボックスを固定する場合は、ボルト等により堅固に固定する。																																																														
16. プルボックス	(1) 屋外形及び特別に製作された特殊形状又は大きいもの（一辺が600mm以上のもの）は、製作図を提出すること。 (2) 屋外形プルボックスと露出配管等の接続部は、カップリング溶接等による。ただし、既設プルボックスに接続する場合は防水パテ等でシーリングを行う。 (3) 屋外形プルボックスはボックス内に支持ボルトが突出しない構造とし、取付部にはコキングを行う。																																																														
17. ボルト・ナット類	屋外に使用する支持金物及びボルト、ナット類で特記のないものはステンレス・溶融亜鉛メッキ仕上げ																																																														
18. ケーブル及び配線	(1) 表示 下記の箇所で、ケーブル等に行き先等表示札（ケーブル種別及びサイズ、行き先、用途等を表示。）を取り付ける。 ① ケーブル分岐部分 ② プルボックス内 ③ マンホール及びハンドホールごと (2) ケーブル余長 ① 地中埋設の場合、マンホール、ハンドホール内でケーブル余長を見込む箇所数 ・ 2箇所 ・ 4箇所 ・ () 箇所 ② 架空埋設の場合、電柱上でケーブル余長を見込む箇所数 ・ 2箇所 ・ 4箇所 ・ () 箇所																																																														
19. 高圧ケーブル端末処理	高圧ケーブルの端末処理部、直結接続部等に処理者銘板（屋内外共、線名、作業日、氏名等を表示。）を取り付ける。																																																														



・	工事名／Title	図面種別／Drawing		Check	No. E-01	合資会社 重企建築事務所 Jyuki Architectural Design Office 一級建築士事務所 三重県知事登録第1－300号 一級建築士国土交通大臣登録第167163号 山田 裕治
・	津市立西郊中学校便所改修工事	電気設備工事特記仕様書 1				
・		縮尺／Scale	日付／Date			
・		S = N S				

20. 配線器具の設置	(1)特殊コンセントはプラグ付とする。 (2)電源の種類により色を区別する。 (3)配線器具を取り付ける場所が金属の場合は、絶縁棒を使用する。 (4)プレートは、図面に特記なき場合、新金属製とする。 (5)カバープレートは、原則として新金属製とする。 なお、器具を実装しない位置ボックスには閉鎖表示をすること。 (6)フロアプレートは、水平高低調整型（空転防止リング付）とする。	3. 機器仕様 下記の該当する項目を適用する。また、特記事項において選択する事項は、●印のついたものを適用する。 なお、詳細については、図面による。
21. 照明器具の設置	(1)コードペンダント以外の放電灯及び水気のある場所の器具は接地する。なお、金属配管の場合は、配管を利用してよい。（乾燥した場所のコンパクト形器具（27W以下）を除く。） (2)接地線は電灯配線と同一太さのケーブルの1芯（緑色）を使用する。ただし、監督員の指示により1.6mmの絶縁電線（緑線）を添えることもできる。 (3)照明器具を設置する前に、照度分布図を作成し監督員の承認を得ること。 (4)照明器具取付完了後、照度測定を行う。照度計は一般形A A級とする。 (5)天井・床材より支持をする場合は、ワイヤ等により脱落防止の措置を行う。 (6)パイル吊りの照明器具は振れ止めを施工する。	【電力設備】 1. 電灯設備 (1)既設等との取り扱い (2)機器類 (3)一般照明器具 (4)照明制御装置 (5)外灯（単独設置） (6)コンセント等 (7)分電盤、制御盤等
22. 照明改修の際の測定	対象室の改修前後の照度及び回路電流値の測定を次のとおり行うこと。 測定箇所（ ） 測定回数（ ）回	
23. 分電盤、制御盤、キュービクル等	(1)図面ホルダー内には、完成図及び回路の行き先がわかる図面を備える。 また、既設分電盤・制御盤等を改造した場合は、図面を修正するものとする。 (2)屋外キュービネットで露出配管をボックスに接続する場合は、カップリングを溶接等行い接続部から雨水等が浸入しない方法とする。ただし、既設ボックスに接続する場合はロックナットとボックスの間にゴムパッキン等を取付け、接続部からの雨水等が浸入しないようにする。	
24. 受変電設備、発電設備の設置場所	(1)保守点検、防火上有効な空間、維持管理の空間を考慮する。 (2)基礎の高さは周囲の状況を考慮する。 (3)電気室には水害、蒸気管、ガス管、ダクト等を通過させない。	
25. 発電設備の燃料配管	(1)フレキシブルジョイント取付位置は、施工前に所轄の消防署と十分に打合せを行う。 (2)配管の接続は、機器の取外し又は保守点検を考慮し施工する。	
26. 電流関係の計算及び測定	(1)計算書の提出 電流関係測定結果による計算書提出 ・施工前 ・船体上がり時 ・その他（ ） (2)測定の実施 ①項目 全受電チャンネルの電界強度、受電面質、等価C／N、ビット誤り率の測定及び映像写真の撮影を行う。 ②測定時期 ・施工前 ・船体上がり時 ・施工後 ・その他（ ） ③報告書提出部数 ・2部 ・（ ）部	
27. 土工事	(1)埋戻しの材料及び工法 ・B種（材料：根切り土の中の良質土 / 工法：機器による締め固め） ・その他（ ） ただし、配管周りの埋戻し材料は山砂とする。 (2)特記なき地中埋設配管の深さは、G L－600mm以上とする。 (3)根切りの種類は、マンホール、ハンドホール、屋外受変電設備及び自家発電装置の基礎等は総掘り、埋設管路等は布張り、外灯基礎、電柱等はつば掘りとする。 (4)機械掘削は根切り底を乱さないようにする。	
28. ハンドホール、マンホール	1) 地中線路及びハンドホール等沈下が考慮される場合は、沈下対策を施す。 2) 地耐力は、建築基準法施行令第93条の短期強度とする。 ① 衝撃係数は、設置場所に応じた衝撃係数とする。 3) 高さ900mmを超えるものにあてはは、タラップ付とする。 なお、タラップの取付は450mm間隔以内とし、原則として接地を施すこと。	2. 動力設備 (1)既設との取り扱い (2)機器類 (3)負荷設備 (4)負荷設備への接続 (5)電動機等の接地 (6)電動機等の力率の改善 (7)保護継電器 (8)分電盤、制御盤等
29. 地中配線路の表示杭	下記の箇所に、地中配線路の表示杭を設置する。 ① 建物への引込口及び送出口付近 ② マンホール・ハンドホール付近 ③ 地中線路の曲折箇所 ④ 道路横断箇所 ⑤ 直線部分では30m程度に1個	3. 雷保護設備 (1)避雷針 (2)雷サージ保護 (3)電源回路の保護 (4)通信回路の保護 (5)接地設備 (1)接地工事 (2)接地抵抗の測定 (3)接地極埋設機 【受変電設備】 5. 受変電設備 (1)既設との取り扱い (2)機器類 (3)盤類 (4)交流遮断器
		1) 鉄板には、公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）に定める事項に加えて、施工年月、受注者名、施工者名を記載する。 2) 図面ホルダーは、A4サイズ以上（キャビネットのサイズ等により取付けできない場合を除く。）とする。 3) 表示ラップ等がある場合は、ラップネストボタンを取付ける。 4) 接地用端子又は接地線用銅帯は点検のしやすい場所に設ける。 5) 絶縁抵抗測定用接地端子は壁内の作業のしやすい場所に設ける。 6) 配線用遮断器の定格電流は、予備を含めた負荷電流以上とし、定格遮断容量は、系統に流れる短絡電流の値以上とする。 7) 電流計は指針計付（定格電流指示）とする。 1) 受電部 ・変計 ・棒上導体 ・芯木等の別途施工物 2) 避雷導線 ・引下げ導線 ・建築構造体利用 ・測定用補助接地極 3) 接地極 ・接地極埋設 ・建築構造体利用 ・測定用補助接地極 4) 接地抵抗の測定 ① 測定方法 ・電位差計方式 ・電圧降下法 ② 測定回数 ・3回 ・（ ）回 5) 接地極埋設機を設置する。 1) 耐雷トランス ・設置（・単相用） ・設置しない 2) SPD ・低圧用（・クラスⅠ・クラスⅡ） ・通信用（・カテゴリC2 ・カテゴリD1） 3) 低圧用SPDクラスⅠの性能 別図による 4) 通信用SPDカテゴリD1の性能 別図による 1) 低圧用SPDに使用する配線用遮断器は警報接点付とする。 2) 主幹機器の2次側に設ける場合の配線用遮断器は、定格遮断容量5kA以上とする。 電話回線、制御回線などの通信回線に侵入するおそれがある場合は、雷サージから機器を保護するため通信用SPDを設置する。 1) 種類 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 2) 施工 ・各種単独 ・共用有り（ ） 1) 測定方法 ・電位差計方式 ・電圧降下法 2) 測定回数 ・3回 ・（ ）回 測定には接地極埋設機を施工し、接地極の位置がわかるようにする。 【受変電設備】 5. 受変電設備 (1)既設との取り扱い (2)機器類 (3)盤類 (4)交流遮断器 真空遮断器（VCB） ① 操作方式 ・手動ばね操作 ・電動ばね操作 ② 引外し方式 ・手動引外し ・コンデンサ引外し ・電磁操作 ・直流電圧引外し
		(5)断路器 (6)負荷開閉器 (7)変圧器 (8)進相コンデンサ (9)直列リアクトル（進相コンデンサ用） (10)設備不平衡 (11)キュービクル等 (12)基礎 (13)配線ビット及び垂 (14)設置場所 【電力貯蔵設備】 6. 直流発電設備 (1)用途 (2)容量 (3)整流装置 (4)蓄電池 7. 交流無停電電源設備 (1)用途 (2)容量 (3)給電方式 (4)整流装置等 (5)蓄電池 (6)性能 8. 電力平準化用蓄電設備 (1)用途 (2)機能 (3)蓄電池 (4)性能 9. 分散電源 【発電設備】 10. 燃料系発電設備 (1)用途 (2)区分 (3)設置場所 (4)燃料供給 (5)燃料槽 (6)燃料槽 (7)給油ボックス (8)燃料移送ポンプ (9)基礎
		1) 形式 ・3極単投 ・遠方手動操作 2) 操作方式 ・配電盤用 ・引込柱用 ・地中引込用 ・フック棒操作 ・遠方手動操作 ・電動操作 3) 引込柱用 ① 操作方式 ・有（ストライカ付） ・無 ② 引外し装置 ・ストライカ引外し ・電圧引外し ・無 ③ 本体及び制御部の材質 ・ステンレス製 ・鋼製 ④ 保護装置 ・過電流警報トリップ付地絡方向継電器とし、制御電源用変圧器内蔵とする ⑤ 遮断器 ・内蔵 ・無 4) 地中引込用 保護装置は、過電流警報トリップ付地絡方向継電器とし、制御電源用変圧器内蔵とする 1) 形式 ・油入 ・モールド 2) 設置方式 ・屋外型 ・屋内型 3) タイプ温度計 ・有（・最大値指針 有 ・最大値指針 無） ・無 油入500kVA以上、モールド150kVA以上の場合必須とする 1) 絶縁方式 ・油入 ・モールド 2) その他 ① 内部異常を検知して動作する保護接点を設けること ② 放電装置を附属又は内蔵すること 1) 絶縁方式 ・油入 ・モールド 2) 容量 ・6％ ・1.3％ 3) その他 内部異常を検知して動作する警報接点を設けること 高圧受電の三相3線式における不平衡の制限は、設備不平衡率が3.0%以下となるようにする。 1) 鉄板には、公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）に定める事項に加えて、施工年月、受注者名、施工者名を記載する。 2) 図面ホルダーは、A4サイズ以上（キャビネットのサイズ等により取付けできない場合を除く。）とする。 3) 表示ラップ等がある場合は、ラップネストボタンを取付ける。 4) 接地用端子又は接地線用銅帯は点検のしやすい場所に設ける。 5) 絶縁抵抗測定用接地端子は壁内の作業のしやすい場所に設ける。 6) 配線用遮断器の定格電流は、予備を含めた負荷電流以上とし、定格遮断容量は、系統に流れる短絡電流の値以上とする。 1) 出力電圧 ・直流（・12V ・24V ・48V ・（ ）V） 2) 整流装置は、蓄電池を充電するための電流並びに監視及び制御等で消費される電流を考慮して選定する。 1) 種類 ・鉛蓄電池（・HS ・MSE ・長寿命形MSE） ・アルカリ蓄電池（・AH ・AMH） ・その他（ ） 2) 最低蓄電池温度 ・5℃ ・15℃ ・25℃ ・－5℃ ・（ ）℃ 停電補償時間（ ） 1) 種類 ・リチウム二次電池 ・鉛蓄電池 ・ニッケル水素蓄電池 2) 容量 （ ）kVA 3) 期待寿命 （ ）年 4) 放電時間 （ ）時間 5) 放電電圧 （ ）V 6) 補償機能 ・製造者標準 ・その他（ ） 1) 交流入出力電気方式 ・三相3線式（・200V ・（ ）V） ・単相3線式（200/100V） ・単相2線式（・200V ・100V ・（ ）V） 2) 自立運転 ・する ・しない 3) 系統連系 ・する ・しない 遠方監視用接点 ・設けない ・設ける（詳細は別図による） 移動用の遠方監視用接点の搭載を必須とする。 仕様詳細は別図による。 1) 用途 ・防災電源専用（防災認定品） ・防災電源兼用（防災認定品） ・一般用 2) 区分 ・屋内 ・屋外（・普通地域 ・塩害地域） 3) 燃料供給 ・燃料槽 ・給油ボックス ・燃料移送ポンプ ・その他（ ） (4) 発電装置 1) 種類 ・ディーゼル発電装置 ・ガスエンジン発電装置 ・ガスタービン発電装置 2) 形式 ・簡易形 ・オープン式 ・キュービクル式（・85dB(A)/1m ・75dB(A)/1m） 3) 始動時間（停電検出後） ・10秒以内 ・40秒以内 ・（ ）秒以内 4) 連続運転時間 ・2時間以上 ・10時間以上 ・24時間以上 ・72時間以上 ・その他（ ） 5) 発電機 ① 電気方式 ・三相3線式（・6.6kV ・200V ・（ ）V） ・単相3線式（200/100V） ・単相2線式（・200V ・100V ・（ ）V） ② 定格周波数 ・60Hz ③ 定格出力 ・（ ）kW以上 ・（ ）ps以上 ④ 冷却方式 ・ラジエータ方式 ・冷却水循環式 ・その他（ ） 1) 種類 ・軽油 ・灯油 ・A重油 ・その他（ ） 2) 引渡時燃料 ・満タン ・指定なし ・その他（ ） 1) 形式及び容量 ・パッケージ搭載タンク（・リットル） ・リットル ・主燃料槽（・リットル） ・燃料小出槽（・リットル） ・副燃料槽（・リットル） 2) 燃料小出槽 ・屋外型（・ステンレス製 ・鋼製） ・屋内型（・ステンレス製 ・鋼製） 3) 主燃料槽 ① 設置場所 ・屋内 ・屋外（地上） ・地下埋設（・タンク室内埋設 ・直埋設） ② 形式 ・二重殻タンク ・三重殻タンク ・その他（ ） ③ 設置工事 ・本工事 ・別途工事 ・その他（ ） ④ タンク室工事 ・本工事 ・別途工事 ・既設利用 ・その他（ ） 1) 材質 ・ステンレス製 ・鋼製 ・その他（ ） 2) 油量指示計 ・有 ・無 (8) 燃料移送ポンプ 1) 電動ポンプ ・歯車ポンプ ・油中ポンプ 2) 手動ポンプ（ウィングポンプ） ・有 ・無 3) 電動ポンプ水没防止カバー ・有 ・無 (9) 基礎 ・本工事（・2.1N/mm2 ・1.8N/mm2） ・別途工事 ・既設利用 ・その他（ ）
11. 太陽発電設備	(1)機器 (2)太陽電池アレイ (3)パワーコンディショナ及び系統連系保護装置 (4)情報処理装置 (5)仕様詳細	・太陽電池アレイ ・パワーコンディショナ ・系統連系保護装置 ・接続箱 ・情報処理装置 ・その他（ ） 1) 発電能力 ・公称出力（ ）kW 2) 架台は、JIS C 8955「太陽電池アレイ用支持設計標準」による。 1) 出力電気方式 ・三相3線式（・200V ・（ ）V） ・単相3線式（200/100V） ・単相2線式（・200V ・100V ・（ ）V） 2) 定格周波数 ・60Hz 3) 設置場所 ・屋内 ・屋外 ・その他（ ） 4) 設置方式 ・壁掛型 ・自立型 ・その他（ ） 5) 機能 ・系統連系（・高圧連系 ・みなし低圧連系 ・低圧連系） ・自立運転 ・その他（ ） 6) 系統連系技術要件は、関係法令や技術基準等を遵守し、電気事業者と十分協議する。 1) 装置 ・データ処理装置 ・データ表示装置 ・気温計 ・日射計 ・その他（ ） 2) 記録作成 ・日報 ・月報 ・年報 仕様詳細は「太陽発電設備特記仕様書」による。
12. 風力発電設備	(1)機器 (2)風車発電装置 (3)制御盤 (4)支持構造物 (5)情報処理装置 (6)仕様詳細	・風車発電装置 ・制御装置 ・系統連系保護装置 ・支持構造物 ・情報処理装置 ・その他（ ） 発電能力 定格出力（ ）kW (3) 制御盤 1) 出力電気方式 ・三相3線式（・200V ・（ ）V） ・単相3線式（200/100V） ・単相2線式（・200V ・100V ・（ ）V） 2) 定格周波数 ・60Hz 3) 設置場所 ・屋内 ・屋外 ・その他（ ） 4) 設置方式 ・壁掛型 ・自立型 ・その他（ ） 5) 機能 ・系統連系（・高圧連系 ・みなし低圧連系 ・低圧連系） ・自立運転 ・その他（ ） 6) 系統連系技術要件は、関係法令や技術基準等を遵守し、電気事業者と十分協議する。 自重、積載荷重、積雪、振動、衝撃等に対し、安全が確保されたものとする。 1) 装置 ・データ処理装置 ・データ表示装置 ・風速計 ・風向計 ・気温計 ・その他（ ） 2) 記録作成 ・日報 ・月報 ・年報 仕様詳細は「風力発電設備特記仕様書」による。
13. その他発電設備	（ ）の仕様詳細は別図による。	
【通信・情報設備】 14. 構内情報通信設備	(1)インターフェース (2)機器 (3)ケーブル (4)アウトレット	1) LAN ・1000BASE-T ・無線LAN（ ） ・その他（ ） 2) WAN （ ） ・スイッチ ・ルータ ・メディアコンバータ ・ファイアウォール ・時刻同期装置 ・ネットワーク管理装置 ・機器収納ラック ・アウトレット ・その他（ ） 各機器の仕様詳細は別図による。 1) 幹線系 ・UTP ・光ファイバ ・その他（ ） 2) 支線系 ・UTP ・光ファイバ ・その他（ ） 3) フロー系 ・UTP ・その他（ ） ・ローテーションアウトレット（・固定型 ・上下動型（アプス付を含む）） ・壁コンセント ・その他（ ）
15. 構内交換設備	(1)機器 (2)交換装置 (3)電話機 (4)端子盤類 (5)アウトレット	・交換装置 ・電話機 ・端子盤類 ・アウトレット ・その他（ ） 1) 種類 ・構内交換装置（・デジタルPBX ・IP-PBX ・VoIPサーバ） ・ボタン電話装置 ・その他（ ） 2) 局線応答方式 ・局線中継台方式 ・分散中継台方式 ・ダイヤルイン方式 ・ダイレクトインダイヤル方式 ・ダイレクトインライン方式 ・その他（ ） 3) 保安用接地 ・本工事 ・別途工事 ・既設利用 ・その他（ ） 4) 本配電盤（MDF） ・自立フレーム（・片面形 ・両面形） ・交換機一体型 ・壁掛型 ・その他（ ） 5) 電源装置 ① 形式 ・別置型 ・一体形 ・その他（ ） ② 停電補償時間 ・30分以上 ・（ ）以上 1) 一般電話機 ・多機能電話機 ・IP電話機 ・デジタルコードレス電話機（PHS方式） ・IPコードレス電話機（無線LAN方式） ・その他（ ） 1) 端子盤 ・中継端子盤（IDF） ・室内端子盤 2) 中継端子盤には実装数の2.0%以上、室内端子盤には10P以上の接続端子スペースを見込む。 ・ローテーションアウトレット（・固定型 ・上下動型（アプス付を含む）） ・壁コンセント ・その他（ ）
16. 情報表示設備	(1)設備 (2)マルチサイン装置	・マルチサイン装置 ・出退表示装置 ・時刻表示装置 ・警報等表示装置 1) 機器 ・操作制御部 ・情報表示壁 ・その他（ ） 2) 通信方式 ・TCP/IP ・その他（ ） 3) 操作制御部 ・イメージキャナ ・有 ・無 4) 情報表示壁 ・発光ダイオード式 ・液晶式 ・その他（ ） 1) 機器 ・制御装置 ・出退表示壁 ・その他（ ） 2) 出退表示壁 ・発光ダイオード式 ・液晶式 ・その他（ ） 1) 機器 ・時計 ・子時計 ・電源装置 ・単独時計 ・その他（ ） 2) 時計計 ① 形式 ・壁掛型 ・自立型 ・ラックマウント型（ラック架組込） ② 時刻補正機能 ・FM放送受信（・アンテナ設置 ・既設利用） ・長波標準電波受信（・アンテナ設置 ・既設利用） ③ 回線数 ・（ ）回線 ④ 機能 ・電子チャイム ・曲 ・時報 ・プログラムタイマ（引渡し時は機器の説明及びプログラムの入力を行うこと。） 3) 子時計 ① 方式 ・アナログ式 ・デジタル式 ② 設置場所 ・屋内 ・屋外 ・その他（ ） 4) 電源装置 ・運転可能時間（・10時間 ・（ ）時間） 5) 単独時計 ① 方式 ・アナログ式 ・デジタル式 ② 設置場所 ・屋内 ・屋外 ・その他（ ） ③ 時刻補正機能 ・有 ・無 (5) 警報等表示装置 1) 機器 ・表示壁 ・検出装置 ・その他（ ） 2) 表示壁 ① 表示方式 ・表示窓式 ・その他（ ） ② 形式 ・本工事 ・別途工事 ・その他（ ） 3) 検出装置 ① 検出方式 ・電報 ・無電圧接点 ・その他（ ） ② 施工 ・本工事 ・別途工事 ・既設利用 ・その他（ ） 4) 図面に特記明示がない場合、検出装置への接続は本工事とする。

17. 映像・音響設備	・映像機器	・音響機器	・操作装置
(1)設備	1)表示機器	・プロジェクタ(・前面投射式	・背面投射式)
(2)映像機器		・スクリーン・反射マトリクス形	・反射ビーズ形
		・その他(・反射ストライプ形
		・スクリーン巻上装置(・電動式	・手動式)
		・液晶ディスプレイ	
	2)付属機器	・録画再生装置(・HDD	・Blu-ray/DVD
		・その他(
		・テレビチューナー(・UHF	・BS
		・CS	・その他(
		・カラー	・パソコン
		・その他の機器(コン	
(3)音響機器	1)増幅器	①出力(・W
		②方式	・ステレオ
		③出力インピーダンス	・Lo形
		・グラフィックコライザー	・オーディオミキサー
		・録音再生装置(・CD	・メモリオーディオ
		・その他(
		・ラジオチューナー(・FM	・AM
		・有線マイクロホン	
		・無線マイクロホン(・電波式(・アナログ	・デジタル)
		・その他(他)の機器(・赤外線式)
		・天井分散配置方式	・集中配置方式
		・併用方式	・その他(
(4)操作装置	1)形状	・卓型	・キャビネットラック型
		・その他(
	2)設置	・固定式	・可動式
		・その他(
18. 拡声設備	・増幅器	・付属機器	・操作装置
(1)機器		・スピーカ	・その他(
(2)増幅器	・非常放送兼用(仕様は非常放送装置を参照)		
	出力(・W	
	専用	出力インピーダンス	・Lo形
		・Hi形	
(3)付属機器	・オーディオミキサー	・リコンマイク	・電源制御器
	・録画再生装置(・CD	・メモリオーディオ	
	・アナウンスメレコーダ(・チャイム	・独自メッセージ	・プログラムタイム
	・その他(
	・有線マイクロホン		
	・無線マイクロホン(・電波式(・アナログ	・デジタル)	・赤外線式)
	・ラジオチューナー(・FM	・AM	・その他(
	・スピーカ切替装置	・その他の機器(
(4)操作装置	・卓型	・キャビネットラック型	・壁掛型
	・その他(
(5)スピーカ	・非常放送兼用(仕様は非常放送装置を参照)		
	・専用	・1W	・3W
		・インピーダンス	・Lo形
		・Hi形	
		・設置場所	・屋内
			・屋外
			・その他(
19. 誘導支援設備	・音声誘導装置	・インターホン	●トイレ等呼出装置
(1)設備			
(2)音声誘導装置	1)検出方式	・磁気式	・無線式
		・画像認識式	・その他(
	2)設置場所	・屋外(防雨形)	・屋内
	3)機能	・自動火災報知設備より火災報知信号を受信した場合停止する	
		・タイムスケジュールにより停止及び開始を可能とする	
		・その他(
	4)機器	・制御装置	・送信機
		・受信機	・その他(
	5)制御装置	・壁掛型	・卓上形
		・複合壁組込	・その他(
	6)送信機	・壁掛形	・卓上形
		・増込形	・その他(
	7)受信機	・スピーカ式	・イヤホン式
		・その他(
(3)インターホン	1)用途	・内部受付用	・外部受付用
		・夜間訪問用	・身体障害者用
		・保守用	
	2)機能	・音声通話	・映像モニタ
	3)通話網	・親子式	・相互式
		・複合式	
	4)通話方式	・同時通話式	・交互通話式
		・その他(
	5)機器	・観機	・子機
		①形状	・壁掛型
		②送受話器	・電話機形
		・マイク形	・その他(
	7)子機	①形状	・壁掛形
		②送受話器	・電話機形
		・マイク形	・その他(
(4)トイレ等呼出装置	1)用途	●トイレ呼出	・受付呼出
		・非常通報	・その他(
	2)機器	●観機	・呼出スイッチ
		●壁掛型	・複合壁組込
		●卓上形	・その他(
	4)呼出スイッチ	●押ボタン式	●引紐式
		・音声	●ブザー
		●ベル	・その他(
20. テレビ共同受信設備	・UHF	・BS	・CS
(1)受信放送		・FM	・CATV
	・その他(
(2)機器	・増幅器	・混合器	・分波器
		・分岐器	・分配器
		・機器収容箱	・アンテナ
	・その他(
(3)アンテナ	1)放送	・UHF	・BS
		・CS	・FM
	2)マスト	・地上波用(・壁面取付	・自立
		・既設利用	・その他(
		・衛星用(・壁面取付	・自立
		・既設利用	・その他(
	3)自立用基礎	・本工事	・別途工事
		・既設利用	・その他(
21. テレビ電波障害防除設備	(戸
(1)対象戸数			
(2)機器	・増幅器	・混合器	・分波器
		・分岐器	・分配器
		・機器収容箱	・アンテナ
	・ヘッドエンド装置	・その他(
(3)アンテナ	1)放送	・UHF	・BS
		・CS	・FM
	2)マスト	・地上波用(・壁面取付	・自立
		・既設利用	・その他(
		・衛星用(・壁面取付	・自立
		・既設利用	・その他(
	3)自立用基礎	・本工事	・別途工事
		・既設利用	・その他(
22. 監視カメラ設備	・カメラ	・モニタ装置	・録画装置
(1)機器		・ハウジング	・旋回装置
	・その他(
(2)伝送方式	・アナログ伝送方式	・ネットワーク伝送方式	・その他(
(3)カメラ	1)色方式	・白黒	・カラー
		2)駆動方式	・固定式
		・遠隔可動式	
	3)撮影条件	・昼間	・薄明時
		・夜間	
	4)設置場所	・屋内	・屋外
		・その他(
(4)モニタ装置	1)色方式	・白黒	・カラー
		2)モニタ	・液晶
		・P C	・その他(
	3)設置	・自立型	・卓上型
		・壁掛型	・その他(
(5)録画装置	1)記憶媒体	デジタル記憶媒体とする。	
	2)記憶容量	(
	3)時刻補正機能	・F M放送受信	(・アンテナ設置
		・長波標準電波受信(・アンテナ設置	・既設利用)
		・その他(・既設利用)

23. 駐車場管制設備	・管制壁	・検知器	・信号灯
(1)機器		・警報灯	・発券機
	・カーゲート	・カードリーダー	
	・その他(
(2)管制壁	1)機能	・入場管理	・退場管理
		・発券管理	・その他(
	2)形式	・自立型	・壁掛型
		・卓上型	・その他(
(3)検知器	1)方式	・赤外線式	・超音波センサ式
		・ループコイル式	・その他(
	2)検知器外箱	・ステンレス製	・鋼製
	3)検出対象車両	・四輪駆動車以上	
	4)検出対象速度	・2～40km/h	・その他(
(4)信号灯・警報灯	1)方式	・発光ダイオード式	・その他(
		2)警報音	・音声
		・ブザー	・その他(
	3)外箱	・ステンレス製	・鋼製
(5)発券機	1)発行券	・磁気式	・I Cカード式
		・その他(
	2)発券方式	・入場時発行	・事前発行
		・その他(
(6)カーゲート	・バー式(・グラスファイバー製	・アルミ製	・鋼製(防錆処理)
	・その他(
24. 防犯・入退室管理設備	・防犯装置	・入退室管理装置	
(1)設備			
(2)防犯装置	1)機器	・センサ	・制御装置
		・その他(
	2)センサ	・パッシブセンサ	・赤外線センサ
		・その他(
	3)制御装置	・ガラス破壊センサ	・壁掛型
		・卓上型	・複合壁組込
		・その他(
	①形式	・自立型	・F M放送受信
		②時刻補正機能	・F M放送受信
		・アンテナ設置	・既設利用)
		・長波標準電波受信	・アンテナ設置
		・既設利用)	
	4)機能	・警報	・記録
		・監視カメラ運動制御	・センサ入切制御
	・その他(
(3)入退室管理装置	1)機器	・制御装置	・認識部
		・電気錠(・本工事(・建築工事	・電気設備工事)
		・別途工事	・既設利用)
	2)制御装置	・セキュリティゲート	・その他(
		①形式	・自立型
		②時刻補正機能	・壁掛型
		・卓上型	・複合壁組込
		・その他(
	③基本機能	・施設解放制御	・許可・不許可設定
		・設定データバックアップ機能	・こじ開け警報
		・の検知は必須とする	
	④特記機能	・遠隔解錠制御	・スケジュール設定制御
		・記録機能	・照明空調制御
		・防炎防犯インテグレーション機能	・その他(
	3)認識部	・バイオメトリクス(・その他(
		・暗証番号	・磁気カード
		・I Cカード	
	4)セキュリティゲート	仕様詳細は別図による。	
25. 自動火災報知設備	・受信機	・副受信機(表示装置)	・中継器
(1)機器		・発信機	・感知器
	・その他(
(2)受信機	1)型式	・P型1級	・P型2級
		・R型	
	2)回線数	・(
		・回線	・アドレス
	3)試験機能	・自動試験機能	・遠隔試験機能
		・壁掛型	・その他(
	4)壁形式	・複合壁組込	・自立型
		・壁掛型	・その他(
(3)副受信機(表示装置)	1)壁形式	・自立型	・壁掛型
		・その他(
	2)回線数	・(
		・回線	・アドレス
(4)中継器	試験機能	・自動試験機能	・遠隔試験機能
	1)型式	・アドレス付	・P型1級
		・P型2級	
	2)消火栓ポンプ起動	特記なき場合は、発信機運動方式とし、発信機表面に「消火栓起動」等の文字を併記する	
	3)設置	・単独設置	・機器収容箱に組込
		・消火栓ボックス(別途)に組込	
	・その他(
(6)感知器	1)型式	・アドレス付	・一般型
		2)種類	・熱感知器
		・煙感知器	・炎感知器
	3)試験機能	・自動試験機能	・遠隔試験機能
		・屋内(・一般	・防水
		・防塵	・防食
		・その他(
	4)設置場所	・屋内(・一般	・防水
		・防塵	・防食
		・その他(
	・屋外(・防水	・その他(
26. 自動閉鎖設備	・運動制御器	・感知器	・自動閉鎖装置
(1)機器		・自動閉鎖装置	・自動閉鎖装置
	・その他(
(2)運動制御器	1)制御対象	・防火戸	・防火シャッター
		・防排煙ダンパー	・非常口等の扉
	・その他(
	2)回線数	・(
		・回線	・(回路)
	3)設置	・単独(・壁掛形	・自立形)
		・火災受信機等との複合壁	
(3)感知器	1)型式	・アドレス付	・一般型
		2)種類	・煙感知器
		・2種	・3種)
	3)試験機能	・自動試験機能	・遠隔試験機能
		・屋内(・一般	・防水
		・防塵	・防食
		・その他(
	4)設置場所	・屋内(・一般	・防水
		・防塵	・防食
		・その他(
	・屋外(・防水	・その他(
(4)自動閉鎖装置	1)方式	・電磁式	・ラッチ式
		・その他(
	2)施工	・本工事(・建築工事	・電気設備工事)
		・別途工事	・既設利用
	・その他(
(5)自動閉鎖装置	1)方式	・電気錠	・その他(
		2)施工	・本工事(・建築工事
		・電気設備工事)	・別途工事
		・既設利用	・その他(
27. 非常警報設備	・非常放送装置	・非常ベル	
(1)設備			
(2)非常放送装置	1)消防法基準適合マーク品とする。		
	2)機器	・増幅器	・スピーカ
		・非常用リコンマイク	
	・その他(
	3)増幅器	①出力(・W
		②出力インピーダンス	・Lo形
		・Hi形	
		③形式	・ロングラック型
		・スタンダードラック型	・壁掛型
		・その他(
	④機能	・マイク放送	・自動火災報知設備運動放送
		・緊急地震速報設備運動放送	
	⑤用途	・拡声設備兼用	・非常放送専用
	4)スピーカ	①結線	・1W
		②インピーダンス	・Lo形
		③設置場所	・屋内
		④用途	・拡声設備兼用
		・非常放送専用	
	5)非常用リコンマイク	型式	・壁掛形
		・ラック収納形	・卓上形
		・その他(
	(3)非常ベル(自動式サイレンを含む)	1)機器	・起動装置
		・非常ベル	・表示灯
		2)設置	・単独設置
		・機器収容箱に組込	・消火栓ボックス(別途)に組込
		・その他(
28. ガス漏れ火災警報設備	・受信機	・副受信機	・中継器
(1)機器		・検知器	・警報器
	・その他(
(2)受信機	1)回線数	・(
		・回線	・都市ガス用
	2)種類	・単独(・壁掛形	・自立形)
		・液化石油ガス用	・火災受信機などの複合壁
	3)設置	・その他(
(3)副受信機	設置	・単独(・壁掛形	・自立形)
		・火災受信機などの複合壁	
	・その他(
(4)検知器	1)動作	・単独(単独動作)	・運動(受信機に伝送)
		2)定格電圧	・AC100V
		・DC24V(受信機等から供給)	・その他(
	3)ガス検知出力信号	・有電圧出力方式	・無電圧接点方式

【中央監視制御設備】			
29. 中央監視制御設備			
(1)監視制御対象設備	・動力設備 ・受変電設備 ・発電設備 ・火災報知設備 ・その他 ()		
(2)既設との取り合い	・無し ・盤改造 ・配線接続 ・その他 ()		
(3)機器	・監視操作装置 ・信号処理装置 ・記録装置 ・伝送装置 ・端末装置 ・その他 ()		
(4)機能	仕様詳細は別図による。		
(5)監視操作装置	1) 形式 ・壁掛型 ・自立型 ・卓型 ・その他 () 2) 表示装置 ・液晶ディスプレイ ・その他 () 3) 操作装置 ・タッチパネル ・キーボード ・マウス ・その他 ()		
(6)信号処理装置	1) 形式 ・壁掛型 ・自立型 ・卓型 ・ラック型 ・卓上型 ・その他 () 2) 設置 ・単独 ・監視操作装置に組込 ・その他 ()		
(7)記録装置	1) 形式 ・壁掛型 ・自立型 ・卓型 ・ラック型 ・卓上型 ・その他 () 2) 設置 ・単独 ・監視操作装置に組込 ・その他 () 3) 装置 ・プリンタ ・記録メディア () ・その他 ()		
【医療関係設備】			
30. 非接地電源用分電盤			
(1)機器	・絶縁変圧器 ・絶縁監視装置 ・電流監視装置 ・医用接地センタポディー ・その他 ()		
(2)仕様詳細	仕様詳細は別図による。		
31. ナースコール設備			
(1)形式	・基本形ナースコール装置 ・携帯形ナースコール装置 ・情報表示形ナースコール装置 ・病床ユニット		
(2)仕様詳細	仕様詳細は別図による。		
【構内配電線路】			
32. 構内配電線路			
(1)配線方式	・地中線式 (・直埋 ・管路) ・架空線式 (・直接 ・ちよう架線添架) ・建築物等添架式 (・露出配管 ・隠蔽配管 ・その他 ()) ・その他 ()		
(2)建柱	1) 施工 ・本工事 ・既設柱利用 ・その他 () 2) 電柱 ・コンクリート柱 ・鋼管柱 ・ハンザマスト ・その他 () 3) 支持材 ・根かせ ・根はじき ・根巻き ・底板 ・支線 (保護ガード ・有 ・無) 4) 装柱材料 ・有 (電力仕様) ・無 5) 鈹板 ・有 ・無		
(3)装柱機器 (高圧用)	1) 機器 ・開閉器 ・避雷器 ・カットアウト ・碍子 ・その他 () 2) 耐環境性 ・一般用 ・耐塩用 3) 開閉器 仕様は 5. 受変電設備 (6)負荷開閉器 による。		
(4)装柱機器 (低圧用)	1) 機器 ・開閉器 ・開閉器箱 ・避雷器 ・カットアウト ・碍子 ・その他 () 2) 耐環境性 ・一般用 ・耐塩用		
(5)ハンドホール、マンホール	1) 形式 ・ブロック式 ・現場打ち 2) 施工 ・本工事 (・建築工事 ・電気設備工事) ・別途工事 ・既設利用 ・その他 () 3) ケーブル支持金物の取付 ・2箇所 ・4箇所 ・()箇所		
(6)鈹鉄蓋	1) 鈹鉄蓋の刻印は「強電」、「電力」又は「高圧」とする。 2) 雨水の流れ込みを防ぐため防水パッキン付とする。		
(7)地中ケーブル保護材料	1) 種類 ・F E P ・G L T (P E ライニング管) ・V E ・H I V E ・S G P ・厚鋼電線管 ・その他 () 2) 標示柱埋設 ・コンクリート製 ・鈹製 (アスファルト部分) 3) 埋設埋設シート ・2倍長 ・その他 () 4) 埋設埋設シートの表記は電力用であることがわかるものとする。		
【構内通信線路】			
33. 構内通信線路			
(1)用途	・電話用 ・拡声用 ・時刻表示用 ・火災報知用 ・非常警報用 ・インターホン用 ・テレビ共同受信用 ・防犯用 ・制御用 ・その他 ()		
(2)配線方式	・地中線式 (・直埋 ・管路) ・架空線式 (・直接 ・ちよう架線添架) ・建築物等添架式 (・露出配管 ・隠蔽配管 ・その他 ()) ・その他 ()		
(3)建柱	1) 施工 ・本工事 ・既設柱利用 ・構内配電線柱に添架 ・その他 () 2) 電柱 ・コンクリート柱 ・鋼管柱 ・ハンザマスト ・その他 () 3) 支持材 ・根かせ ・根はじき ・根巻き ・底板 ・支線 (保護ガード ・有 ・無) 4) 装柱材料 ・有 ・無 5) 鈹板 ・有 ・無		
(4)ハンドホール、マンホール	1) 形式 ・ブロック式 ・現場打ち 2) 施工 ・本工事 (・建築工事 ・電気設備工事) ・別途工事 ・既設利用 ・その他 () 3) ケーブル支持金物の取付 ・2箇所 ・4箇所 ・()箇所		
(5)鈹鉄蓋	1) 鈹鉄蓋の刻印は「弱電」又は「通信」とする。 2) 雨水の流れ込みを防ぐため防水パッキン付とする。		
(6)地中ケーブル保護材料	1) 種類 ・F E P ・G L T (P E ライニング管) ・V E ・H I V E ・S G P ・厚鋼電線管 ・その他 () 2) 標示柱埋設 ・コンクリート製 ・鈹製 (アスファルト部分) 3) 埋設埋設シート ・2倍長 ・その他 () 4) 埋設埋設シートの表記は弱電用であることがわかるものとする。		
【その他】			
34. 消火器			
1) 設置	・本工事 (・建築工事 ・電気設備工事 ・機械設備工事) ・別途工事		
2) 消火器	種類 () ・数量 () 本		
3) 消火器収納箱	材質 () ・数量 () 面		

凡 例	
	電 灯 分 電 盤
	スイッチ 1 P 1 5 A x 1
	操作ユニット 2 回路型
	コンセント 2 P 1 5 A + E E T
	プルボックス 2 0 0 x 2 0 0 x 1 0 0 鋼板製
	人感センサ 換気扇連動型
	スピーカ
	照明器具
	壁ハツリ貫通を示す
	位置ボックス

器 具 姿 図

(A)

LEDダウンライト

3

トイレ呼出表示器 3 窓用

参考型番：CBN-3C

トイレ呼出押ボタン ひも付

公共型番：LRS1-1300LM-1

電源電圧	AC100V 50/60Hz (内部電源DC12V)
形 状	矩形付形
材 質	S P C C t 1. 2
窓 数	3 窓
表示方式	呼出音と表示窓点灯

参考型番：NBR-7HWA

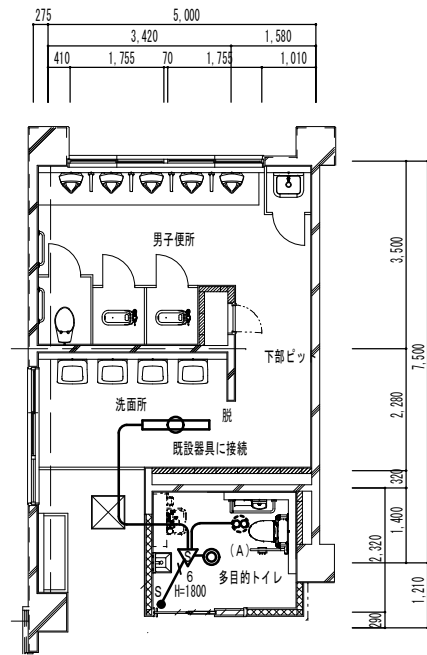
プ レ ー ト	抗菌ABS樹脂製
呼 出 音 源 灯	LED赤色
呼出押ボタン	ノンロック式
壁 付 ク ー ト	抗菌ポリカーボネート
防 水 カ バ ー	抗菌エラストマー
適合スイッチボックス	JIS1 専用スイッチボックス

参考型番：NR-BZLA27/A

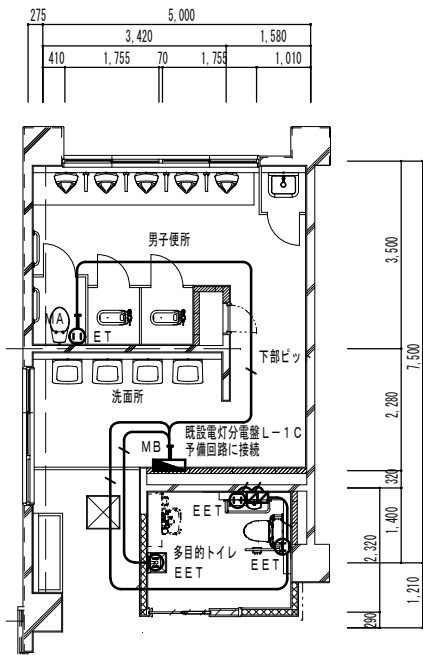
形 状	埋込形 (JIS2 専用スイッチボックス)
材 質	樹脂
表 示 灯	赤色
備 考	ブザー付

参考型番：NBR-2A-C

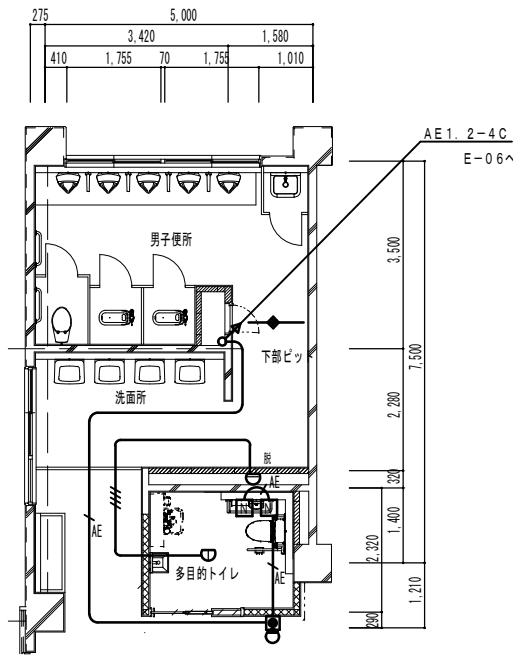
形 状	埋込形 (JIS1 専用スイッチボックス)
材 質	樹脂



改修後 電灯設備図

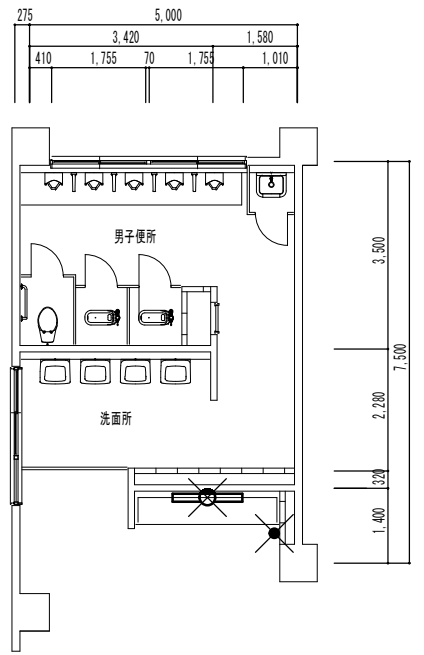


改修後 コンセント設備図

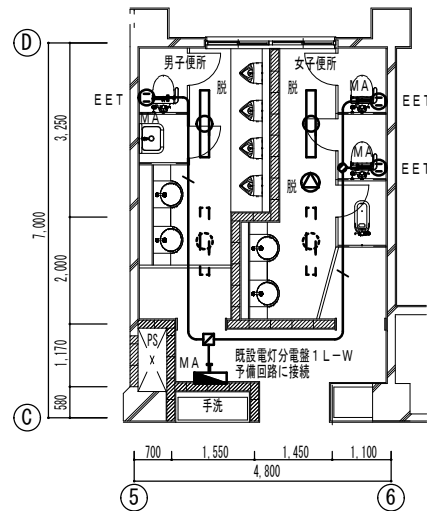


改修後 弱電設備図

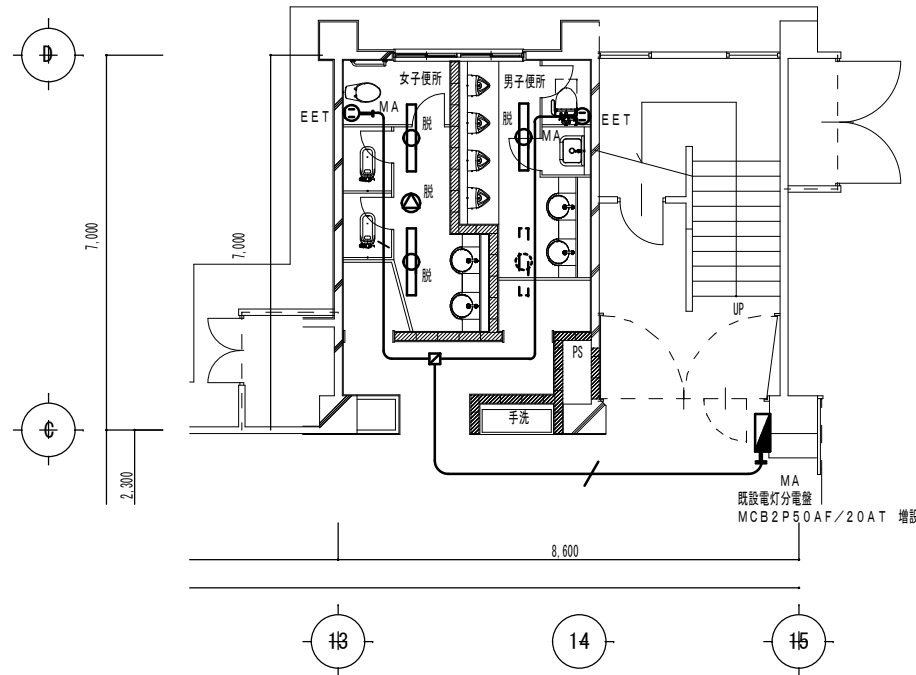
特記なき配線は下記による	
	VVF1. 6-2C (ころがし)
	VVF1. 6-3C x 2 (ころがし)
	VVF2. 0-3C (ころがし)
	VVF2. 0-3C x 2 (ころがし)
	AE1. 2-4C (ころがし)
	HP1. 2-4C (ころがし)
	壁面露出部メタルモール
	壁面露出部メタルモール
壁内はPF管保護とする	
※ 脱	脱着を示す
※ x	撤去を示す
※ ☆	防火区画貫通処理



改修前 電気設備図



特記なき配線は下記による	
	VVF2. 0-3C (ころがし)
	壁面露出部メタルモール
	壁面露出部メタルモール
壁内はPF管保護とする	
※ 脱	脱着を示す



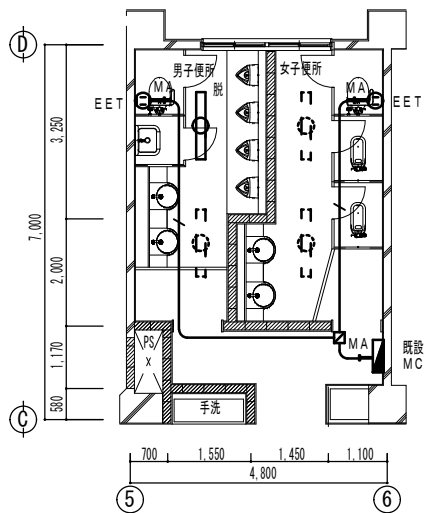
特記なき配線は下記による	
	VVF2. 0-3C (ころがし)
	壁面露出部メタルモール
	壁面露出部メタルモール
壁内はPF管保護とする	
※ 脱	脱着を示す

・	工事名／Title
・	津市立西郊中学校便所改修工事
・	
・	
・	

図面種別／Drawing	普通教室棟・特別教室管理棟、普通教室・特別教室棟
普通教室棟・特別教室管理棟、普通教室・特別教室棟	1階電気設備図 (改修前後)
縮尺／Scale	原図：A2 1/100
日付／Date	

Check	No.
	E-05

合資会社 重企建築事務所
Jyuki Architectural Design Office
一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号
一級建築士国土交通大臣登録第167163号 山田 裕治



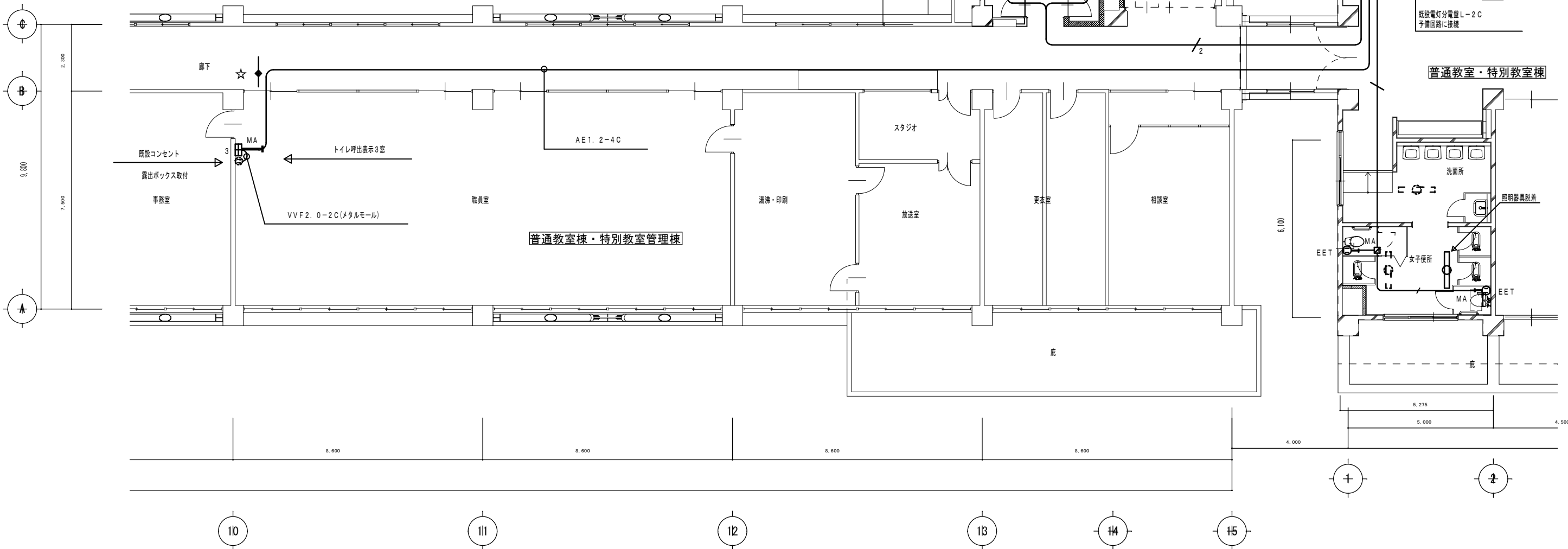
特記なき配線は下記による

	VVF2. 0-3C(ころがし)
	壁面露出部メタルモール

特記なき配線は下記による

	VVF1. 6-2C(ころがし)
	VVF1. 6-3C x 2(ころがし)
	VVF2. 0-3C(ころがし)
	VVF2. 0-3C x 2(ころがし)
	AE1. 2-4C(ころがし)
	HP1. 2-4C(ころがし)
	壁面露出部メタルモール
	壁面露出部メタルモール

壁内はPF管保護とする
※ 脱 脱着を示す
※ X 撤去を示す
※ ☆ 防火区画貫通処理



・	・
・	・
・	・
・	・

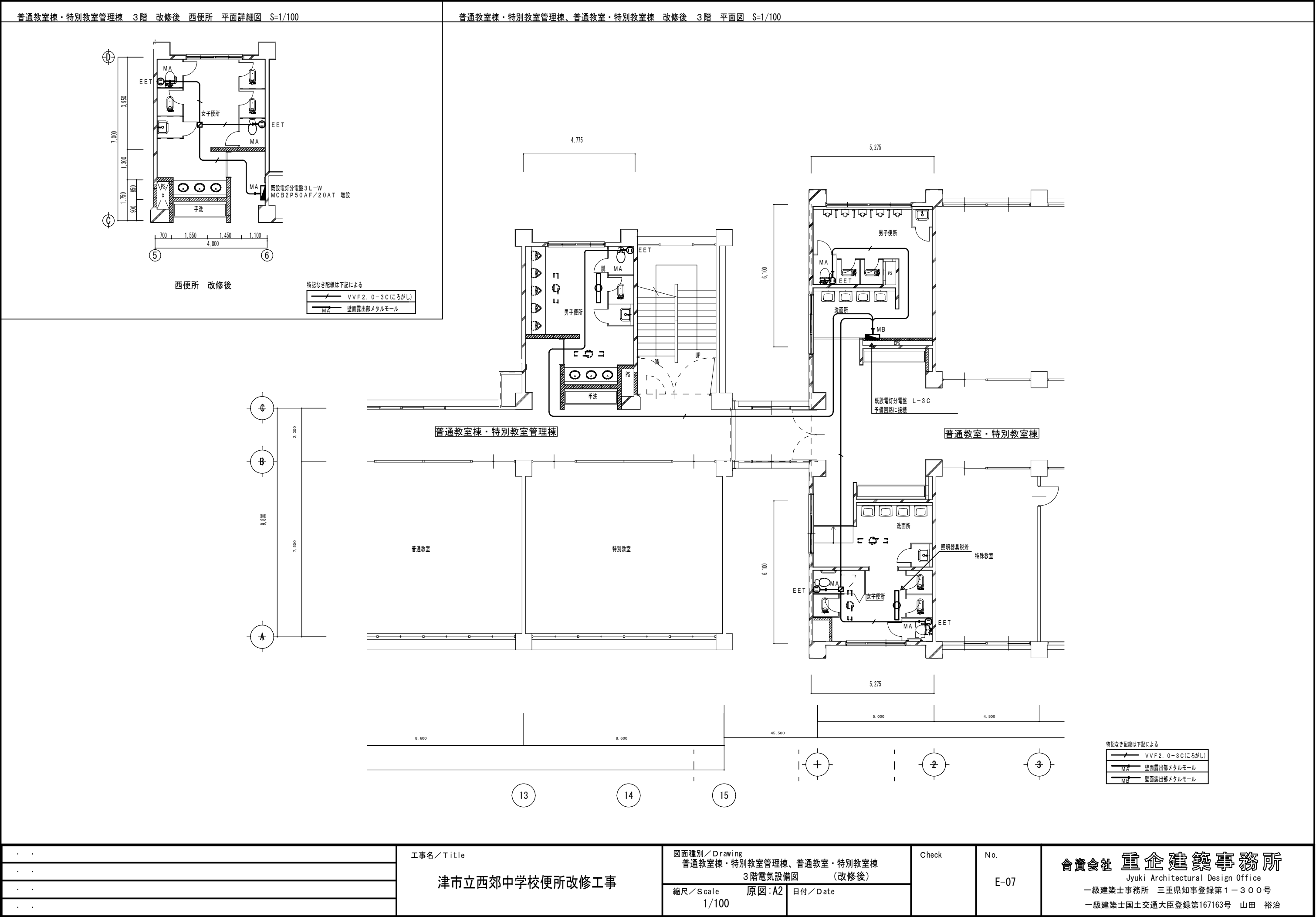
工事名／Title
津市立西郊中学校便所改修工事

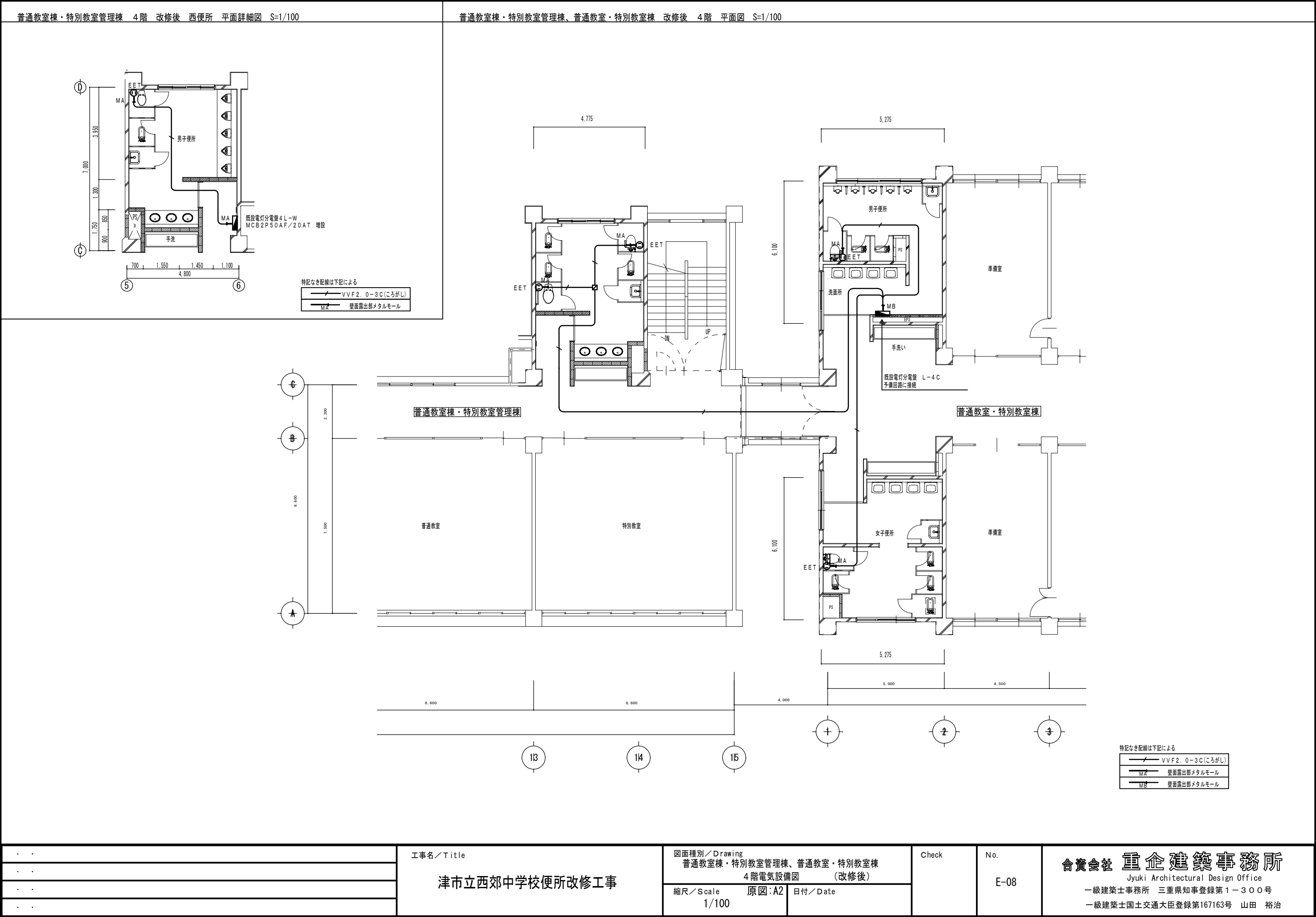
図面種別／Drawing	普通教室棟・特別教室管理棟、普通教室・特別教室棟 2階電気設備図 (改修後)
縮尺／Scale	原図：A2 1/100
日付／Date	

Check

No.
E-06

合資会社 重企建築事務所 Jyuki Architectural Design Office 一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号 一級建築士国土交通大臣登録第167163号 山田 裕治





屋内運動場 1階平面図									
改修後 平面図 S=1／200			改修後 平面詳細図 S=1／50						
			改修前 平面詳細図 S=1／50						
			<div>注記</div> <div>※ 壁ハツリ貫通を示す</div> <div>※ ブロック200x200x200銅板製</div> <div>※ 撤去を示す</div> <div>特記なき配線は下記による</div> <table><tr><td> VVF1. 6-2C (ころがし)</td></tr><tr><td> VVF2. 0-3C (E25)</td></tr><tr><td> VVF2. 0-3C (ころがし)</td></tr><tr><td> MA 壁面露出部メタルモール</td></tr></table>			VVF1. 6-2C (ころがし)	VVF2. 0-3C (E25)	VVF2. 0-3C (ころがし)	MA 壁面露出部メタルモール
VVF1. 6-2C (ころがし)									
VVF2. 0-3C (E25)									
VVF2. 0-3C (ころがし)									
MA 壁面露出部メタルモール									
<div><div></div><div></div><div></div><div></div></div>		工事名／Title		図面種別／Drawing					
		津市立西郊中学校便所改修工事		屋内運動場 1階平面図 (改修前後)					
<div><div></div><div></div><div></div><div></div></div>				縮尺／Scale 原図：A2 1/200 1/50 日付／Date					
		Check		No.					
				E-09					
				合資会社 重企建築事務所					
				Jyuki Architectural Design Office					
				一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号					
				一級建築士国土交通大臣登録第167163号 山田 裕治					

<div><div><div>機械設備工事特記仕様書</div><div><div>1</div><div>工事名称</div><div>津市立西郊中学校便所改修工事</div></div><div><div>2</div><div>工事場所</div><div>津市 一色町 地内</div></div><div><div>3</div><div>建築概要</div><div>消火令の適用 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、以下による 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 「公共建築工事標準仕様書（建築、電気、機械設備工事編）平成28年版」 「公共建築改修工事標準仕様書（建築、電気、機械設備工事編）平成28年版」 「公共建築設備工事標準編」（電気、機械設備工事編）平成28年版」 「建築、電気、機械設備工事監理指針平成28年版」 独立行政法人 建築研究所監修 「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」 なお、以下において選択する事項は、■印のついたものを適用する。</div></div><div><div>5</div><div>一般事項</div><div>工事の詳細については、本設計図面及び仕様書による他、上記各適用基準に準拠し、監督員指示の下に意かつ誠実に施工すること。 設計図書に定められた内容、現場の納まり・取り合い等の不明な点や施工上の困難・不都合、図面上の誤記及び記載漏れ等に起因する問題点及び疑義、設計図書とおりに施工することで将来不具合が発生しうると判断される場合については、その都度、監督員と協議すること。なお設計図書と通りの施工であっても使用上の不具合が発生した場合は協議の上、改善策を講じること。 他工事との取り合いについては予め当該工事関係者間において協議し、円滑な工事進捗に努めること。なお調整不足による意匠的な仕上がり不備や不具合が発生した場合は監督員の指示により手直し施工を行うこと。 (1) 提出図書 1) 工事書類： ・ 施工計画書 ・ 打合記録 ・ 施工要領書 ・ 機器使用願 ・ 機器明細図 ・ 工程表 ・ 施工図等 2) 工事完成図書： ・ 品質確認書類 ・ 工事日報 ・ 工事写真 ・ 安全・訓練実施記録 ・ 完成図（竣工図（製本3（原寸1部、A3（見開き）2部））・施工図（製本1部）） ・ 機器完成図（ファイル等1部） ・ 保守に関する説明書（取扱説明書・保証書） 2部 ・ 機器性能試験成績書 1部 ・ 給水調整測定表（試験結果・測定結果等） 1部 ・ 官公署届出書類、検査済証 1部 ・ 出来形確認書類 1部 等 ※ 竣工図・施工図はC A Dにより作成すること。 ※ 工事写真は塗繕工事写真撮影要領（平成28年版）に従い撮影すること。 ※ 建築包含工事の場合、監督員に確認のこと。</div></div><div><div>(2)</div><div>機器及び材料等</div><div>工事に使用する機器及び材料等については、予め使用機材届出書（メーカーリスト）、機器明細図、現品、カタログ、その他諸資料を事前に届け出ること。 尚、図面に記載の品番は、参考品番として便宜上メーカー品番を使用しているので、メーカー選定にあたっては、同等品以上の性能を有するものとする。また、国等による環境物品等の調達推進に関する法律（グリーン購入法）を考慮し、再生品などの環境に優しい（環境物品）の調達に努める。 又、重量機器については、機器据付要領・耐震計算書もあわせて提出すること。</div></div><div><div>(3)</div><div>官公署等への届出手続</div><div>工事に伴う関係官公署への必要な諸手続きは、受注者が遅滞なく行い、これに要する費用も負担する。 1) 消火器に係る消防用設備等設置届出書の作成 ・ 本工事・建築工事・電気設備工事・機械設備工事 ・ 別途工事 2) 防火対象物使用開始届出書 書類の作成（機械設備図面の作成及び機械設備に関する部分の記入）を行うこと。</div></div><div><div>(4)</div><div>品質管理</div><div>工事施工に関して、着手前・施工中・施工後の自主検査を実施すること。 チェックリスト等を作成し、管理を行うこと。</div></div><div><div>(5)</div><div>出来形管理</div><div>以下の項目について、出来形管理の対象として管理を行うこと。 1) 各種機器据付 ・ 耐震強度（設計標準震度、アンカーの種類・サイズ確認・埋め込み深さ） ・ 基礎寸法 2) 配管・ダクト工事 ・ 支持間隔 ・ 振れ止め支持間隔 3) 屋外排水工事 ・ 排水勾配 ・ 樹の深さ 4) 水栓、リモコンスイッチ類の取付高さ</div></div><div><div>(6)</div><div>製品確認</div><div>発注者、受注者において仕様を決定し、製作するような規格品ではない製品については、試験・検査等を行う機器が整備された施設内において、監督員等が製品の確認を行うものとする。 □ 適用する ■ 適用しない</div></div><div><div>(7)</div><div>耐震安全性の分類</div><div>構造体（ ）類 建築非構造部材（ ）類 建築設備（ ）類</div></div><div><div>(8)</div><div>機器の地震力（主要機器）</div><div>機器名 地域係数（1.0） 設置階（ ） 設計標準震度Ks（ ） 地域係数（1.0） 水槽類 設置階（ ） 設計標準震度Ks（ ）</div></div><div><div>その他監督員が指示するもの</div><div><div>(9)</div><div>冷凍（フロン類）の回収</div><div>□適用する ■適用しない 冷凍機等の撤去に伴う冷凍の回収方法は、改修標準仕様書第3編 2. 4. 3により、次の書類の写しを監督員に提出すること。 ・ フロン回収行程管理票 ・ 特定家庭用機器廃棄物管理票（家電リサイクル券） 撤去する前にフロンを屋外機ユニットに集める作業（ボンブダウン）を行うこと。 パッケージ形空調機の移設等により、冷凍の回収が必要となる場合においても、上記に準じて冷凍の大気中への飛散を防止する措置を講じること。 (10) 中間技術検査 実施回数（ ）回</div></div></div></div><div><div><div>(11)</div><div>発生材の処理等</div><div>1) 引渡しを要するもの（ ） 上記以上の引き渡しを要するものについては別途、監督員が指示する。 2) 特別管理産業廃棄物（ ） 処理方法（ ） 3) 現場内において再利用を図るもの □発生土 □その他（ ） 4) 再資源化を図るもの（ ） □コンクリート塊 □アスファルトコンクリート塊 □建設発生木材（ ） 5) 発注者へ引き渡すものについては「現場発生品調査」を提出すること。また再利用を図るものについても調査を作成し、監督員へ提出すること。 6) 引渡しを要しないものは、全て横外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、資源の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令によるほか、「建設副産物適正処理推進要綱」に従い適切処理し、監督員に報告すること。（マニフェストA、B2、D票を提示すること。）</div></div><div><div>(12)</div><div>電気保安技術者</div><div>□ 適用する ■ 適用しない</div></div><div><div>(13)</div><div>施工条件</div><div>監督員及び依頼部局と協議調整し決定すること。 1) 施工可能日 ■ 一部に土、日曜日、祝祭日施工あり □ 指定なし（ ） 2) 施工可能時間帯 ■ 指定なし □ 指定あり（ 時 ～ 時 ）</div></div><div><div>(14)</div><div>概成工期</div><div>建築物等の使用を想定して総合試運転調整を行ううえて、関連工事を含めた各工事が支障のない状態まで完了していること。 ■ 指定なし □ 指定あり（ 平成 年 月 日 ）</div></div><div><div>(15)</div><div>仮設工事</div><div>構内既存の施設 ■ 建築工事に準じる 1) 便所 □ 利用できる □ 利用できない 2) 工事用水 □ 利用できる（有償） □ 利用できる（無償） □ 利用できない 3) 工事用電力 □ 利用できる（有償） □ 利用できる（無償） □ 利用できない ※ 本工事で新規受電または既設電気回路に接続し通電した時から工事に起因する電力料金は本工事に含まれる。</div></div><div><div>(16)</div><div>足場</div><div>1) 内部足場 □ 脚立 □ 足場板 2) 外部足場 □ A種 □ B種 □ C種 □ D種 □ E種 □ F種 3) 防護シート等による養生 □ 適用する □ 適用しない ※設置する足場については、「手すり先行工法等に関するガイドライン」（厚生労働省平成21年4月）により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。</div></div><div><div>(17)</div><div>建築材料等</div><div>1) 本工事に使用する建築材料等は、設計図書に定める品質及び性能を有する新品とするほか別記記載の指定資材及び参考見積メーカー又はこれらと同等品以上とする。 品質が求められる水準以上であれば、市内生産品の優先使用に努めること。 2) 本工事で使用する建設資材の調達にあたっては、極力市内の取り扱い業者から購入するよう努めること。 3) 下記製品を本工事で使用する場合は、三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用すること。ただし認定製品が入手できない場合は、監督員と別途協議を行うこと。 （認定製品の品名： 4) 下記製品を本工事で使用する場合は、三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用するように努めること。 （認定製品の品名： ・ 間伐材製工事用バリエード ・ 間伐材工事看板 ・ 間伐材表示板（ ）</div></div><div><div>(18)</div><div>建設副産物</div><div>受注額1億円以上の工事について、再生資源の利用又は建設副産物の搬出がある場合、受注者は工事着手前に「再生資源利用計画書（実施書）」（建設資材を搬入する場合）及び「再生資源利用促進計画書（実施書）」（建設副産物を搬出する場合）を施工計画書に綴じ込んで監督員に提出すること。 また、工事完了後には「再生資源利用計画書（実施書）」（建設資材を搬入した場合）及び「再生資源利用促進計画書（実施書）」（建設副産物を搬出した場合）を作成し、監督員に提出すること。 計画書（実施書）の提出とともに「A C I Cが運営する「建築副産物情報交換システム」へのデータ入力も併せておこなうこと。</div></div><div><div>(19)</div><div>三重県産業廃棄物税</div><div>本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に別に定める様式に産業廃棄物税納付証明書を添付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うことができる。なお、この期間を超えて請求することはできない。また、産業廃棄物処理集計表（マニフェスト）の数量の集計を超えて請求することはできない。</div></div><div><div>(20)</div><div>事故の発生時</div><div>工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員へ通報するとともに、所定の様式により事故発生報告書を監督員が指示する期日までに監督員へ提出すること。 なお、事故発生後の措置について、監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取、調査、検証等に協力すること。</div></div><div><div>(21)</div><div>既設との取合い・養生</div><div>本工事施工に伴う、既存設備の微細な加工・改造は、本工事とする。 また、工事施工に際し、既存部分を汚損・破損等しないよう養生を行うこと。なお汚損・破損等した場合は、機能・仕上げ共、既設にない回復すること。</div></div><div><div>(22)</div><div>市内企業優先使用</div><div>本工事において、下請け契約を締結する場合には、当該契約の相手方を津市内に本店（建設業法において規定する主たる営業所を含む）を有する者の中から選定するよう努めること。</div></div><div><div>(23)</div><div>不当介入を受けた場合の措置</div><div>暴力団員等による不当介入（三重県公共工事等暴力団等排除措置要綱第2条第1項第14号）を受けた場合の措置について 1) 受注者は暴力団員等（三重県公共工事等暴力団等排除措置要綱第2条第1項第12号）による不当介入を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに三重県警察本部に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行うこと。 2) 1)より三重県警察本部に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行った場合には、速やかに発注者に報告すること。発注者への報告は必ず文書で行うこと。 3) 受注者は暴力団員等により不当介入を受けたことから工程に遅れが生じる等の被害が生じた場合には、発注者と協議を行うこと。</div></div></div><div><div><div>(24)</div><div>不正軽油の使用の禁止</div><div>1) 一般事項 工事の施工に当たり、工事現場で使用し、又は使用される車両（資機材等の搬入車両を含む。）並びに建設機械等の燃料として、不正軽油（地方税法第144条の32（製造等の承認を受ける義務等）の規定に違反する燃料をいう。）を使用してはならない。 2) 調査の協力 受注者は、市が使用燃料の採油調査を行う場合には、その調査に協力しなければならない。 また、受注者は下請負者等に同調査を協力するよう管理及び監督しなければならない。 3) 是正措置 受注者は、不正軽油の使用が判明した場合は、速やかに是正措置を講じなければならない。 また、受注者は下請負者等に不正軽油の使用が判明した場合は速やかに是正措置を講じるよう管理及び監督しなければならない。 (25) 社会保険等未加入対策 ・適用除外でないにも関わらず社会保険等が未加入である業者を下請契約（受注者が直接締結する下請契約に限る。）の相手方としてはならない。 ・下請契約に先立って、選定の候補となる業者について社会保険等の加入状況を確認し、適用除外でないにも関わらず社会保険等が未加入である場合には、早期に加入手続きを進めるよう指導を行うこと。 受注者は、再下請通知書の「健康保険等の加入状況」欄により下請け業者が社会保険等に加入していることを確認すること。</div></div><div><div>6</div><div>工事種目</div><div>給排水衛生設備工事 ・ 屋外給水設備工事 ○ 屋内給水設備工事 ○ 衛生器具設備工事 ・ 給湯設備工事 ・ 浄化槽設備工事 空調設備工事 ・ 機器設備工事 ・ 配管設備工事 ○ 換気設備工事</div></div><div><div>7</div><div>工事概要</div><div>給排水衛生設備工事 (1) 給水設備工事 本工事は図示のくを工事範囲とし、高直水槽により所要の各所に給水する。直圧部の弁類は、水道局規格品JIS 10K を使用する。 (2) 屋外排水設備工事 本工事は、汚水、雑排水を合流方式とし、合併浄化槽に至る配管、樹を勾配に十分留意し敷設するものとする。 樹は公園型、現場打ちまたはプラスチック樹とする。 (3) 屋内排水通気設備工事 本工事は汚水、雑排水を合流式により屋外樹に接続放流する。 (4) 衛生器具設備工事 衛生器具を所定の位置に附属金具により堅固に取り付けるとし、陶器の色は監督員と協議の上決定する。</div></div><div><div>空調設備工事</div><div>(1) 換気設備工事 換気順の設置ならびに付帯ダクト設備を行うものとする。</div></div><div><div>8</div><div>総合調整</div><div>(1) 風量調整 □ 適用する □ 適用しない (2) 水量調整 ■ 適用する □ 適用しない (3) 室内外空気の温度測定 □ 適用する □ 適用しない (4) 室内外空気の湿度測定 □ 適用する □ 適用しない (5) 室内気流及びじんあいの測定 □ 適用する □ 適用しない (6) 騒音の測定 □ 適用する □ 適用しない (7) 飲料水の水质の測定（水道法施行規則第10条による水质検査） □ 適用する □ 適用しない のうち一般細菌、大腸菌、硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素、塩化物イオン、有機物（全有機炭素（TOC）の量）、pH値、味、臭気、色度、濁度 について測定を行うこと。 ※遊離残留塩素 については、上記適用の有無にかかわらず、測定を行うこと。 (8) その他（ ） □ 適用する □ 適用しない</div></div></div><div><div><div>9</div><div>工事細目</div><div>(1) 配管材料 部分的に配管種類を変更する場合は、図面内に明記すること。 ■ 給水管 ■ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 JWMA K116（一般：SGP-VB 地中：SGP-VD） □ フランジ付硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP 011（一般：SGP-FVA、FVB 地中：SGP-FVD） ※ 継ぎ手はコア内蔵型とする。 ※ 給水管100Aはねじ又はフランジ接合、125A以上はフランジ接合（工場加工）とする。 □ 水道用硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6742（一般・地中：H1VP） □ 水道配水用ポリエチレン管 JWMA K 144（地中：PE） □ 水道用ステンレス鋼鋼管JWMA G 115 □ 一般配管用ステンレス鋼鋼管 JIS G 3448 ※ 地中埋設管は、取出し位置の臥面又はSL.FL面より+100立ち上げた所までとする。 ■ 雑排水管 □ 配管用炭素鋼鋼管（白） JIS G 3452（SGP-白） ※ 継ぎ手はドレネジ継ぎ手又は、M D継ぎ手を使用（地中・コンクリート埋設は防食テープ2重巻き） ■ 土間・一般： 硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6741（VP・VU） □ 土間： リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 JIS K 9798（RF-VP） ※ 125A以下はVP、150A以上はVUとする。 □ 排水・通気用耐火二層管 JIS K 6741（硬質塩化ビニル管VP）又はJIS K 9798（リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管RF-VP）規格品に繊維モルタルで被覆したもので国土交通大臣認定のもの。 ■ 通気管 □ 配管用炭素鋼鋼管（白） JIS G 3452（SGP-白） ※ 継ぎ手はドレネジ継ぎ手又は、M D継ぎ手を使用（地中・コンクリート埋設は防食テープ2重巻き） ■ 硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6741（VP・VU） □ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 JIS K 9798（RF-VP） ※ 125A以下はVP、150A以上はVUとする。 RF-VPは屋外露出不可 □ 排水・通気用耐火二層管 JIS K 6741（硬質塩化ビニル管VP）又はJIS K 9798（リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管RF-VP）規格品に繊維モルタルで被覆したもので国土交通大臣認定のもの。 ■ 汚水管 □ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP 042 ※ 同上M D継ぎ手 JPF MDJ 002 ■ 土間・一般： 硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6741（VP・VU） □ 土間： リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 JIS K 9798（RF-VP） ※ 125A以下はVP、150A以上はVUとする。 □ 排水・通気用耐火二層管 JIS K 6741（硬質塩化ビニル管VP）又はJIS K 9798（リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管RF-VP）規格品に繊維モルタルで被覆したもので国土交通大臣認定のもの。 □ 給管 □ 排水・通気用給管 SHASE-S203 □ 給湯管 □ 水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 JWMA K 140（一般：SGP-HVA 地中：WHITLP 内外面耐熱性硬質塩化ライニング鋼管） □ 水道用ステンレス鋼鋼管JWMA G 115 □ 一般配管用ステンレス鋼鋼管 JIS G 3448 □ ガス管 □ 配管用炭素鋼鋼管（白） JIS G 3452（SGP- 白） □ 土間： 塩化ビニル被覆鋼管（黒） □ ガス用ポリエチレン管 JIS K 6774（地中：PE） ※ 地中埋設鋼管は、取出し位置のGL面又はSL.FL面より+100立ち上げた所までとする。 □ ガス事業者の供給規定に準じる □ 消火管 □ 配管用炭素鋼鋼管（白） JIS G 3452（SGP- 白） □ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（白） WSP041（SGP-VS） ※ 地中埋設管VS は、取出し位置の臥面又はSL.FL面より+100立ち上げた所までとする。 ■ 屋外埋設排水 ■ 硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6741（VP・VU） □ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 JIS K 9798（RF-VP） □ 排水用リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管 AS-58（RE P-VU） □ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管 JIS K 9797（RS-VU） ※ 125A以下はVP、150A以上はVUとする。 □ コンクリート管 JIS A 5372（プレキャスト鉄筋コンクリート製品）（1根水路用遠心力鉄筋コンクリート管） □ 冷温水配管 □ 配管用炭素鋼鋼管（白） JIS G 3452（SGP- 白） □ 水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 JWMA K 140（一般：SGP-HVA） □ 冷却水管 □ 配管用炭素鋼鋼管（白） JIS G 3452（SGP- 白） □ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 JWMA K116（一般：SGP-VA、VB） □ フランジ付硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP 011（一般：SGP-FVA、FVB） □ ドレン管 □ 配管用炭素鋼鋼管（白） JIS G 3452（SGP- 白） □ 硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6741（VP・V U） □ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 JIS K 9798（RF-VP） ※ 125A以下はVP、150A以上はVUとする。 RF-VPは屋外露出不可。 □ 排水・通気用耐火二層管 JIS K 6741（硬質塩化ビニル管VP）又はJIS K 9798（リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管RF-VP）規格品に繊維モルタルで被覆したもので国土交通大臣認定のもの。 □ 冷媒管 □ 銅及び銅合金難燃無管 硬質、軟質または半硬質 JIS H3300 □ 断熱材被覆鋼管 原管はJIS H3300による。製造者標準品 ただし、保温厚は ガス管 20mm、液管 10mm（液管の呼び径が9.52mm以下の断熱厚さは8mmとしてよい）とする。 ※ 冷媒用鋼管の肉厚は、冷凍保安規則関係基準の規定による。 □ 油管 □ 配管用炭素鋼鋼管（黒） JIS G 3452 溶接接合 □ 蒸気管 □ 配管用炭素鋼鋼管（黒） JIS G 3452 □ プライン管 □ 配管用炭素鋼鋼管（黒） JIS G 3452 ※ 弁類 揚水ポンプ（二次側）、消火ポンプ（二次側）、水道直圧部は 10Kとし、それ以外は5Kとする。 塩ビライニング鋼管に使用する際は、管端防食コア付き、又はライニング弁を使用すること。</div></div></div></div> <div><div><div>・ ・</div><div>・ ・</div><div>・ ・</div><div>・ ・</div></div><div><div>工事名／Title</div><div>特記仕様書 1</div><div>縮尺／Scale 原図：A2 日付／Date</div></div><div><div>図面種別／Drawing</div><div>Check</div></div><div><div>No.</div><div>M-01</div></div><div><div>合資会社 重企建築事務所</div><div>Jyuki Architectural Design Office</div><div>一級建築士事務所 三重県知事登録第1－3 0 0号</div><div>一級建築士国土交通大臣登録第167163号 山田 裕治</div></div></div>
--

※ 横走り管の吊り間隔

鋼管	100A以下	－	2m 以下
	125A以上	－	3m以下
ビニル管 耐火二層管 銅管	80A以下	－	1m 以下
	100A以上	－	2m以下
鉛管	1.5m以下		
鉄鉄管	標準図による		

※ 横走り管形鋼振れ止め支持間隔

支持間隔	6m以下	8m以下	12m以下
鋼管	－	50A～100 A	125A～
排鉄管			
ビニル管			
耐火二層管	25A～40A	50A～100A	125A～
銅管			

※ 冷媒用銅管の横走り管の支持間隔

基準外径 9.52mm 以下 吊り間隔 1.5m以下
基準外径 12.70mm 以上 吊り間隔 2.0m以下
形鋼振れ止め支持間隔は、銅管に準ずる。

※ 液管・ガス管共吊りの場合は
液管の外径を基準とする。

(2) ダクト工事

- 矩形ダクト
- 工法
- 形鋼補強
- 丸ダクト
- 垂鉛鉄板 JIS G 3302 (SG6C、SG6CA) 鍍金付着Z18以上
- ステンレス鋼板 JIS G4305
- アングルフランジ工法
- 共板フランジ工法
- スライドオンフランジ工法
- 山形鋼 JIS G 3101 □ SUS鋼材 JIS G 4317
- スパイラルダクト
- 下水用リサイクル三層硬質塩化ビニル管 (多湿箇所) AS-62 (RS-VU)

(3) 保温塗装工事

1) 材料 部分的に材料を変更する場合は、図面内に明記すること。

■ グラスウール保温材 保温筒 JIS A 9504 2号 40K (屋内一般等) 保温板、保温帯 JIS A 9504 2号 40K	
■ 給水管	■ 排水管
□ 蒸気管	□ 冷水・冷温水管
(屋外等)	
□ 給湯管	□ 温水管
□ 冷媒管	□ 蒸気管
	□ 冷水・冷温水管
	□ 冷媒管

□ ロックウール保温材 保温帯、ブランケット (防火区画貫通部等) 1号JIS A 9504	
□ 給水管	□ 排水管
□ 蒸気管	□ 冷水・冷温水管
	□ 冷媒管
	□ 消火管

□ ポリスチレンフォーム保温材 保温筒 JIS A 9511 3号 (屋内一般等) 保温板 JIS A 9511 3号	
□ 給水管	□ 排水管
□ ブライン管	□ 冷水・冷温水管
(屋外等)	
□ 給水管	□ 排水管
□ ブライン管	□ 給湯管
	□ 冷水・冷温水管
	□ 消火管
	□ 冷媒管

■ 調合ペイント塗り塗料 JIS K 5516 (合成樹脂調合ペイント) 1種 (露出)	
□ 給水管	□ 排水管
□ ガス管	□ 消火管
	□ 油管
	□ 冷却水管

2) 保温厚

・ グラスウール、ロックウール					
保温厚 (mm)	20	25	30	40	50
給水・排水・ドレン・給湯	～80A	100～150A	－	200A～	－
膨張・温水・消火管	～25A	－	32～50A	65A～	－
蒸気管	～25A	－	～25A	32～200A	250A～
冷水・冷温水・冷媒管	－	－	－	－	－

・ ポリスチレンフォーム						
保温厚 (mm)	20	25	30	40	50	65
給水・消火・排水管	～80A	100A～	－	－	－	－
冷水・冷温水管	－	－	～25A	32～200A	250A～	－
冷水管 (冷水温度2～4℃)	－	－	～20A	25A～100A	125A～	－
ブライン管	－	－	－	～25A	32～80A	100A～

・ 機器ダクト保温厚	
保温厚	
25mm	ダクト(屋内露出〔機械室、書庫、倉庫〕、隠蔽部)、消音チャンパー・エルボ膨張タンク、銅板製タンク、排煙ダクト隠蔽部(ロックウール)
50mm	ダクト(屋内露出〔一般居室、廊下〕)、サブライチャンパー、貯湯タンク類冷水・冷温水・温水・環水タンク、熱交換器、冷水・冷温水・温水・蒸気ヘッダー排気筒隠蔽部(ロックウール)
75mm	煙導 (ロックウール)

3) 種別

給排水衛生設備配管の保温仕様(R、G保温材の仕様のみ)

	1	2	3	4
屋内露出	保温筒	鉄線	合成樹脂製カバー	
機械室・書庫・倉庫	保温筒	鉄線	原紙	7A23 7A20S仕上
天井内・P S内	アルミガラスクロス絶熱保温筒			
暗渠内 (ビット内)	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	着色7A23 7A20S仕上
屋外露出	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	SUS鋼板仕上

※ 1) 排水管については、上表暗渠内 (ビット内) の仕様を防食テープ巻きに読み替える。
※ 2) サヤ管工法：架橋ポリエチレン・ポリブデン管使用の場合は、上表保温不要。
※ 3) 消火管の屋外露出のは保温を行う。

空調設備配管の保温仕様(R、G保温材の仕様のみ)

	1	2	3	4	5
屋内露出	保温筒	鉄線	合成樹脂製カバー		
機械室・書庫・倉庫	保温筒	鉄線	原紙	アルミガラスクロス仕上	
天井内・P S内 (温水・蒸気管以外)	保温筒	鉄線	アルミガラスクロス仕上		
暗渠内 (ビット内)	保温筒	鉄線	着色アルミガラスクロス仕上		
屋外露出	保温筒	鉄線	SUS鋼板仕上		

※ 1) 冷媒管に断熱材被覆銅管を使用した場合の保温種別
□ 保温化粧ケース仕上 □ ポリスチレン成形の上、SUS鋼板仕上(屋外露出部分)

機器保温仕様

	1	2	3	4	5
冷水・冷温水タンク					
銅板製タンク	鉄	保温板	ポリエチレンフィルム	鉄線	SUS鋼板仕上
冷水・冷温水ヘッダ					カラー鉄板(屋内)
温水・膨張・還水					
貯湯タンク	鉄	保温板	鉄線	SUS鋼板仕上	
温水・蒸気ヘッダ				カラー鉄板(屋内)	
熱交換器					

※ 1) 密閉式膨張タンク及び、プレート形熱交換器は、保温施工不要

ダクト・チャンパー・煙道 保温仕様

			1	2	3	4	5
長方形ダクト	屋内露出	一般・廊下	鉄	保温板	カラー鉄板		
		機械室	鉄	アルミガラスクロス化粧保温板		アルミガラスクロス絶熱テープ	
パイラルダクト	屋内隠蔽、D S内		鉄	アルミガラスクロス化粧保温板		アルミガラスクロス絶熱テープ	
	屋外露出、多湿箇所		鉄	保温板	ポリエチレンフィルム	鉄線	SUS鋼板
サブライチャンパー	屋内露出	一般・廊下	保温帯	鉄線	カラー鉄板		
		機械室	アルミガラスクロス化粧保温帯	アルミガラスクロス絶熱テープ			
消音チャンパー、エルボ	屋内隠蔽、多湿箇所		保温帯	鉄線	アルミガラスクロス絶熱テープ		
	屋外露出、多湿箇所		保温帯	鉄線	ポリエチレンフィルム	鉄線	SUS鋼板
排煙ダクト長方形	屋内隠蔽	鉄	保温板	ガラスクロス	銅電甲金網		
排煙ダクト円形	屋内隠蔽	鉄	保温板	ガラスクロス			
煙道	フランケット	鉄線	カラー鉄板				

※ 1) 排煙ダクトは、ロックウール保温板、保温帯、1号を使用。
※ 2) 煙道フランケットは、JIS G 3554 (亀甲金網) による亜鉛鍍金を施した網目16線径0.55による防錆処理を施したプラス0号で外面補強したものを使用。
※ 3) 銅電甲金網は、JIS H 3260 網目10、線径0.5

配管用炭素鋼鋼管の塗装仕様

機材	状態	塗料の種類	塗り回数			備考
			下塗り	中塗り	上塗り	
白管	露出	調合ペイント	1	1	1	下塗りはさび止めペイント
黒管	露出	調合ペイント	2	1	1	下塗りはさび止めペイント

※ 1) わじ切りした部分の鉄面は、さび止めペイント2回塗りを行う。

4) 施工

ダクト保温施工範囲

1. S A
- 保温あり □ 保温なし □ 図面による □ その他 ()
2. E A
- 保温あり □ 保温なし □ 図面による □ その他 ()
3. R A
- 保温あり □ 保温なし □ 図面による □ その他 ()
4. O A
- 保温あり □ 保温なし □ 図面による □ その他 ()
- チャンパー内貼施工
- 内貼あり 専 名 / t i t h m) □ 内貼なし □ 図面による □ その他 ()

(4) スリーブ工事

1. 管スリーブの径は、原則として、管の外径 (保温されるものは、保温厚さを含む) より40mm程度大 (≒2サイズUP) なるものとする。
箱抜きスリーブは、本枠又は銅板(実管ダクト) とする。
2. 地中部分のスリーブは、塩化ビニル管 (VU) とし、水密を要する部分のスリーブは、つば付き銅管とする。
3. その他のスリーブは、特記なき限り、紙ボイドとする。紙ボイド使用の際は、配管前に必ず除去のこと。

10 共通事項

- 1) 陸上ポンプ、送排風機 (エアハン含む) の電動機は、すべて全閉防まつ形とする。
- 2) 配管途中、要所にはフランジ接続箇所を設置し、取り外しを容易にすること。
- 3) 系統が分かるように、必要箇所 (機械室、P S内等) に文字書き・矢印記入・バルブ札取付を行うこと。手書きもしくはカッティングシートとする。
- 4) 機器・配管・支持金物には、絶縁処理を行うこと。
- 5) 配管に空気が滞留する恐れのある箇所には、エア抜き弁を設置し、最寄りのドレン管に接続すること。
- 6) 屋外機器設置基礎のアンカーボルトは、構造体鉄筋より取り出す、もしくはあと施工アンカー工法の類とする。使用アンカーについては、機器仕様書、耐震クラス等を確認すること。また、重量機器にあと施工アンカー工法を採用する場合、ケミカルアンカーを使用し施工すること。
- 7) 機器、配管の耐震措置及び機器、ダクトの防振・消音については、標準仕様書、標準図、施工監理指針及び建築設備耐震設計・施工指針に基づき十分考慮すること。
- 8) 雨がかり部に取り付けるガラのチャンパーには、水抜きを設けること。
- 9) 屋外埋設管 (給水、消火、ガス) には、埋設シートを敷設し、曲がり・分岐部には、地中埋設導を施工すること。
- 10) 冷水及び冷温水管の支持材には、合成樹脂製支持受けを使用すること。
- 11) 水栓は、節水機構付きのものをを使用すること。
- 12) 冷媒管等防火区画貫通部は、建築基準法・消防法に適合する工法にて防火処理を行うこと。
- 13) 地中埋設配管については、下記の沈下対策を講ずること。
- ・ 管は継ぎ手の組み合わせにより可とう性をもたせる。
 - ・ 接続箇所は必要に応じコンクリートで保護する。
 - ・ 土間配管は、土間筋に吊り下げるなど埋設配管を保持すること。
 - ・ 呼び径100A以下はM10、125A～250AはM12、250A以上はM16のステンレス棒鋼を使用する。
- 14) 屋外露出及び多湿箇所 (トレンチビット等) の配管架台は、SUS又はSS溶融亜鉛メッキ仕上げとすること。
- 15) 屋外設置のマノホール類には用途名を入れること。
- 16) 合成樹脂製カバーの仕上げについては、保温見切り箇所には菊座の取り付けを行うこと。
- 17) 送風機用ベルトカバーには点検口を設けること。

・ ・

・ ・

・ ・

・ ・

工事名／Title

津市立西郊中学校校便所改修工事

図面種別／Drawing

特記仕様書 2

縮尺／Scale

原図：A2

日付／Date

Check

No.

M-02

合資会社 重企建築事務所
Jyuki Architectural Design Office

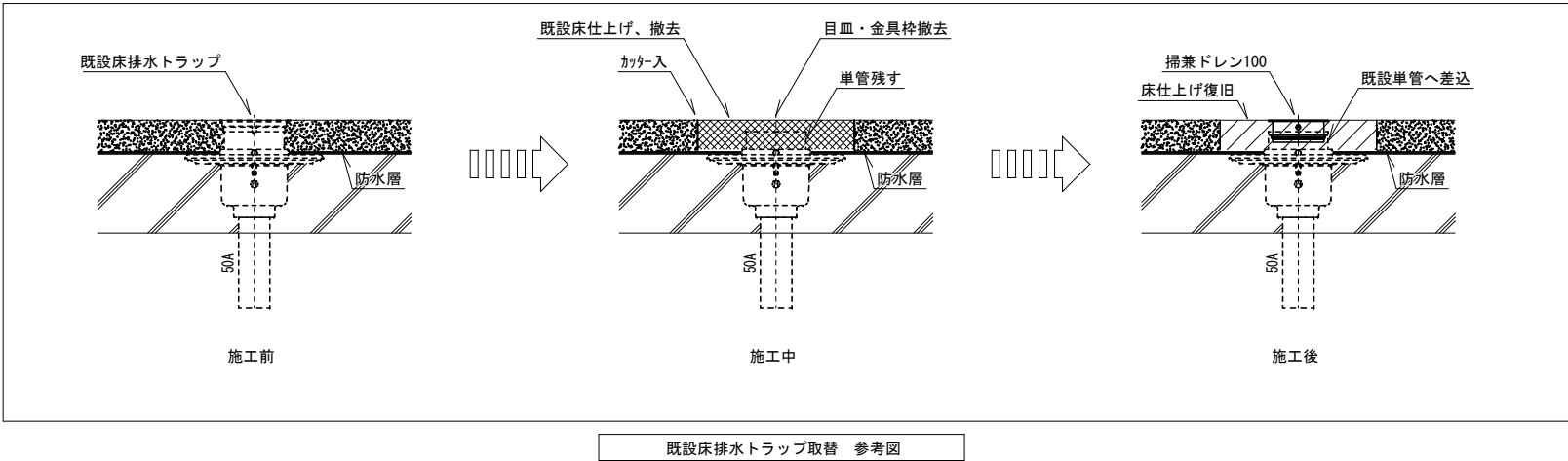
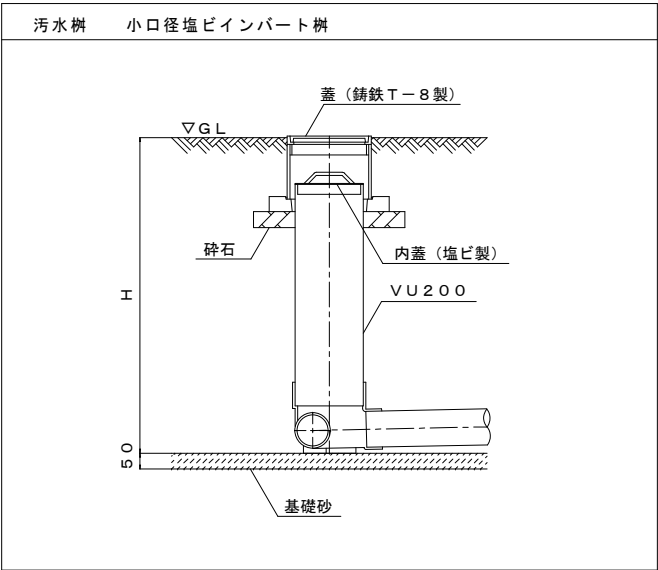
一級建築士事務所 三重県知事登録第1ー300号

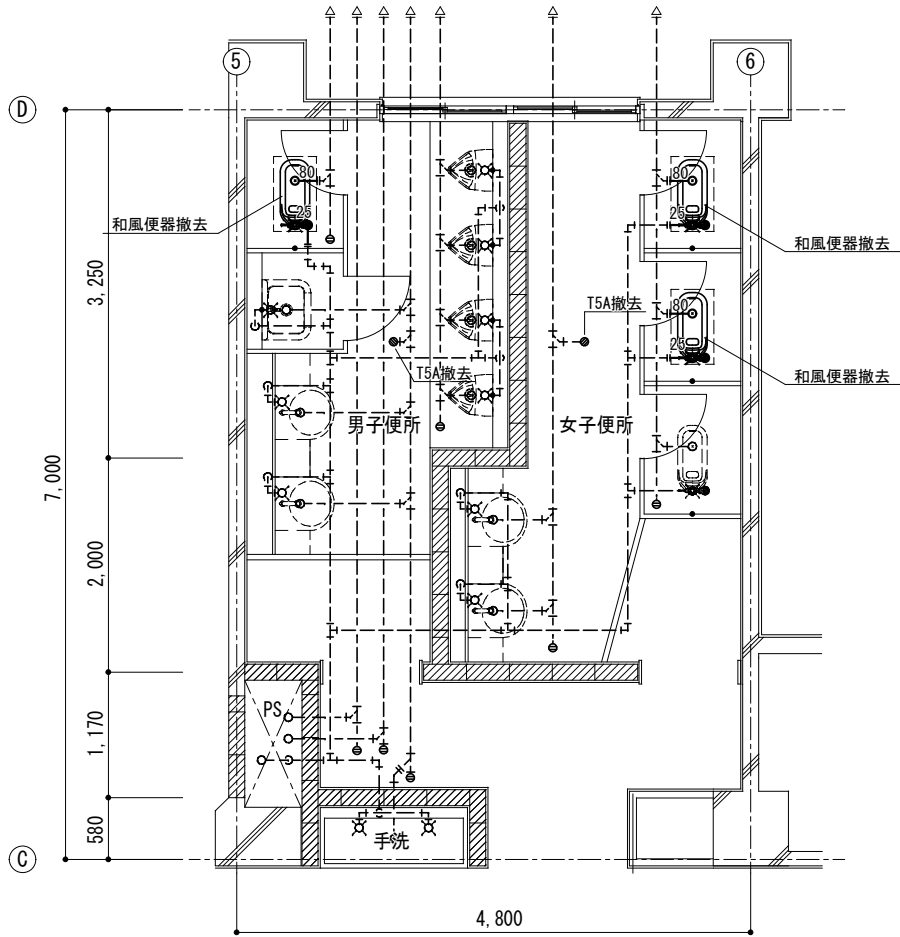
一級建築士国土交通大臣登録第167163号 山田 裕治

凡例			
図示記号	名称	図示記号	名称
――●――	給水管	●	排水金物
――┤――	給湯管	○	床上掃除口
――┐――	排水管	⋈ ㇿ	弁類
――――	通気管	――EA――	排気ダクト
――G――	ガス管	→ ┃ →	屋外フード(排気)
⋈	水栓金具	⊠	天井換気扇
		⊙	壁付扇

換気機器仕様								
記号	形式	風量 CMH	機外静圧 Pa	電源	消費電力 kw	付属品	備考・参考型番	数量
VF-1	天井換気扇 φ100 低騒音形	150	40	単相100V	0.023	SUS製パイプフード ガラリ付 天吊り金具	VD-15ZPC9	1
特記事項 1、消費電力は参考値とする。								

衛生器具表																													
名 称	仕 様 ・ 参 考 型 番														普通教室・特別教室管理棟								普通教室・特別教室棟				屋 内 運 動 場		合 計
	L I X I L	C-P25	T O T O	1 F				2 F				3 F		4 F		1 F		2 F		3 F		4 F		男子便所	女子便所				
				西男子便所	西女子便所	東男子便所	東女子便所	西男子便所	西女子便所	東男子便所	東女子便所	西男子便所	東男子便所	西男子便所	東女子便所	洗面所	多目的便所	北男子便所	北女子便所	南男子便所	南女子便所	北男子便所	南女子便所						
洋風便器(リフゝルイブ)	C-P25HM(低圧フラッシュバルブ), CW-PB11F-NE(温水洗浄便座), 他一式 CF-63HST(紙巻器)			CFS494MCSNS(低圧フラッシュバルブ), TCF585R(温水洗浄便座), 他一式 YH702(紙巻器)			1	2	1		1	1	1	2	1			1						1		1	4		
温水洗浄便座	CW-PB11F-NE, 分岐金具 他一式			TCF585R 分岐金具 他一式						1			1	1	1	1	1			1	1	1	1	1	1	1	1	5	
多目的便器(リフゝルイブ)	BC-P20S, DT-PA250CH, CW-PC12QD-NECK-UR(温水洗浄便座), CF-008-1, CWA-201PJ CF-63HST(紙巻器)			CS597BMCS, SH596BAYR, TCF4721V81RW(温水洗浄便座), TCA89, HE35J, 他一式 YH702(紙巻器)													1										1		
跳ね上げ手すり	該当品なし			T112HPL/R7S, 固定金具共													1										1		
L型手すり	KF-926AE80D25, 固定金具共			T112CL12(L=700), 固定金具共													1										1		
L型手すり	KF-920AE70D12, 固定金具共			T112CL10(L=700), 固定金具共																				1			1		
背もたれ	KFC-271T1U2, 固定金具共			EWC385CS, 固定金具共													1										1		
洗面器	L-A951A2C(自動単水栓, 水石鯀供給付)			LE130AQK1(自動単水栓, 水石鯀供給付)													1										1		
手洗器	AWL-71U2AM(P)(AC100V)(自動単水栓)			LSE570AP(自動単水栓)													1										1		
化粧鏡	KF-W450H1000H(450×1000:上部R付)			YMA4510FAC(450×1000:アーチ形)													1										1		
ホーム水栓	LF-7R-13			T200SNR13													2										2		
化粧鏡	KF-4560(450×600)			YM4560F(450×600)													2										2		





給排水衛生設備 撤去工事要領

- 図示の衛生器具、給排水管、付属金具等を撤去する。
- 土間コンクリートはつり等躯体工事は建築工事。
- 壁内不要埋込配管は管端部処理の上放置とする。

配管切り離し部分

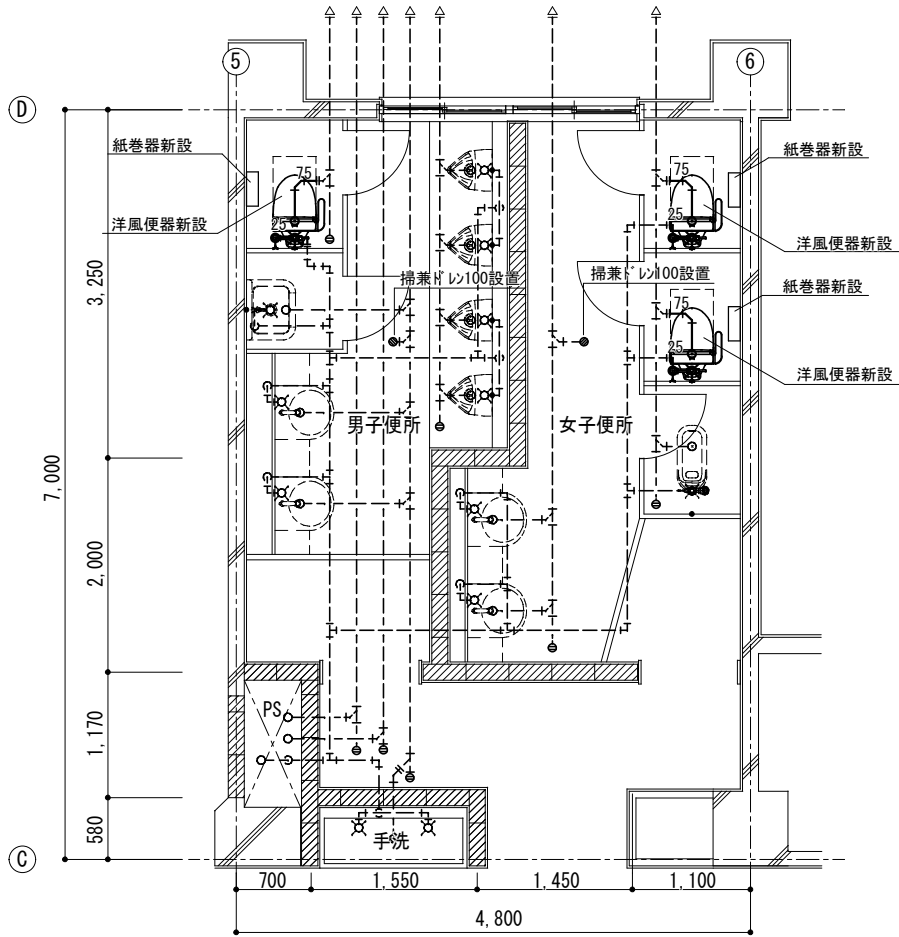
現状維持部分

配管撤去部分

- 既設不要配管口穴埋めは本工事とする。

撤去 衛生器具表 (女子便所)		
名称	仕様	数量
和風便器	FV 紙巻器	2

撤去 衛生器具表 (男子便所)		
名称	仕様	数量
和風便器	FV 紙巻器	1



給排水衛生設備 新設工事要領

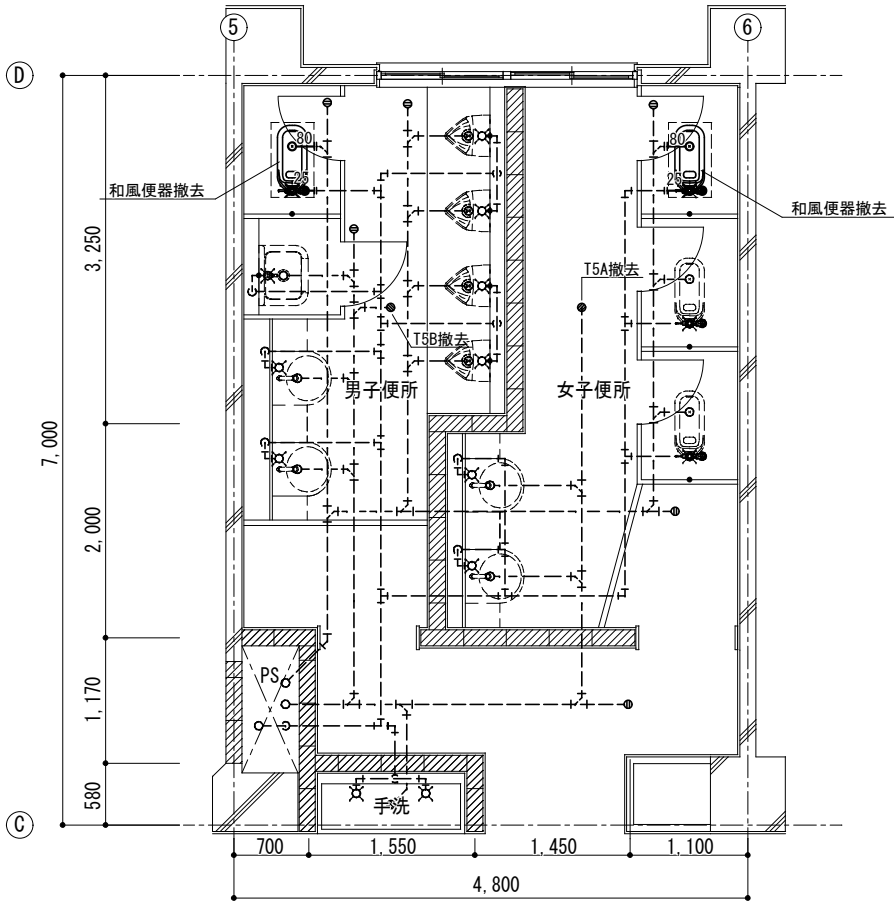
- 衛生器具、給排水管、付属金具等を新設する。
- 土間コンクリート復旧工事は建築工事。
- 既設壁貫通部は既設穴を原則利用する。

既設管接続部分

既設配管部分

配管新設部分

- 既設不要配管口穴埋めは本工事とする。



給排水衛生設備 撤去工事要領

- 図示の衛生器具、給排水管、付属金具等を撤去する。
- 土間コンクリートはつり等躯体工事は建築工事。
- 壁内不要埋込配管は管端部処理の上放置とする。

配管切り離し部分

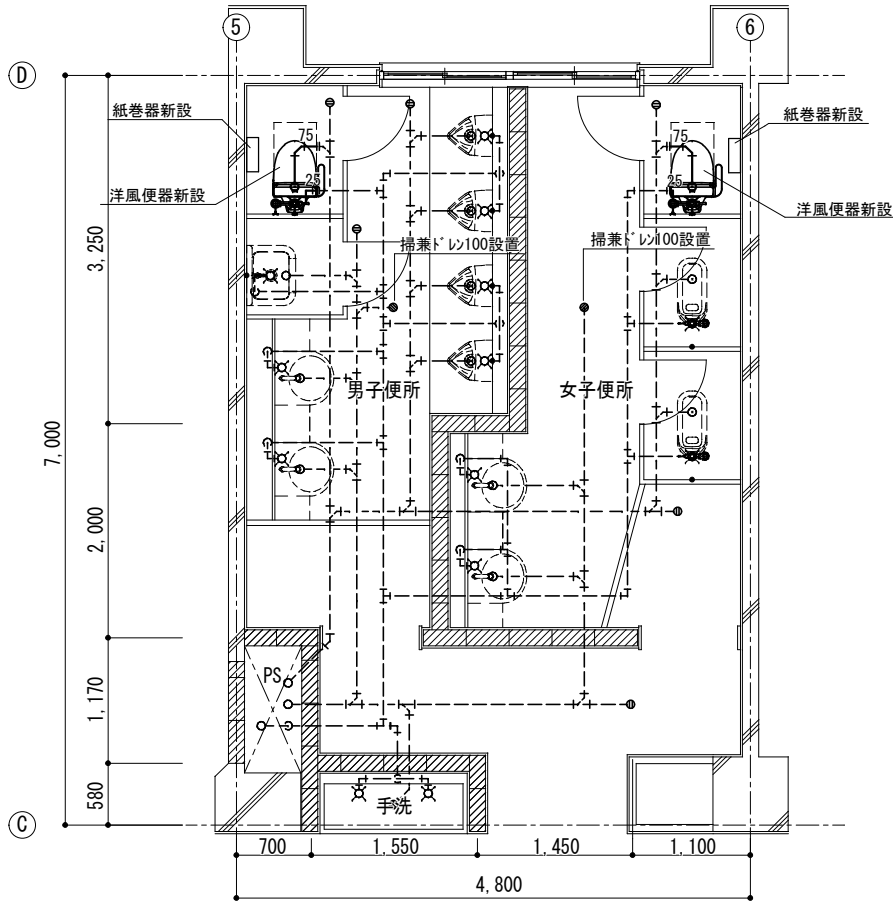
現状維持部分

配管撤去部分

- 既設不要配管口穴埋めは本工事とする。

撤去 衛生器具表 (女子便所)			
名称	仕様	数量	
和風便器	FV 紙巻器	1	

撤去 衛生器具表 (男子便所)			
名称	仕様	数量	
和風便器	FV 紙巻器	1	



給排水衛生設備 新設工事要領

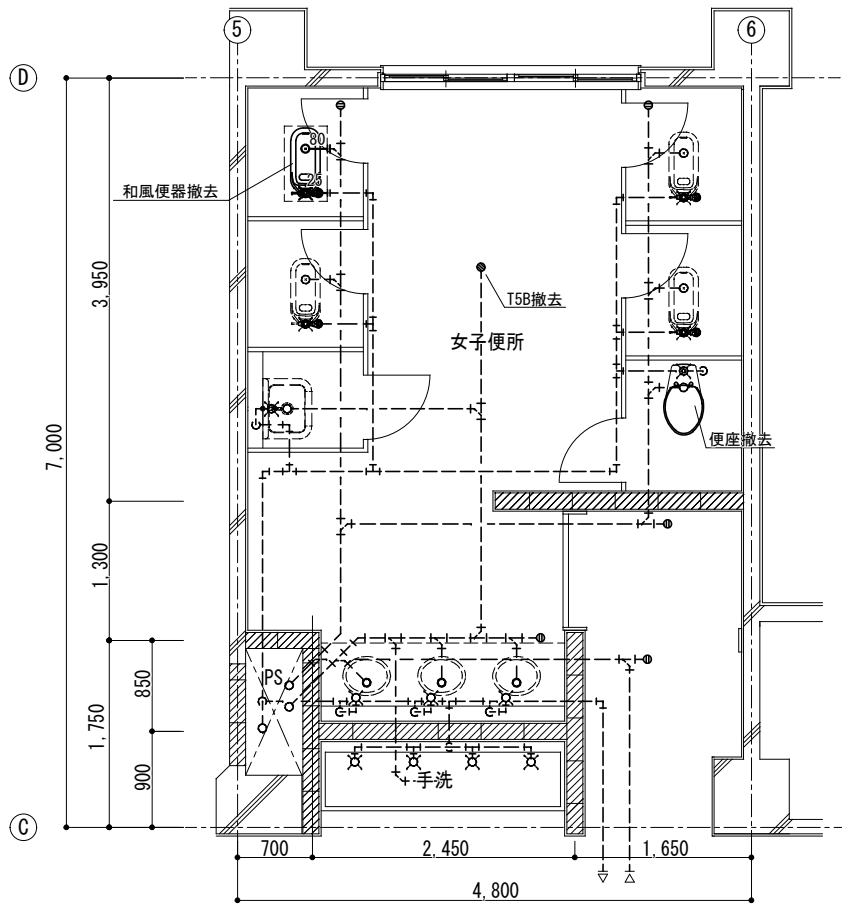
- 衛生器具、給排水管、付属金具等を新設する。
- 土間コンクリート復旧工事は建築工事。
- 既設壁貫通部は既設穴を原則利用する。

既設管接続部分

既設配管部分

配管新設部分

- 既設不要配管口穴埋めは本工事とする。



給排水衛生設備 撤去工事要領

- 図示の衛生器具、給排水管、付属金具等を撤去する。
- 土間コンクリートはつり等躯体工事は建築工事。
- 壁内不要埋込配管は管端部処理の上放置とする。

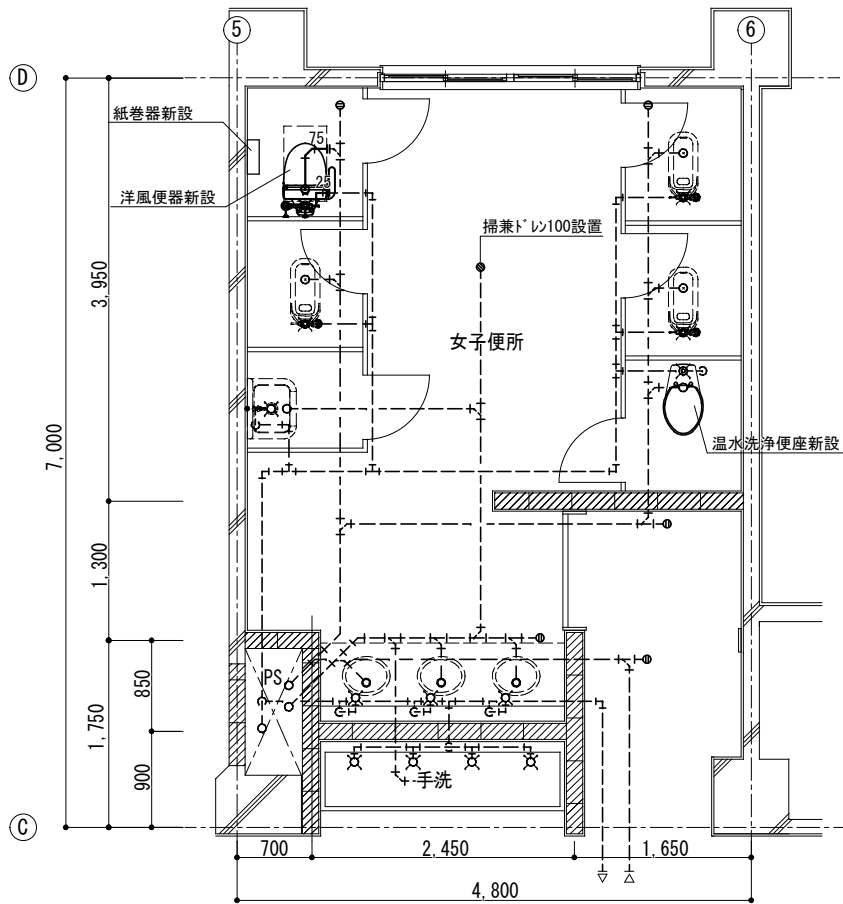
配管切り離し部分

現状維持部分

配管撤去部分

- 既設不要配管口穴埋めは本工事とする。

撤去 衛生器具表 (女子便所)		
名称	仕様	数量
和風便器	FV 紙巻器	1
便座	普通便座	1



給排水衛生設備 新設工事要領

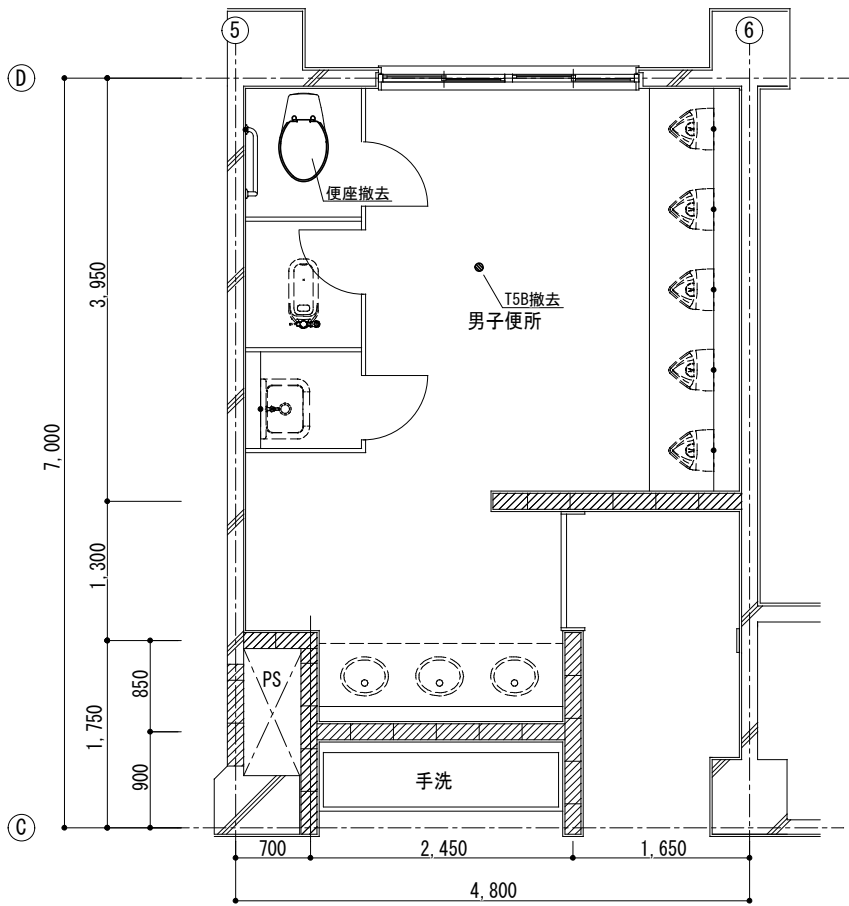
- 衛生器具、給排水管、付属金具等を新設する。
- 土間コンクリート復旧工事は建築工事。
- 既設壁貫通部は既設穴を原則利用する。

既設管接続部分

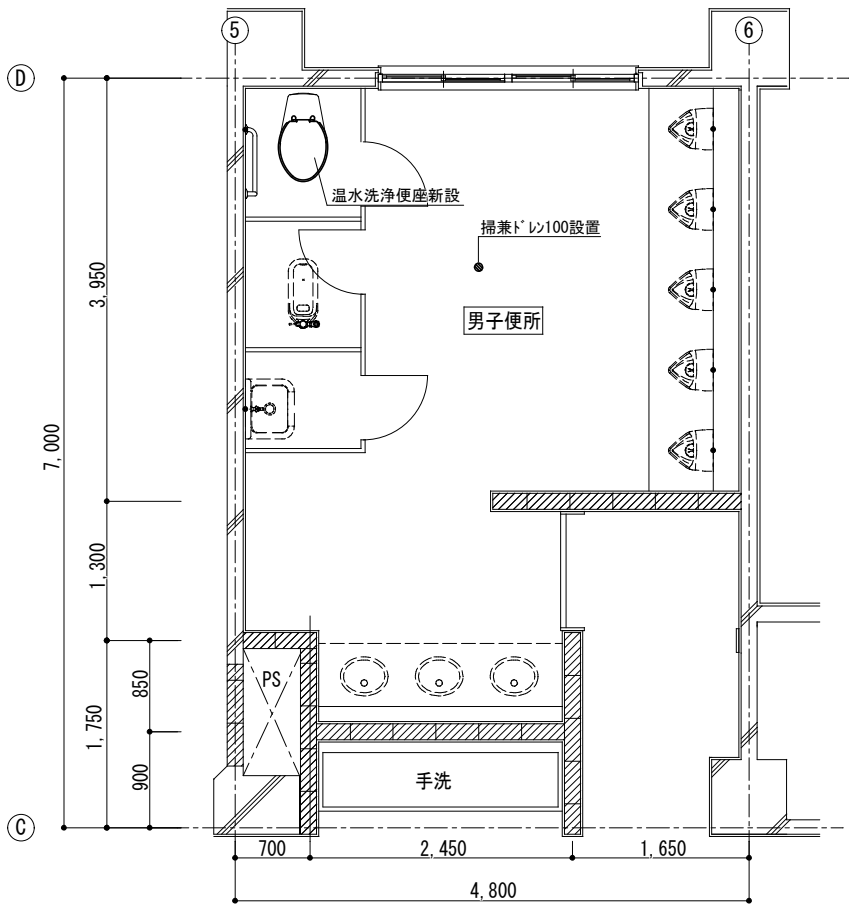
既設配管部分

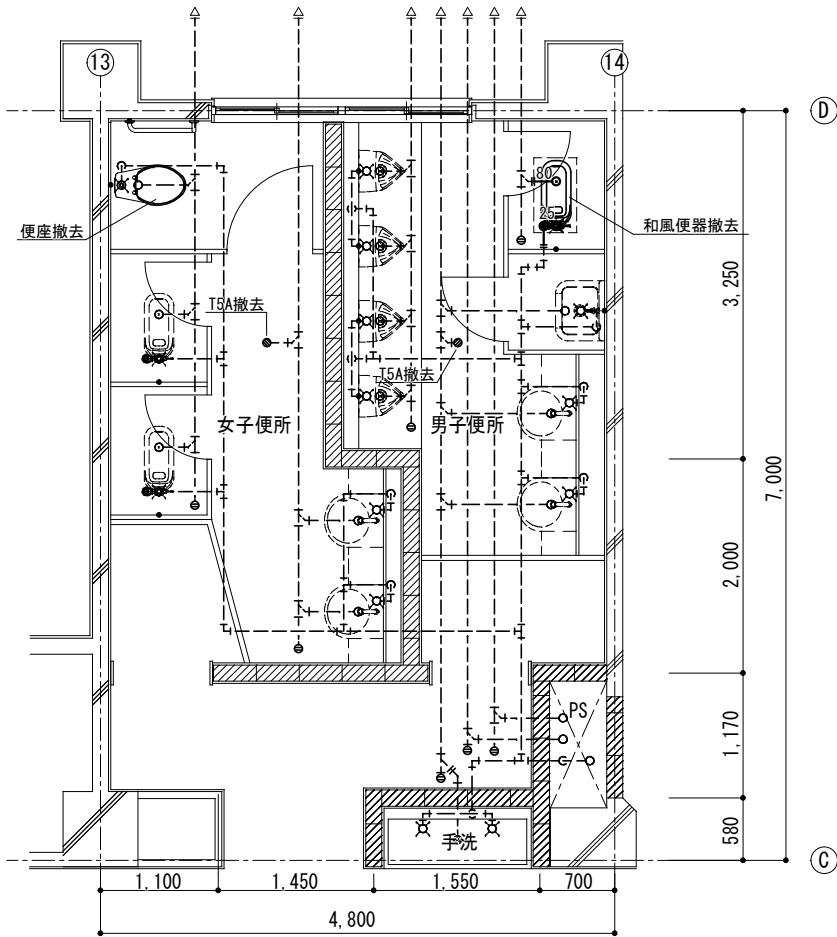
配管新設部分

- 既設不要配管口穴埋めは本工事とする。



撤去 衛生器具表 (男子便所)		
名称	仕様	数量
便座	普通便座	1





給排水衛生設備 撤去工事要領

- ・図示の衛生器具、給排水管、付属金具等を撤去する。
- ・土間コンクリートはつり等躯体工事は建築工事。
- ・壁内不要埋込配管は管端部処理の上放置とする。

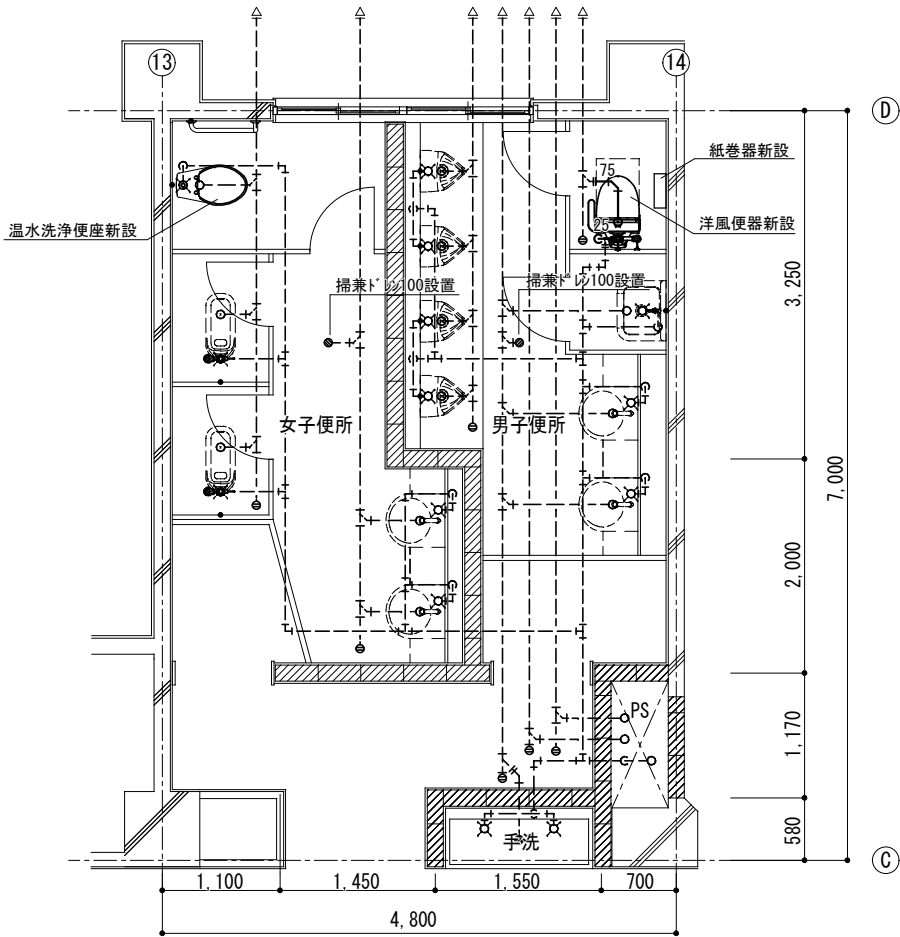
配管切り離し部分

現状維持部分

配管撤去部分

- ・既設不要配管口穴埋めは本工事とする。

撤去 衛生器具表 (女子便所)		
名称	仕様	数量
便座	普通便座	1
撤去 衛生器具表 (男子便所)		
名称	仕様	数量
和風便器	FV 紙巻器	1



給排水衛生設備 新設工事要領

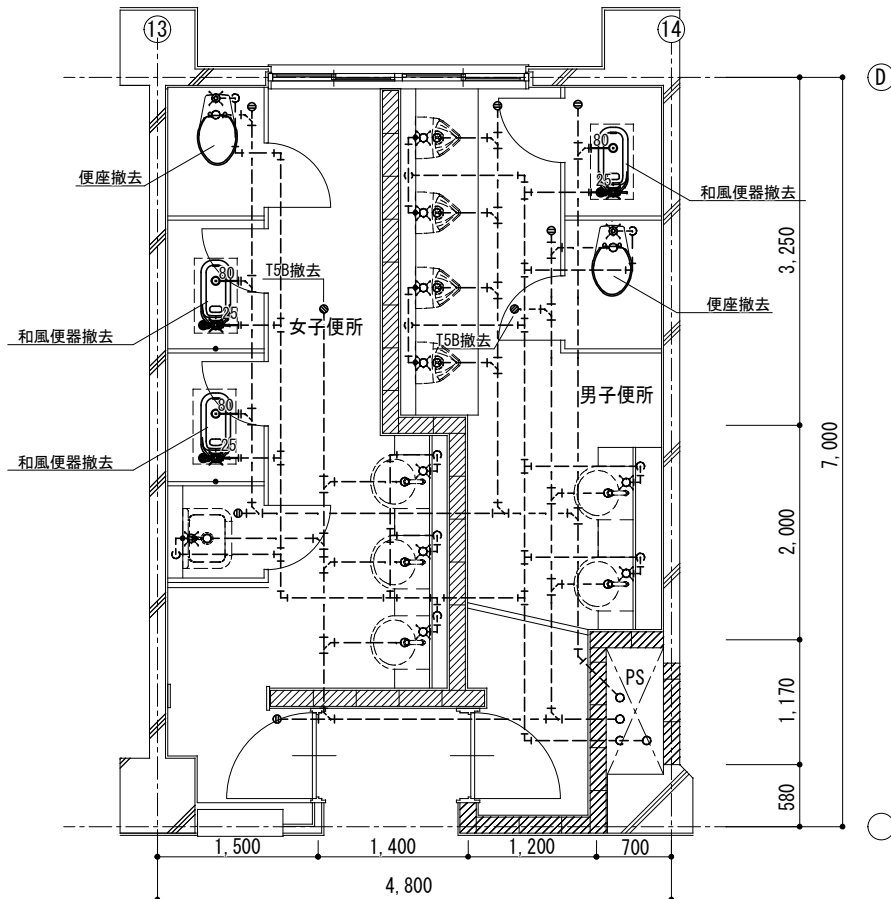
- ・衛生器具、給排水管、付属金具等を新設する。
- ・土間コンクリート復旧工事は建築工事。
- ・既設壁貫通部は既設穴を原則利用する。

既設管接続部分

既設配管部分

配管新設部分

- ・既設不要配管口穴埋めは本工事とする。



給排水衛生設備 撤去工事要領

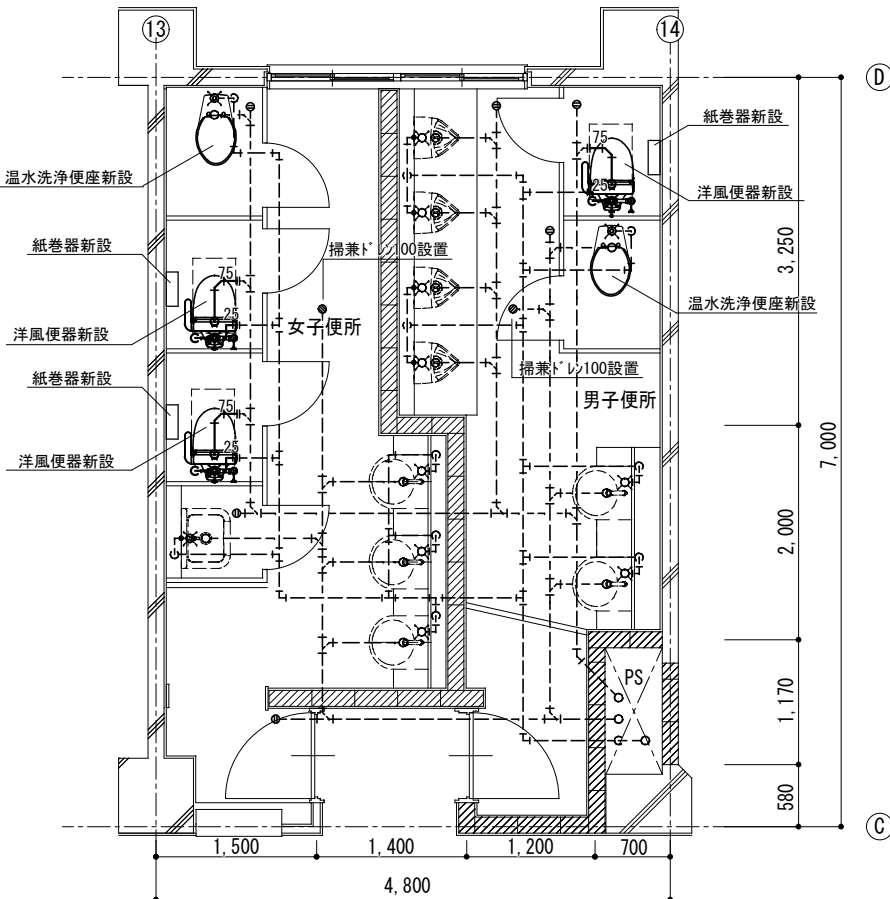
- ・図示の衛生器具、給排水管、付属金具等を撤去する。
- ・土間コンクリートはつり等躯体工事は建築工事。
- ・壁内不要埋込配管は管端部処理の上放置とする。

配管切り離し部分
現状維持部分
配管撤去部分

- ・既設不要配管口穴埋めは本工事とする。

撤去 衛生器具表 (女子便所)		
名称	仕様	数量
和風便器	FV 紙巻器	2
便座	普通便座	1

撤去 衛生器具表 (男子便所)		
名称	仕様	数量
和風便器	FV 紙巻器	1
便座	普通便座	1



給排水衛生設備 新設工事要領

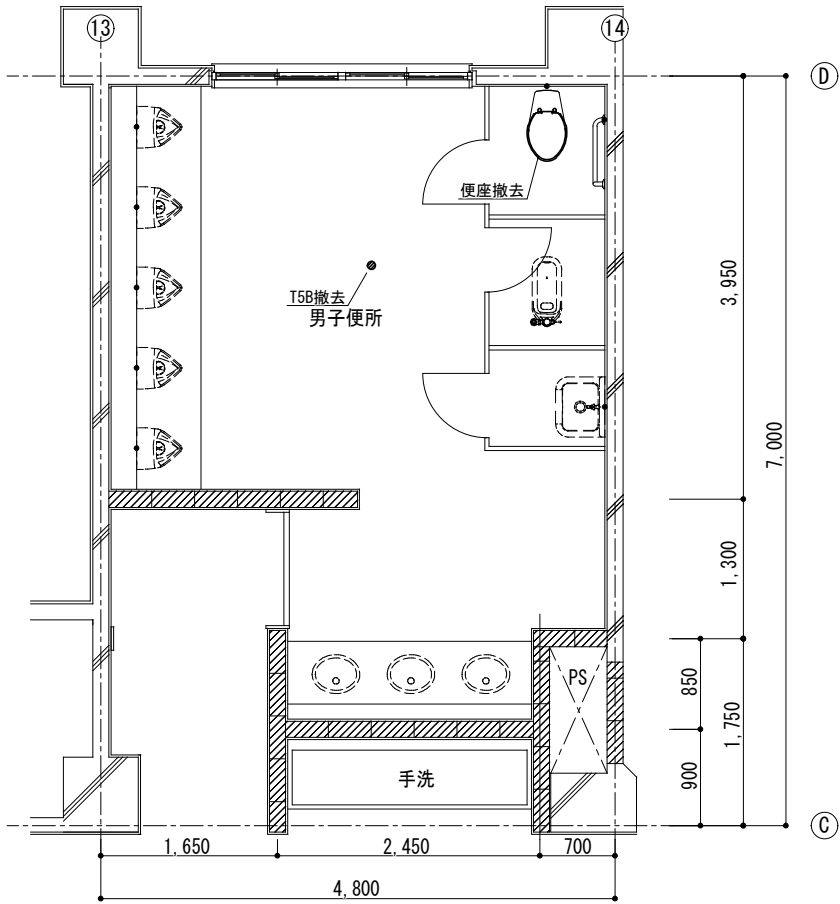
- ・衛生器具、給排水管、付属金具等を新設する。
- ・土間コンクリート復旧工事は建築工事。
- ・既設壁貫通部は既設穴を原則利用する。

既設管接続部分
既設配管部分
配管新設部分

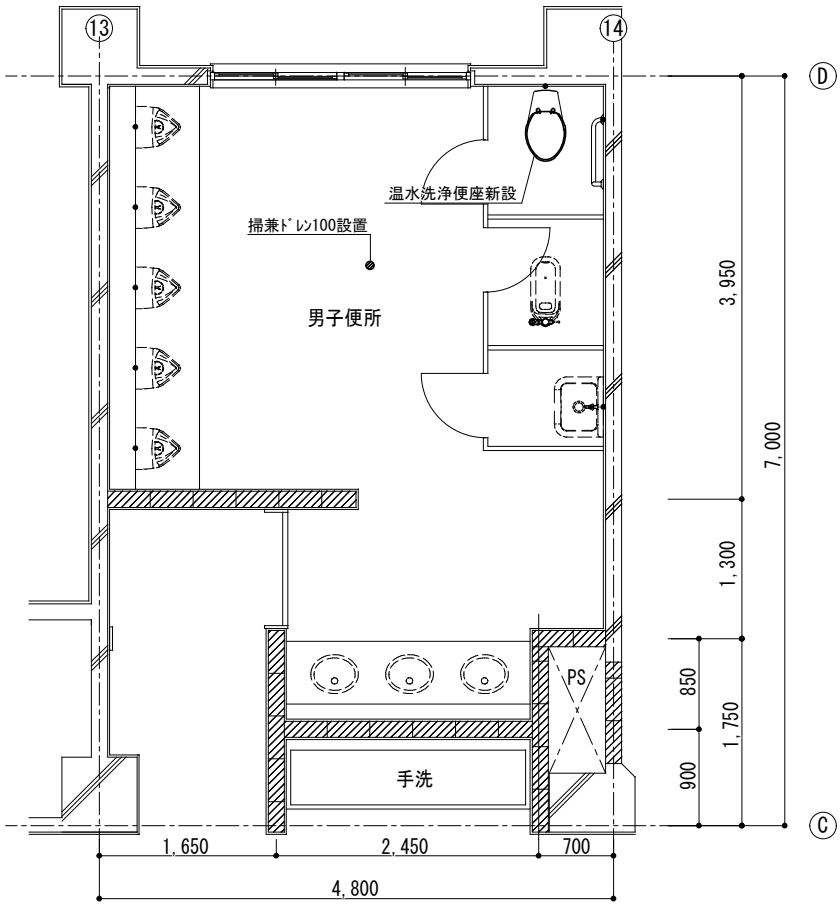
- ・既設不要配管口穴埋めは本工事とする。

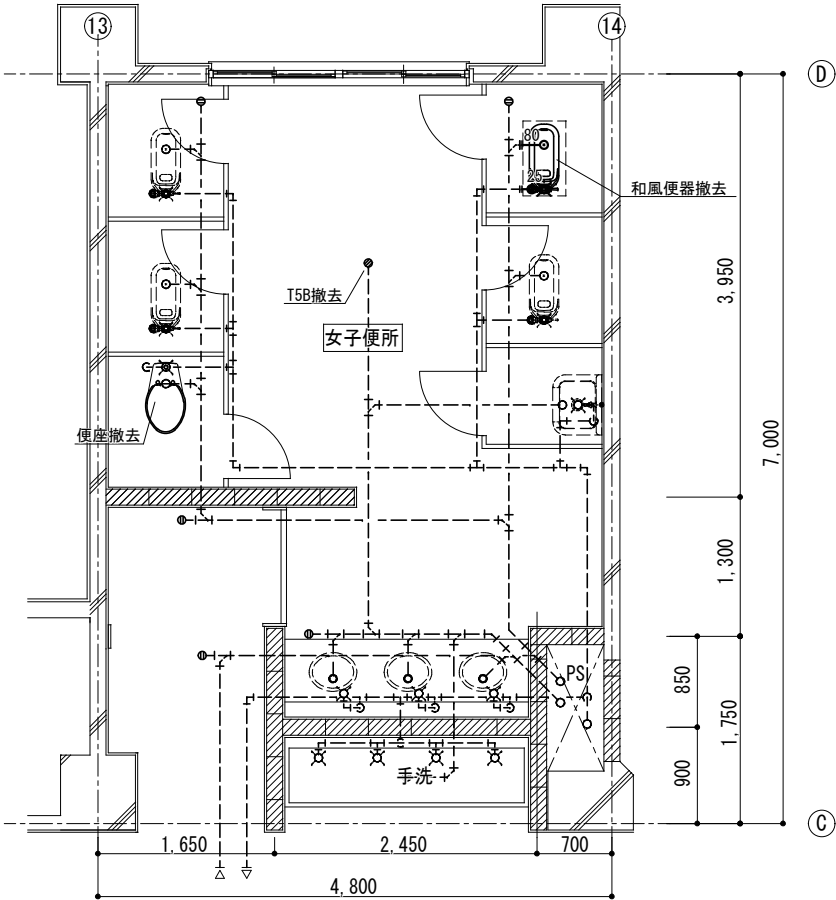
洋便器化の改修なし

洋便器化の改修なし



撤去 衛生器具表 (男子便所)		
名称	仕様	数量
便座	普通便座	1





給排水衛生設備 撤去工事要領

- ・ 図示の衛生器具、給排水管、付属金具等を撤去する。
- ・ 土間コンクリートはつり等躯体工事は建築工事。
- ・ 壁内不要埋込配管は管端部処理の上放置とする。

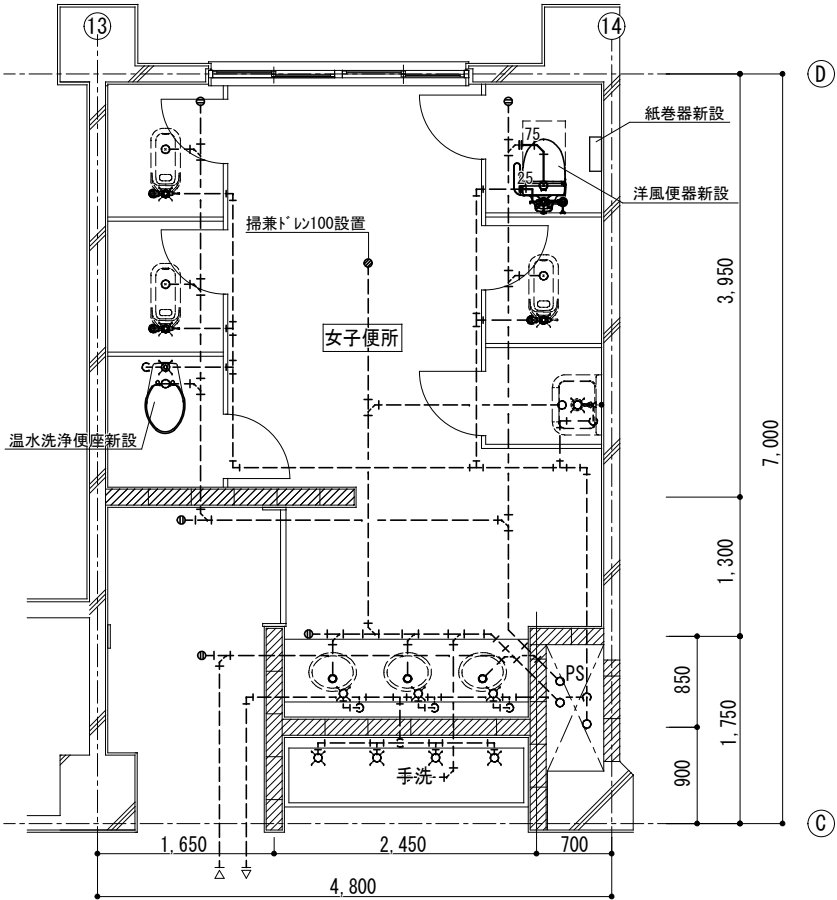
——— 配管切り離し部分

——— 配管撤去部分

——— 現状維持部分

- ・ 既設不要配管口穴埋めは本工事とする。

撤去 衛生器具表 (女子便所)		
名称	仕様	数量
和風便器	FV 紙巻器	1
便座	普通便座	1



給排水衛生設備 新設工事要領

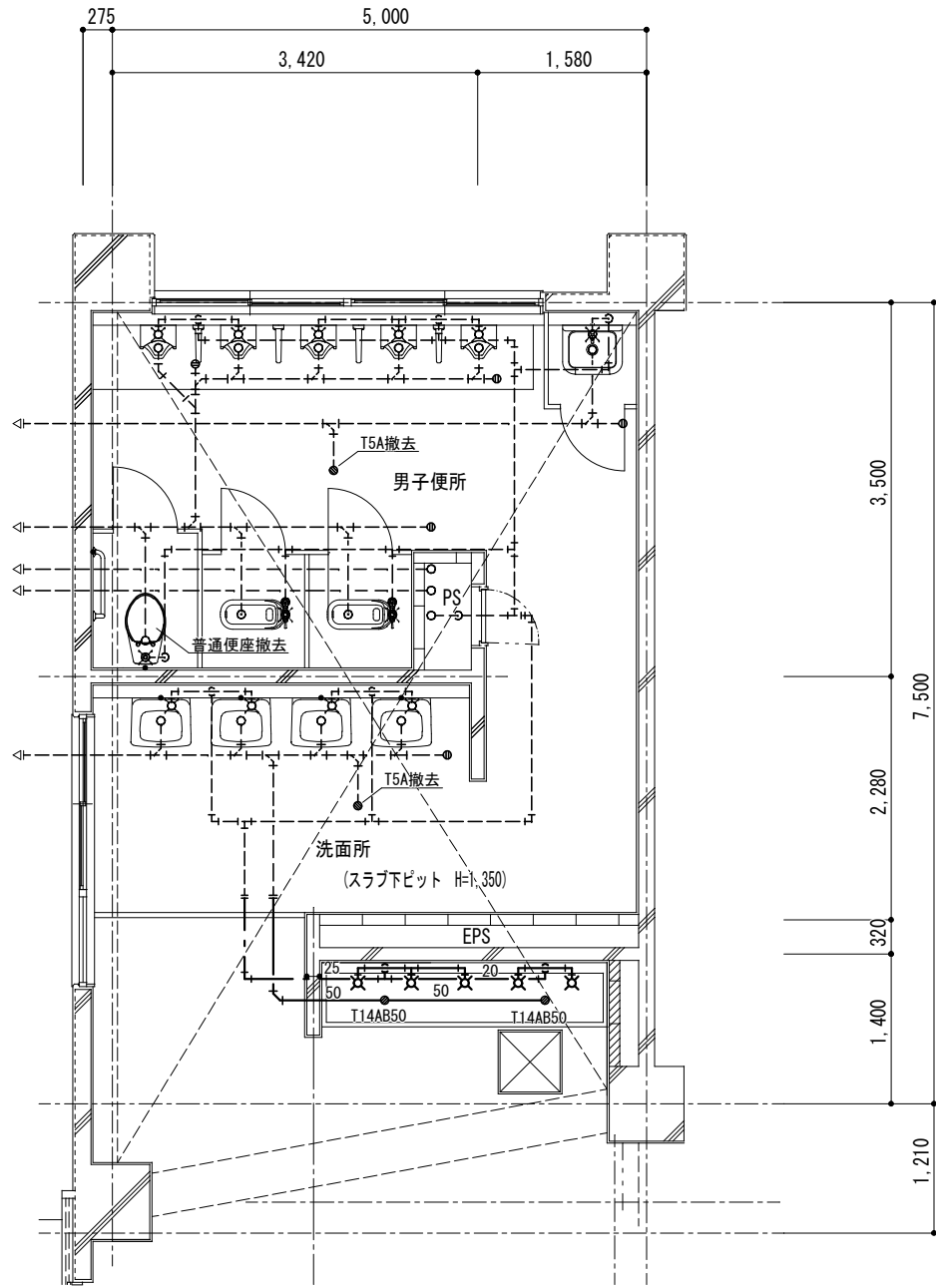
- ・ 衛生器具、給排水管、付属金具等を新設する。
- ・ 土間コンクリート復旧工事は建築工事。
- ・ 既設壁貫通部は既設穴を原則利用する。

——— 既設管接続部分

——— 配管新設部分

——— 既設配管部分

- ・ 既設不要配管口穴埋めは本工事とする。



給排水衛生設備 撤去工事要領

・図示の衛生器具、給排水管、付属金具等を撤去する。

・土間コンクリートはつり等躯体工事は建築工事。

・壁内不要埋込配管は管端部処理の上放置とする。

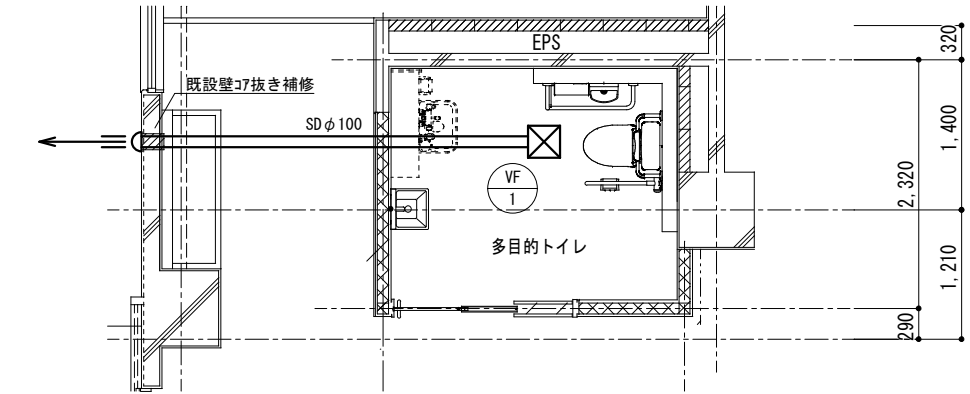
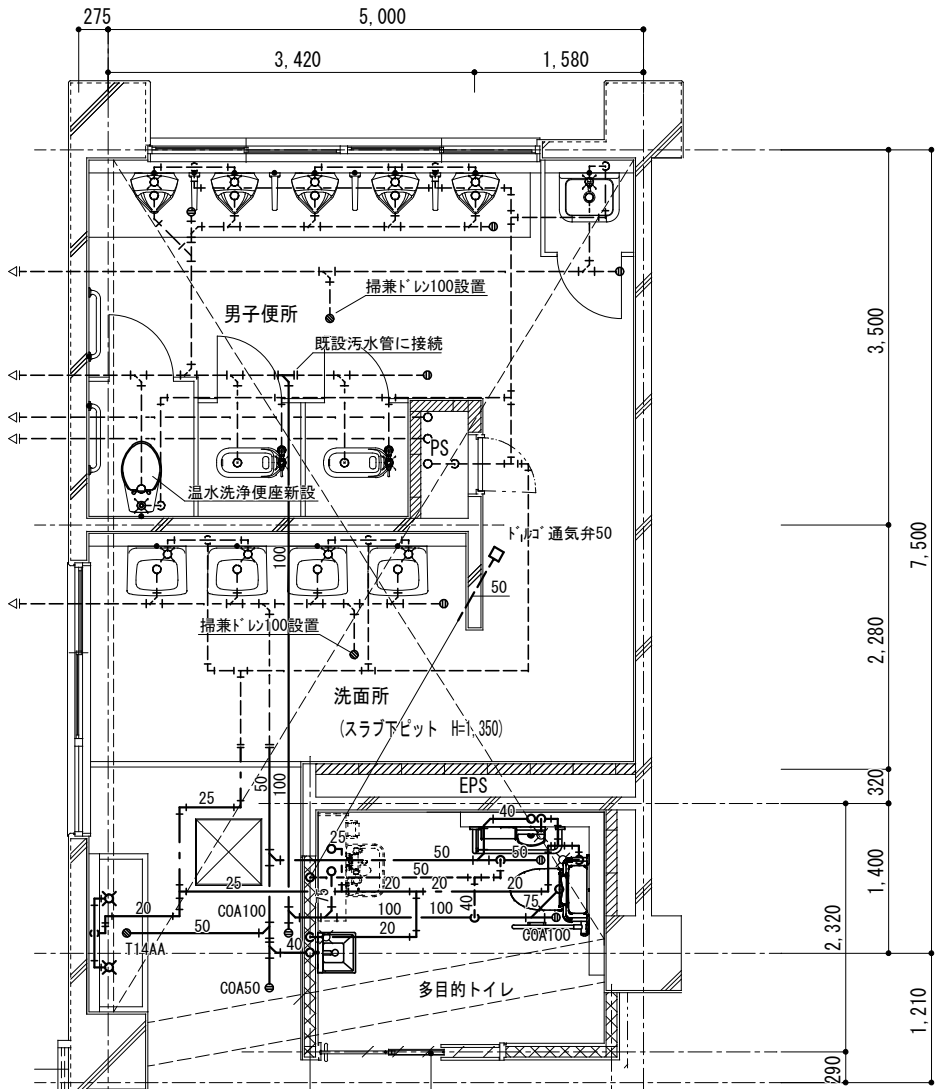
——— 配管切り離し部分

——— 現状維持部分

——— 配管撤去部分

・既設不要配管口穴埋めは本工事とする。

撤去 衛生器具表 (洗面所)		
名称	仕様	数量
ホーム水栓	13A	5
便座	普通便座	1



給排水衛生設備 新設工事要領

・衛生器具、給排水管、付属金具等を新設する。

・土間コンクリート復旧工事は建築工事。

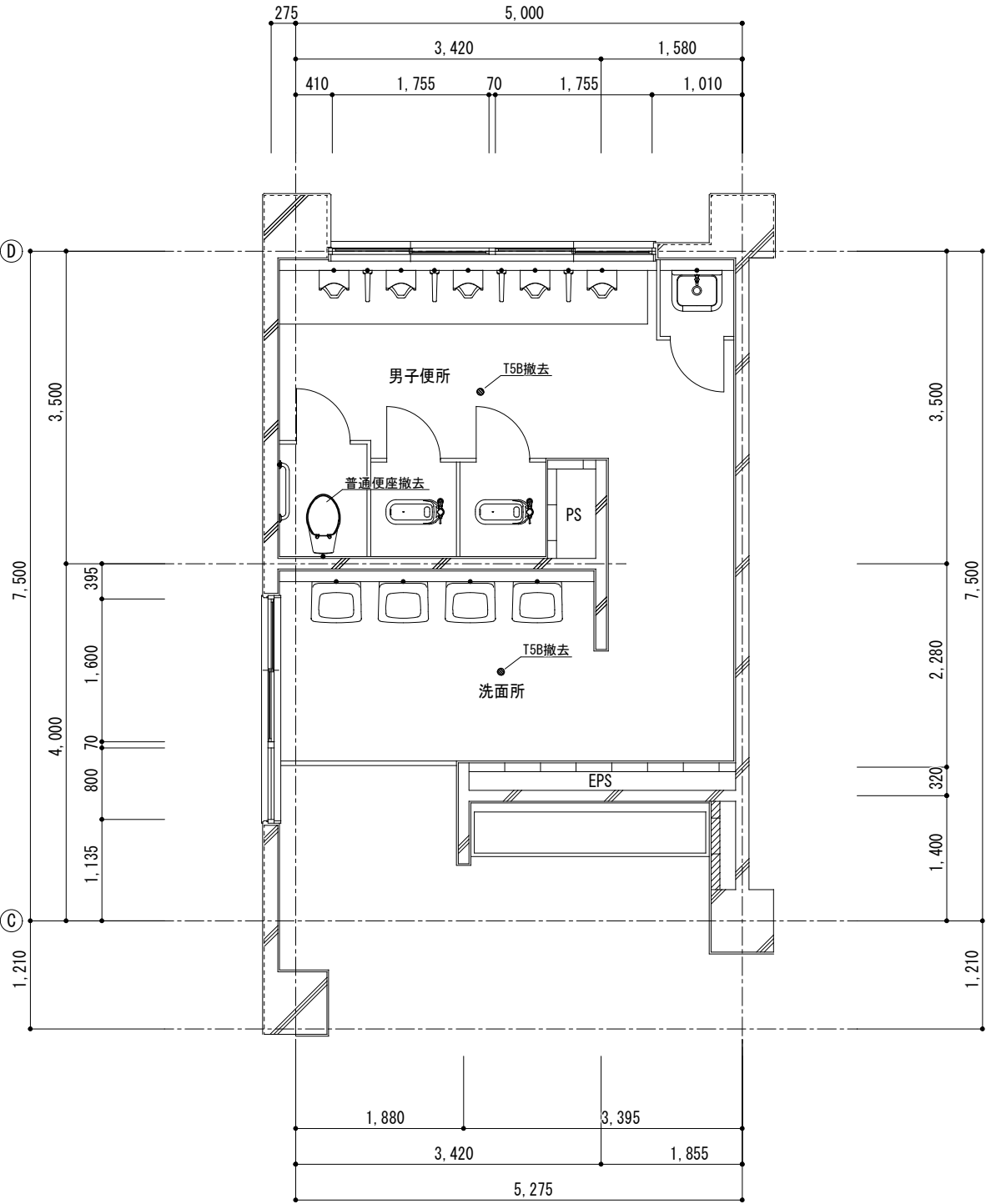
・既設壁貫通部は既設穴を原則利用する。

——— 既設管接続部分

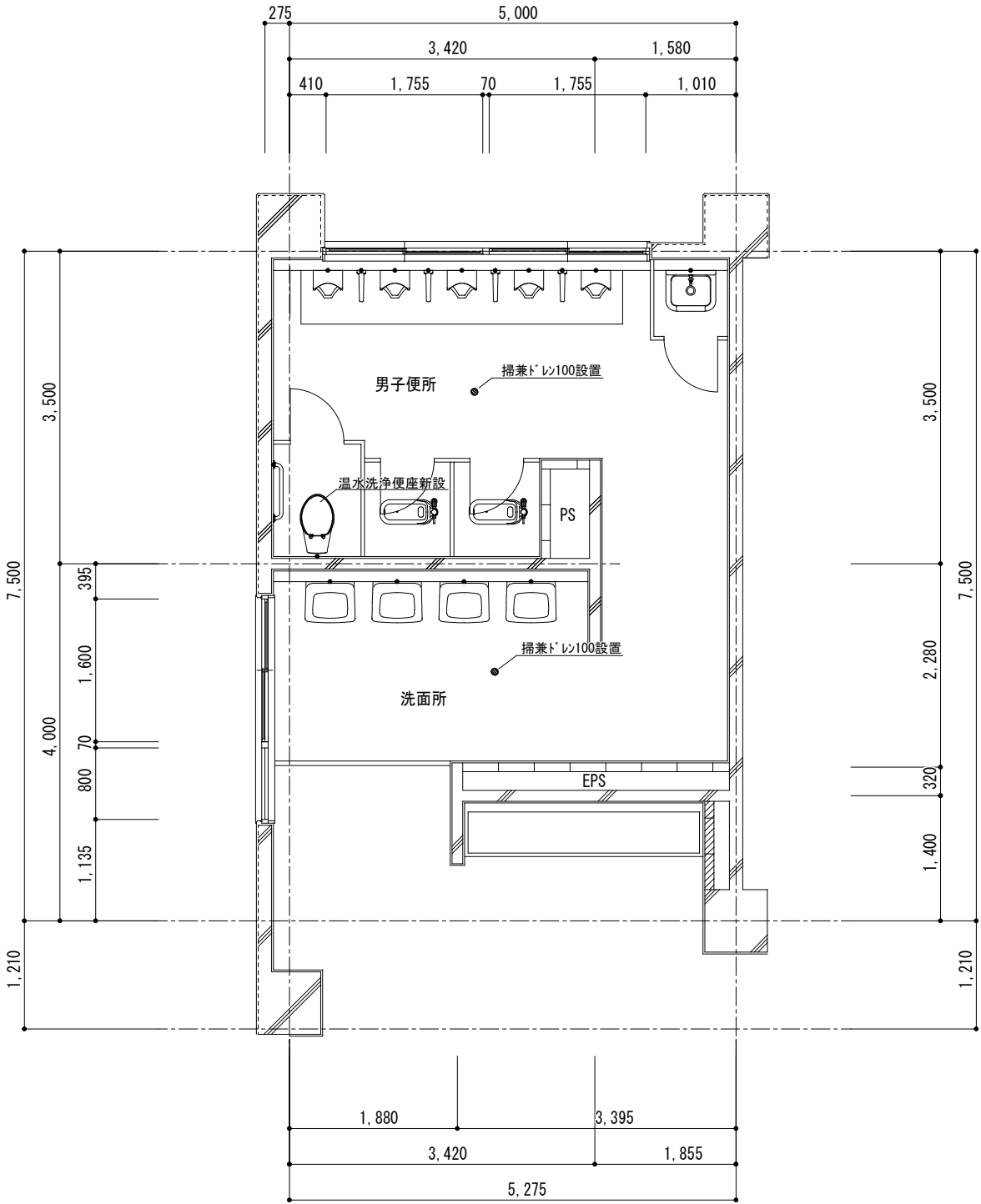
——— 既設配管部分

——— 配管新設部分

・既設不要配管口穴埋めは本工事とする。



撤去 衛生器具表 (洗面所)		
名称	仕様	数量
便座	普通便座	1



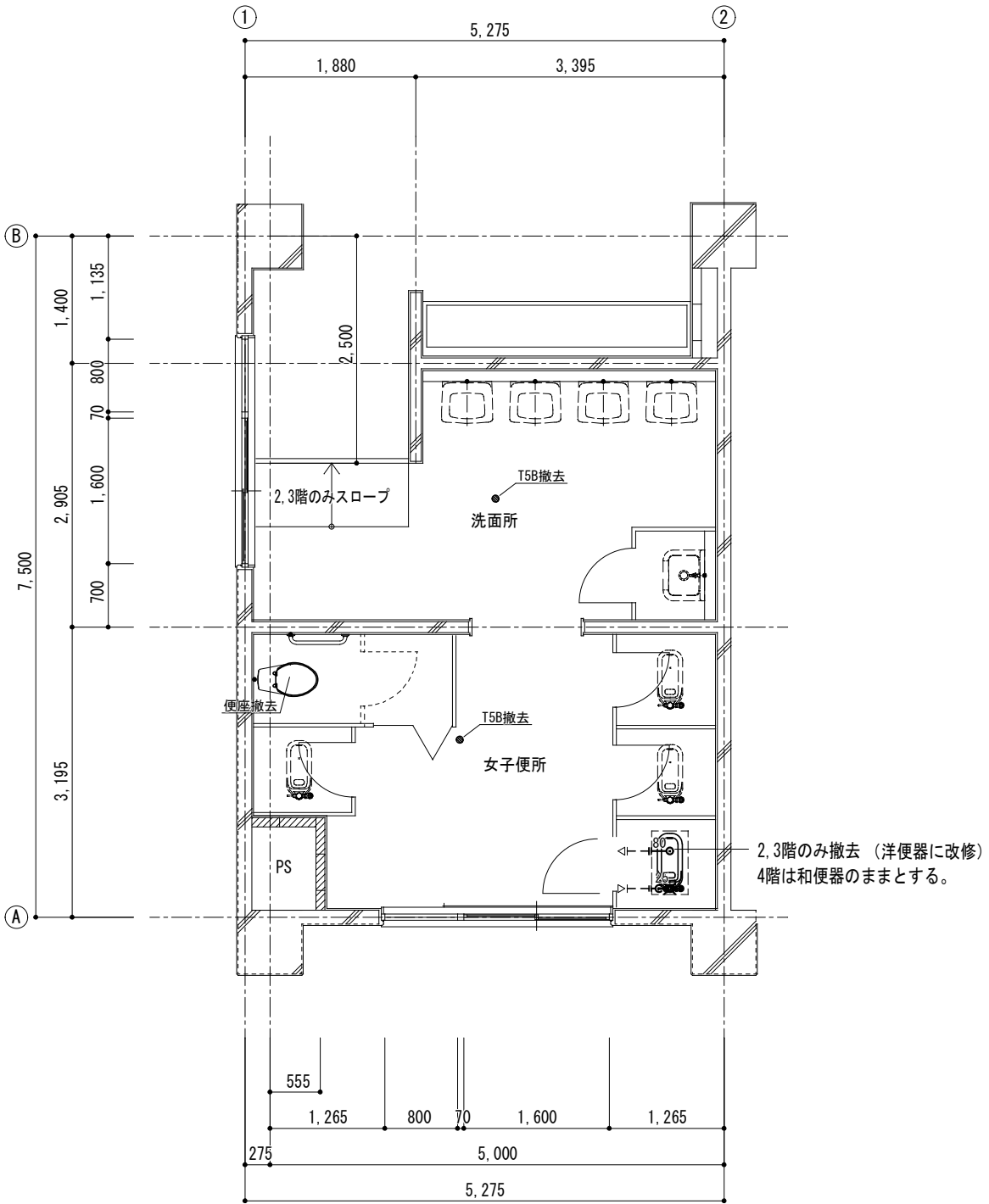
・	・
・	・
・	・
・	・

工事名／Title
津市立西郊中学校便所改修工事

図面種別／Drawing 給排水衛生設備 普通教室・特別教室棟 2～4階北便所平面詳細図		
縮尺／Scale 1/50	原図：A2	日付／Date

Check	No.
	M-13

合資会社 重企建築事務所
Jyuki Architectural Design Office
一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号
一級建築士国土交通大臣登録第167163号 山田 裕治



給排水衛生設備 撤去工事要領

- 図示の衛生器具、給排水管、付属金具等を撤去する。
- 土間コンクリートはつり等躯体工事は建築工事。
- 壁内不要埋込配管は管端部処理の上放置とする。

配管切り離し部分

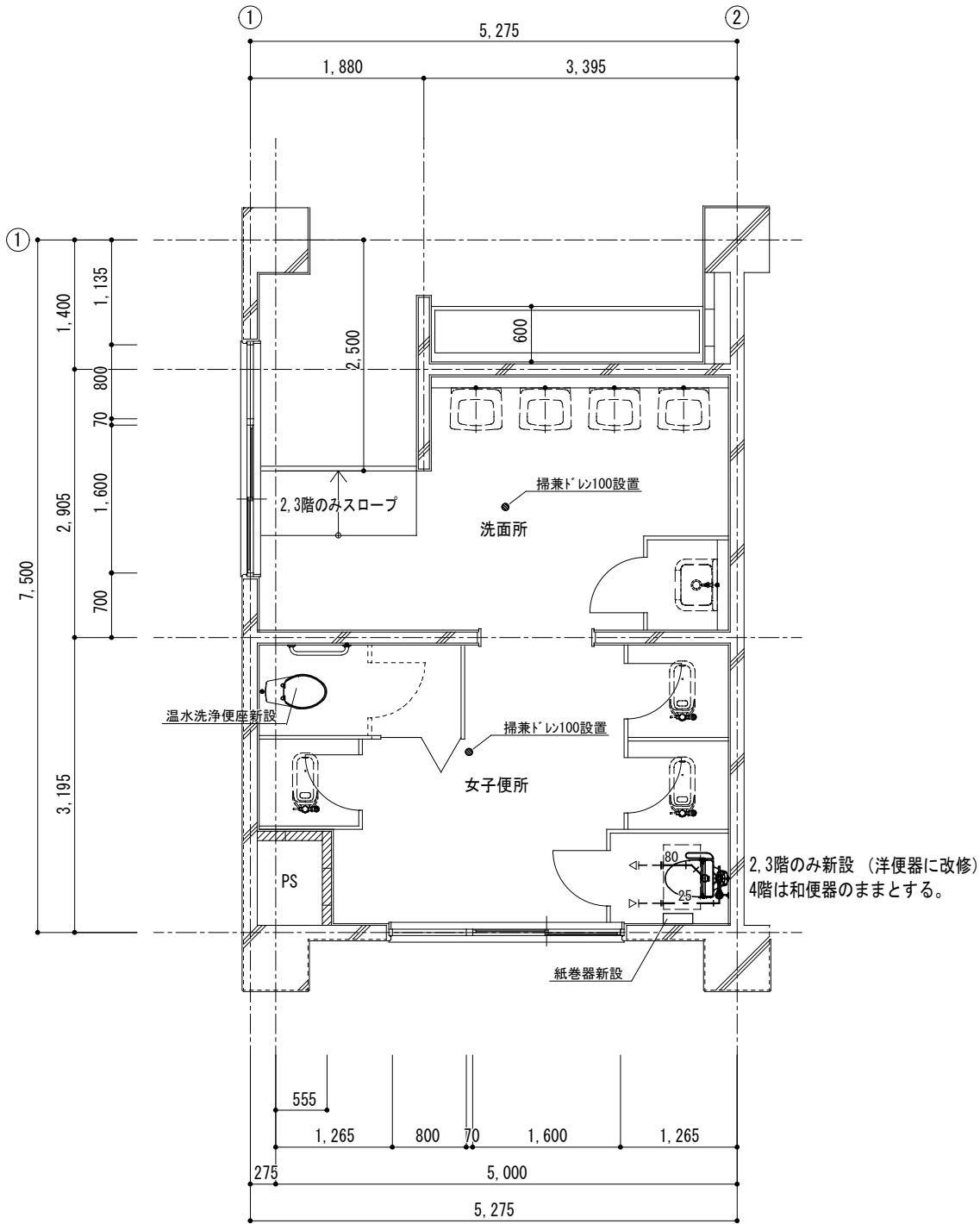
現状維持部分

配管撤去部分

- 既設不要配管口穴埋めは本工事とする。

撤去 衛生器具表 (2、3階女子便所)			
名称	仕様	数量	
便座	普通便座	1	
和風便器	FV 紙巻器	1	

撤去 衛生器具表 (4階女子便所)			
名称	仕様	数量	
便座	普通便座	1	



給排水衛生設備 新設工事要領

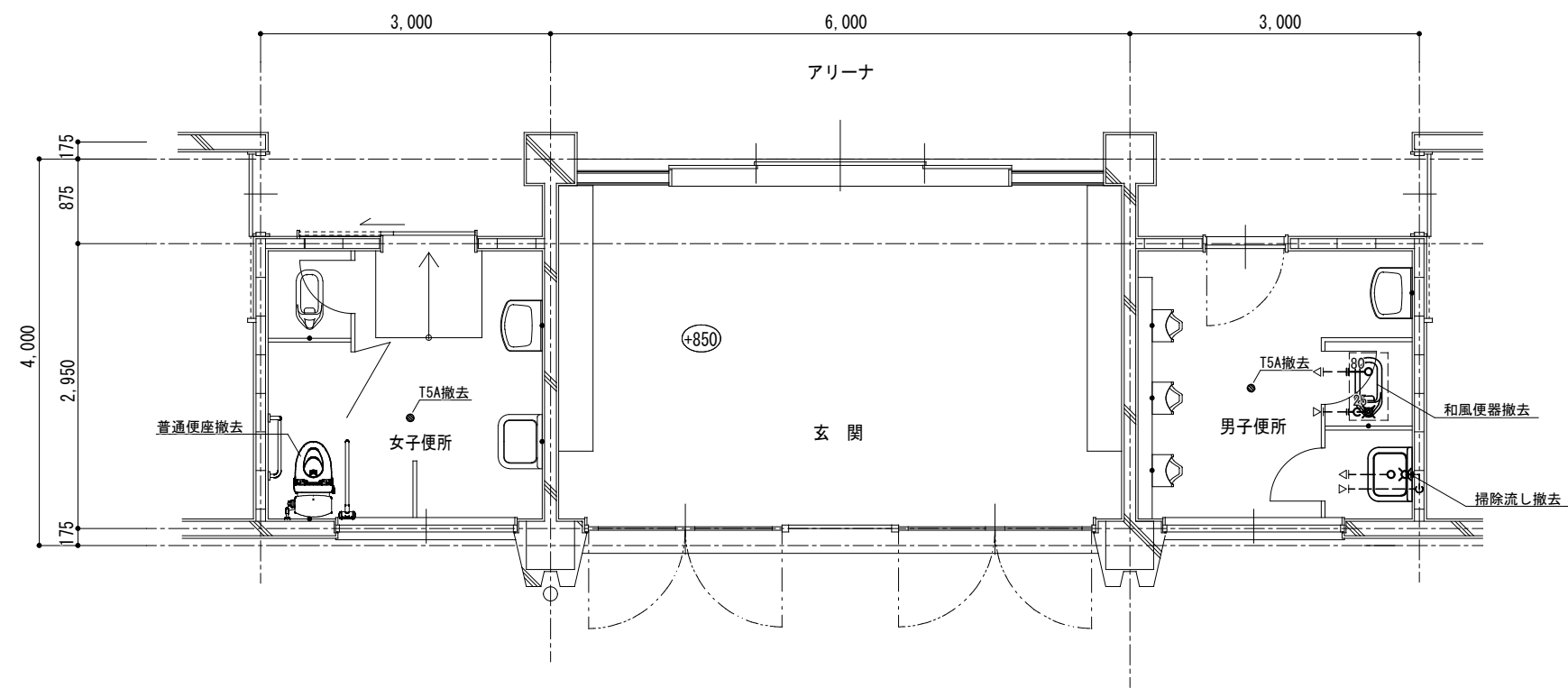
- 衛生器具、給排水管、付属金具等を新設する。
- 土間コンクリート復旧工事は建築工事。
- 既設壁貫通部は既設穴を原則利用する。

既設管接続部分

既設配管部分

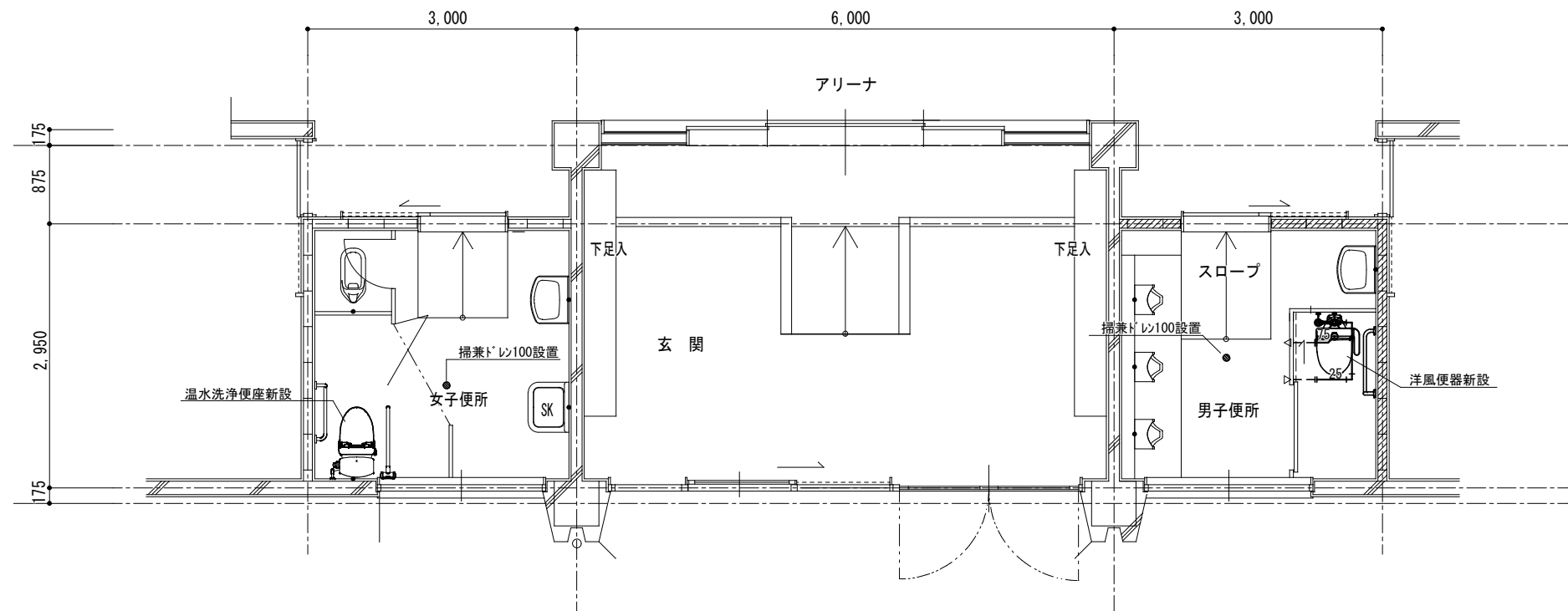
配管新設部分

- 既設不要配管口穴埋めは本工事とする。



撤去 衛生器具表（男子便所）		
名称	仕様	数量
和風便器	FV 紙巻器	1
掃除流し	水栓金具	1
便座	普通便座	1

給排水衛生設備 撤去工事要領
<ul style="list-style-type: none">図示の衛生器具、給排水管、付属金具等を撤去する。土間コンクリートはつり等躯体工事は建築工事。壁内不要埋込配管は管端部処理の上放置とする。
<div>配管切り離し部分</div> <div>現状維持部分</div> <div>配管撤去部分</div>
<ul style="list-style-type: none">既設不要配管口穴埋めは本工事とする。



給排水衛生設備 新設工事要領
<ul style="list-style-type: none">衛生器具、給排水管、付属金具等を新設する。土間コンクリート復旧工事は建築工事。既設壁貫通部は既設穴を原則利用する。
<div>既設管接続部分</div> <div>既設配管部分</div> <div>配管新設部分</div>
<ul style="list-style-type: none">既設不要配管口穴埋めは本工事とする。

・ ・	工事名／Title 津市立西郊中学校便所改修工事	図面種別／Drawing 給排水衛生設備 屋内運動場 便所平面詳細図		Check	No. M-15	合資会社 重企建築事務所 Jyuki Architectural Design Office 一級建築士事務所 三重県知事登録第 1－300号 一級建築士国土交通大臣登録第167163号 山田 裕治
・ ・						
・ ・						
・ ・						
		縮尺／Scale 1/50	原 図：A2	日付／Date		